

はじめにお読みください	25
コンピュータの基本操作	73
カスタマー登録する / インターネットに接続する	87
本機の使いかたが わからないときに	151
困ったときは	165
接続 / 拡張するときは	215
その他	261

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

**⚠警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

パーソナルコンピューター  
PCV-MXS2R/MXS2

# 警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

8ページからの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

## 故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

## 万一異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



- ① 電源を切る
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜く
- ③ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理を依頼する

## データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号



### 行為を禁止する記号



### 行為を指示する記号



## アース線の接続について

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人電子情報技術産業協会(旧JEIDA)のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

## レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準(JIS・C-6802)クラス1適合のDVD-RWドライブ(PCV-MXS2R)またはCD-RW / DVD-ROM一体型ドライブ(PCV-MXS2)およびMDドライブが搭載されています。

## 著作権について

あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

また、著作者の許可なく、取り込んだ映像・画像・音声に変更・切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうことは禁じられています。

コピーガード信号や著作権保護の信号が入った映像は録画することができません。

コピー禁止信号や著作権保護の信号が入った音声、音楽は録音することができません。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

(お問い合わせ先 (社)私的録音補償金管理協会 Tel. 03-5353-0336)

## 本機の内蔵モデムについて

本機の内蔵モデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国のモードを使用すると電気通信事業法(技術標準)に違反する行為となります。工場出荷時の設定は「日本モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

## 高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。



当社は国際エネルギースタートプログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタートプログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタートプログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。



緩衝材に段ボールを使用

#### 本書で使われている画面のイラストについて

本書で使われている画面のイラストは実際のもものと異なる場合があります。

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。
- CD-ROMや音楽CDからのコピーの作成およびその利用は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの作成およびその利用にあたっては、オリジナルCDの使用許諾条件および著作権法を遵守してください。

# 「取扱説明書(本書)」について

本書では、以下のことについて説明しています。

- 本機を使う前に必要な準備
- 電源の入れかた / 切りかた
- コンピュータの基本的な使いかた
- インターネットへの接続のしかた
- 困ったときの対処のしかた
- 周辺機器の接続や本機の拡張のしかた
- 使用上のご注意

コンピュータを初めてお使いになる方はもちろん、よくご存知の方も、必ず本書からお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 画面で見る電子マニュアル「サイバーサポート」について



VAIO マニュアル「サイバーサポート」(CyberSupport for VAIO) (以降、「サイバーサポート」と略します。)は、VAIOの使いかたや楽しみかたをディスプレイ画面上で説明する電子マニュアルです。本書に載っていない情報も、「サイバーサポート」で調べることができます。

使いかたについて詳しくは、「「サイバーサポート」の使いかた」(154ページ)をご覧ください。

### 🔍 電子マニュアルとは

本機の使いかたやソフトウェアの操作説明などをディスプレイ画面上で読めるようにしたマニュアルのことです。

## 「サイバーサポート」では、以下の情報を見ることができます。

**📖 できる Windows** : Windowsの基本的な使いかたの説明を見ることができます。

**🌐 インターネット** : インターネットに接続してホームページを見るための手順や、電子メールをやりとりするための説明を見ることができます。

**💻 VAIOの使いかた** : コンピュータの設定のしかたなど、本機の基本的な使いかたの説明を見ることができます。

**🎬 VAIOの楽しみかた** : DVDビデオの再生方法や、動画編集のしかたをはじめ、ソニー製のソフトウェアを使った本機の楽しみかたや、付属のソフトウェアの紹介などの説明を見ることができます。

**🛠️ 困ったときは** : 本機を操作していて困ったときの対処方法や、トラブルが発生したときの対処方法の説明を見ることができます。

**🛎️ サービス/サポート** : サービス/サポートを受けるための説明を見ることができます。

# 目次

安全のために .....	2
「取扱説明書(本書)」について.....	5
警告・注意 .....	8
本機をお使いになる前のご注意 .....	18

## はじめにお読みください

こんなことができます .....	26
操作の流れ.....	28
付属品を確かめる .....	30
各部のなまえ .....	33
設置する .....	37
接続する / 準備する.....	39
1 ディスプレイを接続する.....	39
2 テレビアンテナを接続する .....	41
3 本機とビデオデッキ、または AV マウス機能付き スカイパーフェク TV! (CS チューナー) または BS デジタルチューナーを接続する .....	43
4 キーボードとマウスを接続する .....	45
5 スピーカーを接続する .....	47
6 電話回線に接続する .....	49
7 FM アンテナを本機に接続する .....	53
8 FM アンテナを壁や天井に貼る .....	55
9 リモコンを準備する .....	56
10 電源コードを接続する .....	57
電源を入れる .....	58
Windowsを準備する .....	59
複数ユーザーで使用する .....	63
「ヘルプとサポートセンター」について.....	64
テレビを見る準備をする .....	65
電源を切る .....	71

## コンピュータの基本操作

デスクトップ画面の各部のなまえとはたらき.....	74
マウスの操作 .....	76
ウィンドウやファイルの操作.....	78
文字の入力の前に .....	83

## カスタマー登録する / インターネットに接続する

カスタマー登録する .....	88
インターネットを始める .....	98
インターネットに接続するまでの流れ .....	102
<b>1</b> プロバイダと契約する .....	104
<b>2</b> チェックシートを作成する .....	113
<b>3</b> 接続のための設定をする .....	117
<b>4</b> 電子メールソフトウェアの設定をする .....	130
<b>5</b> インターネットに接続する .....	135
ホームページを見る .....	138
電子メールをやりとりする .....	145

## 本機の使いかたがわからないときに

どのマニュアルを読む? .....	152
「サイバーサポート」の使いかた.....	154

## 困ったときは

わからないことやトラブルを解決する .....	166
主なトラブルとその解決方法 .....	168

## 接続 / 拡張するときには

i.LINK対応機器をつなぐ.....	216
AV機器をつなぐ.....	221
ヘッドホンをつなぐ .....	225
プリンタをつなぐ.....	226
USB機器をつなぐ .....	228
ネットワーク(LAN)につなぐ .....	229
PCカードを使う .....	230
拡張ボードを増設する.....	235
メモリを増設する.....	244
ハードディスクドライブを増設する .....	251

## その他

動画系ソフトウェアの操作の流れ .....	262
リカバリCDで本機を再セットアップする .....	264
パーティションサイズを変更する .....	271
使用上のご注意 .....	275
お手入れ.....	281
保証書とアフターサービス.....	283
主な仕様.....	284
付属ソフトウェアについて .....	286
索引.....	291

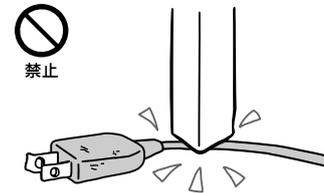


下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

## 電源コードを傷つけない

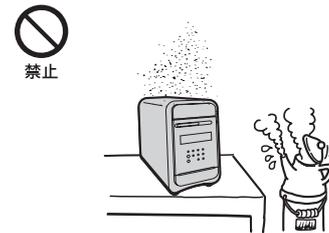
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック( 棚 )などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。



## 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。



## 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理をご依頼ください。



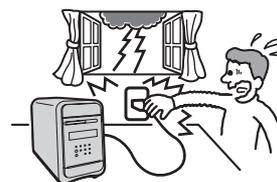
## むやみに内部を開けない

- 内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の点検、修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店にご依頼ください。
- 各種の拡張ボード(基板)を取り付けたりメモリを増設する場合など、コンピュータの内部を開ける必要があるときは、本機の電源コードを抜き、取扱説明書の周辺機器の拡張のページで指定された方法に従い、部品や基板などの角で手や指にけがをしないように注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となることがあります。



## 雷が鳴り出したらテレホンコードや電源プラグに触らない

感電の原因になります。



## 本機は日本国内専用です

- 交流100Vでお使いください。
- 海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電、故障の原因となることがあります。



## 内蔵モデムを一般回線以外の電話回線に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機(PBX)へ接続すると、モデムに必要な以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。



禁止

---

## ☎NETWORK( ネットワーク )コネクタに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

本機の☎NETWORK( ネットワーク )コネクタに下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- PBX( デジタル式構内交換機 )回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など



禁止



下記の注意事項を守らないと、  
**健康を害する**おそれがあります。

### ディスプレイを長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。



禁止

### キーボードを使いすぎない

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。



禁止

### 大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くとときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品に損害**を与えたりすることがあります。

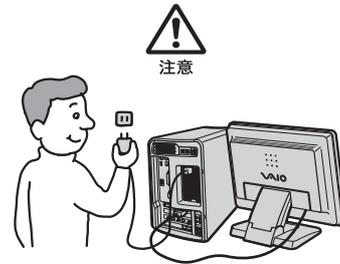
### ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



### 接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電や故障の原因となることがあります。



### 指定された電源コードや接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コードや接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。



### アース線を接続する

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。



## 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- カーテンなど通気孔に吸い込まれるものの近くに設置しない。



## 不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も十分にお確かめください。



## 運搬時は慎重に

コンピュータを運搬するときは、底面全体を保持し、安定した姿勢で運んでください。後面パネルのリリースバーを持って運搬しないでください。また、前面および後面パネル部分に手をかけて持たないでください。運搬中にバランスを崩すと落下によりけがの原因となることがあります。また、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。



## 製品の上に乗らない、重い物を乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



## お手入れの際は電源を切ってプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



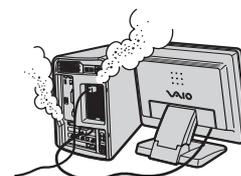
## 移動させるときは電源コードや接続コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



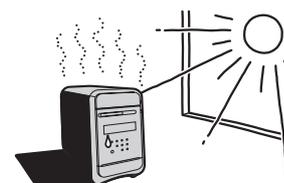
## コネクタはきちんと接続する

- コネクタ( 接続端子 )の内部に金属片を入れないください。ピンとピンがショート( 短絡 )して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してください。



## 直射日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。



---

## 製品の設置や移動時に机の上でずらさない

コンピュータとディスプレイを設置したり、移動させるときに机の上でずらさないでください。机が傷つく原因となります。



# 電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



## アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で十分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



## 電池は乳幼児の手の届かない所に置く

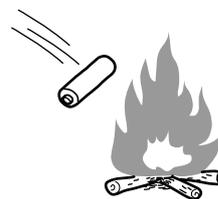
電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。



## 電池を火の中に入れて、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

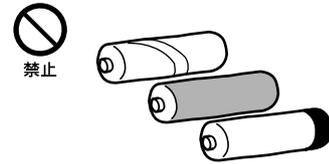
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



## 注意

市販のアルカリまたはマンガン電池(単三型)以外の電池をリモコンに使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

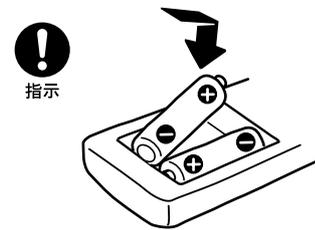
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



### +と-の向きを正しく入れる

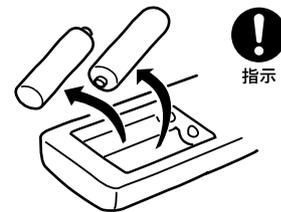
+と-を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



### 使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



# 本機をお使いになる前のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

## モデム設定のご注意

本機では、モデムの「コンピュータのスタンバイ状態」を解除する機能に対応していませんので、モデム設定の「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」を変更しないでください。

## DVD-RWドライブ(PCV-MXS2R)、CD-RW / DVD-ROM一体型ドライブ(PCV-MXS2)の地域番号(リージョンコード)書き換えについて

お買い上げ時、本機のドライブの地域番号(リージョンコード)は「2(日本)」に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

## DVDを再生するときのご注意

- 本機では、ソフトウェアを用いてDVDを再生しています。このため、ディスクによっては操作および機能に制限があったり、CPU、メモリなどのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり、コマ落ちしたりすることがあります。また、ディスクによっては、再生そのものに不具合があるものも確認されています。
- 本機でDVDを再生するときは、「DVgate」など、映像を扱う他のソフトウェアをすべて終了させてください。
- DVDビデオや動画系ファイルを再生しているときに、画面の解像度や色数を変更しないでください。動画が正しく再生できなかつたり、システムが不安定になることがあります。また、DVDビデオを再生するときには、スクリーンセーバーの設定を解除することをおすすめします。スクリーンセーバーを設定すると、DVDビデオの再生中にスクリーンセーバーが起動し、正しく再生できなくなります。スクリーンセーバーによっては、画面の解像度や色数を変更したりするものも確認されています。

## 「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアが起動できないときは

エクスプローラで動画ファイルのサムネールを表示していると、「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアを起動できないことがあります。この場合は、動画ファイルのサムネールを表示しているエクスプローラを終了してから、「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアを起動してください。

## 画面の解像度などの設定を変更するときのご注意

画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートをお買い上げ時の設定から変更した状態で「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアや「Giga Pocket」ソフトウェアを起動すると、正常に表示されない場合や、「動画表示ハードウェアが他のアプリケーションで使用中です。動画を表示している他のアプリケーションを終了させてから、再度やり直してください。動画を表示している他のアプリケーションがない場合は、リフレッシュレートが高いなど画面の設定が不適切な可能性があります。」というメッセージが表示され、「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアや「Giga Pocket」ソフトウェアが起動しないことがあります。他のソフトウェアを起動していないのにこのメッセージが表示される場合は、画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートをお買い上げ時の設定に戻してから「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアや

「Giga Pocket」ソフトウェアを起動してください。設定について詳しくは、VAIO マニュアル「サイバーサポート」画面上部の「VAIO の使いかた」をクリックし、「設定を変更する」 「ディスプレイの設定を変更する」 「ディスプレイ(画面)の設定を変える」をクリックして表示される各項目の情報をご覧ください。

## PicoPlayerを他のVAIOでお使いになる時のご注意

DVD-ROM ドライブを搭載した VAIO の場合でも、一部の機種では高画質または標準のビデオカプセルが再生できません。長時間モードのビデオカプセルに変換して再生してください。

## MPEG1形式で記録されているCDやDVDを再生するときのご注意

MPEG1 形式で記録されている CD や DVD を本機で再生するときは、付属の「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアで「設定」ボタンをクリックし、「映像・音声出力」タブで「本体」を選んでください。「ソニーMPEG2 エンコーダーボード」を選んで本機に接続したテレビに表示することはできません。

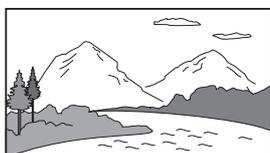
## テレビでDVDビデオをご覧になる時のご注意

本機で再生する DVD ビデオをテレビでご覧になるときは、接続するテレビに応じて、アスペクト比の設定、または DVD ビデオのワイド画像を再生するときの画面設定を行ってください。

16:9:ワイドテレビまたはワイドモードがあるテレビでご覧になるとき

4:3 レターボックス:通常のテレビでワイド画像を横長に表示して画面の上下には帯を入れるとき

16:9



4:3レターボックス



本機に付属の「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアで画面設定を行うときは、以下の手順に従って操作してください。

- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックし、「すべてのプログラム」にポインタを合わせ、「Media Bar」 「DVD Player」の順にクリックする。  
「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアが起動します。
- 2 **設定** をクリックする。  
「DVD設定」画面が表示されます。
- 3 「再生」タブをクリックする。  
「再生」画面が表示されます。
- 4 「画像比」の **▼** をクリックして、表示されるリストから、接続するテレビに応じて「16:9」または「4:3 (レターボックス)」を選ぶ。
- 5 **OK** をクリックする。

本機のビデオ出力は、ID-1 方式に対応しています。ID-1 方式に対応したテレビでオートワイドの設定をすると自動的に対応した画面モードになります。詳しくは、接続するテレビの取扱説明書をご覧ください。

## 本機へアナログ入力するときのご注意

「Giga Pocket」ソフトウェアを使って、本機のアナログ入力コネクタから静止画や動画を取り込むとき、静止画や動画にノイズが出たり、一時途切れたり、取り込みに失敗することがあります。これらの現象は、以下のように映像の同期信号が乱れた場合に起こります。

- 取り込む静止画や動画が乱れたとき、または本機に何も入力されていないとき
- 本機後面の VIDEO 1 INPUT コネクタにつないだケーブルをつなぎかえたとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局の放送信号が何らかの原因で乱れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノイズが入ったとき、または放送が行われていないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、ビデオデッキのチャンネルや入力を切り換えたとき
- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダーから映像入力中に、ビデオテープのつなぎ撮りをした部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画中に振動やゆれを加えて撮ったテープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキやビデオカメラレコーダーに振動やゆれが加わったとき

## 「Giga Pocket」ソフトウェアの「Giga ビデオレコーダー」が起動できないときは

エクスプローラで動画ファイルのサムネールを表示していると、「Giga Pocket」ソフトウェアの「Giga ビデオレコーダー」が起動できないことがあります。この場合は、動画ファイルのサムネールを表示しているエクスプローラを終了してから、「Giga ビデオレコーダー」を起動してください。

## AVマウスを使用してスカイパーフェクTV〔CSチューナー〕またはBSデジタルチューナーの映像を本機で録画するときのご注意

AVマウスを使用してスカイパーフェクTV〔CSチューナー〕またはBSデジタルチューナーの映像を本機で予約録画する際は、[画面のプロパティ]の[スクリーンセーバー]タブにある「パスワードの保護」または「再開時によろこ画面に戻る」のチェックボックスにチェックをいれないでください。

また、3D表示を行うスクリーンセーバーは、ご使用にならないでください。ご使用になると正常に予約録画が実行されません。

[画面のプロパティ]について詳しくは、サイバーサポートの「VAIOの使いかた」「設定を変更する」「ディスプレイの設定を変更する」「スクリーンセーバーや電源の設定を変える」をご覧ください。

## 「DVDit! for VAIO」ソフトウェアを使うときのご注意( PCV-MXS2Rのみ )

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアとは

「DVgate」ソフトウェアや「Giga Pocket」ソフトウェアで作成した MPEG ファイルを DVD-RW / DVD-R / CD-RW / CD-R に DVD ビデオフォーマットで書き込みを行うソフトウェアです。作成した DVD-RW / DVD-R のディスクは、DVD ビデオディスクを再生できる VAIO や DVD プレーヤーの一部で再生することができます\*。作成した CD-RW / CD-R のディスクは、「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアの Version3.1 以降を使って再生することができます。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「DVDit! for VAIO」ソフトウェアのヘルプや電子マニュアルをご覧ください。

- \* 再生できるVAIOおよびDVDプレーヤーについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクのホームページ (<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>)をご覧ください。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアを起動するには

デスクトップ画面左下の  をクリックして、[ すべてのプログラム ] にポインタを合わせ、[ DVDit! for VAIO ] [ DVDit! for VAIO ] の順にクリックしてください。

## ご注意

- 「DVDit! for VAIO」ソフトウェア使用中は、ユーザー切り替え(ファーストユーザースイッチ)をしないでください。データの書き込みに失敗することがあります。ユーザー切り替えは「DVDit! for VAIO」ソフトウェアを終了してから行ってください。
- 「ビルド」メニューの「DVDディスクの作成」を選ぶと表示される「DVDディスクの作成」画面で、「オプション」の「ディスクのテストと作成」を選んでDVDディスクの作成を実行すると、ディスクのテストが終わった後に、「書き込みを行いますので、イジェクトされたディスクを再度挿入してください。[ OK ] をクリックして継続してください。」というメッセージが表示されます。[ OK ] ボタンをクリックしてもこのメッセージは表示されますので、メッセージが表示されなくなるまで何度か [ OK ] ボタンをクリックしてください。
- 「DVDit! for VAIO」ソフトウェアは、制限ユーザーでは使うことができません。管理者権限のあるユーザーでお使いください。

プロジェクト設定を行うときのご注意

「ファイル」メニューの「プロジェクト設定」を選ぶと表示される「Project Settings」画面で、「プロジェクト」タブの「ディスク名」は、必ずアルファベットでタイトルを入力してください。日本語のタイトルで入力すると、文字が正しく表示されません。



著作権について

このソフトウェアで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者には無断で使用できません。

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されています。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアのお問い合わせ先

三信電気株式会社 DVDit! サポートセンター

電話番号:

( 03 ) 5232-5065

受付時間:

10 時 ~ 12 時、13 時 ~ 17 時、月曜日 ~ 金曜日( 祝日、年末年始を除く )

電子メール:

DVD-IT@sanshin.co.jp

ホームページ:

<http://jp.dvdit.com/dvdit/>

## 「Simple DVD Maker」ソフトウェアをお使いになる時のご注意 (PCV-MXS2Rのみ)

- AV(DV)ファイルから作られる一続きの映像のデータ量が DVD 上で 4G バイトを超える場合、DVD を作成中に「エラー(-31000)」と表示され、処理が中止されることがあります。これを回避するために、一続きの映像の変換後の長さが、4G バイト以下になるようにしてください。DVD 上の 1 つの映像のサイズが 4G バイト以下になるためには、ビットレートの違いにより、時間の上限は以下ようになります。下記の時間内であればディスクが一杯になるまで複数の映像を入れることができます。

10Mbps: 約 57 分

8Mbps: 約 73 分

6Mbps: 約 98 分

4Mbps: 約 150 分

「エラー(-31000)」と表示された場合、いったん「Simple DVD Maker」ソフトウェアを終了してください。

連番で一続きの映像になっている場合は、AV(DV)ファイル名変更などの操作を行って、複数の映像に分割してもう 1 度やり直してください。また、1 つの AV(DV)ファイルの場合は「DVgate Assemble」ソフトウェアを使って複数のファイルに分割して、もう 1 度やり直してください。

- 処理をキャンセルしたり、エラーがでて処理を中断した時に、「Simple DVD Maker」ソフトウェアを終了することなく、DVD を作るために再び「Make Disc」ボタンを押すと、「ディスクの作業領域に、消去できないフォルダがありました。」という画面が表示されることがあります。この場合は、いったん「Simple DVD Maker」ソフトウェアを終了して再度操作を行ってください。
- 10 Mbps で AV(DV)ファイルを変換すると、見積ったサイズでは入ることになっている場合でも、実際に DVD を作ろうとすると容量が超過することがあります。AV(DV)ファイルを 10 Mbps で変換する場合は、合計サイズが 4470M バイト以下になるようにしてください。

## データの書き込みや録音時のご注意

本機で MD や外部機器、“メモリースティック”のチェックアウトやチェックイン、およびデータの読み込みや書き込み中は、メディアを取り出したり、外部機器を抜き差ししたりしないでください。

データが破損することがあります。

## 省電力機能について

本機には、2 つの省電力機能が用意されています。各機能ごとに特長がありますので、使用状況に合わせて使い分けてください。

モード	本機の電源ランプ	ディスプレイの電源ランプ
1 通常モード	青色に点灯	緑色に点灯
2 スタンバイモード	オレンジ色に点灯	オレンジ色に点灯
3 休止状態	消灯	オレンジ色に点灯

\* お使いのディスプレイによっては、ランプの色が異なったり、点滅することがあります。

## 1 通常モード

通常の動作モードですが、ディスプレイの電源を切り、消費電力を節約することができます。

## 2 スタンバイモード

現在作業中の状態を保持したまま、CPUの電源を切ります。長時間、本機を使用しないときなど消費電力を節約するときに便利です。最低限必要なデバイス以外の電源を切るため、より消費電力を節約することができます。

このモードに入ると、本機の主電源が切れ、内部の主電源部のファンは停止します。

スタンバイモードに入るには

次の操作で、一時的にシステム全体の動作を停止することができます(スタンバイモード)。このとき、本機前面の(電源)ランプはオレンジ色に点灯します。席をはずすなどして、しばらく作業を中断するときに便利です。

- キーボードの(スタンバイ)キーを押す。
- 本機前面の(電源)ボタンを押す。
- リモコンの電源ボタンを押す。
- 「Giga Pocket」ソフトウェアの「予約マネージャー」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「Windowsのスタンバイ」を選ぶ。(「予約マネージャー」でシャットダウンモードが「スタンバイ」に設定されている場合、お買い上げ時の設定)
- 「スタート」メニューから「終了オプション」を選んで表示される「コンピュータの電源を切る」画面で「スタンバイ」をクリックする。

スタンバイモードから通常の動作モードに戻すには

スタンバイモードから通常の動作モードに戻すには、本機前面の(電源)ボタン、リモコンの電源ボタン、キーボードの(スタンバイ)キーまたはキーボードのスペースキーを押します。

### ご注意

スタンバイモードは本機の電源が切れた状態ではなく、本機の電源の消費を抑えている状態です。スタンバイモードのときに、電源コードをコンセントから抜かないでください。作業を中断する前の状態に戻れなくなります。また、本機の故障の原因となることがあります。

## 3 休止状態

現在作業中の状態をハードディスクに保存して、本機の電源を切ります。2～3日、本機を使わないようなときに便利です。

休止状態に入るには

休止状態に入るには、デスクトップ画面左下の「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面でShift(シフト)キーを押しながら「休止状態」をクリックします。または、「Giga Pocket」ソフトウェアの「予約マネージャー」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「Windowsのスタンバイ」を選ぶ。(「予約マネージャー」でシャットダウンモードが「休止状態」に設定されている場合)

休止状態に入ると、本機前面の電源ランプとディスプレイの電源ランプは消灯します。

休止状態から通常の動作モードに戻すには

本機前面の(電源)ボタンを押します。

### ご注意

休止状態に入った場合は、リモコンを使って本機を通常の動作モードに戻すことはできません。

詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の「VAIOの使いかた」をクリックし、「設定を変更する」[省電力機能の設定を変更する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。



## はじめにお読みください

この章では、本機を使う際に最初に行う準備について説明します。準備が整うと、本機のいろいろな機能が使えるようになります。

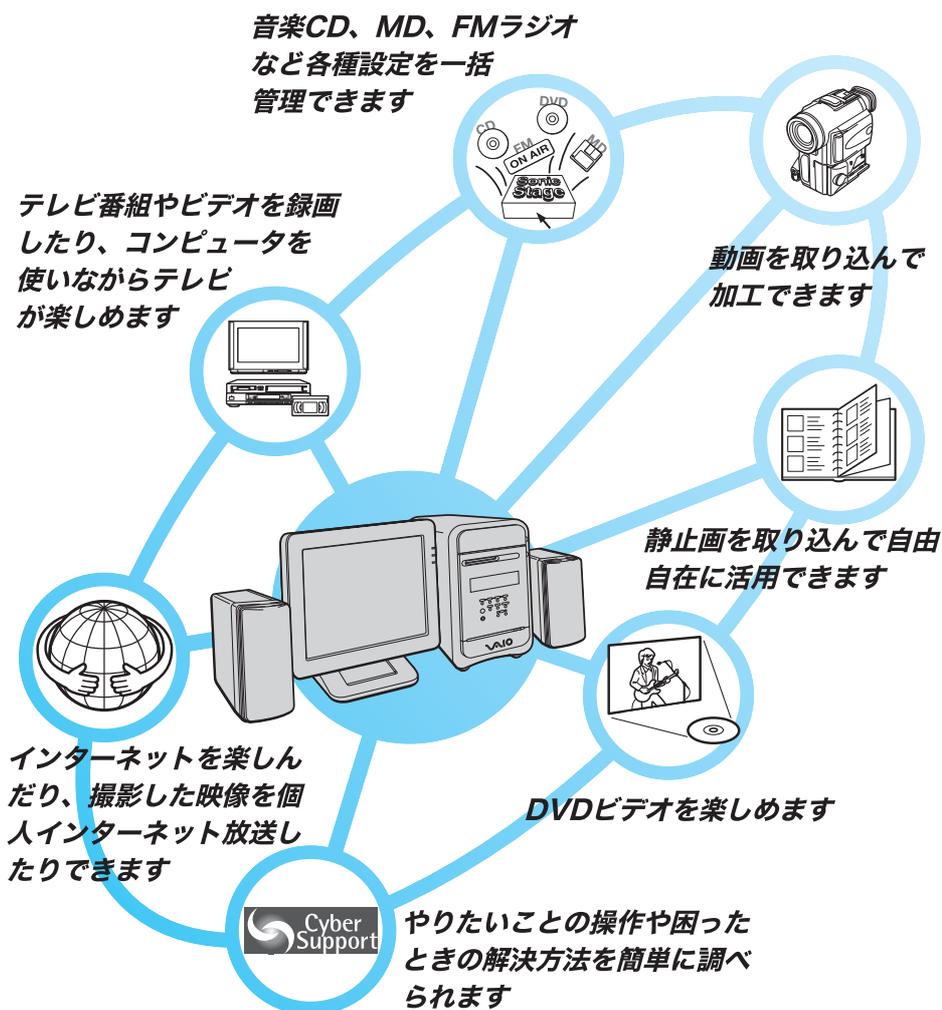
# こんなことができます

本機は、オーディオ機能の充実とその操作性を追求して設計された、ソニーならではのコンピュータです。

ここでは、本機を使ってできることの例をあげてあります。

なお、これらの機能をお使いいただくには、最初に、本書に沿ってひと通りの接続や準備を完了しておく必要があります。28ページからの説明に従って、本機の接続と準備を行ってください。

また、それぞれの操作について詳しくは、「サイバーサポート」または各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。



各ソフトウェアのお問い合わせ先については、「付属ソフトウェアについて ( 286ページ )」をご覧ください。

<b>音楽CDを聴いたり作成したい</b>	
 SonicStage Premium	▶ 音楽CDやMDの再生／録音や、FM放送、インターネット上の音楽配信サービスの利用、オリジナルCDやMDの作成、対応ポータブルプレーヤーへの書き出しまで、音楽を統合環境で快適に楽しめます。
 RecordNow DX	▶ 手軽にオリジナルCDやDVDの作成ができます (PCV-MXS2Rのみ)。
<b>DVDを再生したい</b>	
 Media Bar DVD プレーヤー	▶ スマートな操作で高画質、高音質なDVD再生を実現するDVDプレーヤーです。
 Simple DVD Maker	▶ ドラッグ＆ドロップの手軽な操作で動画をDVDや「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアで再生できるCDに出力できます (PCV-MXS2Rのみ)。
<b>テレビ番組を見たり、録画したい</b>	
 Giga Pocket	▶ VAIOでテレビを楽しむためのソフトウェア群です。テレビを見る、予約録画する、録画した番組 (ビデオカプセル) を整理することなどができます。
<b>動画を取り込んで編集したい</b>	
 MovieShaker	▶ 映像ファイルを組み合わせるとオリジナルの作品が作れるソフトウェアです。好きなシーンを集めて「シェイク」すると自動的に楽しい作品ができあがります。
 DVgate	▶ デジタルビデオカメラなどで撮影した映像をVAIOに取り込み、必要な部分を切り取って編集することができます。
<b>静止画を取り込んで活用したい</b>	
 DigitalPrint	▶ デジタル写真の取り込みからプリント、焼き増し、そしてフォトアルバム作成やCD、MDラベルの印刷などが手軽に行えます。
 PictureGear	▶ 動画から画像を合成したり、HTMLアルバム・スライドショーなど画像データを使って、いろいろなものを作ることができます。
 PictureToy	▶ デジタル写真を加工するためのお絵描きソフトウェアです。デジタル写真に手書きで絵を描いたり文字やいろいろなスタンプを貼り付けることができます。
<b>撮影した映像をインターネット放送したい</b>	
 URecSight	▶ パーソナルキャスティング (個人インターネット放送) をするためのソフトウェアです。
<b>ボタン1つでソフトウェアを起動したりしたい</b>	
 VAIO Action Setup	▶ 本機のキーボードのショートカットキーの働きを設定するためのソフトウェアです。
<b>VAIOの使い方や困ったときの解決方法を簡単に調べたい</b>	
 CyberSupport for VAIO	▶ 本機についての情報を知りたいときや、本機を使っていて困ったことや疑問があったときに使用するソフトウェアです。

# 操作の流れ

本機をお使いになる前に必要な準備や操作の大まかな流れを以下に示します。

1

## 付属品を確かめる( 30ページ )

箱を開け、この説明書を読みながら本機の付属品がすべてそろっているか確かめます。

2

## 各部のなまえ( 33ページ )

本機の各部のなまえを紹介します。

3

## 設置する( 37ページ )

本機を設置する場所を決めます。

4

## 接続する / 準備する( 39ページ )

ディスプレイやテレホンコードなどを接続します。

電話回線にISDN回線をお使いになる場合は NTT(局番なしの116番)にご相談ください。
--

5

## 電源を入れる( 58ページ )

本機の電源を入れます。

6

## Windowsを準備する( 59ページ )

Windowsを使うために、名前などを登録します。

7

## テレビを見る準備をする( 65ページ )

テレビを見るために、「Giga Pocket」ソフトウェアの設定をします。

8

## 電源を切る( 71ページ )

本機の電源を切ります。

必要に応じて下記もご覧ください。

□ **コンピュータの基本操作( 74ページ )**

コンピュータを初めてお使いになる方は、このページをお読みにになり、マウスやキーボードの使いかたを練習してください。

□ **カスタマー登録する / インターネットに接続する( 88ページ )**

登録カスタマー専用のいろいろなサービスを受けられるように、本機をカスタマー登録してください。インターネットを始めたい方は、このページをお読みにになり、インターネット接続のための準備を行います。ホームページを見たり、電子メールをやりとりしたりする方法も練習してください。

□ **本機の使いかたがわからないときに( 152ページ )**

本機の使いかたがわからなくなったときに、読むマニュアルやヘルプの使いかたを説明しています。

□ **困ったときは( 166ページ )**

本機を操作していてトラブルが発生したときにご覧ください。

□ **接続 / 拡張するときは( 216ページ )**

本機と周辺機器を接続したり、本機を拡張するときにご覧ください。

□ **その他( 262ページ )**

本機をお使いになる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明しています。

# 付属品を確かめる

本機を初めて使うにあたって、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。

□マークにチェックしながら確認すると便利です。

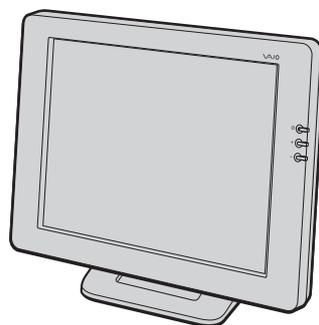
付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンク修理窓口または販売店にご連絡ください。

本書で使用するものについては、**本書**がついています。

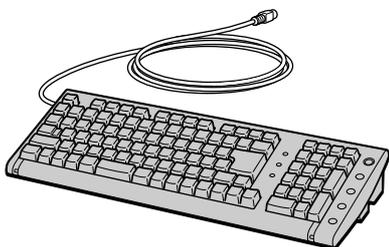
- コンピュータ本体(1) **本書**



- ディスプレイおよびその付属品(1) **本書**

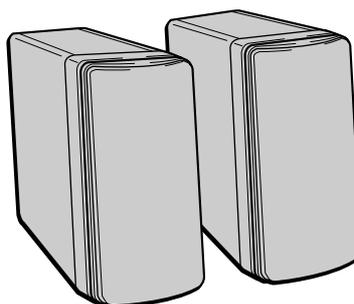


- キーボード(1) **本書**



上のイラストは ティエフティ TFT 液晶デジタルディスプレイ PCVD-17SD1 です。お買い求めの機種によっては、ディスプレイが付属していない機種もあります。

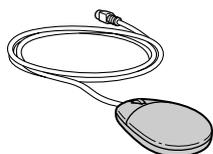
- スピーカー(2) **本書**



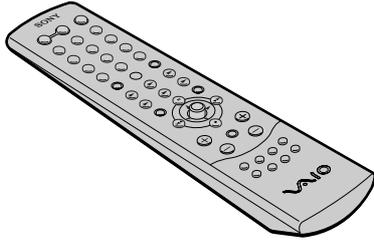
- パームレスト(1) **本書**



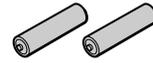
- マウス(1) **本書**



- リモコン(1) [本書](#)

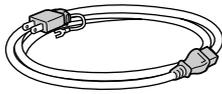


- 単3乾電池(2) [本書](#)

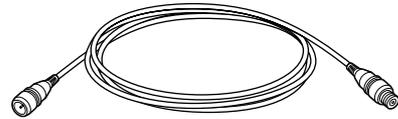


## ケーブル

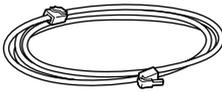
- 電源コード(1) [本書](#)



- FM同軸延長ケーブル(1) [本書](#)



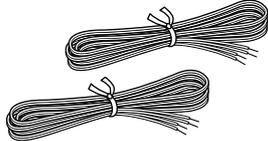
- テレホンコード(1) [本書](#)



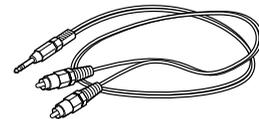
- ビデオ接続用変換コネクタ(2) [本書](#)



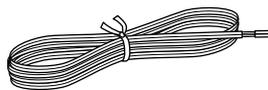
- スピーカーコード(2) [本書](#)



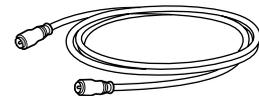
- オーディオ接続ケーブル(1) [本書](#)



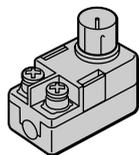
- FMフィーダアンテナ(1) [本書](#)



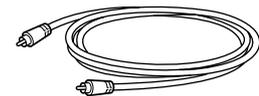
- アンテナ接続ケーブル(1) [本書](#)



- FMアンテナ整合器(1) [本書](#)



- ビデオ接続ケーブル(1) [本書](#)



## シーディー・ロム 説明書およびCD-ROM

- 取扱説明書(本書、1)
- VAIOソフトウェアをMXで楽しもう!(1)
- 「ギガ ポケットGiga Pocket」取扱説明書(1)
- 「マイクロソフト ウィンドウズ エクスペーMicrosoft® Windows® XP  
ホーム エディションHome Edition」ファーストステップガイド(1)
- リカバリ シーディー・ロムCD-ROMパッケージ(1)

### ご注意

「Microsoft® Windows® XP Home Edition」ファーストステップガイドおよびリカバリ CD-ROMは再発行できませんので、大切に保管してください。

- 「アドビ フォトショッブ エレメンツAdobe Photoshop Elements」ユーザー登録はがき(1)

### ご注意

ユーザー登録はがきに記載されている「Adobe Photoshop Elements」のシリアル番号は、「Adobe Photoshop Elements」ソフトウェアの初回起動時に入力が必要になりますので、なくさないようにしてください。

### 💡 ちょっと一言

- 本機の使いかたについて詳しくは、「サイバーサポート」をご覧ください。使いかたについて詳しくは、「サイバーサポート」の使いかた(154ページ)をご覧ください。
- 各ソフトウェアの操作について詳しくは、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。ソフトウェアの中には、電子マニュアルが付属しているものがあります。電子マニュアルを見るには、デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックし、[すべてのプログラム]にポインタを合わせ[VAIOソフトウェアはこちら][VAIOソフトウェアマニュアル]の順にクリックして、見たいソフトウェアの電子マニュアルを選んでください。

### 💡 電子マニュアルとは

本機の使いかたやソフトウェアの操作説明などをディスプレイ画面上で読めるようにしたマニュアルのことです。

## その他

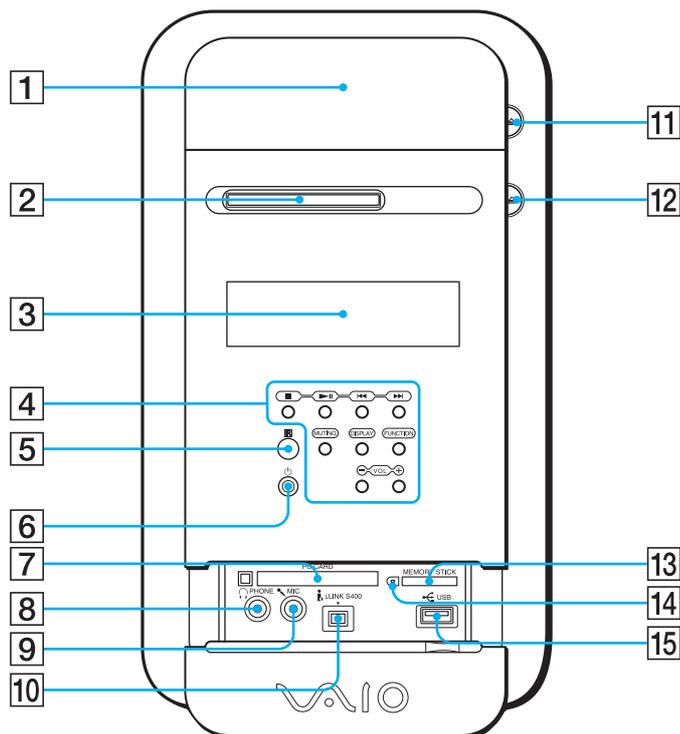
- VAIOサービス・サポートのご案内(1)
- VAIOカルテ(1)
- ソフトウェア使用許諾契約書(1)
- VAIOカスタマー登録、保証書お申込書(1)
- その他パンフレット類

# 各部のなまえ

ここでは本機の各部のなまえを紹介します。各部のなまえとはたらきについて詳しくは( )内のページおよび「サイバーサポート」画面上部の「VAIOの使いかた」をクリックして、「各部の説明」をクリックして表示される情報をご覧ください。

「サイバーサポート」の見かたについて詳しくは、「「サイバーサポート」の使いかた」(154ページ)をご覧ください。

## 本機前面



- 1 DVD-RWドライブ( PCV-MXS2R )  
CD-RW / DVD-ROM一体型ドライブ  
( PCV-MXS2 )

\* 本書では、「ディスクドライブ」と記載しています。

- 2 MDドライブ

- 3 表示窓

- 4 操作ボタン

詳しくは、次ページをご覧ください。

- 5 ㊦( リモコン受光部 )

- 6 ㊦( 電源 )ボタンと電源ランプ( 58ページ )

- 7 PC CARD( PCカード )スロット( 230ページ )

- 8 ㊦ HEADPHONES( ヘッドホン )コネクタ( 225ページ )

- 9 ㊦ MIC( マイクロホン )コネクタ

- 10 ㊦ i.LINK S400コネクタ( 4ピン )( 216ページ )

- 11 ㊦( ディスクドライブのOPEN / CLOSE )ボタン

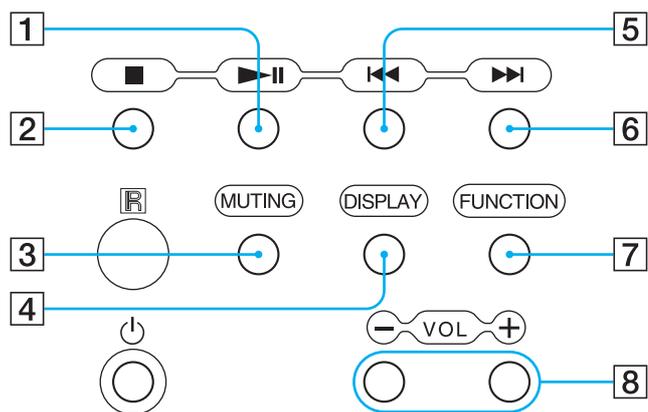
- 12 ㊦( MDイジェクト )ボタン

- 13 MEMORY STICK ㊦( メモリースティック )スロット

- 14 MEMORY STICK ㊦( メモリースティック )アクセスランプ

- 15 ㊦ USBコネクタ( 228ページ )

## 本機前面( 操作ボタン )



1 ▶|| PLAY( 再生 / 一時停止 )ボタン

2 ■ STOP( 停止 )ボタン

3 MUTING( 消音 )ボタン

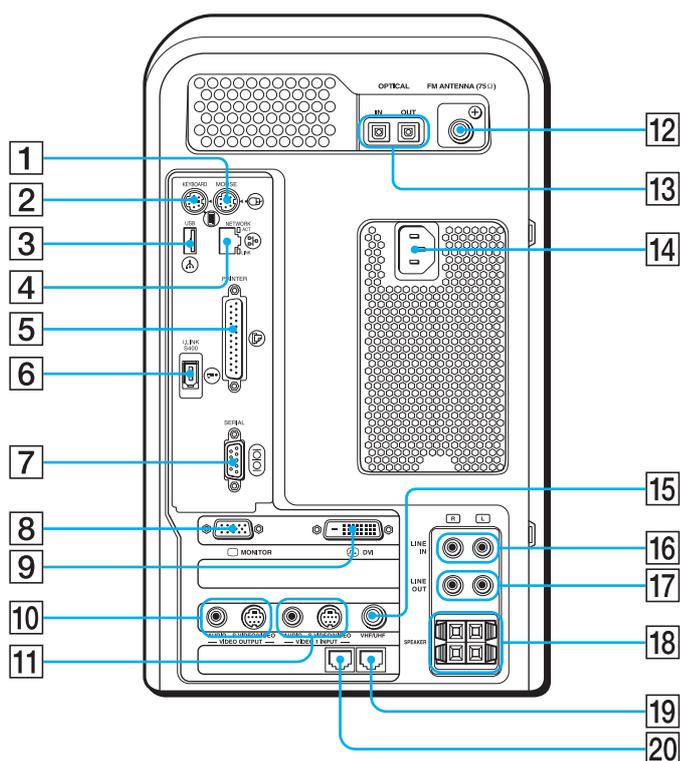
4 DISPLAY( ディスプレイセレクト )ボタン

5 ◀◀ REWIND( 巻き戻し )ボタン

6 ▶▶ FF( 早送り )ボタン

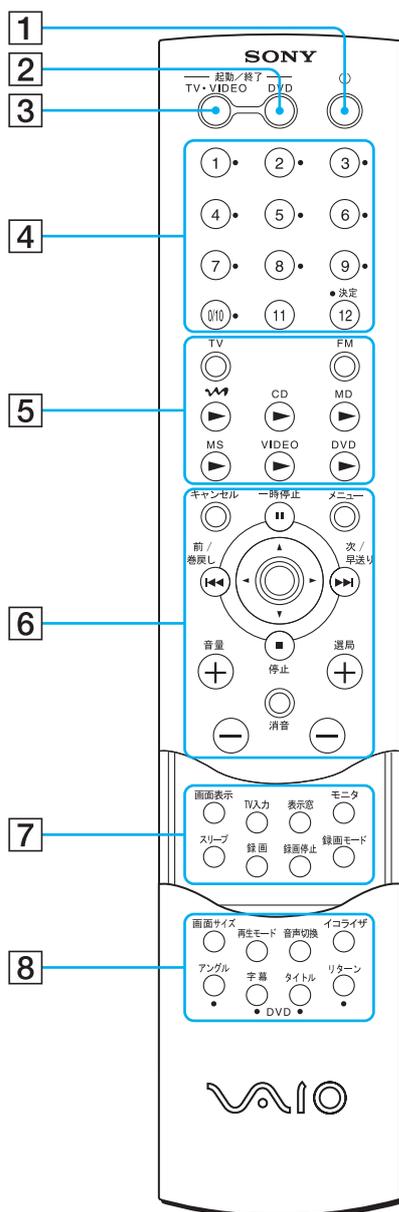
7 FUNCTION( ファンクションセレクト )  
ボタン

8 VOL + / -( 音量ボタン )



- |  |   |
|--|---|
| <p>1  MOUSE( マウス )コネクタ<br/>( 45 ページ )</p> <p>2  KEYBOARD( キーボード )コネクタ<br/>( 45 ページ )</p> <p>3  USBコネクタ( 228 ページ )</p> <p>4  NETWORK( ネットワーク )コネクタ<br/>( 229 ページ )</p> <p>5  PRINTER( プリンタ )コネクタ<br/>( 226 ページ )</p> <p>6  i.LINK S400コネクタ( 6ピン )<br/>( 216 ページ )</p> <p>7  SERIAL( シリアル )コネクタ</p> <p>8  MONITOR( モニタ )コネクタ<br/>( 40 ページ )</p> <p>9  DVIコネクタ( 39 ページ )</p> <p>10  VIDEO OUTPUT( 映像出力 )コネクタ<br/>( 43、222 ページ )<br/>⇨ S VIDEO / VIDEO( S映像 / 映像出力 )<br/>⇨ AUDIO( 音声出力 )</p> | <p>11  VIDEO 1 INPUT( 映像入力 )コネクタ<br/>( 43、222 ページ )<br/>⇨ S VIDEO / VIDEO( S映像 / 映像入力 )<br/>⇨ AUDIO( 音声入力 )</p> <p>12  FM ANTENNA( FM アンテナ )コネクタ<br/>( 54 ページ )</p> <p>13  OPTICAL IN / OUT( 光デジタル入出力 )コネクタ</p> <p>14  AC電源入力プラグ( 57 ページ )</p> <p>15  VHF / UHF( アンテナ )コネクタ</p> <p>16  LINE IN L/R( ライン入力 )コネクタ</p> <p>17  LINE OUT L/R( ライン出力 )コネクタ</p> <p>18  SPEAKER L/R( スピーカー )コネクタ<br/>( 47 ページ )</p> <p>19  TELEPHONE( 電話機 )ジャック<br/>( 49 ページ )</p> <p>20  LINE( 電話回線 )ジャック<br/>( 50 ページ )</p> |
|--|---|

# リモコン



1 電源ボタン

2 起動/終了DVDボタン

3 起動/終了TV・VIDEOボタン

4 数字切替ボタン

5 ファンクション操作ボタン

6 操作ボタン

7 映像操作ボタン

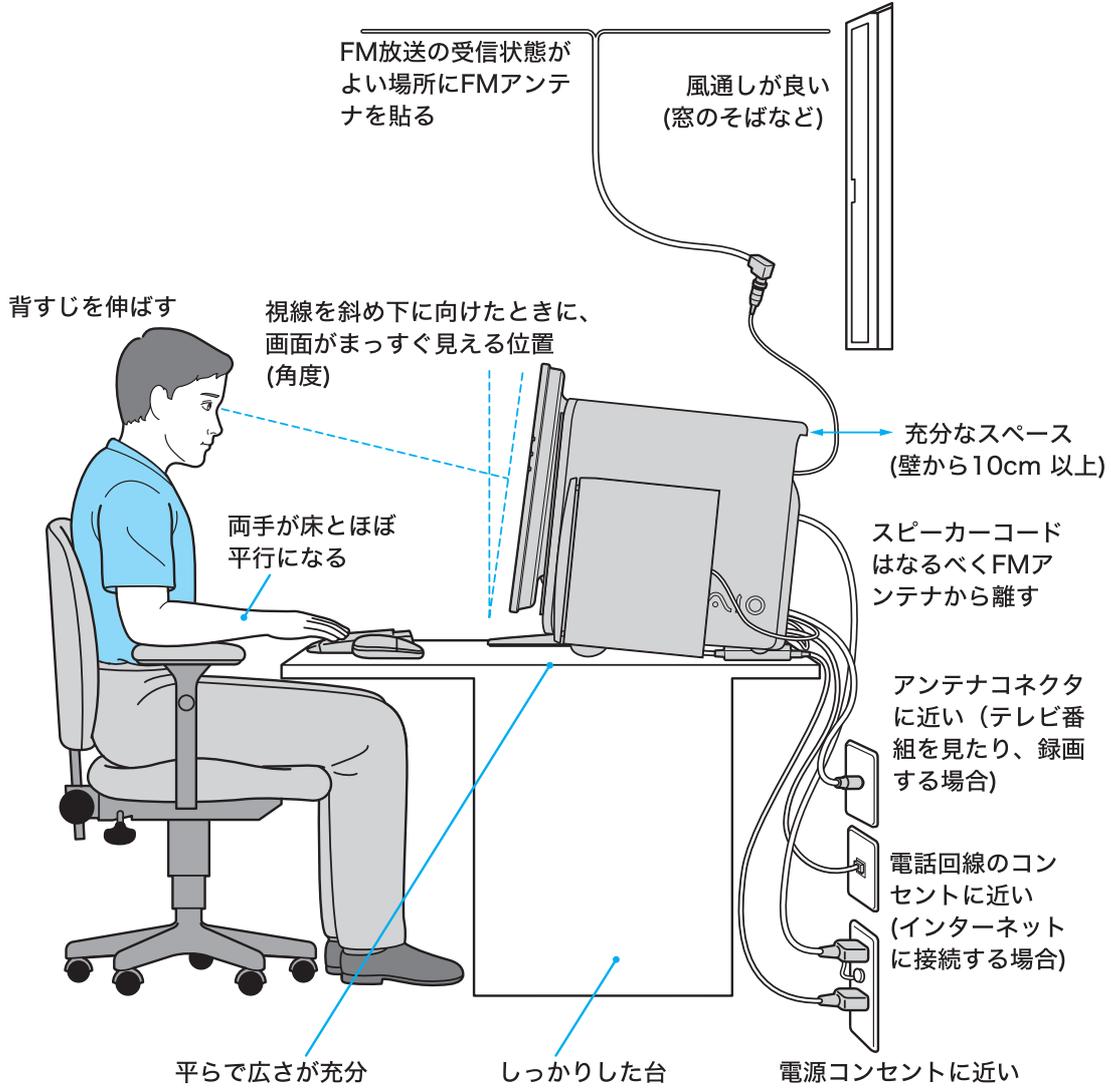
8 切替ボタン

## 💡 ちょっと一言

- 5ボタン、選局+ボタン、音声切替ボタンには突起がついています。
- リモコンの使いかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の「VAIOの使いかた」をクリックして、「各部の説明」[各部の説明: リモコン]の順に表示される情報をご覧ください。

# 設置する

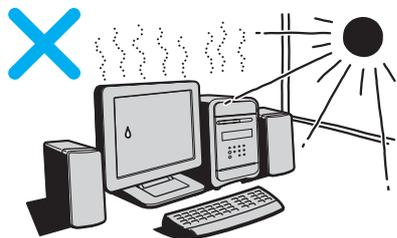
下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。



## 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

- ❑ 直射日光が当たる場所



- ❑ ほこりが多い場所



- ❑ 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く



- ❑ 湿気が多い場所



- ❑ 暖房器具の近くなど、温度が高い場所



- ❑ 風通しが悪い場所



## 設置時のご注意

次のことをお守りください。



本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持つ。前面および後面パネル部分に手をかけて持たないでください。本機を置くときは、衝撃が加わらないように静かに置く。



本機を横置きにしない。

このほかにも、設置の際の安全上の注意事項が8ページから記載されています。そちらもあわせてご覧ください。

# 接続する / 準備する

以下の手順に従って、ディスプレイ、テレビアンテナ、AV機器、キーボード、マウス、スピーカー、テレホンコード、FMアンテナ、電源コードを接続し、リモコンを使えるように準備します。

## 1

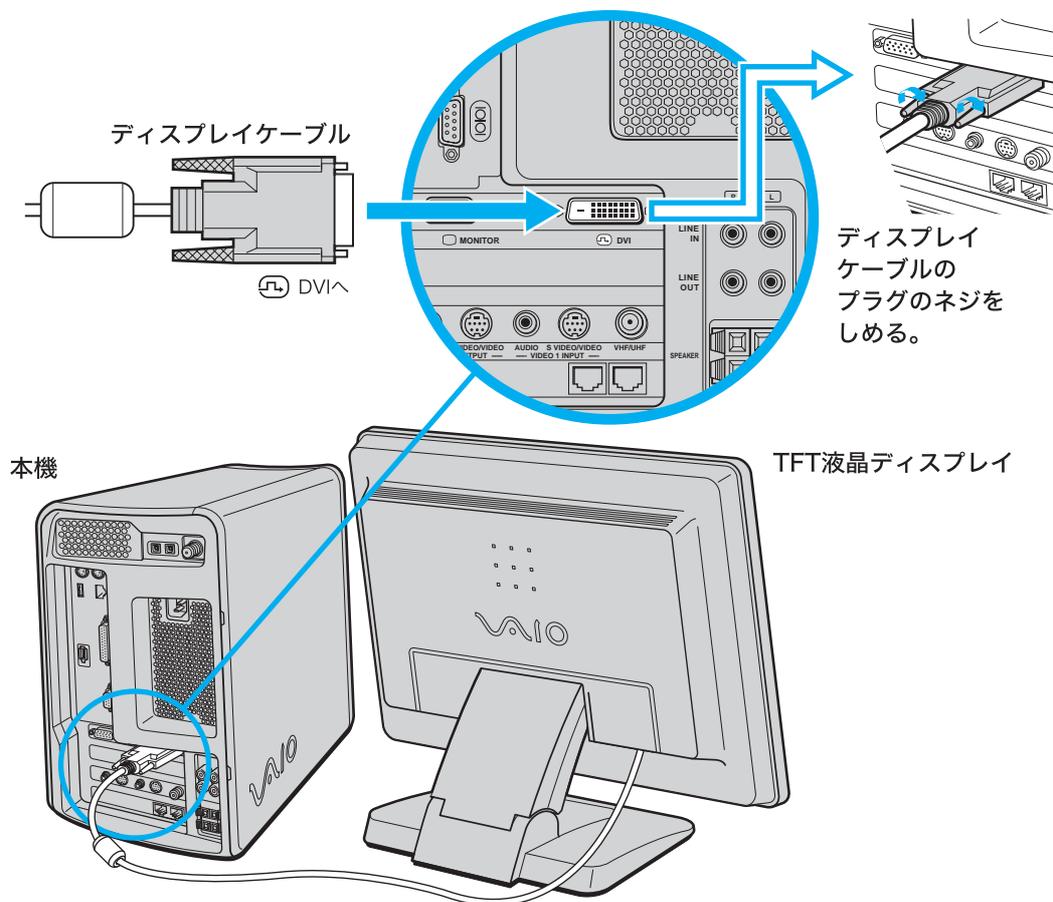
### ディスプレイを接続する。

#### ご注意

- 本機には、MONITOR( モニタ )コネクタとDV( ディーバイアイ )コネクタの2つのコネクタがあります。接続するコネクタはディスプレイによって違います。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。
- MONITOR( モニタ )コネクタまたはDV( ディーバイアイ )コネクタのいずれかにディスプレイを接続してください。両方のコネクタにディスプレイを接続しないでください。

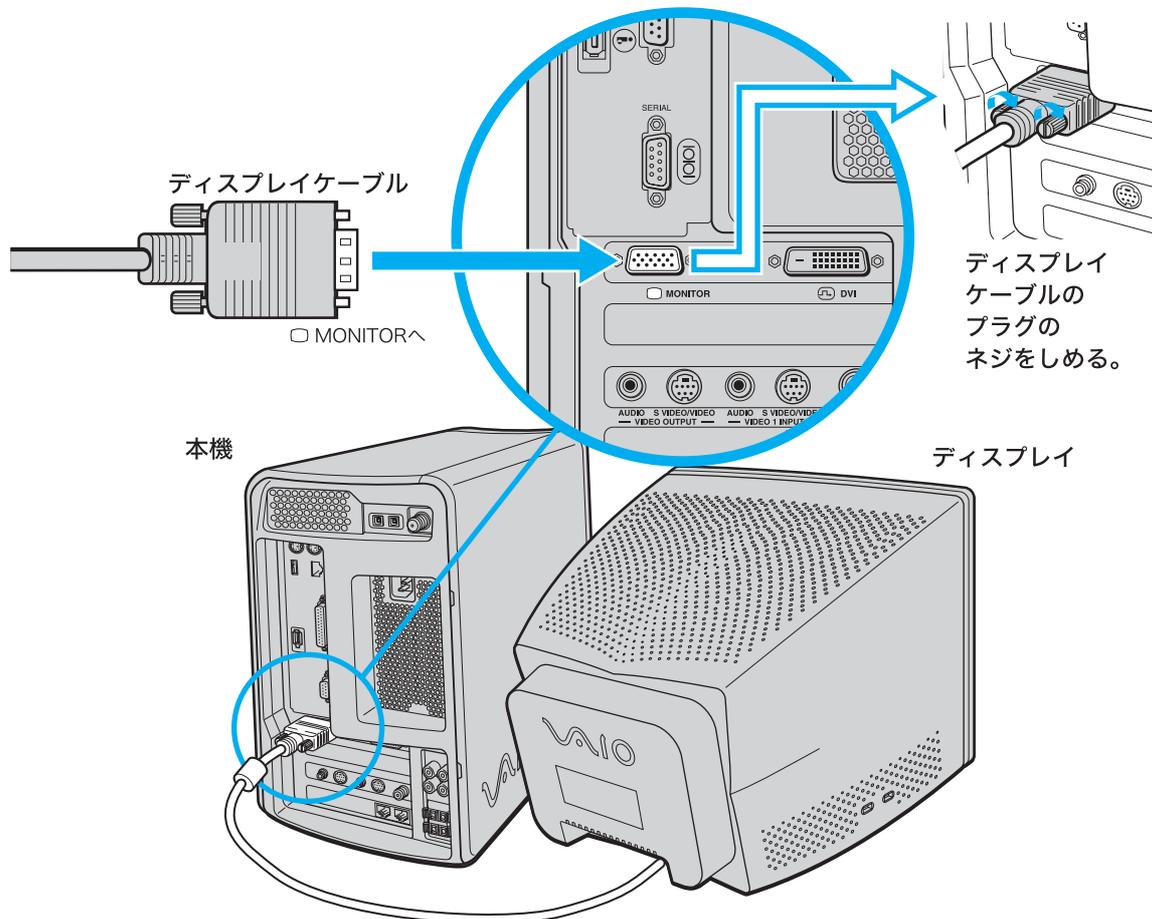
### TFT液晶デジタルディスプレイ PCVD-17SD1または PCVD-15XD3を接続する場合

ディスプレイのプラグをDV( ディーバイアイ )コネクタへ接続します。



## ソニーリニトンカラーコンピューターディスプレイ CPD-G420などD-Sub15ピンのディスプレイを接続する 場合

ディスプレイケーブルのプラグをMONITOR( モニタ )コネクタへ接続します。



### ご注意

上記のイラストは、実際のものとは多少異なる場合があります。

## 2

## テレビアンテナを接続する。

本機に付属の「Giga Pocket」ソフトウェアを使ってテレビを見たり、テレビ番組を録画するときは、付属のアンテナ接続ケーブルを使って壁のアンテナコネクタにつなぎます。テレビを見たり、テレビ番組を録画/再生する方法については、「サイバーサポート」画面上部の「VAIOの楽しみかた」をクリックして、「VAIOを楽しむ」「VAIOではじまる、快適テレビ生活」の順にクリックして表示される情報、または別冊の「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書およびヘルプをご覧ください。

接続のしかたは、以下の場合で異なりますので、ご自分の使用環境に合わせて接続してください。

- 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合
- すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

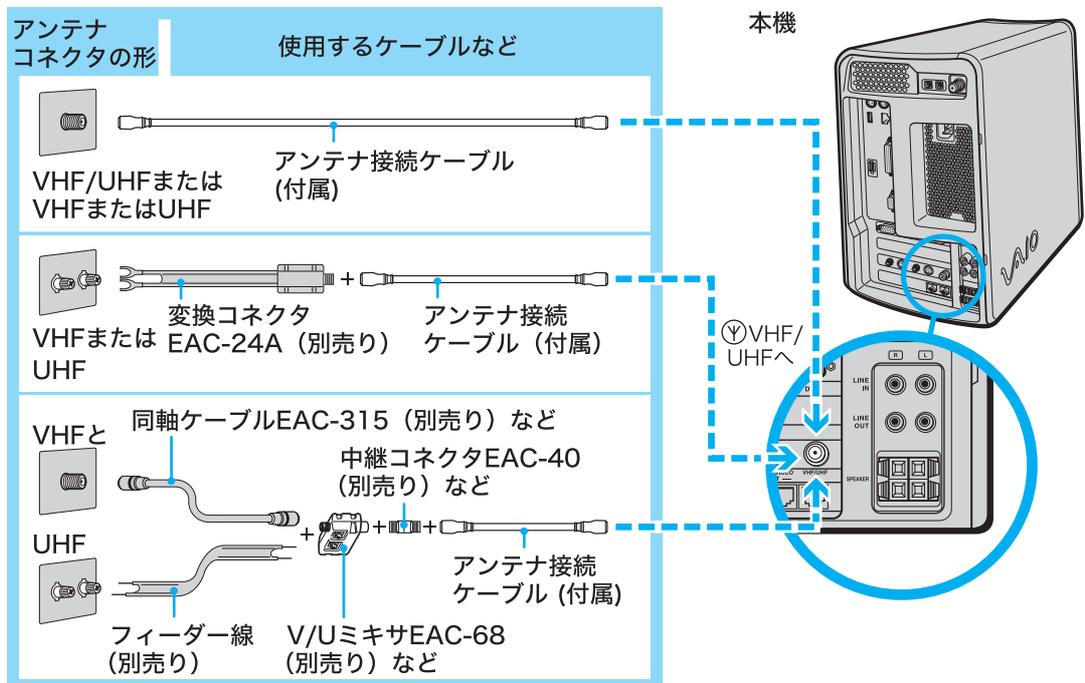
## ご注意

コピーガード信号や著作権保護の信号が入った映像は録画することができません。

## 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合

以下のようにテレビアンテナを接続します。

テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談ください。



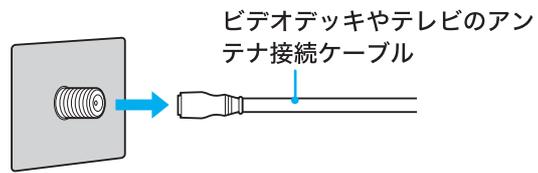
## ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルにくらべ雑音電波などの影響を受けやすく、信号が劣化します。できるだけ同軸ケーブルをご使用ください。
- フィーダー線をご使用になる場合は本機からできるだけ離してください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、長くなりすぎないようにご注意ください。

## すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

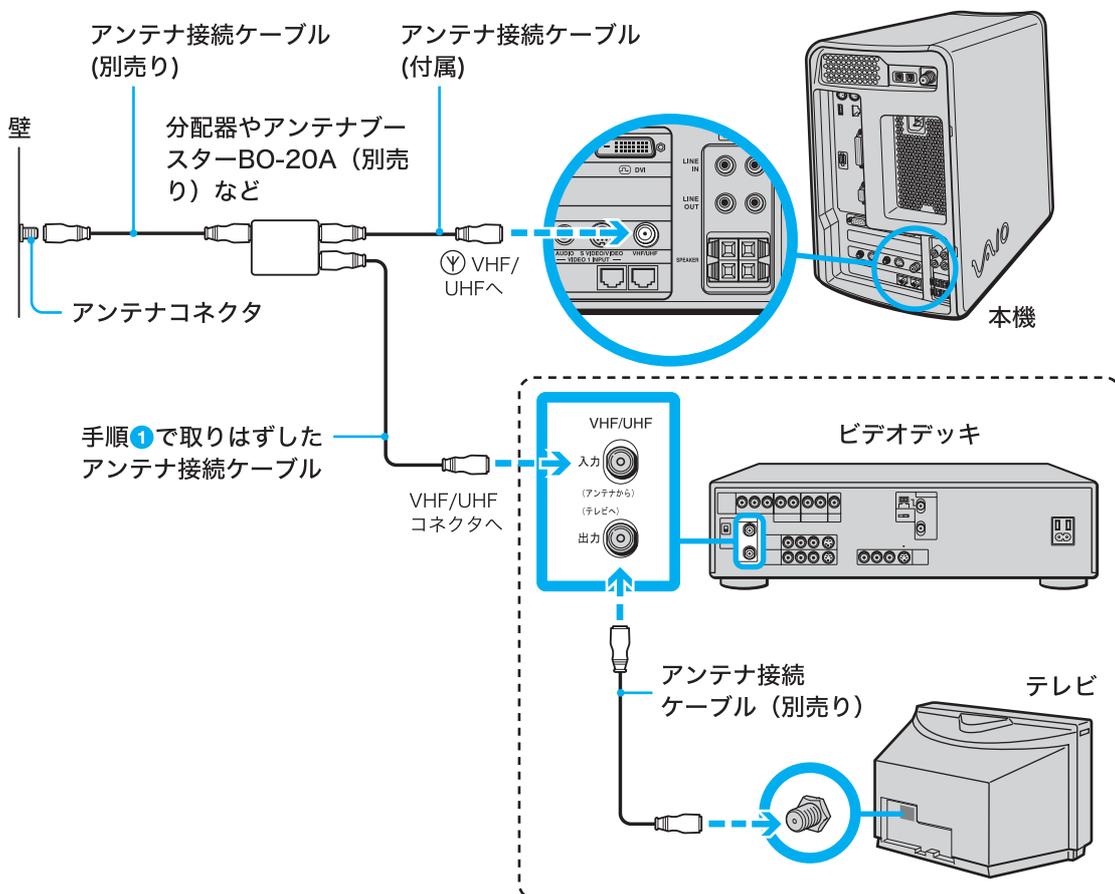
以下のようにテレビアンテナを接続します。

- 1 壁のアンテナコネクタに接続されているビデオデッキやテレビのアンテナ接続ケーブルを取りはずす。



- 2 テレビアンテナを接続する。

別売りの分配器やアンテナブースターBO-20Aなどを使ってテレビアンテナを接続します。壁のアンテナコネクタと分配器やアンテナブースターのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。「本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合」の例から、最も近いものを選び接続してください。



点線内の接続について詳しくは、ビデオデッキまたはテレビの取扱説明書をご覧ください。

### 💡 ちょっと一言

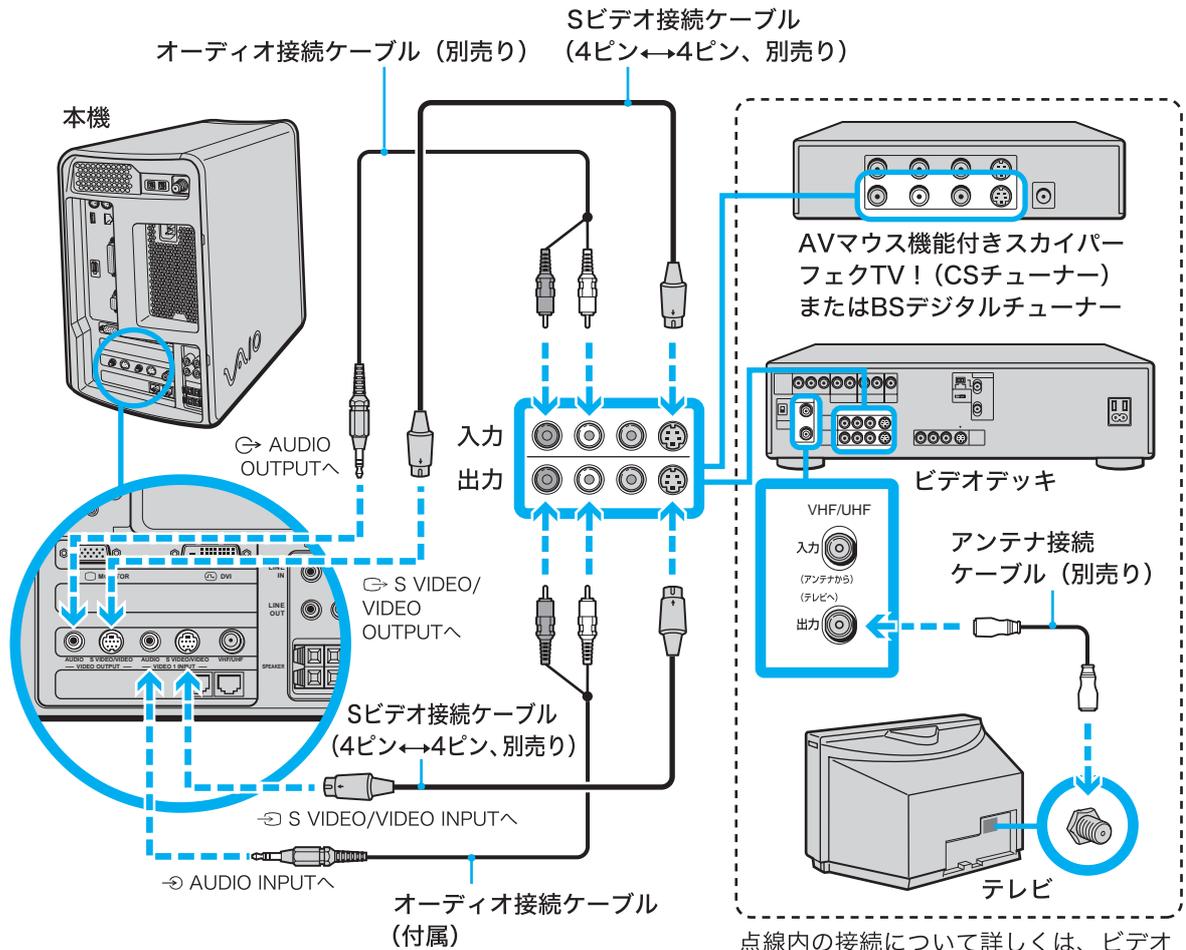
ビデオデッキをつなぐなど、テレビアンテナを分配すると電波が弱くなり、ディスプレイの画面がチラチラしたり、斜めじまが入ることがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをアンテナと本機の間につないでください。

# 3

## 本機とビデオデッキ、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV！(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーを接続する。

本機とビデオデッキ、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV！(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーの映像/音声の入出力コネクタ同士をつなぐと、以下のことができるようになります。

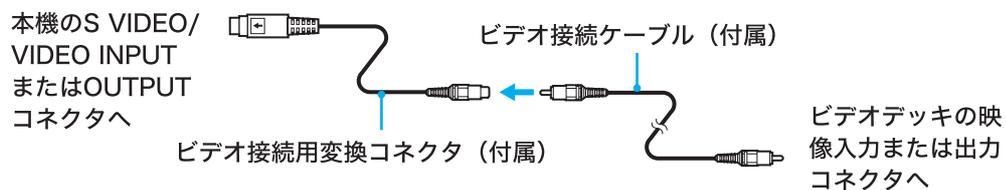
- ビデオデッキで再生する映像、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV！(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーの映像を本機につないだディスプレイで見る。
- ビデオデッキで再生する映像、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV！(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーの映像を本機に録画する。
- 本機に付属の「Giga Pocket」ソフトウェアで再生する映像を、ビデオデッキに録画したり、テレビで見る。



点線内の接続について詳しくは、ビデオデッキ、スカイパーフェクTV！(CSチューナー)/BSデジタルチューナーまたはテレビの取扱説明書をご覧ください。

### 💡 ちょっと一言

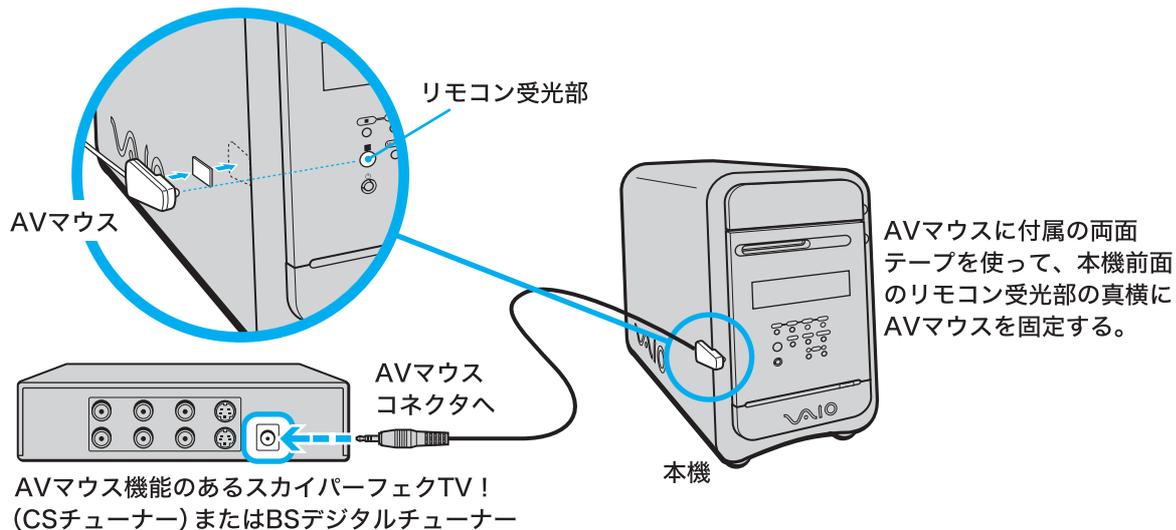
S映像入力/出力コネクタのないビデオデッキをつなぐときは、Sビデオ接続ケーブルのかわりにビデオ接続用変換コネクタ(付属)とビデオ接続ケーブル(付属)をつないで使うことができます。



## AVマウス機能付きスカイパーフェクTV!(CSチューナー)/BSデジタルチューナーをつなぐときは

AVマウス機能のあるスカイパーフェクTV!(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーに付属のAVマウスを本機に取り付け、スカイパーフェクTV!(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーの予約録画機能を使って本機に付属の「Giga Pocket」ソフトウェアに番組の予約録画を行うことができます。

AVマウスは以下のように接続します。詳しくは、別冊の「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプ、およびスカイパーフェクTV!(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

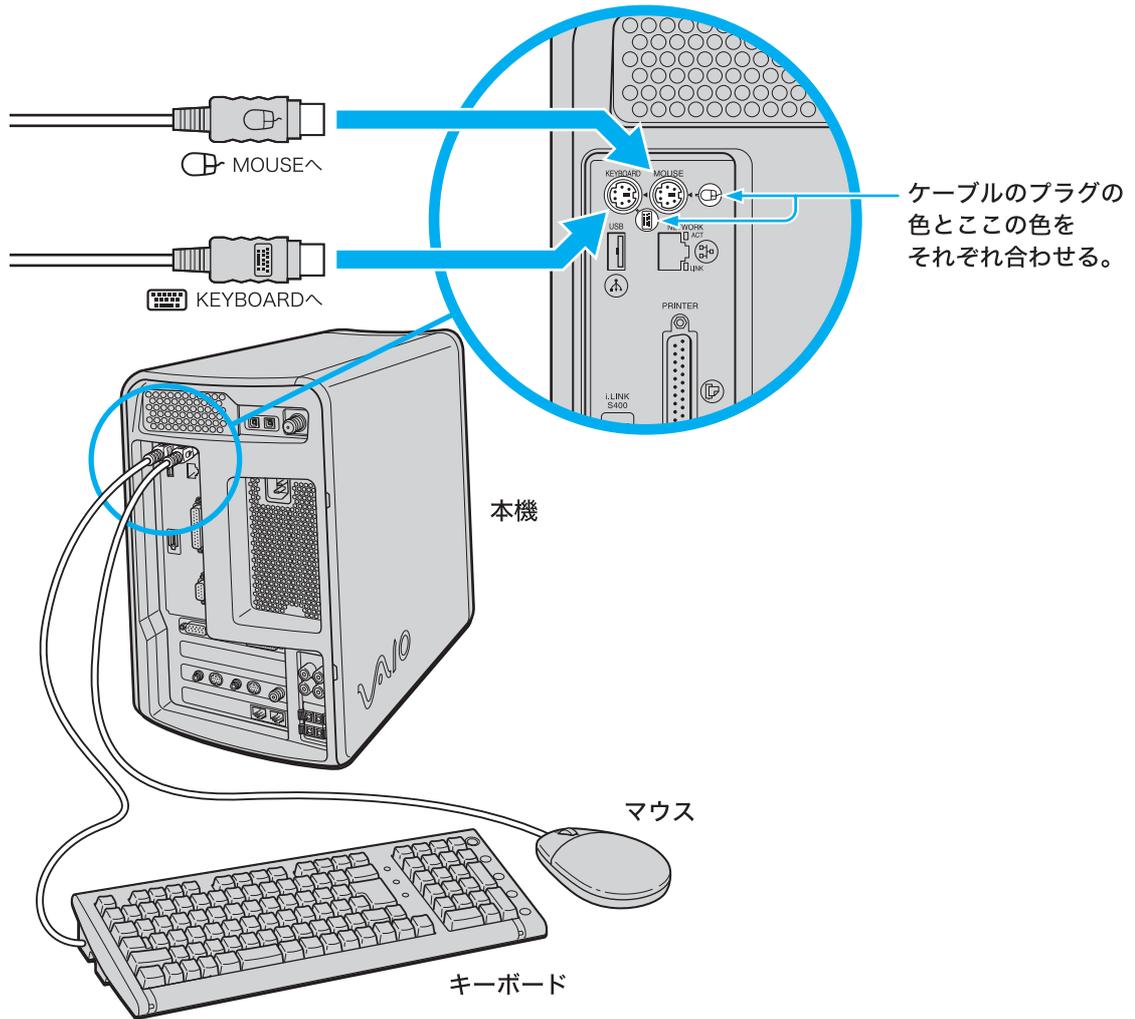


### ご注意

- 本機の電源を切ると「Giga Pocket」ソフトウェアは実行されません。「Giga Pocket」ソフトウェアを使って予約録画を行う場合は、本機をスタンバイモードにしてください。詳しくは「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- お使いのビデオ機器によってはリモコンコードが競合して「Giga Pocket」ソフトウェアでの予約録画は実行できない場合があります。リモコンコードの設定方法について詳しくは「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- AVマウスを使用してスカイパーフェクTV!(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーの映像を本機で予約録画する際は、[画面のプロパティ][スクリーンセーバー]タブにある「パスワードの保護」または「再開時によろこそ画面に戻る」のチェックボックスにチェックをいれないでください。  
また、3D表示を行うスクリーンセーバーは、ご使用にならないでください。ご使用になると正常に予約録画が実行されません。  
[画面のプロパティ]について詳しくは、サイバーサポートの「VAIOの使いかた」「設定を変更する」「ディスプレイの設定を変更する」「スクリーンセーバーや電源の設定を変える」をご覧ください。

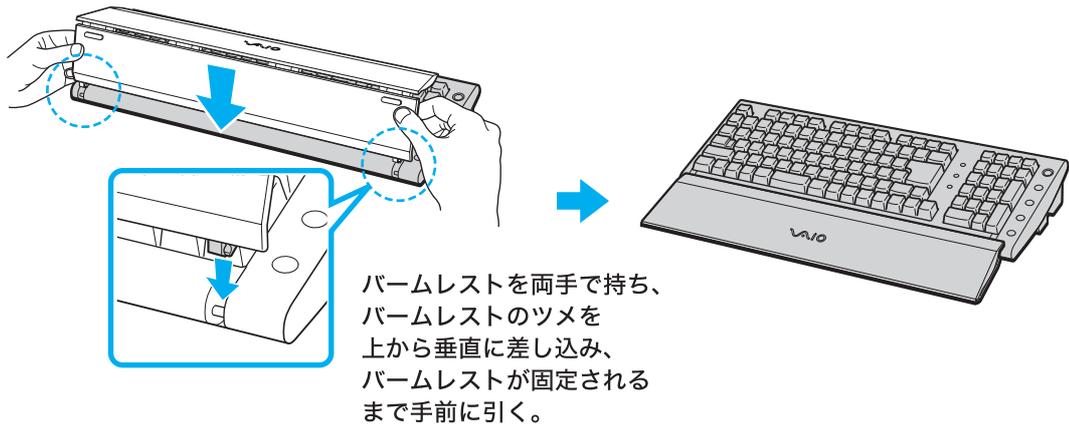
# 4

## キーボードとマウスを接続する。



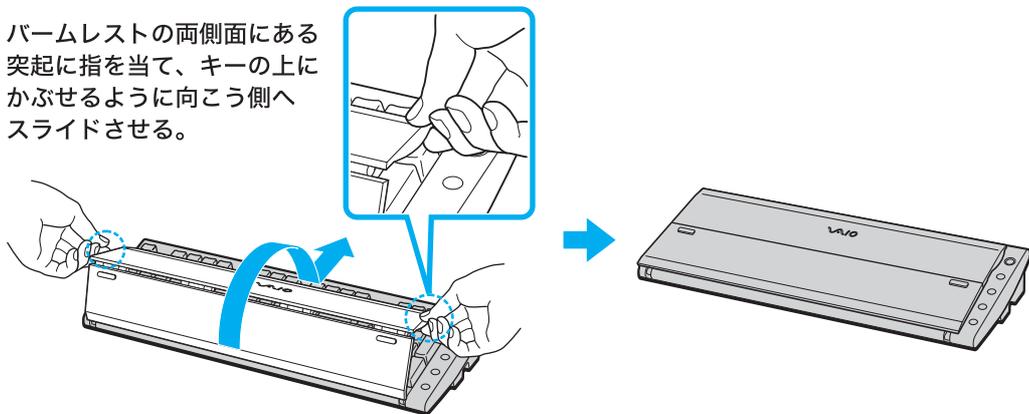
## キーボードにパームレストを取り付けるには

キーボードを使うとき、手首に負担がかかりにくくなります。



パームレストはキーボードを使わないときにキーボードのふたとしても使うことができます。

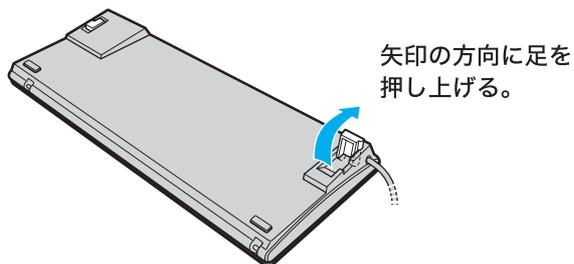
パームレストの両側面にある突起に指を当て、キーの上にかぶせるように向こう側へスライドさせる。



## キーボードの足を立てるには

キーボードの足を立てると、キーボードを使うときキーを打ちやすくなります。

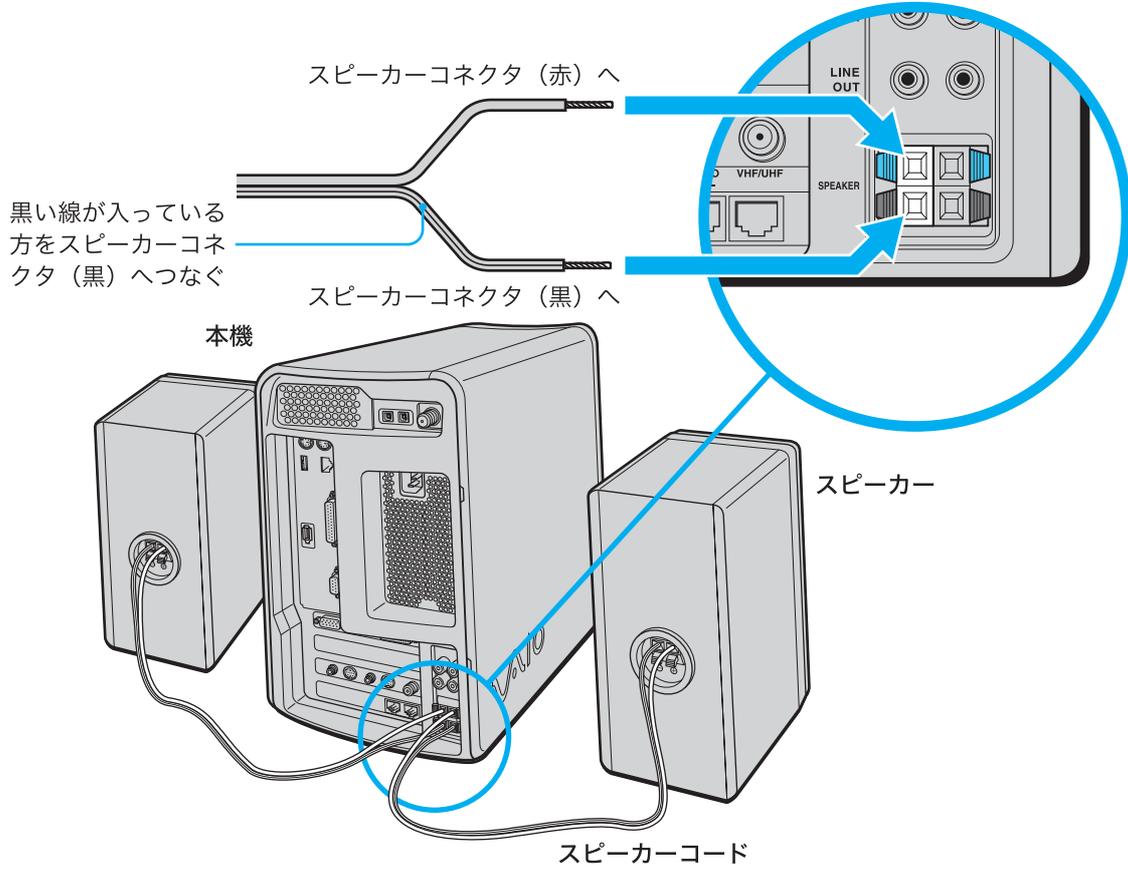
キーボード底面



## 5

## スピーカーを接続する。

- 1 本機とスピーカーのスピーカーコネクタに、スピーカーコードをつなぐ。  
スピーカー側のコネクタも同様につなぎます。

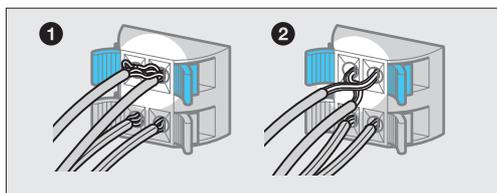


## スピーカーコードのショート防止のために

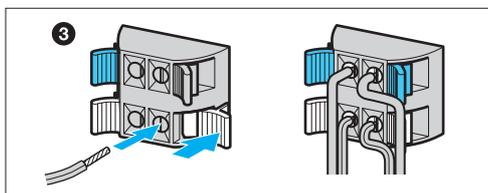
スピーカーコードがショートしていると、音が出ないだけでなく本機の故障の原因となります。下記の事項をよく読み、スピーカーを正しく接続してください。

- スピーカーコードの芯線が、互いに接触したり、他のスピーカー端子に触れたりしないように接続します。

悪い例



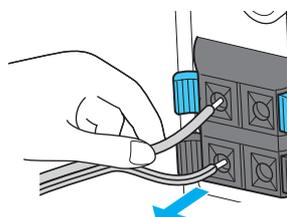
良い例



- ❶ コードの芯線が、他のスピーカー端子に触れている。
  - ❷ コードの芯線がたくさん出ているため、芯線同士が触れている。
  - ❸ コードの芯線が互いに交差しないように接続します。
- 本機側とスピーカー側の両方が確実に接続されていることを確認してください。

- ❷ スピーカーコードを軽く引いてみて、正しく接続されたことを確認する。

スピーカーコードがコネクタから抜けてしまった場合は、もう1度つなぎ直してください。また、差し込みすぎてピニール部分がはさまると音が出ません。



### ご注意

- スピーカーを本機につないだり、取りはずすときは、必ず本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- スピーカーコードはアンテナから離してください。FM放送を受信するときの雑音の原因になります。
- 付属のスピーカーには、右 / 左用の区別はありません。「SPEAKER R」と書かれたスピーカーコネクタにつないだスピーカーを正面から見て向かって右へ、「SPEAKER L」につないだスピーカーを左へ置いてください。

## 6

## 電話回線に接続する。

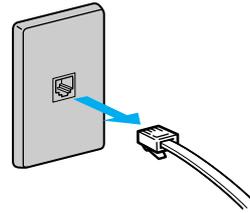
インターネットに接続するなどデータ通信をするときは、付属のテレホンコードを使って本機を電話回線につなぎます。

インターネットへの接続について詳しくは、「インターネットを始める (98ページ)」をご覧ください。

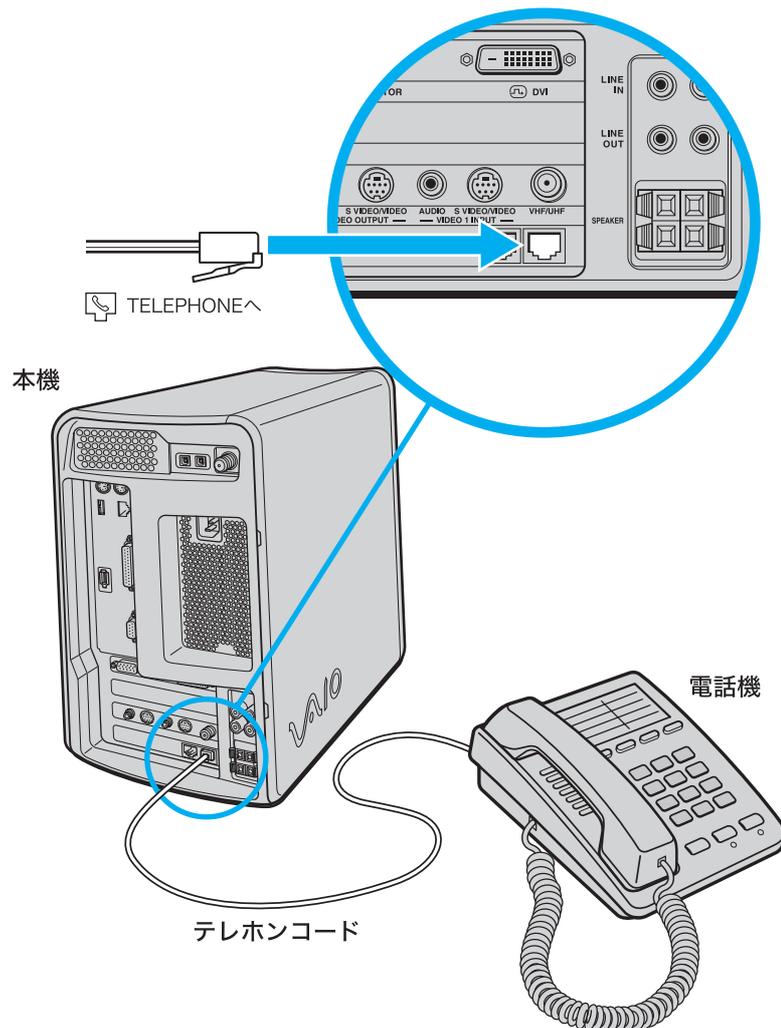
## 💡 ちょっと一言

下記は、ひとつの電話回線のモジュラジャックに、本機とお使いの電話機の両方をつなぐときの手順です。電話回線のモジュラジャックに本機のみをつなぐときは、❶❷を行う必要はありません。

- ❶ お使いの電話機のテレホンコードを電話回線のモジュラジャックからはずす。



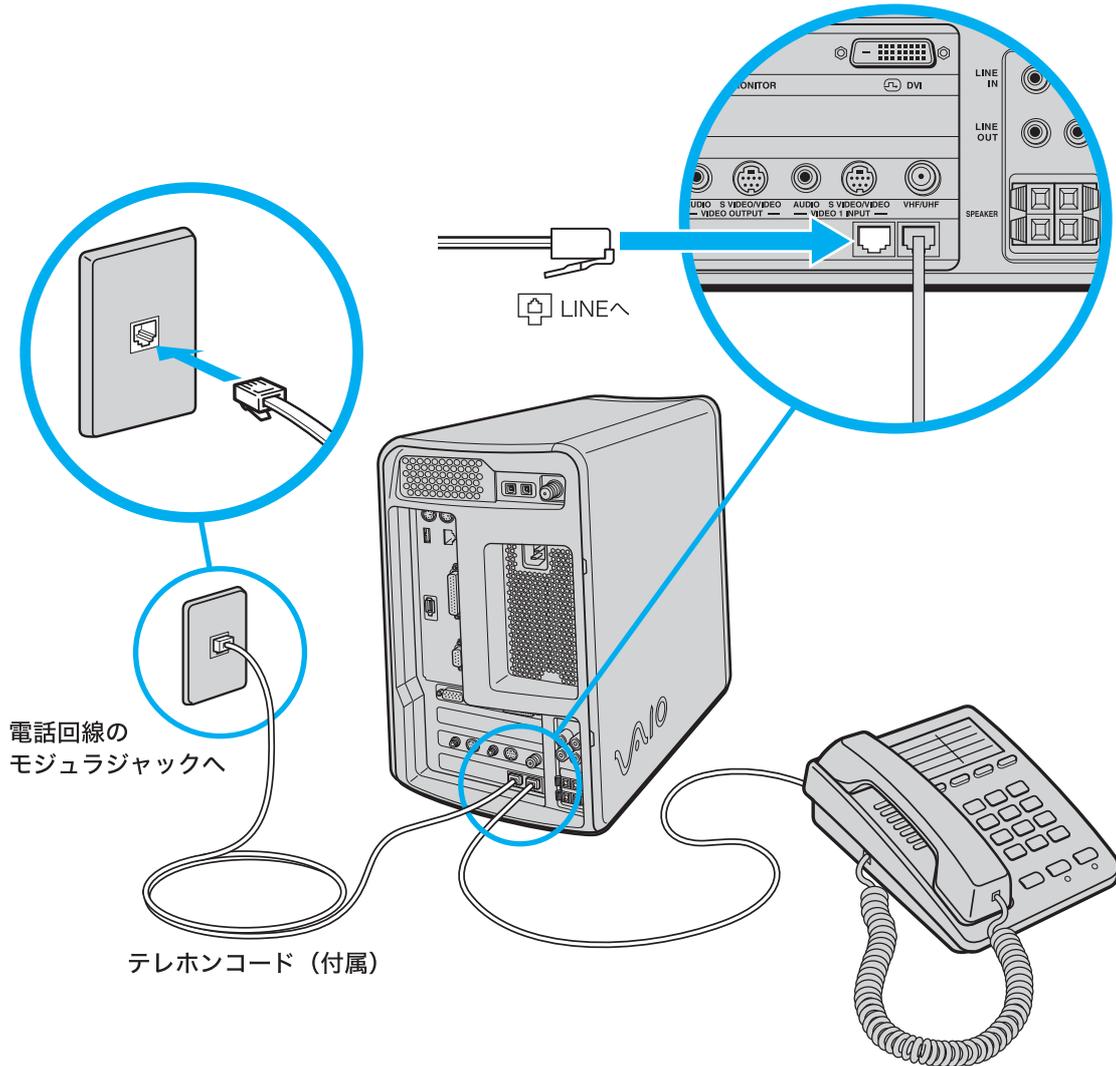
- ❷ ❶ではずしたテレホンコードを本機のTELEPHONE(電話機)ジャックにカチッと音がするまで差し込む。



## ⚠️ ご注意

テレホンコードは本機後面のNETWORK(ネットワーク)コネクタに接続しないでください。

- 3 付属のテレホンコードの一方を本機のLINE(電話回線)ジャックへ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込む。

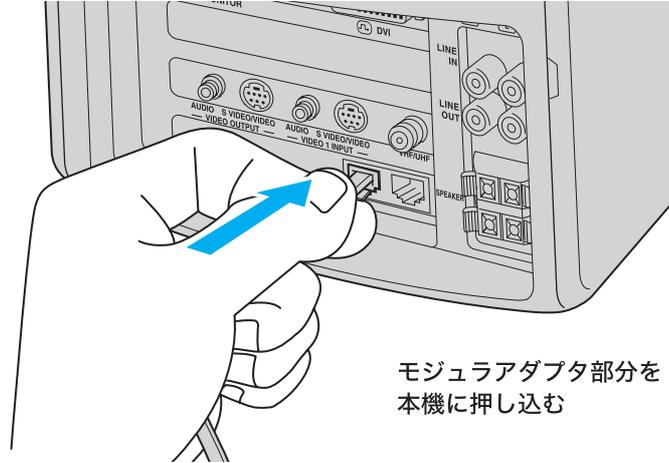


 ちょっと一言

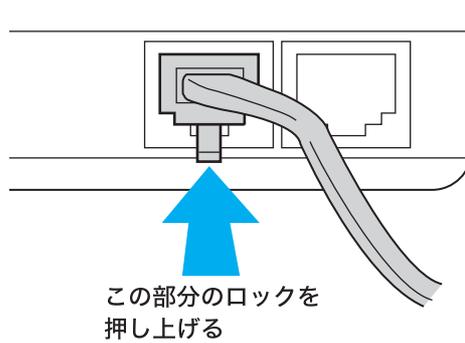
電話回線のコンセントの形状が付属のテレホンコードに合わないときは交換工事や取り付け工事が必要な場合があります。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[VAIOインフォメーション][知っ得情報][電話回線のコンセントの種類]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

## 本機からテレホンコードを取りはずすには

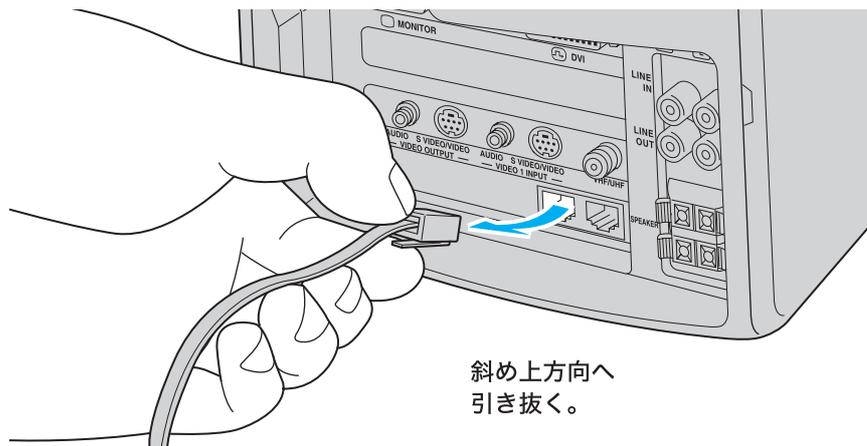
- 1 TELEPHONE(電話機)ジャックまたはLINE(電話回線)ジャックにつながっているテレホンコードのモジュラアダプタ部分をいったん本機の奥に押し込む。



- 2 モジュラアダプタのロックを押し、テレホンコード部分と一緒につかむ。



- 3 ロックを押しながら、斜め上方向に引き抜く。



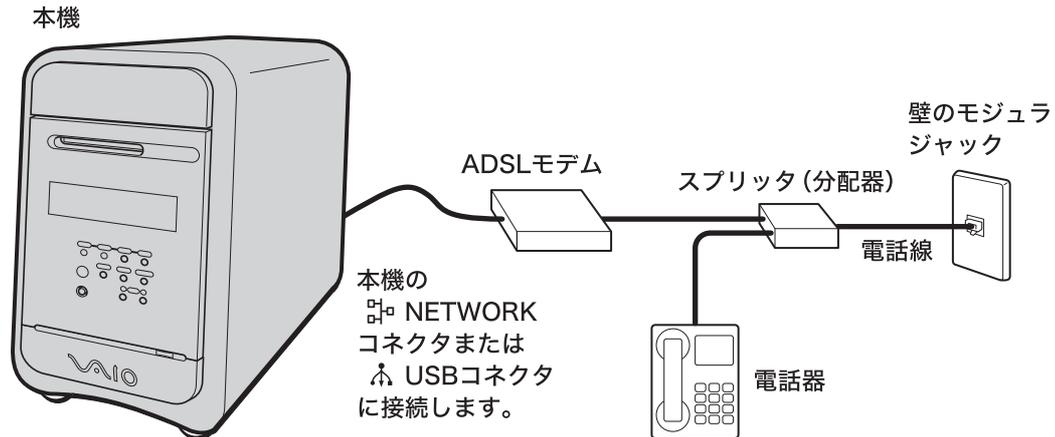
## ADSLにつなぐときは

ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に常時接続できるサービスの事です。このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者と契約し、申し込む必要があります。

ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

### ご注意

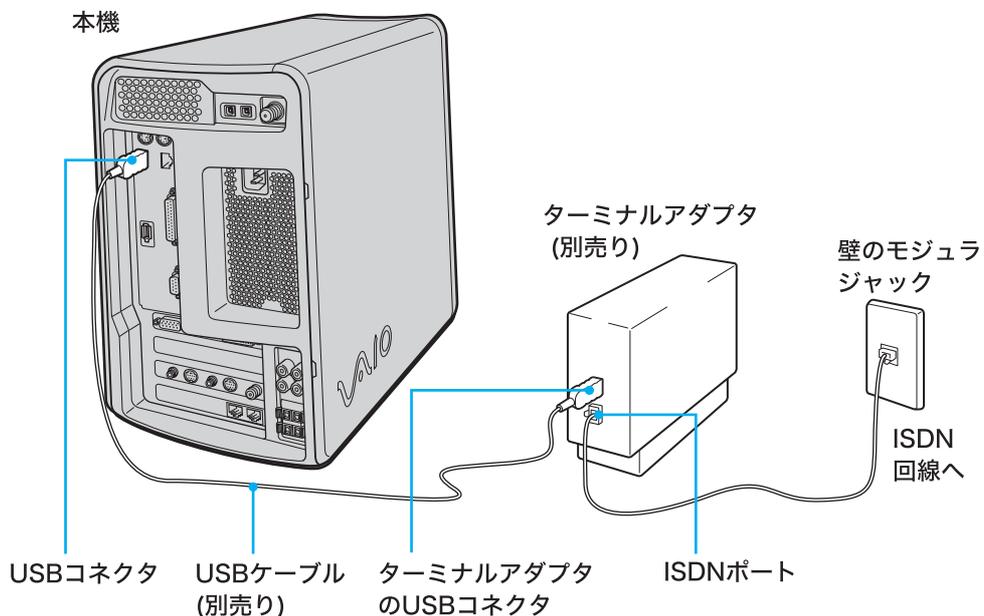
ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、ご契約するADSL接続業者にお問い合わせください。



## ISDN回線につなぐときは

「ISDN回線」とはNTTのデジタル通信網を使った電話回線で、通信速度も速く、1回線で従来の2回線が使えます。ISDN回線を使って本機を使用するためには、本機の外に「ターミナルアダプタ」というコンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をつなぐためのISDN回線用の機器が必要です。

ISDN回線を通じてオンラインカスタマー登録をしたり(88ページ)、インターネットの接続会社と契約して(104ページ)インターネット経由でホームページを見たり、電子メールをやりとりするときは、下図のように本機のUSBコネクタとターミナルアダプタのUSBコネクタをつないでください。接続について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

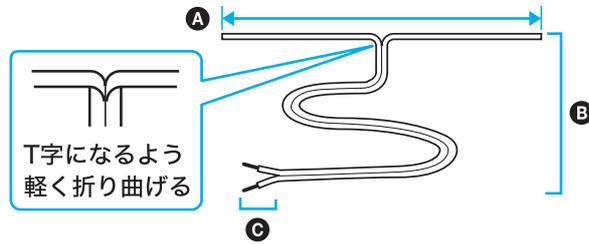


## 7

## FMアンテナを本機に接続する。

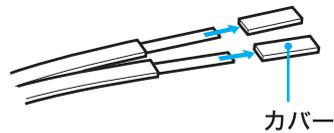
FMアンテナを組み立ててから本機につなぎます。

## 💡 付属のFMフィーダアンテナの構造について

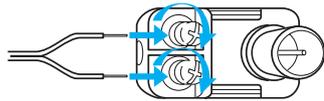


- Ⓐ FMラジオの電波を受信しやすい長さ（約145cm）になっているのでこれ以上さかないでください。
- Ⓑ 全体がアンテナになっていて、全面で受信するのでまるめたりしないでください。
- Ⓒ FMアンテナ整合器への差し込み部分

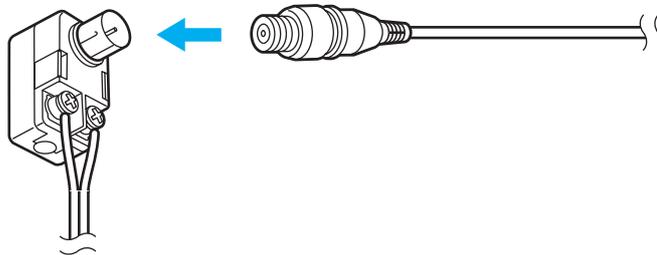
- 1 差し込み部分 Ⓒ のカバーをはずす。



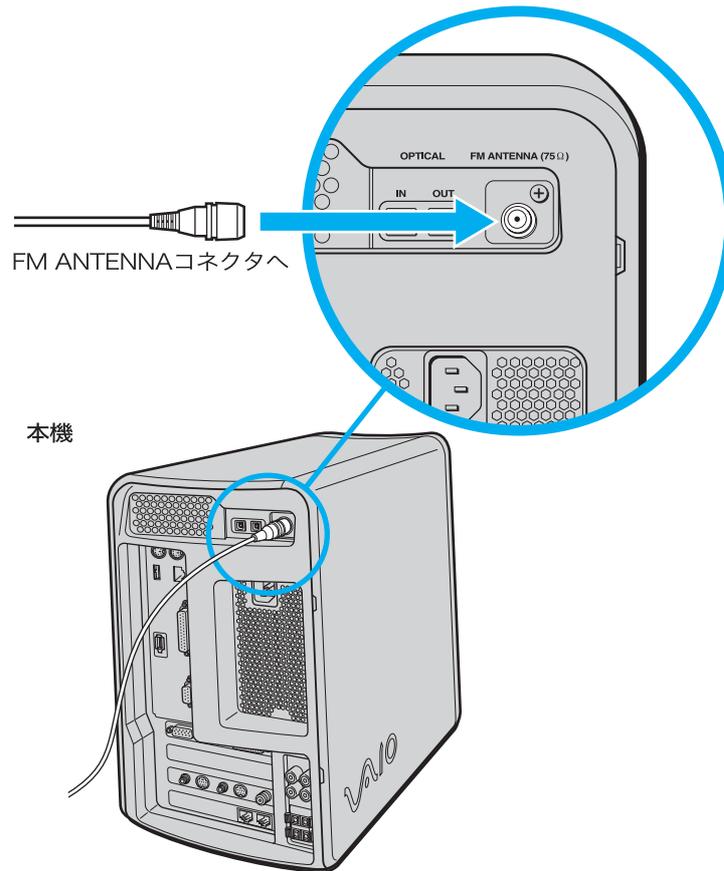
- 2 付属のFMアンテナ整合器に先端を巻きつけて、ネジをしっかりとしめる。



- 3 付属のFM同軸延長ケーブルをFMアンテナ整合器に差し込む。



- 4 組み立てたFMアンテナを本機のFM ANTENNA( FMアンテナ )コネクタにつなぐ。



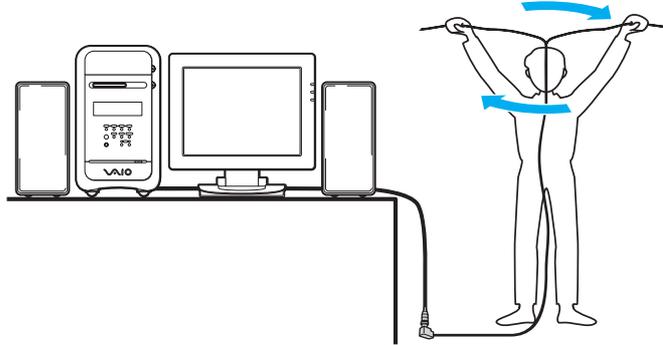
**ご注意**

FMアンテナ整合器を直接FM ANTENNA( FMアンテナ )コネクタにつながないでください。

## 8

## FMアンテナを壁や天井に貼る。

- ① 両手でアンテナの先を持ち、体の向きを変えながら受信状態の良いと思われる向きを探す。  
FMフィーダアンテナとFMアンテナ整合器は本機とできるだけ離してください。

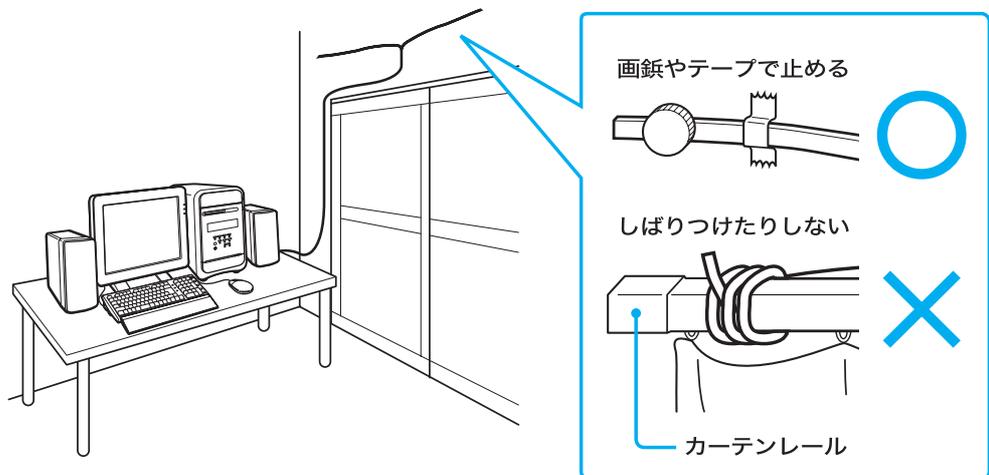


壁に貼るときは、受信状態の良い場所を探してください。

## 💡 ちょっと一言

- FM放送やFM文字放送を受信するときに受信状態が悪い場合は、設置し直してください。
- 付属の簡易アンテナでは十分に受信できない場合があります。受信状態が改善されない場合は、市販の外部アンテナをつなぐことをおすすめします。

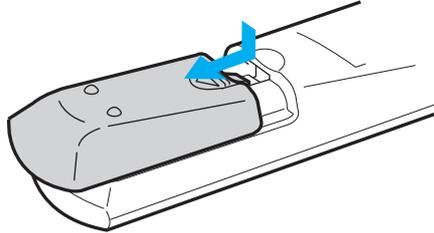
- ② 方向が決まったら、画鋲やテープで貼りつける。



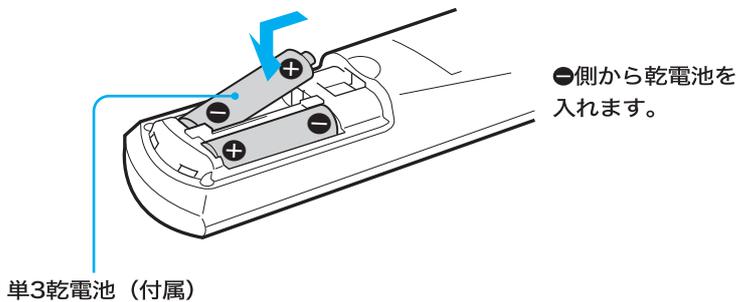
# 9

リモコンを準備する。

- 1 リモコンを裏返す。
- 2 リモコン裏面の乾電池入れのふたを開ける。



- 3 + と - の方向を確かめて、付属の単3乾電池を2本入れる。



## ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- 乾電池が液もれしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

- 4 乾電池入れのふたを閉める。

## 💡 ちょっと一言

電池の交換時期は約6か月です。リモコン操作できる距離が短くなったら、2本とも新しい乾電池に交換してください。

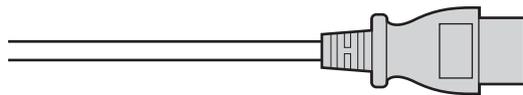
# 10 電源コードを接続する。

本機とディスプレイを電源コンセントに接続します。

## ご注意

- 同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。
- 本機は日本国内専用です。交流 100V でお使いください。

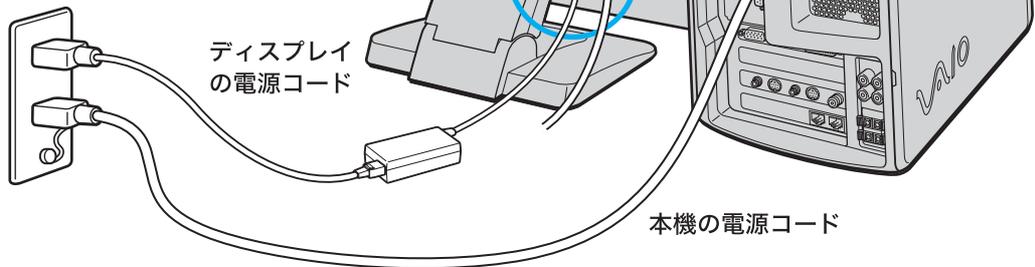
- 1 付属の電源コードのプラグ（3ピン）を差し込む。



- 2 ディスプレイの電源コードのプラグを差し込む。

- 3 本機とディスプレイそれぞれの電源コードのアースを接続し、電源プラグを壁のコンセントに差し込む。

本機前面の⏻（電源）ボタンを押すと、前面パネルの表示窓が点灯します。

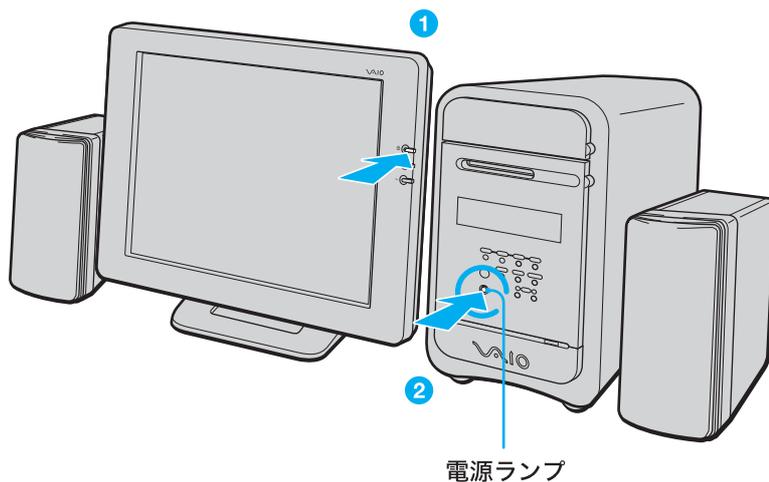


# 電源を入れる

本機とディスプレイの電源を入れる。

- 1 ディスプレイの電源ボタンを押す。
- 2 本機の(電源)ボタンを押す。

電源が入ると、電源ランプが青色に点灯します。



## 💡 ちょっと一言

ディスプレイのイラストは、PCVD-17SD1です。

本機の電源を初めて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。次ページの「Windowsを準備する」の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。



## 💡 2回目以降に電源を入れるときは

ユーザーを2名以上設定している場合は、ユーザー名を選ぶ画面が表示されます。ユーザー名をクリックすると、Windowsが起動します。

# Windowsを準備する

本機をお使いいただくために、最初のステップとしてWindowsの準備が必要です。Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。以下の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

## 1

「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある **→(次へ)** をクリックする。

**💡** ちょっと一言

マウスの使いかたについて詳しくは、「マウスの操作」(76ページ)をご覧ください。



ここをクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

## 2

画面に表示された内容を読み、内容に同意するとき **[同意します]** の  をクリックして  にし、 **→(次へ)** をクリックする。



ここをクリックすると、文章が上下に移動する。

2 ここをクリックする。

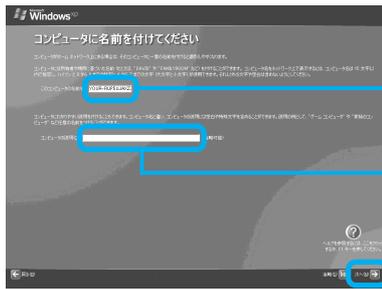
1 [同意します] をクリックする。

が  になる。[同意しません] の  をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に入っているソフトウェアはお使いになれません。

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。

### 3

必要な場合はコンピュータ名を変更し、**→(次へ)**をクリックする。



① 自動的に表示されますが、必要な場合は認識しやすい名前に変更してください。

② コンピュータにわかりやすい説明をつけることもできます。

③ ここをクリックする。

「インターネット接続が選択されませんでした」画面が表示されます。

### 4

**→(次へ)**をクリックする。

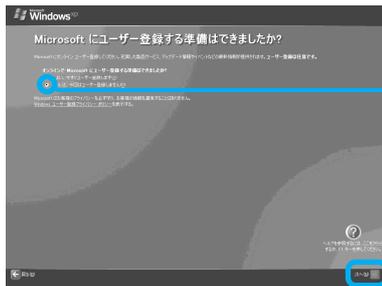


① ここをクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。

### 5

[いいえ、今回はユーザー登録しません]の○をクリックして●にし、**→(次へ)**をクリックする。



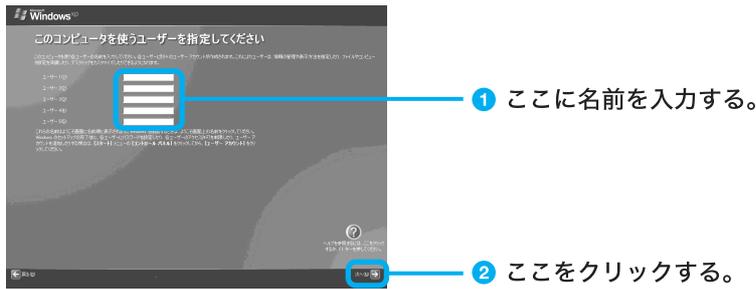
① ここをクリックする。  
○が●になる。

② ここをクリックする。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。

## 6

ユーザーの名前を入力し、**→(次へ)**をクリックする。



「設定が完了しました」画面が表示されます。

### 💡 ちょっと一言

Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の「できるWindows」をクリックして表示される情報をご覧ください。

## 7

**→(完了)**をクリックする。

これでWindowsが使えるようになりました。

### ご注意

- ホームページを見たり、電子メールをやりとりするためには、さらにインターネットに接続する準備が必要です。詳しくは、「インターネットを始める」(98ページ)をご覧ください。
- デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定期間使用しないとデスクトップ画面上から削除されるものがあります。  
Windowsの初回起動時から1週間後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。
- 本機に付属のリカバリCD-ROMに入っているOS( Operating System )以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。  
本機のOSはMicrosoft® Windows® XP Home Edition\* です。  
\* 本書では、WindowsまたはWindows XPと略します。
- 本機は、お買い上げ時に、プロダクトアクティベーション( ライセンス認証 )は完了されているため、お客様が認証作業を行う必要はありません。  
また、付属のリカバリCD-ROMで再セットアップを行った場合も、プロダクトアクティベーション( ライセンス認証 )は自動的に完了するため、お客様が認証作業を行う必要はありません。

### 💡 OS( Operating System )とは

コンピュータを動かすために必要な基本ソフトウェアのことです。画面表示や操作方法などもOSによって決められています。OSがないと他のソフトウェアも使えません。

「テレビを見る準備をする」(65ページ)からは、お好みに合わせて操作してください。

- テレビを見たい(65ページ)
- 電源を切りたい(71ページ)
- コンピュータの基本操作について知りたい(74ページ)
- カスタマー登録したい(88ページ)
- インターネットに接続したい(98ページ)
- 周辺機器の接続や拡張をしたい(216ページ)

### 困ったときの解決方法を知りたいときは

「困ったときは」(166ページ)をご覧くださいか、「サイバーサポート」をご覧ください。「サイバーサポート」の使いかたについて詳しくは「サイバーサポート」の使いかた(154ページ)をご覧ください。

# 複数ユーザーで使用する

本機を2名以上の複数のユーザーでお使いになるには

本機では、設定したユーザーごとに専用のデスクトップ画面やマイドキュメントが用意され、それぞれのユーザーが自分専用のコンピュータのように使用することができます。

ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。各ソフトウェアのお問い合わせ先(286ページ)にお問い合わせください。

2名以上の複数ユーザーを設定するには、はじめて本機をお使いになる際のWindowsのセットアップ画面で設定することができます。

Windowsのセットアップについて詳しくは、「Windowsを準備する(59ページ)」をご覧ください。Windowsのセットアップ完了後にユーザーを追加したり、変更したりするには、デスクトップ画面左下の  をクリックし、[コントロールパネル] [ユーザーアカウント] の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面で行います。詳しくは「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。

## ユーザーアカウントの種類について

本機では、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権限とアクセス許可が必要となり、ユーザーを設定する際にユーザーアカウントの種類を選びます。

ユーザーアカウントには、「コンピュータの管理者」と「制限付きアカウント」の2種類があります。

	コンピュータの管理者	制限付きアカウント
プログラムとハードウェアをインストールする	✓	
システム全体の変更を行なう	✓	
個人ファイル以外のすべてのファイルにアクセスして読み取る	✓	
ユーザーアカウントを作成または削除する	✓	
ほかのユーザーのアカウントを変更する	✓	
自分のアカウントの名前または種類を変更する	✓	
自分の画像を変更する	✓	✓
自分のパスワードを作成、変更、または削除する	✓	✓

### 「コンピュータの管理者」を選ぶと

ユーザーアカウントの追加や変更、システムの変更など、Windowsのすべての設定が可能になります。

### 「制限付きアカウント」を選ぶと

自分の画像の変更や、パスワードの変更など一部の設定のみ変更することができます。また、ソフトウェアがインストールできない、起動できない、または機能の一部が使用できない、などのように動作が制限されることがあります。この場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログオンするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権限を与える設定にして作業をやり直してください。

ユーザーアカウントについて詳しくは、デスクトップ画面左下の  をクリックし、[コントロールパネル] [ユーザーアカウント] の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。

## 複数のユーザーを設定している際の「ユーザー切り替え」について

複数のユーザーを設定して本機をお使いの場合、ユーザーを切り替えるときは、起動しているソフトウェアをいったん終了させてからユーザーを切り替えてください。

# 「ヘルプとサポートセンター」について

「ヘルプとサポートセンター」は、WindowsやVAIOの使いかた、FAQ（よくある質問とその回答）の検索、最新情報の入手など、サポートに関する情報の入り口です。困ったときは、まず「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

## 「ヘルプとサポートセンター」を見るには

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして、表示されるメニューから[ヘルプとサポート]をクリックする。

「ヘルプとサポートセンター」画面が表示されます。



### ① ナビゲーションバー

よく使用するページを登録したり、開いたページの履歴を参照することができます。ここからVAIOマニュアル「CyberSupport」を起動することもできます。

### ② 検索

WindowsやVAIOで調べたいことをキーワード検索できます。

### ③ Windows XPのヘルプ

WindowsやVAIOの使いかたやFAQ（よくある質問とその回答）をご覧ください。

### ④ VAIOの情報ははこちら

VAIOマニュアル「CyberSupport」や、VAIOカスタマーリンクのホームページなどを見ることができます。「CyberSupport」の使いかたについて詳しくは「サイバーサポート」の使いかた（154ページ）をご覧ください。

### ⑤ サポートツール

困ったとき、設定を変更したいとき、Windowsの操作を学習するときなどに役に立つソフトウェアを起動したり、関連する情報を見ることができます。

### ⑥ 最新サポート情報

WindowsやVAIOの最新サポート情報を見ることができます。

### 💡 ちょっと一言

「ヘルプとサポートセンター」の情報の中には、インターネットに接続することによって、最新の情報に更新されるものがあります。インターネットの接続について詳しくは、「インターネットを始める」（98ページ）をご覧ください。

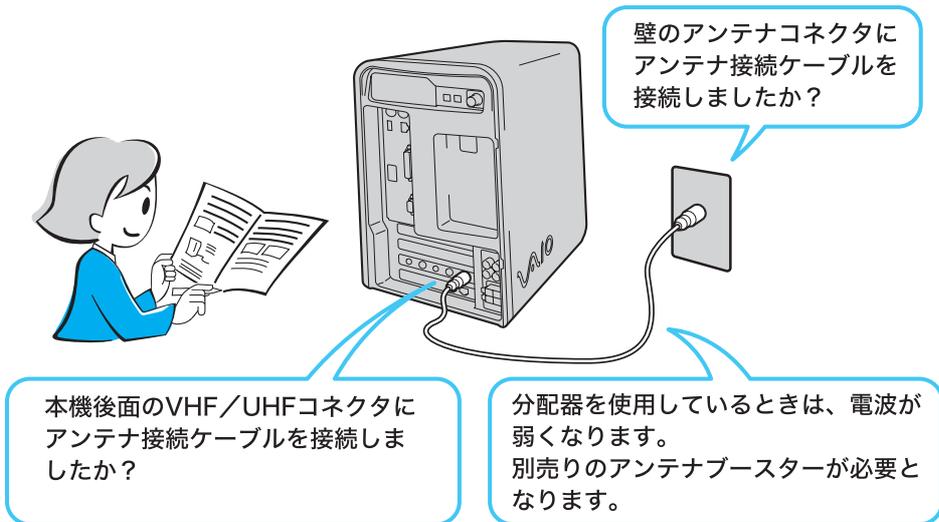
# テレビを見る準備をする

本機では、付属の「Giga Pocket」ソフトウェアを使ってテレビをすることができます。

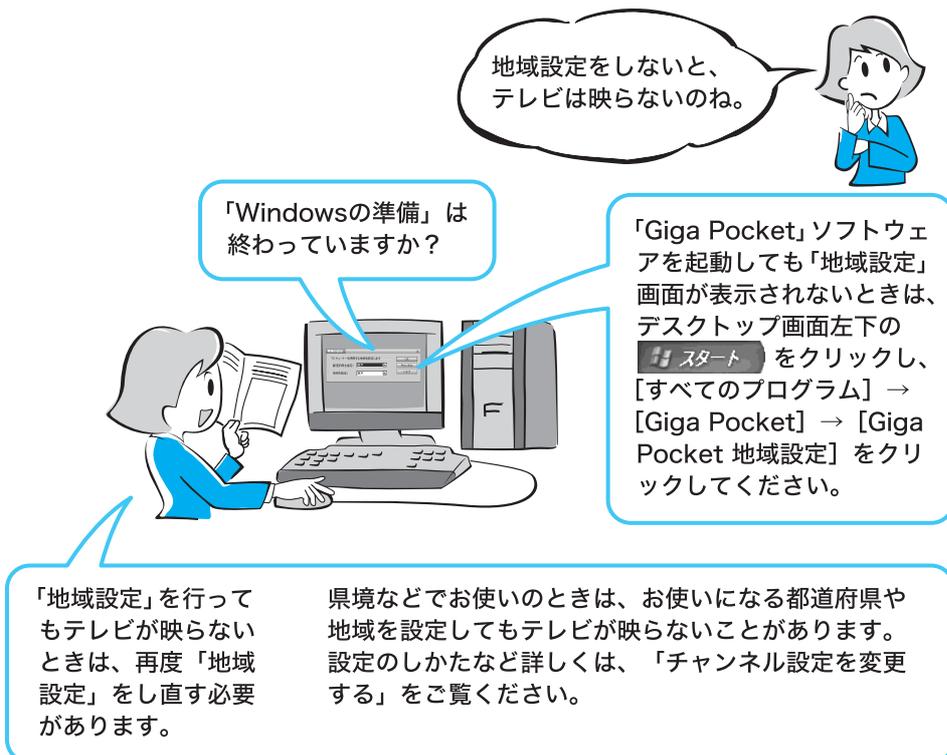
 イラストは、お使いの機種とは異なる場合があります。

## テレビを見るまでの流れ

### 1 アンテナを接続する。

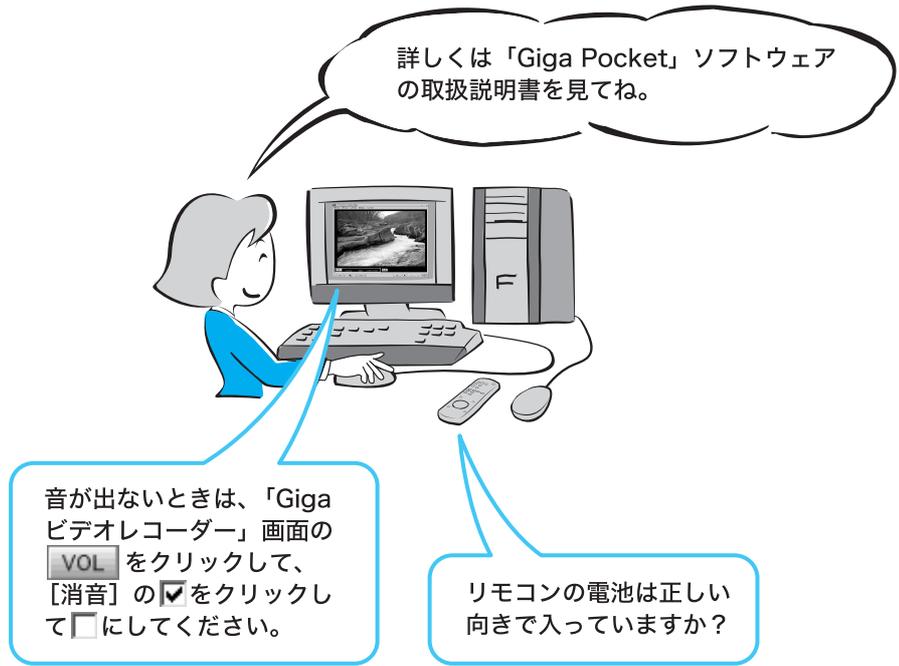


### 2 地域設定をする。

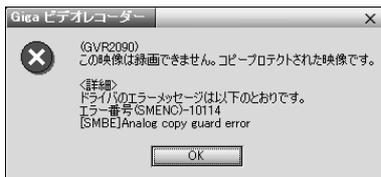


# 3

## テレビを見る。



💡 こんなメッセージが表示されたときは



DVDビデオ、レンタルビデオやセルビデオなど、コピーガードがかかっている映像や著作権保護の信号が入っている映像を録画しようとしているときに表示されます。



「DVgate」など他の動画を扱うソフトウェアなどを同時に起動しているときに表示されます。他のソフトウェアを終了させて「Giga Pocket」ソフトウェアを起動し直してください。

## 地域設定をする

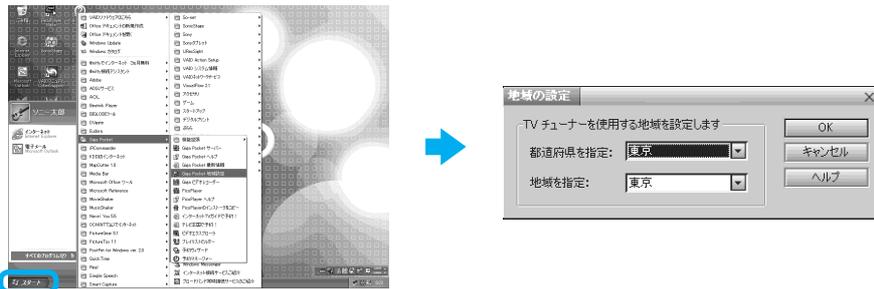
初めて「Giga Pocket」ソフトウェアを使ってテレビを見るときには、以下の手順に従ってチャンネルの地域設定を行います。

### 1

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [すべてのプログラム] にポインタを合わせ、[Giga Pocket] [Giga Pocket 地域設定] の順にクリックする。

「地域の設定」画面が表示されます。

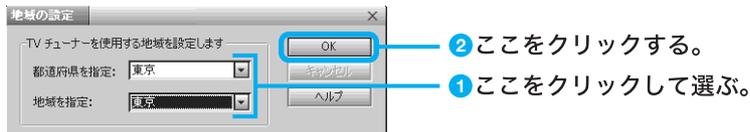
「警告」画面が表示されたときは、**OK** をクリックしてください。



### 2

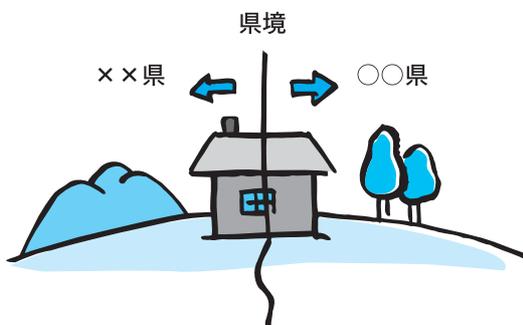
本機を使用する都道府県および最も近い地域を選んで **OK** をクリックする。

選んだ地域の標準チャンネルが設定されます。



#### ご注意

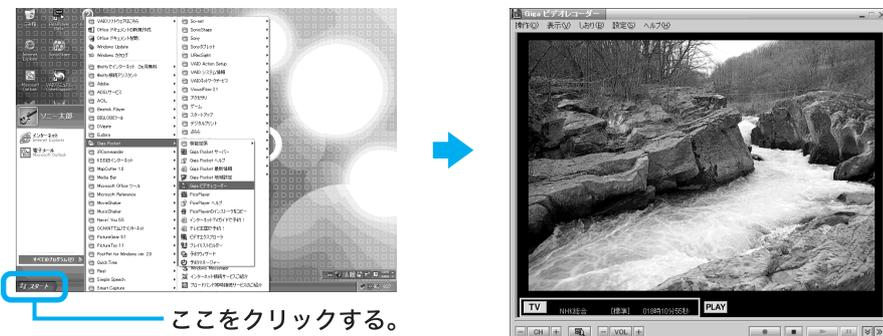
県境でお使いの場合などは、お使いになっている都道府県や地域を設定してもテレビが映らないことがあります。その場合は、隣接する都道府県や地域を設定してください。



# 3

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [すべてのプログラム] にポインタを合わせ、[Giga Pocket] [Gigaビデオレコーダー] の順にクリックする。

「Gigaビデオレコーダー」ソフトウェアが起動します。



ここをクリックする。

# 4

**TV** をクリックする。

「Gigaビデオレコーダー」ソフトウェアのモニターに、TV / 録画デッキの映像が表示されます。



ここをクリックする。

# 5

**CH** をクリックして、一覧の中から見たいチャンネルを選ぶ。

「Gigaビデオレコーダー」ソフトウェアのモニターに選択したチャンネルの番組が表示されます。



ここをクリックする。

 ちょっと一言

「Giga Pocket」ソフトウェアについて詳しくは、別冊の「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書およびヘルプをご覧ください。

## チャンネル設定を変更する

「Giga Pocket」ソフトウェアのチャンネル設定を変更するには、以下の手順に従って変更してください。

また、「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプも合わせてご覧ください。

ここでは、「VAIOテレビ」が「3チャンネル」に設定されているが、ご使用になっている地域では「20チャンネル」で放送されており、「VAIOテレビ」のチャンネル設定を「3チャンネル」から「20チャンネル」に変更する例で、以下の手順を説明します。

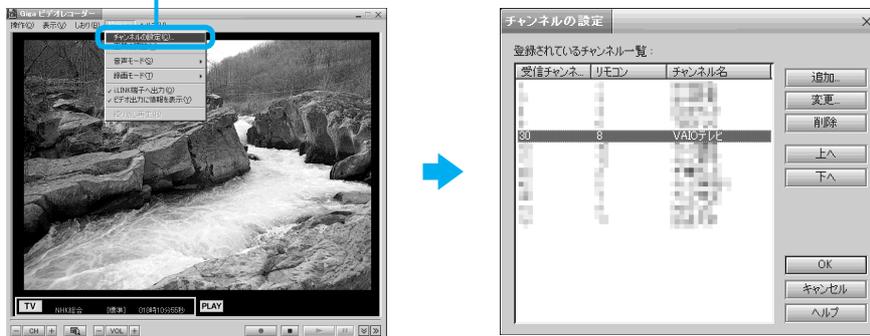
- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして、[ すべてのプログラム ] にポインタを合わせ、「Giga Pocket」[ Giga ビデオレコーダー ] の順にクリックする。

「Giga ビデオレコーダー」ソフトウェアが起動します。

- 2 [ 設定 ] をクリックして、表示されるメニューから [ チャンネルの設定 ] をクリックする。

「チャンネルの設定」画面が表示されます。

ここをクリックする。

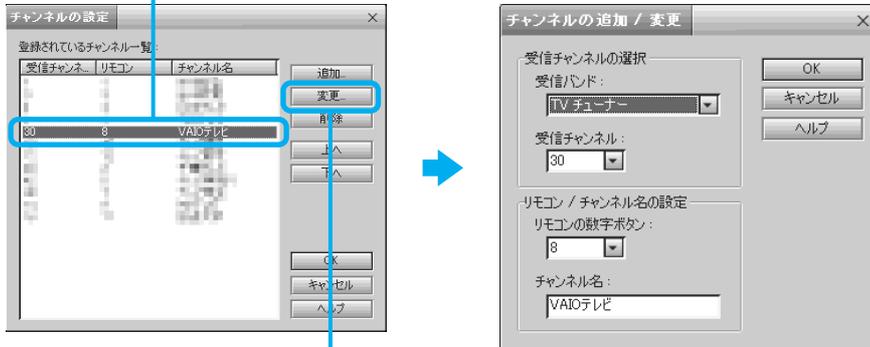


### 3

変更するチャンネル名(ここでは「VAIOテレビ」)を選択して、[ 変更 ] をクリックする。

「チャンネルの追加 / 変更」画面が表示されます。

①ここをクリックする。

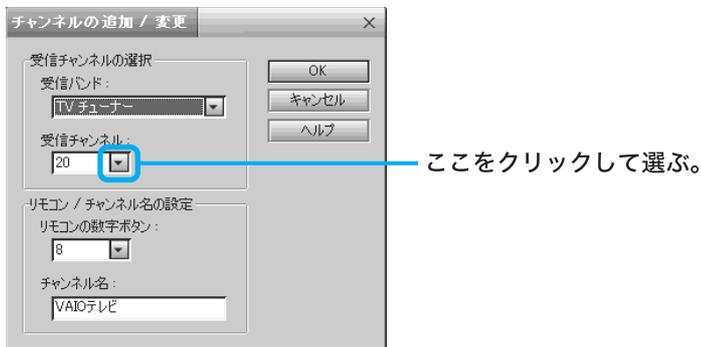


②ここをクリックする。

### 4

「受信チャンネル」から設定したいチャンネル(ここでは「20チャンネル」なので「20」)を選ぶ。

チャンネル番号がわからない場合は、「受信チャンネル」の ▾ をクリックして、チャンネルを変更していき、設定したいチャンネルが表示されるチャンネル番号を選択してください。



### 5

[ OK ] をクリックする。

以上の手順を繰り返して、映らないチャンネルすべての設定をしてください。

# 電源を切る

本機を使う準備が終わったところで、いったん電源を切ってみます。

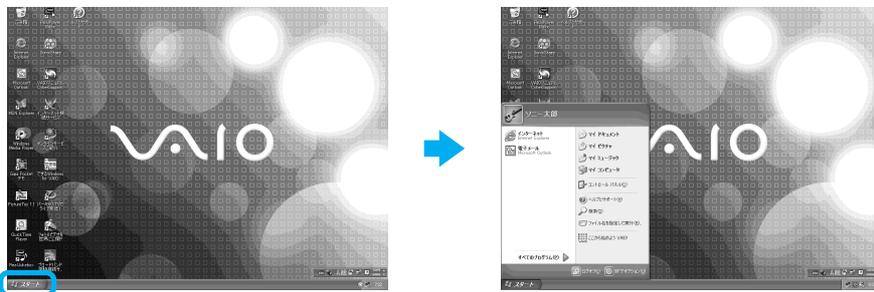
## ご注意

必ず次の手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと、故障の原因になることがあります。(⌘ 電源) ボタンを4秒以上押しと、電源が切れることがありますが、(⌘ 電源) ボタンを押して電源を切らないでください。

## 1

ディスプレイ画面左下の **スタート** をクリックする。

「スタート」メニューが表示されます。

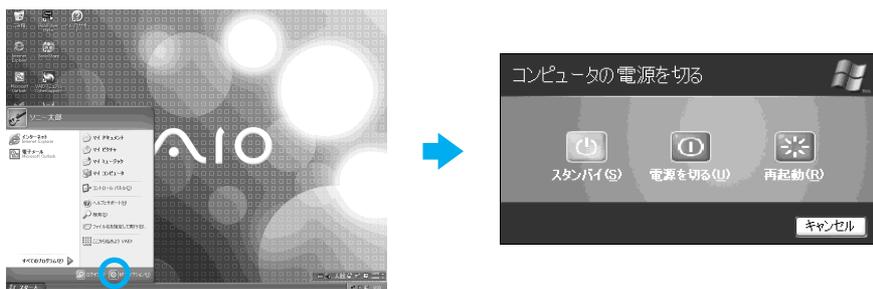


ここをクリックする。

## 2

[ 終了オプション ] をクリックする。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。



ここをクリックする。

## 3

[ 電源を切る ] をクリックする。

しばらくすると自動的に本機の電源が自動的に切れ、電源ランプが消灯します。



ここをクリックする。

### 💡 ちょっと一言

ソニー製のコンピュータディスプレイをお使いのときは、手順3で本機の電源が切れたあと、自動的にディスプレイが節電モードに入ります。

## 4

ディスプレイの電源ボタンを押す。

ディスプレイの電源が切れます。

### ご注意

「Windowsを準備する」の手順6で、2人以上のユーザーの名前を入力した場合、次回から本機の電源を入れると「ようこそ」画面が表示されます。ユーザー名を選んでWindowsを起動してください。

これで本機を使う上で必要な準備と操作はひと通り終わりました。

さらにいろいろな操作をするためには、引き続きこのあとのページおよび「サイバーサポート」をご覧ください。

# コンピュータの基本操作

この章では、本機を使うための基本的な操作を説明します。

# デスクトップ画面の各部のなまえとはたらき

本機の電源を入れた後、ディスプレイ画面全体に表示されるのが「デスクトップ画面」です。「デスクトップ画面」は、本機のさまざまな機能を使いこなしていただくときの出発点となります。

 デスクトップ画面のイラストは実際のものとは異なる場合があります。

### ■デスクトップアイコン



- 1 ごみ箱**  
いらなくなった文書や画像などを捨てる場所です。ごみ箱に捨てた文書や画像などは、ごみ箱の中に残っています。ごみ箱については、「ファイルやフォルダを削除する」をご覧ください。
- 2 Internet Explorer**  
インターネットのホームページなどを見るときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。
- 3 VAIOマニュアル CyberSupport**  
VAIOの使いかたや楽しみかた、困ったときの解決方法をディスプレイ画面上で説明する電子マニュアルです。使いかたについては「サイバーサポート」の使いかたをご覧ください。
- 4 インターネット接続サービス**  
インターネット接続サービスを提供する会社（プロバイダ）と契約（オンラインサインアップ）します。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。
- 5 できるWindows for VAIO**  
Windowsの使いかたを説明しています。
- 6 ヘルプとサポート**  
Windowsの操作や、Windowsのサポートについての情報を検索できます。「サイバーサポート」もここから起動できます。
- 7 各ソフトウェアのショートカット類**  
左隅にが付いたアイコンが各種あります。これらは簡単にソフトウェアを起動するためにデスクトップ画面上に置かれたものです。
- 8 スタート**
- 9 ソニー太郎**
- 10 インターネット**
- 11 電子メール**
- 12 マイドキュメント**
- 13 マイピクチャ**
- 14 マイミュージック**
- 15 マイコンピュータ**
- 16 コントロールパネル**
- 17 ヘルプとサポート**
- 18 検索**
- 19 ファイル名を指定して実行**
- 20 ここから始めよう VAIO**
- 21 すべてのプログラム**
- 22 ログオフ**
- 23 終了オプション**

## 8 タスクバー

本機に付属のソフトウェアやコンピュータの設定をすばやく確認し、操作できるための機能をまとめた場所です。大きく3領域があり、それぞれ「スタート」ボタン、使用中のソフトウェアや文書などを表示しておく機能をもつ領域、Windowsに関連する機能を表示しておく通知領域（タスクトレイ）に分かれます。



### 「スタート」ボタン

ここをマウスをクリックすると、本機に付属のソフトウェアを起動したり、本機のさまざまな機能を使うためのメニューが表示されます。まずはここをクリックして始めてください。



### ウィンドウのボタン表示

使用中のソフトウェアや文書などがここにボタンとして表示されます。デスクトップ画面上にソフトウェアや文書などが表示されていなくても、このボタンをクリックすると画面にそのソフトウェアや文書などが表示されます。



### 通知領域(タスクトレイ)

本機を起動したときに自動的に使えるようになったWindowsの機能がここに表示されます。アイコンが表示されていないときはをクリックすると表示されます。

## ■ 「スタートメニュー」

 **スタート** をクリックすると「スタート」メニューが表示されます。「スタート」メニューの左側には、最近使用したフォルダやソフトウェアのアイコンが表示されます。

### 9 ユーザー名

現在コンピュータを使用しているユーザーの名前が表示されます。

### 10 インターネット

インターネットのホームページなどを見るときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

### 11 電子メール

電子メールをやりとりするときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

### 12 マイドキュメント

本機に付属のさまざまなソフトウェアで作成した文書や画像などを保存しておく場所です。マイドキュメントは、マイコンピュータの中にあるC:ドライブの中のものと同じです。

### 13 マイピクチャ

デジタル写真、イメージ、グラフィックなどを保管しておくフォルダが開きます。

### 14 マイミュージック

ミュージックファイルやオーディオファイルを保管しておくフォルダが開きます。

### 15 マイコンピュータ

ここからソフトウェアを起動したり、作成した文書や画像をコピーしたりできます。

### 16 コントロールパネル

本機に接続されている各種の記憶装置やシステムの設定のための機能が入っている場所です。

### 17 ヘルプとサポート

Windowsの操作や、Windowsのサポートについての情報を検索できます。「サイバースポーツ」もここから起動できます。

### 18 検索

作成した文書や画像を探したり、インターネットなどで情報を検索するときに使います。

### 19 ファイル名を指定して実行...

作成した文書や画像を指定することでソフトウェアを起動することができます。また、 をクリックすると作成した文書や画像を探し出せます。

### 20 ここから始めよう VAIO!

ソニー製ソフトウェアを起動するときに使います。

### 21 すべてのプログラム

本機に付属しているさまざまなソフトウェアを起動するときに使います。

### 22 ログオフ

本機を使用するユーザーを切り換えるときに使います。

### 23 終了オプション

スタンバイ状態にするとき、電源を切るとき、再起動するときに使います。

## ご注意

デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定期間使用しないとデスクトップ画面上から削除されるものがあります。

Windowsの初回起動時から1週間後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。

デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。

### アイコンとは

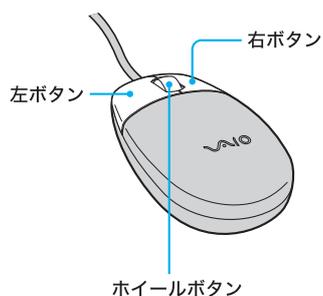
画面上に表示されるソフトウェア、文書、画像などを表す絵記号のことです。それぞれの固有のデザインにより、ソフトウェア、文書、画像などの種類がわかりやすくなっています。

### ウィンドウとは

「スタート」メニューから「マイコンピュータ」や「マイドキュメント」を選んでクリックしたとき、デスクトップ画面上に表示される枠で囲まれた領域を「ウィンドウ」と言います。文書や画像を作成するときもウィンドウで作業します。

# マウスの操作

## マウスの各部のなまえとはたらき



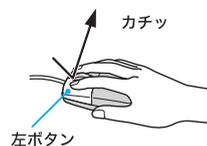
### マウスの持ちかた

マウスは強く握ったり、押しつけたりせず、手のひらを軽く乗せるようにします。また、ボタンをクリックしやすいように、指先をボタンに乗せてください。



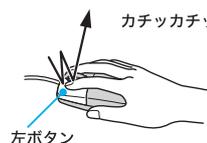
### クリックする

左ボタンをカチッと1回押してすぐ離します。ウィンドウを閉じたり、タスクバーでソフトウェアを選ぶなどに行います。



### ダブルクリックする

左ボタンをカチカチッと2回すばやく押してすぐ離します。画面上のアイコンからソフトウェアを起動したり、ファイルを開くときなどに行います。



### 右クリックする

右ボタンを1回押してすぐ離します。ショートカットメニューが表示されます。

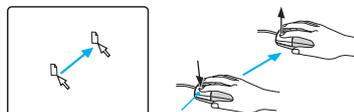


### ドラッグする

マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かしてからボタンを離します。

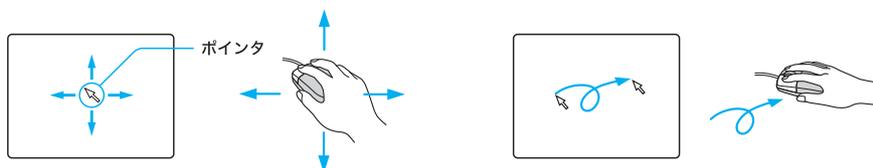
### ドラッグアンドドロップする

文書や画像などをドラッグして、フォルダやソフトウェアのアイコンやウィンドウなどの上でマウスのボタンを離します。ファイルをごみ箱アイコンに重ねて削除したりするときに行います。



## マウスを動かすときは

マウスを動かすと、その動きに合わせてデスクトップ画面上の  (ポインタ) も同じ方向に移動します。机の上など平らな場所に置き、滑らせるように動かします。マウスを動かすときは、腕全体を使うようにします。



### 💡 ポインタとは

マウスを動かすと、画面上に表示されている  が動きます。この矢印を「ポインタ」と言い、ポインタを希望の位置に合わせることを「ポイントする」と言います。

### 💡 ポインタが見つからないときは

マウスを1度持ち上げて、机の上で動かしてください。

## 練習 1: マウスの操作

- ① デスクトップ画面上の  (VAIO マニュアル CyberSupport) をダブルクリックしてみましょう。
- ② 画面上部にある [ できる Windows ] をクリックし、左側の目次をクリックして、見たい情報を表示させてみましょう。

  (VAIO マニュアル CyberSupport) が見つからないときは

デスクトップ画面左下の  スタート をクリックして [ ヘルプとサポート ] をクリックし、表示された「ヘルプとサポート センター」画面から [ VAIO マニュアル CyberSupport ] をクリックします。

画面上部の [ できる Windows ] をクリックしてください。

  (VAIO マニュアル CyberSupport) とは？

VAIO マニュアル「サイバーサポート (CyberSupport for VAIO)」(以降「サイバーサポート」と略します) は VAIO についての情報の入り口です。VAIO の使いかたを知りたいときや、VAIO を使っていて困ったことがあったときは「サイバーサポート」を開いてください。

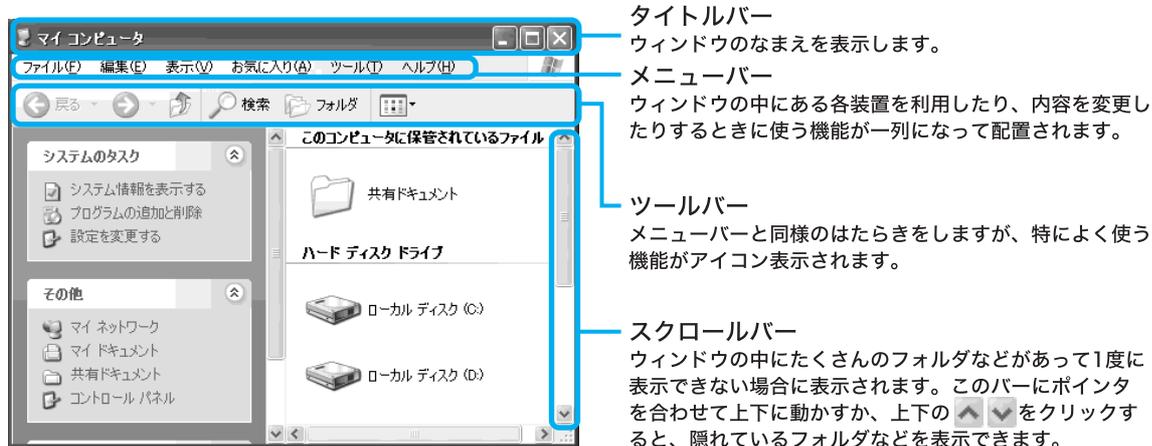
# ウィンドウやファイルの操作

Windowsのファイルや操作説明については、「できるWindows」で詳しく説明されています。「できるWindows」をご覧になるには、「サイバーサポート」画面上部の「できるWindows」をクリックします。

## ウィンドウの使いかた

「ウィンドウ」とは、Windowsでさまざまな操作をするときの画面のことです。

### ウィンドウの各部のなまえとはたらき



### ウィンドウを開く

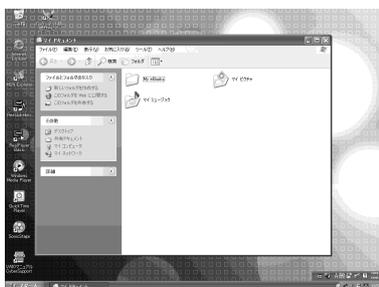
ここでは、「マイドキュメント」画面の開きかたを説明します。

デスクトップ画面左下の「スタート」をクリックし、マウスを動かして、ポインタを「マイドキュメント」の上に合わせ、クリックします。

2 ここをクリックする。



1 ここをクリックする。



## 複数のウィンドウを開く

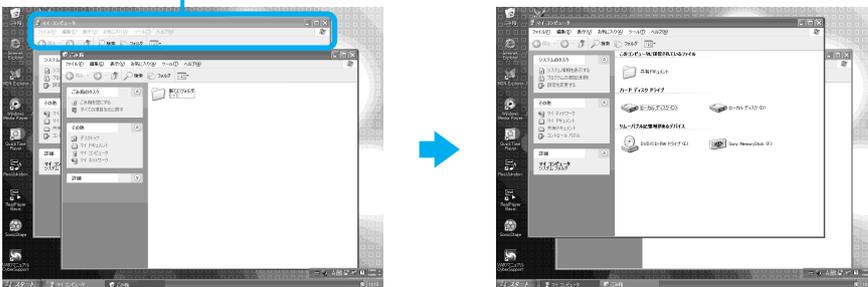
ウィンドウは2つ以上同時に開くこともできます。



## 複数のウィンドウを切り替える

使いたいウィンドウを最前面に表示させます。マウスを動かし、タイトルバーなど、切り替えたいウィンドウのいずれかの部分をクリックします。

この部分のどこかをクリックする。



### 💡 ちょっと一言

最前面に表示されているウィンドウは、タイトルバーが濃い色になります。この最前面に表示されているウィンドウのことを「アクティブなウィンドウ」と言います。

### 💡 タスクバーを使って複数のウィンドウを切り替えるには

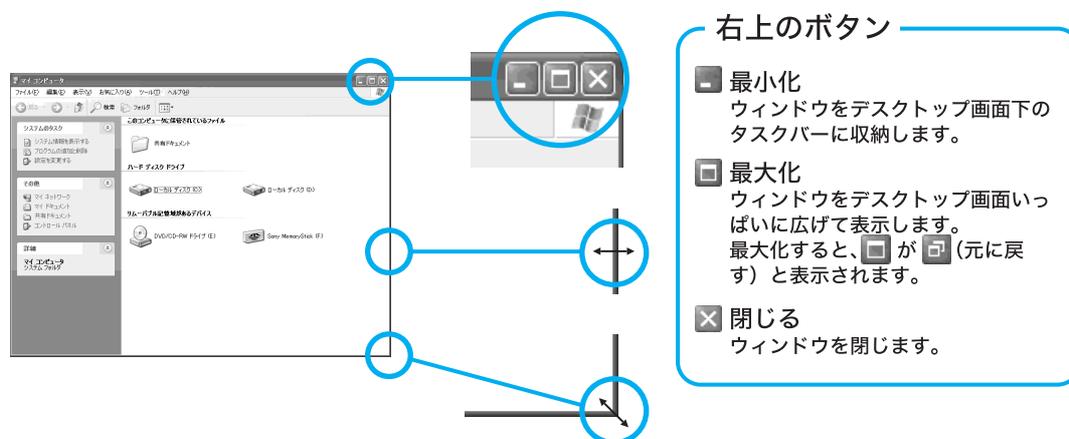
マウスを動かし、タスクバーに表示されているウィンドウのボタンの中から、切り替えたいウィンドウのボタンにポインタを合わせ、クリックします。



## ウィンドウのサイズを変える

ウィンドウ右上のボタンをクリックして、サイズを変えることができます。

ウィンドウのサイズを自由に変えるには、ウィンドウの角や辺にポインタを合わせます。マウスの左ボタンを押したまま、大きくしたいときは外側に、小さくしたいときは内側にマウスを動かします。



最大化したウィンドウを元に戻すには

 (元に戻す) ボタンをクリックすると、最大化する前のサイズに戻ります。

最小化したウィンドウを元に戻すには

タスクバーの中に収納されたボタンをクリックすると、最小化する前のサイズに戻ります。

 「閉じる」と「最小化」の違い

ウィンドウを閉じると、そのウィンドウはデスクトップ画面から消えます。ウィンドウを最小化すると、そのウィンドウはデスクトップ画面からは見えなくなりますが、タスクバーにボタンとして残ります。ウィンドウを一時的に見えなくするときは、「最小化」のほうが便利です。

### 練習2: ウィンドウの操作

- ① 「練習1: マウスの操作」で開いた「サイバーサポート」画面で、ウィンドウのサイズを変えたりして練習してみましょう。
- ② 「ウィンドウを開く」の手順で、[マイドキュメント]画面を開いてみましょう。
- ③ 2つのウィンドウを切り替えたり、ウィンドウのサイズを変えたりして練習してみましょう。

## ファイルやフォルダの操作

### ファイルを作る

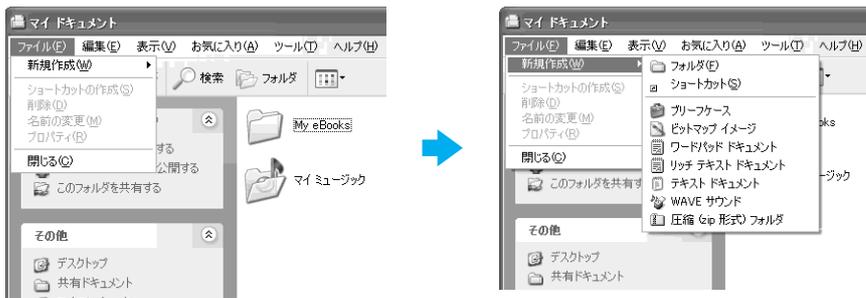
「ファイル」とは、保存された文書や画像のことです。

「ワードパッド」ソフトウェアなどで作成したファイルは、特に指定しない限り、 (マイドキュメント) に保存されます。それぞれのファイルは  のようにアイコンとして表示されます。ファイルを開くときは、アイコンをダブルクリックします。

### フォルダを作る

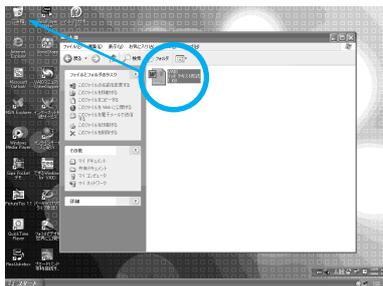
「手紙」フォルダや「画像」フォルダのように、「フォルダ」を作成して、種類や用途別に名前を付けてファイルを保存しておくると便利です。フォルダは、 として表示されます。

「マイドキュメント」ウィンドウの中に新しいフォルダを作る場合は、「マイドキュメント」画面のメニューバーの[ファイル]をクリックし、表示されるメニューから[新規作成][フォルダ]の順にクリックします。



## ファイルやフォルダを削除する

削除したいファイルやフォルダをクリックし、 (ごみ箱) までマウスを移動して  (ごみ箱) に重ねます(ドラッグアンドドロップ)。



### 💡 ちょっと一言

削除したいファイルやフォルダを右クリックして、表示されるメニューから「削除」を選び、次に表示される確認画面で「はい」を選んでも、削除することができます。

### 💡 (ごみ箱) を空にするには

 (ごみ箱) に移動したファイルなどは、 (ごみ箱) から取り出すことができます。完全に削除するには、 (ごみ箱) をダブルクリックして、「ごみ箱」画面で「ごみ箱を空にする」を選び、次に表示される確認画面で「はい」を選びます。

ごみ箱のアイコンが  (紙くずあり) から  (紙くずなし) に変わります。

### 練習3: ファイルやフォルダの操作

- ① 「ウィンドウを開く」の手順で、[マイドキュメント] 画面を開いてみましょう。
- ② フォルダを作ったり、「ワードパッド」などのソフトウェアからファイルを作ったりしてみましょう。
- ③ ファイルやフォルダを「ごみ箱」に移動して削除してみましょう。

# 文字の入力の前に

文字を入力するには、キーボードを使います。

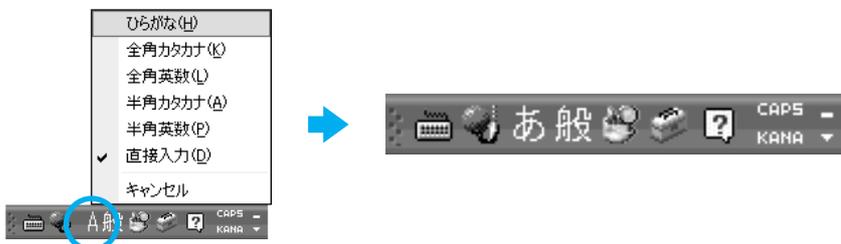
ここでは、入力する文字の選びかたや、入力方法の切り替えかたなどを簡単に説明しています。

文字の入力について詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の「できる Windows」をクリックして表示される情報をご覧ください。

## 入力する文字を選ぶ

入力したい文字に応じて、デスクトップ画面右下に表示されている「MS-IME ツールバー」を使って、入力文字を切り替えます。

MS-IME ツールバーの「A」にポインタを合わせてクリックし、表示される文字入力選択メニューから、入力文字を選びます。



### 💡 MS-IME ツールバーが表示されていないときは

デスクトップ画面右下のタスクトレイにある「JP」をクリックします。表示されたMS-IMEメニューの中の「言語バーの表示」をクリックします。

MS-IMEツールバーについて詳しくは、MS-IMEのヘルプをご覧ください。

### ひらがなを入力するには

MS-IMEのツールバーの「A」をクリックして、「ひらがな」をクリックします。

ツールバーの表示が「あ」になり、ひらがなが入力できる状態になります。

### カタカナを入力するには

MS-IMEのツールバーの「あ」をクリックして、「全角カタカナ」をクリックします。

ツールバーの表示が「カ」になり、カタカナが入力できる状態になります。

### アルファベットを入力するには

MS-IMEのツールバーの「カ」をクリックして、「直接入力」をクリックします。

ツールバーの表示が「A」になり、アルファベットが入力できる状態になります。

## 入力のしかたを選ぶ

日本語を入力する方法として、ローマ字入力方式とかな入力方式があります。

お好みに合わせて、入力方法を選んでください。

なお、お買い上げ時は、ローマ字入力に設定されています。

### □ ローマ字入力

キーボード上のアルファベットを組み合わせて、ローマ字で日本語を入力する方法です。1文字を入力するために2つまたは3つのキーを組み合わせるので、操作が多少めんどろですが、英文タイプライターに慣れている方はこちらが便利です。



### □ かな入力

キーボード上の各キーに印刷されているひらがなを使って、日本語を入力する方法です。1文字につき1つのキーを押せばよいので操作は楽ですが、50音それぞれのキーの配置を覚える必要があります。



### 💡 かな入力とローマ字入力を切り替えるには

MS-IME ツールバーの [ KANA ] をクリックするか **Ctrl** (コントロール) キーを押しながら **Caps Lock** (キャプス・ロック / 英数) キーを押すと、ローマ字入力とかな入力とが切り替わります。

## 練習4:文字の入力

「練習1:マウスの操作」で開いた「サイバーサポート」画面上部の「検索」欄に文字を入力してみましょう。

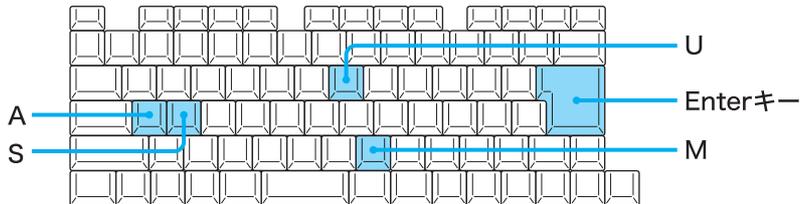
ここでは「マウス」と入力してみます。

- ① 「検索」欄にポインタを合わせて、クリックします。



ここをクリックする。

- ② MS-IME のツールバーから「全角カタカナ」を選びます。
- ③ ローマ字入力の方法で、「マウス(MAUSU)」とキーボード上のアルファベットを入力します。
- ④  (エンター) キーを押します。



これで「マウス」と入力できました。

 をクリックすると、「マウス」に関する情報が表示されます。



# カスタマー登録する / インターネットに接続する

この章では、オンラインでカスタマー登録する手順とインターネット接続サービスへのオンライン入会手順を説明します。

# カスタマー登録する

ここでは、オンラインでカスタマー登録する手順を説明します。

## VAIOカスタマーご登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社（以下、「ソニー」）は「バイオ」をご所有のお客様へ必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマーご登録」を行っていただくことをおすすめしています。ご登録のメリットについては、VAIOホームページ（<http://www.vaio.sony.co.jp/>）をご覧ください。

また、出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間はご購入日から3か月です。ご登録を行っていただくことで、VAIOカスタマー専用デスクからご購入日より1年間有効な保証書と「VAIOカスタマーID」を記したご登録証「VAIO Customer's Card」をお送りします。（すでに「VAIO Customer's Card」をお持ちの方へはカードの送付は行われません。）なお、保証について詳しくは「保証書とアフターサービス」（283ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマーご登録に関するお問い合わせ先

ソニーマーケティング株式会社 VAIOカスタマー専用デスク 電話番号:03-5977-7255

営業時間:月～金 10:00から18:00まで（土日祝日、年末年始を除く）

## VAIOカスタマーご登録の方法

電話回線を通じて手軽にご登録が行えます。

### 💡 ちょっと一言

- 付属の「VAIOカスタマー登録・保証書お申込書」にご記入のうえ、郵送いただくことでもご登録が行えます。
- 下記の場合を除き、ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。
  - 1 お客様が、別途ご案内する「Upgrade Area」および「バイオネットワークサービス」を利用する場合には、これらのサービスの運営会社のソニースタイルドットコム・ジャパン株式会社もお客様の情報を利用いたします。
  - 2 VAIOカスタマー登録制度の運営に必要な場合、ソニーは業務を委託する協力会社へ開示することがあります。（ソニーは、協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します。）
  - 3 法的義務を伴う要請を受けた場合、司法機関または行政機関へ開示することがあります。
- VAIOカスタマーご登録は、本機の再セットアップをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などのご登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内（<http://www.vaio.sony.co.jp/>）のページ上で、変更手続きが行えます。

また、デスクトップ画面左下の  スタート をクリックして「ここから始めようVAIO！」をクリックして表示される画面で、「VAIOカスタマー登録のおすすめ」をクリックして変更手続きを行うこともできます。
- 12才までのお子さまは、ほごしゃのかたといっしょにとよろしくしてください。

下記の手順を行うには、本機が電話回線につながっている必要があります。「VAIOオンラインカスタマー登録」にご使用いただく電話回線は一般電話回線だけでなく、ISDN回線にも対応しています。ISDN回線をお使いになる場合は、ターミナルアダプタのUSBコネクタと本機のUSBコネクタをつないでください。つなぎかたについては「接続する / 準備する」(39ページ)をご覧ください。ISDN回線やターミナルアダプタについて詳しくは、NTT(局番なしの116番)またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

### ご注意

VAIOオンラインカスタマー登録は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ行うことができます。

## 1

デスクトップ画面左下の「スタート」をクリックして「ここから始めよう VAIO!」をクリックする。

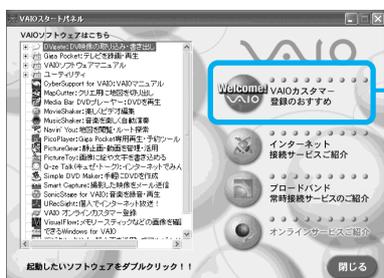


ここをクリックする。

「VAIOスタートパネル」画面が表示されます。

## 2

「VAIOカスタマー登録のおすすめ」をクリックする。

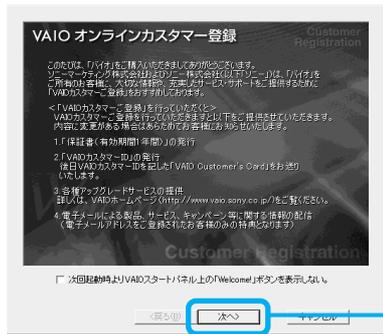


ここをクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」の画面が表示されます。

# 3

**次へ>** をクリックする。



ここをクリックする。

「VAIOカスタマーID VAIOカスタマーパスワード」画面が表示されます。

**💡** 1つ前の画面が見たいときは

**<戻る(B)** をクリックします。

**💡** カスタマー登録をしない、または後でするときは

**キャンセル** をクリックして表示される画面で **終了(E)** をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。その後の手順について詳しくは104ページをご覧ください。

# 4

**次へ>** をクリックする。

「VAIOカスタマーご登録を行っていただくときのご注意」の画面が表示されます。

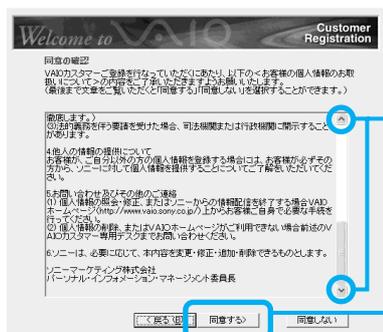
# 5

**次へ>** をクリックする。

「同意の確認」画面が表示されます。

# 6

**▼** または **▲** をクリックして、画面に表示された内容をすべて読み、内容に同意するときは **同意する>** をクリックする。



① ここをクリックすると文章が上下に移動する。

② **【同意する】** をクリックする。  
**【同意しない】** をクリックすると、「ここでこのアプリケーションを終了すると登録が完了しません。」というメッセージが表示され、**【終了】** をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示される。

「登録種別の選択」画面が表示されます。

# 7

「新規」の○をクリックして●にし、**次へ**をクリックする。



① ここをクリックする。

② ここをクリックする。

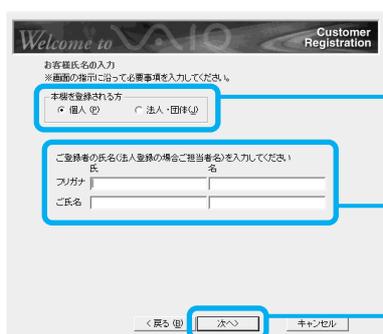
「お客様氏名の入力」画面が表示されます。

### 💡 ちょっと一言

- 本機を含めてパイオをすでに2台以上お持ちの方など、すでにVAIOカスタマーIDをお持ちの方は、「機種追加」を選び、画面の指示に従って操作してください。
- すでにVAIOカスタマーご登録がお済みの方で、住所など、ご登録内容を変更したいときは、「更新」を選び、画面の指示に従って操作してください。

# 8

お客様のお名前を漢字で、ふりがなをカタカナで入力し、**次へ**をクリックする。



「法人・団体」を選んだときは、法人、団体用の情報を入力する画面が表示される。画面の指示に従って情報を入力してから手順11に進む。

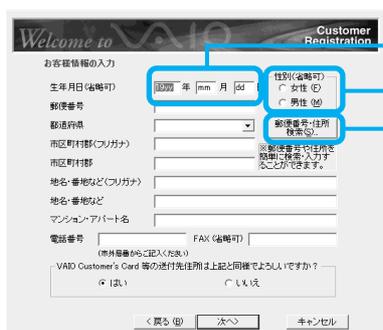
① お名前とふりがなを入力する。

② ここをクリックする。

「お客様情報の入力」画面が表示されます。

# 9

生年月日(任意)を入力し、性別(任意)を選び、**郵便番号・住所検索**をクリックする。



① 生年月日を入力する。

② 性別を選ぶ。

③ ここをクリックする。

「郵便番号・住所検索」画面が表示されます。

# 10

「検索方法」で「郵便番号から」の○をクリックして●にし、ご自分の郵便番号を入力してから **検索(S)** をクリックする。

- ③ ここをクリックする。
- ② 郵便番号を入力する。  
- (ハイフン) は入力しない。
- ① 「郵便番号から」をクリックする。

自動的に入力された住所を確認し、正しければ **採用** をクリックしてください。

「郵便番号・住所検索」画面が閉じ、郵便番号や住所が自動的に入力されます。

- ③ ここをクリックする。

# 11

残りの空欄を入力し、「VAIO Customer's Card」など送付先が入力した住所でよければ「はい」の○をクリックして●にし、**次へ** をクリックする。

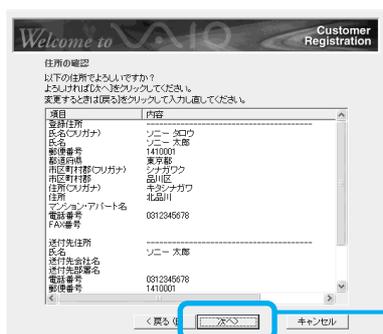
- ① 地名、番地やマンション、アパート名が必要な場合は入力する。電話番号を入力するときは、- (ハイフン) は入力しない。
- ② ここをクリックする。
- ③ ここをクリックする。

「住所の確認」画面が表示されます。

🔦 入力した住所とは別の住所に「VAIO Customer's Card」と保証書などを送付してほしいときは

「いいえ」の○をクリックして●にしてください。「VAIO Customer's Card / 保証書の送付先」画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

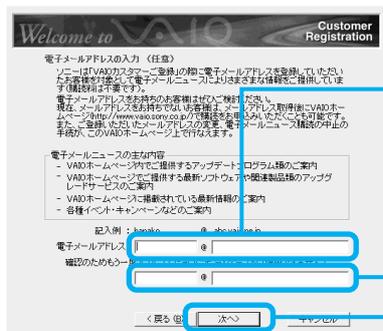
## 12 住所をご確認の上で、**次へ**をクリックする。



ここをクリックする。

「電子メールアドレスの入力(任意)」画面が表示されます。

## 13 すでに電子メールアドレスをお持ちの方は、電子メールアドレスを入力し、**次へ**をクリックする。



① 電子メールアドレスを入力する。電子メールアドレスをお持ちでない方や電子メールアドレスを教えたくない方は、何も入力せずに**次へ**をクリックする。

② 確認のため、もう1度入力する。

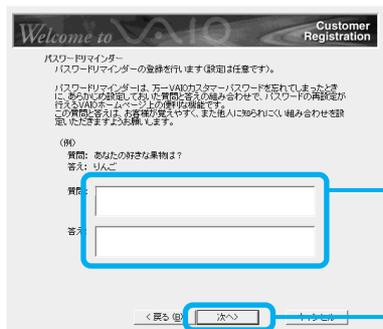
③ ここをクリックする。

「パスワードリマインダー(任意)」画面が表示されます。

### 💡 電子メールアドレスとは

インターネットなどのネットワークを使ってコンピュータ同士でメッセージをやりとりするシステムを電子メール(Eメール)といいます。電子メールアドレスとは、アルファベットや数字で表された電子メールの宛先のことで住所と同じ役割をします。

## 14 質問と答えを入力し、**次へ**をクリックする。



① 質問と答えを入力する。質問と答えは必ずしも入力する必要はありません。必要がない場合は、何も入力せずに**次へ**をクリックする。

② ここをクリックする。

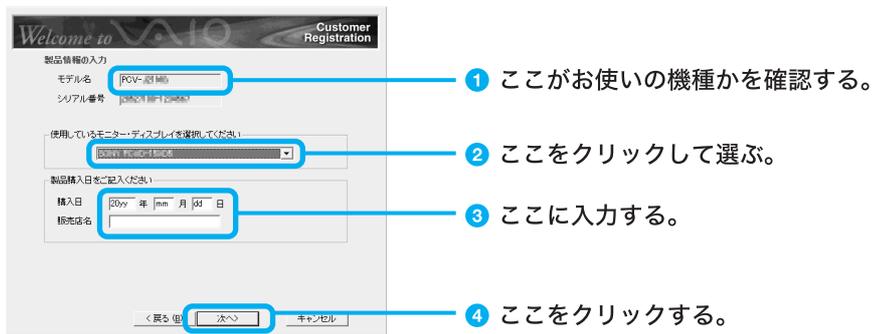
「製品情報の入力」画面が表示されます。

### 💡 パスワードリマインダーとは

パスワードリマインダーとは、VAIOカスタマーパスワードを忘れてしまったときに備え、あらかじめ設定しておいた質問と答えを使って、パスワードの初期化と再設定が行える便利な機能です。

# 15

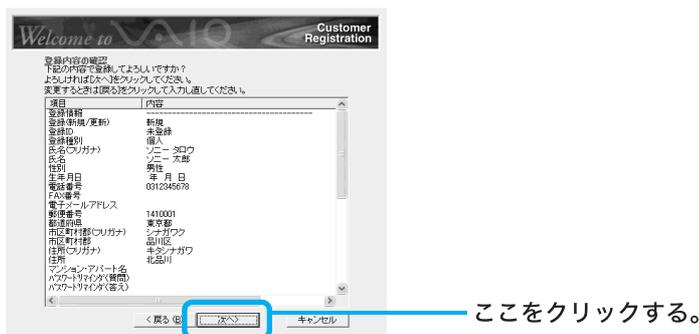
本機のモデル名を確認し、使用しているディスプレイを▼をクリックして選び、本機の購入日や販売店名を入力し、**次へ**をクリックする。



「登録内容の確認」画面が表示されます。

# 16

ご登録いただく内容をご確認の上で、**次へ**をクリックする。



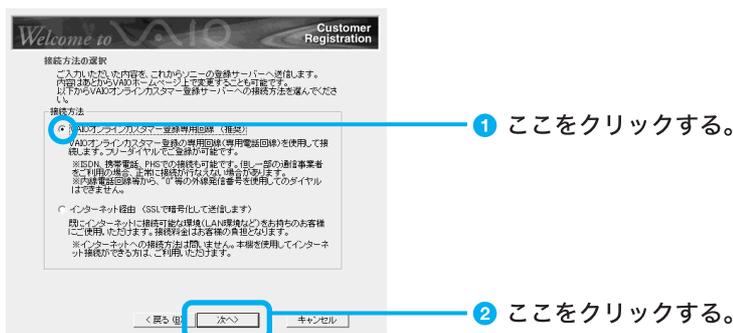
「接続方法の選択」画面が表示されます。

## 💡 ちょっと一言

登録内容を変更するときは **戻る (B)** をクリックし、変更したい画面まで戻り、入力し直します。

# 17

「VAIOオンラインカスタマー登録専用回線」の○をクリックして●にし、**次へ**をクリックする。



「発信方式の設定」画面が表示されます。

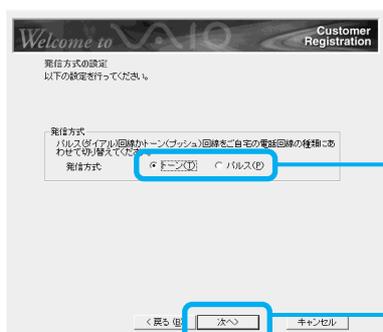
## ご注意

- 外線発信 (0発信) はできません。
- 「インターネット経由」を選んでご登録いただく場合、接続料金はおお客様の負担となります。
- ターミナルアダプタなど、お使いになる通信機器によっては正しく接続できないことがあります。この場合は、本機後面のLINEジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。

## 💡 ちょっと一言

- **次へ** をクリックすると、「接続デバイスの選択」画面が表示されることがあります。この場合は、通信に使う機器を選び、**次へ** をクリックしてください。
- 「インターネット経由」を選んで **次へ** をクリックしたときは、「インターネット経由の接続設定」画面が表示されますので、画面の指示に従って操作して手順19に進んでください。また、LANの環境などによっては、「インターネット経由の接続設定」画面でプロキシの設定をする必要があります。プロキシの設定について詳しくは、各法人・団体様のシステム管理者にお尋ねください。

# 18 お使いの電話回線のダイヤル方法を選び、**次へ** をクリックする。



① 本機を一般電話回線につないでいるときのみトーン式/パルス式ダイヤルを選ぶ。

② ここをクリックする。

「登録確認」画面が表示されます。

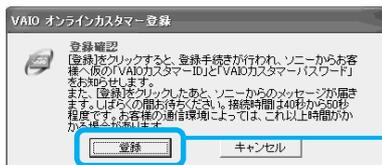
## 💡 ちょっと一言

トーン式ダイヤルとは：電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。

パルス式ダイヤルとは：ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方法です。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT(局番なしの116番)などの電話会社にお問い合わせください。

## 19 電話回線がつながっていることを確認し、**登録**をクリックする。



ここをクリックする。

登録内容が電話回線を通じて送られ、送信が終わると「ご登録の完了」画面が表示されます。

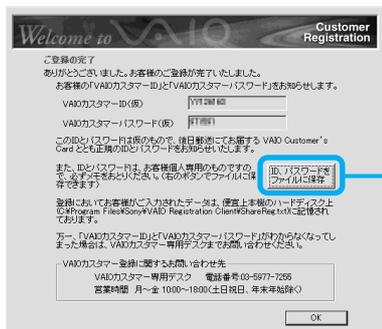
### ご注意

ターミナルアダプタなど、お使いになる通信機器によっては正しく接続できないことがあります。この場合は、本機後面のLINEジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。

### 💡 ちょっと一言

オンラインご登録時にお知らせする「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」は、正規の「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」が届くまでの間ご使用いただく仮のIDとパスワードです。正規のIDとパスワードは後日、ソニーより「VAIO Customer's Card」や「1年間保証書」などとともにお知らせいたします。また、次の手順20～21の操作を行い、仮の「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」をデータとして保存しておくことをおすすめします。

## 20 ID、パスワードをファイルに保存



ここをクリックする。

「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。

## 21 ファイルに任意の名前を付け、**保存**をクリックする。



ここをクリックする。

### ご注意

保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないようにご注意ください。

## 💡 ちょっと一言

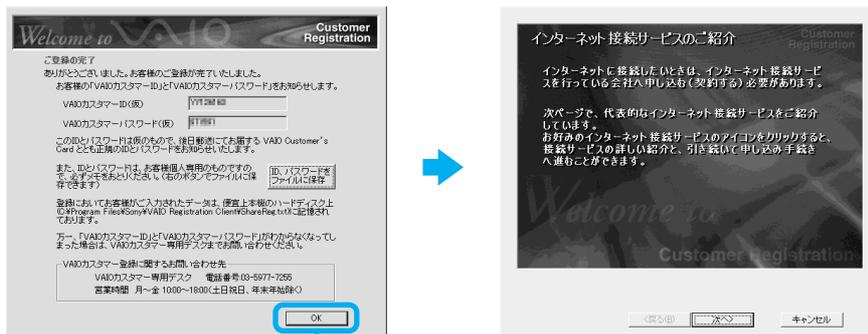
保存されたファイルは、デスクトップ画面左下の「スタート」をクリックし、「マイドキュメント」をクリックすると表示されます。

お客様のカスタマーIDとパスワードの情報がファイルとして「マイドキュメント」フォルダの中に保存され、「ご登録の完了」画面が表示されます。

# 22

「OK」をクリックする。

「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。



ここをクリックする。

## 💡 ちょっと一言

- 「OK」をクリックすると、サービス内容などをお知らせする画面が表示されることがあります。この場合は、「次へ」をクリックしてください。「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。
- VAIOカスタマーご登録が終わると、デスクトップ画面上に「スタート」が表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、バイオに関するサービス・サポート情報やVAIOのホームページのご案内などのお知らせを見ることができます。

# 23

「次へ」をクリックする。

インターネット接続サービスの紹介画面が表示されます。

インターネットに接続するときは104ページへお進みください。

インターネットを利用しない、または後で入会手続きを行う場合は「キャンセル」をクリックします。

## 💡 インターネット接続サービスとは

インターネットにつながるためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。インターネット接続サービスはインターネットとコンピュータとの間を仲介する役割を持っています。インターネット接続サービスを提供する会社と契約すると、インターネットを使っているいろいろな情報を記述したホームページを簡単に見たり、電子メールを送受信したりできるようになります。

# インターネットを始める

## インターネットとは

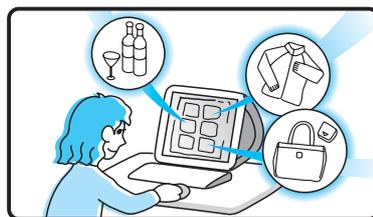
インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。ここではインターネットを利用するために必要な準備やホームページの見かた、電子メールのやりとりのしかたを説明します。



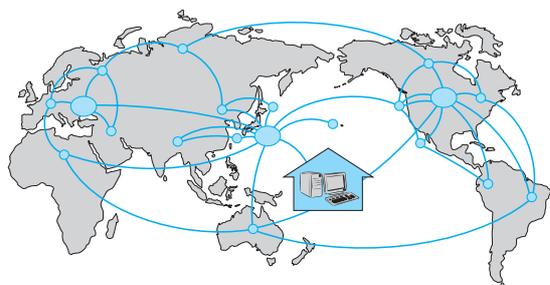
### ホームページを見る

世界の景色を見る。  
ホテルや乗物の予約をする。  
調べたい情報を検索する。  
趣味の仲間をさがす。  
すべてが地球規模です。

### オンラインショッピングをする

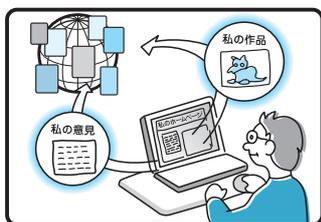


食べ物や衣類など、  
家に居ながら遠く離れた外国でも行きつけのお店の感覚で買い物ができます。



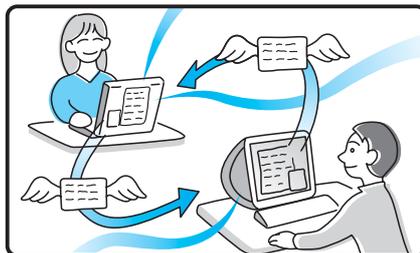
## 情報を発信する

自分の意見を発言する。  
趣味の仲間をつのる。  
絵や文芸作品を発表する。  
仕事の広告を出す。  
世界中が読者です。



## 電子メールをやりとりする

世界各国に時間を気にすることなく好きなときに、電子メールを送れます。



## インターネット接続に必要なものは

世界中の情報に接することのできるインターネットですが、インターネット自体は電話回線のように、ケーブルがつながったものでしかありません。情報を受け取ったり、発信したりするためには専用のソフトウェアが必要になります。

また、電話回線を通してインターネットにつなぐためにインターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。

インターネットに接続するために必要なものは以下の通りです。

### 電話回線

電話回線には一般電話回線と アイエスディエス ISDN 回線の2種類があります。電話を使っている回線が一般電話回線です。

#### 💡 ISDN とは

NTTのデジタル通信網を使った回線で、通信速度も速く、1回線で従来の2回線が使えます。ISDN回線をお使いになる場合はNTT(局番なしの116番)にご相談ください。

#### 💡 ADSL について

ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に常時接続できるサービスのことです。このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者と契約し、申し込むことが必要です。

ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

本機からADSL接続サービスの申し込みを行うことができます。

デスクトップ画面左下の  スタート をクリックし、[ここから始めようVAIO！][ブロードバンド常時接続サービスのご紹介]の順にクリックして表示される画面から申し込みを行ってください。

#### 📌 ご注意

ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、ご契約するADSL接続業者にお問い合わせください。

#### 💡 ターミナルアダプタについて

コンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をISDN回線につなぐための機器です。ISDN回線を使って本機を使用するためには、本機の他にこの機器が必要になります。ターミナルアダプタについて詳しくは、NTT(局番なしの116番)またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

### モデム

電子メールをやりとりしたり、インターネット上のホームページを見るために電話をかける装置です。一般電話回線に接続する場合、本機にはモデムが内蔵されていますので、準備する必要はありません。

### ソフトウェア

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア(「ウェブブラウザ」と言います)が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には両方の専用ソフトウェアが付属しています。

本機には以下のウェブブラウザおよび電子メール関連のソフトウェアが付属しています。

ウェブブラウザ

 Microsoft Internet Explorer

電子メールソフトウェア

 Outlook Express

本書では、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアと「Outlook Express」ソフトウェアの設定と使いかたを中心に説明していきます。

これらのソフトウェアの特長について詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の「VAIOの楽しみかた」をクリックして、「付属ソフトウェアの一覧」[コミュニケーション]の順にクリックして表示される各ソフトウェアの情報をご覧ください。

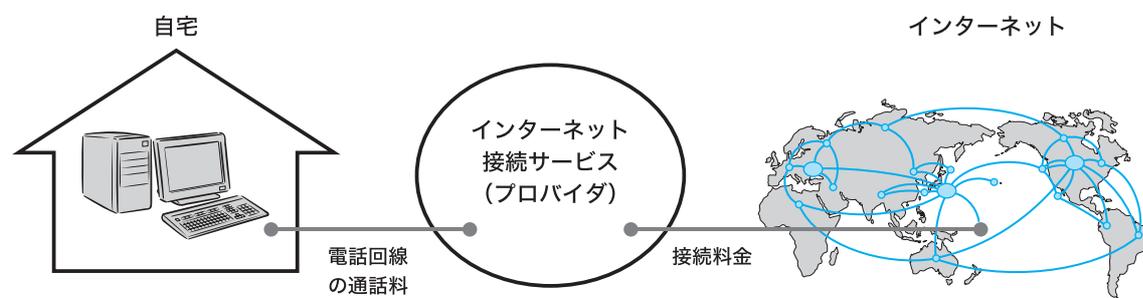
## インターネット接続サービス(インターネットサービスプロバイダ:ISP)

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。この会社のことを「インターネットサービスプロバイダ(ISP)」または単に「プロバイダ」と言います(以下、「プロバイダ」と記します)。

プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。

プロバイダと契約すると、インターネットを使って、いろいろな情報が載ったホームページを簡単に見ることができます。また、「電子メールアドレス」という、あなたの住所のようなものが契約時に用意されます。電子メールアドレスは、電子メールを送受信するときの宛先になります。これらのサービスの他に、契約するプロバイダによっていろいろなサービスがあります。

プロバイダと契約すると、サービスに応じた接続料金がかかります。また、プロバイダとの契約条件によっては、接続料金とは別に電話回線の通話料がかかることがあります。



### ご注意

- 本機および付属ソフトウェアの設定によっては、本機の電源を切っている間でも、自動的にインターネットに接続することがあります。自動接続すると、接続を自動的に終了しないことがあります。この場合、通話料と接続料金が多額になる可能性がありますので、ご注意ください。
- インターネットに接続している間は、電話をかけたり、受けたりできないことがあります。

## インターネット上でのトラブルについて

現在一般に普及し、さまざまなサービスを提供しているインターネットですが、普及に伴いトラブルも発生しています。

インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを誤ったり、安易な気持ちで使用すると思わぬトラブルにあう可能性があります。

## インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。

ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど情報を受ける側もモラルを持って情報を利用する必要があります。

また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になる恐れもあります。ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように管理してください。

## コンピュータウイルスやチェーンメールなどの被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意を持った人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルス(コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム)が潜んでいたり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。不審な電子メールが送られてきた場合には安易に開いたり、添付されているプログラムを実行せずに削除してください。

また、できるだけインターネットサービスプロバイダなどに報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。

## 情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、インターネットに接続しているコンピュータの情報などが漏れてしまう可能性があります。

悪意を持った人たちの標的になりやすいため対応することが必要です。

ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。

電子メールは完全な機密性があるわけではありません。送信する内容にはご注意ください。

### 💡 OS とは

「オペレーティングシステム」の略称で、「オーエス」と読みます。

リソースなど、コンピュータ全体を管理し、コンピュータを操作するのに必要な基本ソフトウェアです。本機で使用しているOSはWindows XPです。

## インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないようにご注意ください。プライバシー情報がもれる可能性があります。

注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。できるだけ信頼できるところを利用するなどの注意が必要です。

## その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアによっては国際電話やダイヤルQ2などに接続してしまうものもあります。知らない間に接続してしまい、課金されている場合がありますのでご注意ください。

- インターネット上での個人の情報の公開には細心の注意を払いましょう。
- 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

# インターネットに接続するまでの流れ

インターネットを利用してホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、本機をインターネットに接続する必要があります。

以下のステップに入る前に次の点を確認してください。

- 本機が正しく電話回線につながっているか( 39 ページ )
- お使いの電話回線がトーン式ダイヤル、パルス式ダイヤルのどちらか ISDN回線をご利用の場合はNTT( 局番なしの116番 )にご相談ください。

以下の流れに従ってインターネットに接続します。詳しくは、各手順の参照ページをご覧ください。

## ご注意

「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみインターネットに接続するための設定を行うことができます。

## 1

### プロバイダと契約しましょう( 104ページ )

プロバイダと契約します。

契約すると、インターネット接続に必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。



## 2

### チェックシートを作成しましょう( 113ページ )

プロバイダから郵送されてきた資料をもとに、チェックシートを作成します。資料の内容など、インターネット接続の設定の際の不明点については、契約したプロバイダにお問い合わせください( 112ページ )。



## ご注意

郵送されてくるまでしばらく時間がかかります。

### 3

#### 接続のための設定をしましょう(117ページ)

チェックシートをもとに、本機を使ってインターネットに接続するための設定をします。



### 4

#### 電子メールソフトウェアの設定をしましょう(130ページ)

電子メールを使うときは電子メールを使うための設定をします。



### 5

#### インターネットに接続してみましよう(135ページ)

契約したプロバイダに接続します。



## インターネットに接続したあとは

ホームページを見てみましょう(138ページ)

ホームページを見る練習をします。



電子メールをやりとりしてみましょう(145ページ)

電子メールをやりとりする練習をします。



### 1 プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。

数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分にあったプロバイダと契約することをおすすめします。料金やサービスの内容について詳しくは、105ページからの手順に従って操作し、「DION」の紹介画面や各プロバイダの紹介画面の説明をご覧ください。

#### ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

プロバイダと契約するには、オンラインサインアップを使うと便利です。

 オンラインサインアップとは

電話回線を通じてプロバイダと契約することです。

107ページからの手順に従って、オンラインサインアップを始めましょう。

#### ご注意

オンラインサインアップソフトウェアによっては、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーしか使えない場合があります。どのプロバイダのオンラインサインアップソフトウェアでも使えるように「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてください。

## プロバイダとWindows XPのユーザー制限

プロバイダ	ユーザー制限
AOL	制限ユーザー以上
BIGLOBE	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
DION	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
@nifty	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
OCN	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
ODN	制限ユーザー以上
So-net	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
バイオネットワークサービス	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ
ぷらら	「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーのみ

各プロバイダについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の「VAIOの楽しみかた」をクリックして、「付属ソフトウェアの一覧」 「コミュニケーション」の順にクリックして表示される情報をご覧ください。か、「付属ソフトウェアについて」 (286ページ) をご覧になり、各お問い合わせ先へお問い合わせください。

また、上記以外のプロバイダと契約するときは、契約するプロバイダにWindowsのユーザー制限についてお問い合わせください。

# 1

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして、[ **ここから始めようVAIO!** ] をクリックする。



ここをクリックする。

「VAIOスタートパネル」の画面が表示されます。

# 2

[ **インターネット接続サービスご紹介** ] をクリックする。



ここをクリックする。

インターネット接続サービス「DION」の説明が表示されます。

ここからは、入会したいプロバイダに応じて操作してください。

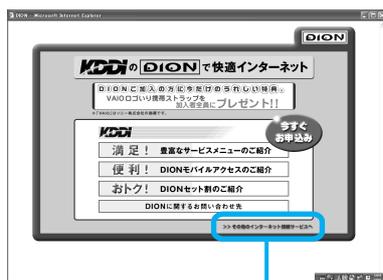
DIONに入会したいときは：

次ページの「DIONにオンラインサインアップするには」をご覧ください。

その他のプロバイダに入会したいときは：

[ その他のインターネット接続サービス ] をクリックしてください。

「インターネット接続サービスご紹介」画面が表示されます。



ここをクリックする。



この後の手順については、「DION以外のプロバイダにオンラインサインアップするには」(112ページ)をご覧ください。

## DIONにオンラインサインアップするには

ここでは、実際にDIONにオンラインサインアップします。

以下の手順に従って操作してください。

### 💡 ちょっと一言

下記の画面は、2001年11月現在のもので、実際の画面とは異なる場合がありますのでご了承ください。

# 1

**「今すぐお申し込み」** をクリックする。

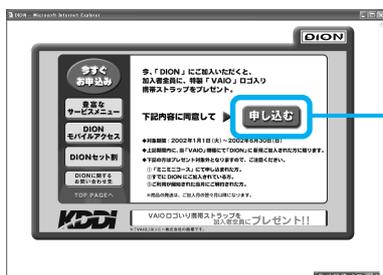


ここをクリックする。

DIONの紹介画面が表示されるので、特典や各プランの内容やその他のサービス内容について確認します。

# 2

DIONの紹介画面の **「申し込み」** をクリックする。



ここをクリックする。

「KDDIのDIONで快適インターネット」画面が表示されます。

# 3

**「今すぐお申し込み」** をクリックする。



ここをクリックする。

「KDDIのインターネット接続サービス「DION」へようこそ」画面が表示されます。

## 4

画面に表示された利用規約の内容を確認の上、**次へ** をクリックする。

「KDDIのインターネット接続サービスDIONのお申込みを開始します。」画面が表示されます。

## 5

[ DIONダイヤルアップのお申込み ]の  をクリックして  にして、**次へ** をクリックする。



「総合オープン通信網サービス契約約款」画面が表示されます。

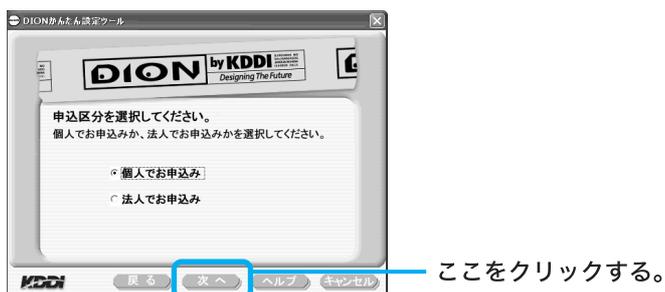
## 6

画面の内容を確認の上、**次へ** をクリックする。

「申込区分を選択してください。」画面が表示されます。

## 7

[ 個人でお申込み ]または[ 法人でお申込み ]のどちらかの  をクリックして  にして、**次へ** をクリックする。



「お客様のお名前を入力してください。」画面が表示されます。

# 8

## お客様の情報を入力する。

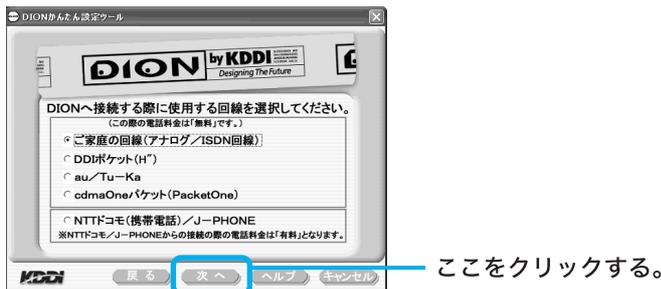
お客様の名前、郵便番号、住所、電話番号を表示される画面に従って入力して **次へ** をクリックしてください。



「DIONへ接続する際に使用する回線を選択してください。」画面が表示されます。

# 9

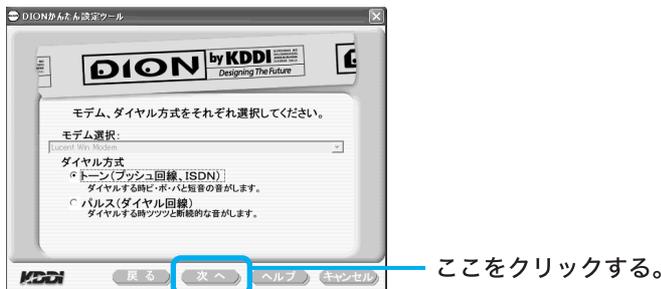
## 使用される回線の をクリックして にして、**次へ** をクリックする。



「モデム、ダイヤル方式をそれぞれ選択してください。」画面が表示されます。

# 10

## 「ダイヤル方式」の ( トーン(プッシュ回線、ISDN) ) または ( パルス(ダイヤル回線) ) の をクリックして にして、**次へ** をクリックする。

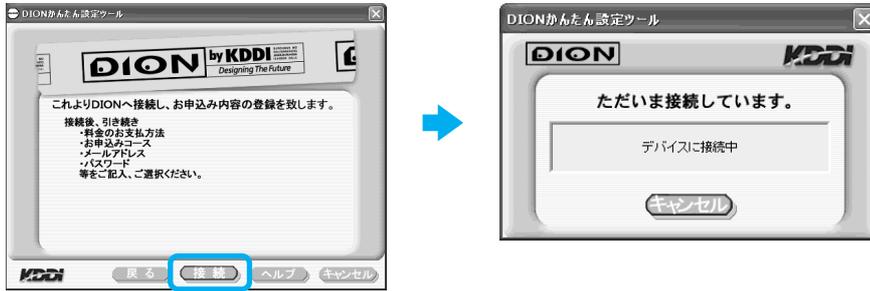


「これよりDIONへ接続し、お申込み内容の登録を致します。」画面が表示されます。

# 11

**接続** をクリックする。

「ただいま接続しています。」画面が表示されます。



ここをクリックする。

接続が完了すると「DIONお申込み画面」が表示されます。

# 12

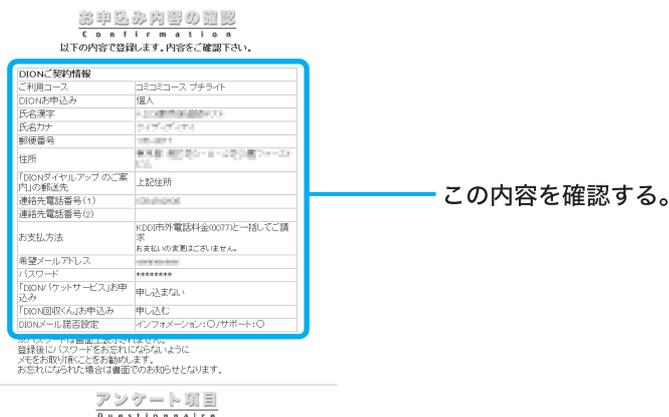
画面の「エントリーコード」が「6020210MV005012」であることを確認し、画面をスクロールして手順8で入力したお客様情報を確認の上、「お支払い方法」「お申込みコース」「メールアドレス」等を入力する。入力内容を確認して **OK** をクリックする。



「お申込み内容の確認」画面が表示されます。

# 13

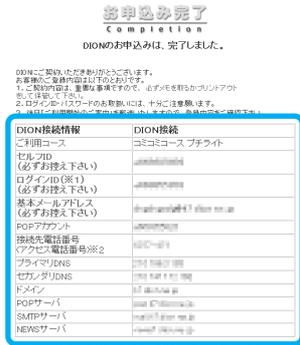
画面の内容を確認し、画面をスクロールして **OK** をクリックする。



「お申込み完了」画面が表示されます。

# 14

表示された登録内容をメモに取り、画面をスクロールして「自動設定」をクリックする。



この部分の内容をメモに取る。

「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

# 15

「開く」をクリックする。



ここをクリックする。

これでDIONとの契約が完了しました。

## DION以外のプロバイダにオンラインサインアップするには

お好みのプロバイダのアイコンをクリックして、入会する手続きを開始します。

画面の指示に従って操作してください。



お好みのプロバイダのアイコンをクリックする。

 プロバイダとの契約後にインターネット接続を手動で設定する、またはLAN(ネットワーク)を使って接続するときは

「インターネット接続サービスご紹介」画面右下の「こちらへ」をクリックします。

「インターネット接続ウィザード」画面が表示されるので、郵送されてきた資料の設定情報をご覧になり、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

 入会手続きをしない、または後でするときは

「インターネット接続サービスご紹介」画面右上の をクリックします。

入会手続きが終わると、インターネットが使えるようになります。

## プロバイダと契約したあとは

契約後はプロバイダから契約内容とインターネットに接続するために必要な情報が記載された資料がお手元に郵送されてくるまでお待ちください。

すぐにインターネットに接続したいときは、契約するプロバイダにご相談ください。

各プロバイダについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の「VAIOの楽しみかた」をクリックして、「付属ソフトウェアの一覧」「コミュニケーション」をクリックして表示される情報をご覧いただくか、「付属ソフトウェアについて (286ページ)」をご覧ください。

## 2 チェックシートを作成する

プロバイダと契約を結ぶと、通常、インターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。

その資料をもとにインターネットに接続するための設定をします。

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になりながら、下記のチェックシートをあらかじめ作成しておく、「接続のための設定をする」(117ページ)および「電子メールソフトウェアの設定をする」(130ページ)の手順でインターネットに接続するための設定が簡単になります。

114ページからの説明に従ってチェックシートの各項目をご記入ください。

### ご注意

- このチェックシートに書き込む内容は、あなたの個人情報です。取り扱いには十分ご注意ください。
- このチェックシートは、将来、再度設定し直さなければならないときなどにも活用できますので、この説明書は大切に保管しておいてください。
- 他人にご自分のパスワードなどの情報がもれないようにご注意ください。パスワードは、他人に自分の名前を使われたり、電子メールを読まれたりしないようにするためのものです。できるだけ紙に書き留めず、記憶しておくことをおすすめします。
- 「④パスワード(PPP)」はプロバイダに電話回線を通じて接続できるようにするためのパスワードです。「⑭パスワード(POPアカウントパスワード)」は電子メールを受信できるようにするためのパスワードです。これらのパスワードは両方とも同じでも、別々でもかまいません。(プロバイダによって、自由に設定できる場合と、プロバイダが規定する場合があります。)

### 💡 ちょっと一言

- 他人に見られることがないように、このページを複写したうえで各項目を記入し、厳重に保管することをおすすめします。
- 複写した紙に記入しておく、117ページからの設定を行うときに便利です。

設定項目	あなたの設定値	例( So-netの場合 )
①ダイヤルアップ接続名		So-net東京第16
②電話番号(アクセスポイント)		03-5792-9060
③ユーザー名(PPP)		ichiro@aa2
④パスワード(PPP)		
⑤市外局番		03
⑥トーン/パルス(電話回線の種類)		
⑦DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)	. . .	202.238.95.24
⑧別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)	. . .	202.238.95.26
⑨表示名(差出人フィールドでの表示)		Ichiro Suzuki
⑩電子メールアドレス	@	ichiro@aa2.so-net.ne.jp
⑪受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー		pop.aa2.so-net.ne.jp
⑫送信メール(SMTP)サーバー		mail.aa2.so-net.ne.jp
⑬POPアカウント名		ichiro
⑭パスワード(POPアカウントパスワード)		
⑮インターネットメールアカウント名		ichiro@aa2.so-net.ne.jp

記入内容がわからないときは契約したプロバイダにお問い合わせください。

## 💡 ちょっと一言

「⑦DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)」、「⑧別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)」、「⑩受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー」、「⑫送信メール(SMTP)サーバー」は、プロバイダによっては設定しなくてよいことがあります。

## 設定項目について

### ① ダイヤルアップ接続名

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして、[コントロールパネル][ネットワークとインターネット接続][ネットワーク接続]の順にクリックして表示される接続名です。

お好みの名前をご記入ください。

例:So-net東京第16

### ② 電話番号(アクセスポイント)

プロバイダから送られてきた資料をご覧になり、プロバイダのアクセスポイントの電話番号(接続先の電話番号)をご記入ください。アクセスポイントは「V.90」に対応しているものをお選びになると、より高速な通信ができます。

例:03-5792-9060

#### 💡 アクセスポイントとは

一般加入電話からインターネットに接続するために、プロバイダが設けている接続地点のことです。インターネットの利用者は接続地点までの電話料金を負担する必要があるため、利用地点からより近いアクセスポイントで接続の方が通話料は少なくて済みます。

#### ご注意

ここで記入する電話番号はご自分の電話番号ではありませんのでご注意ください。

- 電話番号は必ず市外局番からご記入ください。
- ISDN回線をお使いの場合やPHSを使ってインターネットに接続するときは、電話番号が異なる場合があります。詳しくは契約したプロバイダにお問い合わせください。

### ③ ユーザー名(PPP)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するとき使用するユーザー名をご記入ください。

例:ichiro@aa2

#### 💡 ちょっと一言

ユーザー名は「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」などともいいます。

#### 💡 PPPとは

「Point to Point Protocol」の略で、ネットワークに接続する方法の1つです。

電話による接続が一般的なことからダイヤルアップ接続とも呼ばれています。

#### ④ パスワード( PPP )

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するとき  
に使用する、ユーザー名に対するパスワードを記入します。

##### 💡 ちょっと一言

- このパスワードは「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」などともいいます。
- パスワードの入力は、一般的に半角の英数字や記号などを使います。

##### 💡 ダイヤルアップ接続とは

電話回線を通じてインターネットに接続することです。

#### ⑤ 市外局番

ご自分の電話番号の市外局番をご記入ください。

例:03

#### ⑥ トーン / パルス( 電話回線の種類 )

お使いの電話回線のダイヤル方法がトーン式かパルス式か確認してご記入ください。

トーン式:

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」と音がしない電話機の  
ダイヤル方法です。

パルス式:

ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」  
と音がする電話機のダイヤル方法です。パルス式ダイヤルの場合、ダイヤルボタンを押す  
と受話器から電子音が聞こえるものもあります。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送られてくる  
請求内訳表をご覧ください。

請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回  
線(基本)使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。

電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT(局番なしの116番)などの電話会社にお問い合わせ  
ください。

#### ⑦ DNSサーバーアドレス( プライマリ DNS )

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、ご記入ください。

例:202.238.95.24

##### 💡 ちょっと一言

- DNSサーバーは「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ド  
メインネームサーバー」ともいいます。
- この項目が必要ないプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧にな  
るか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

#### ⑧ 別のDNSサーバーアドレス( セカンダリ DNS )

「⑦DNSサーバーアドレス」以外のアドレスがプロバイダから郵送されてきた資料に書かれて  
いる場合はご記入ください。

DNSサーバーアドレスは1つだけのプロバイダもあります。この場合は、「⑧別のDNSサー  
バーアドレス」は空欄のままかまいません。

例:202.238.95.26

## ⑨ 表示名( 差出人フィールドでの表示 )

あなたが送る電子メールの差出人欄に表示する名前をお好みでご記入ください。通常はご自分の名前のフルネームにします。

例: Ichiro Suzuki

### ちょっと一言

この表示名は全角の漢字でも良いですが、日本語圏以外の相手に電子メールを送ることが多い方は半角のアルファベットにすることをおすすめします。こうすることによって電子メールを送った相手には「Ichiro Suzuki<ichiro@aa2.sonet.ne.jp>」などと表記されます。

## ⑩ 電子メールアドレス

電子メールをやりとりするときのあなたの宛先をご記入ください。

プロバイダから郵送されてきた資料には「xxxxx@xxxx.xx.xx」と記載されています。電子メールアドレスは、あなたの住所と同じ役割をします。

例: ichiro@aa2.so-net.ne.jp

### ちょっと一言

電子メールアドレスは、「E-Mailアドレス」、「Mailアドレス」、「メールアドレス」などともいいます。

## ⑪ 受信メール( POP3、IMAPまたはHTTP )サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを受け取るサーバーのアドレスをご記入ください。受信メールサーバーは、郵便局のような役割をします。受信メールサーバーからあなたの電子メールアドレスに電子メールが送られます。

例: pop.aa2.so-net.ne.jp

### ちょっと一言

- 受信メールサーバーは、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」、「POP3」などともいいます。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

## ⑫ 送信メール( SMTP )サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを送信するサーバーのアドレスをご記入ください。送信メールサーバーも郵便局のような役割をします。あなたが送った電子メールを受け取り、送り先の電子メールアドレスに送ります。

例: mail.aa2.so-net.ne.jp

### ちょっと一言

- 送信メールサーバーは「メールサーバー」、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」、「SMTP」などともいいます。「⑩ 受信メールサーバー」と同じ場合もあります。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

### 13 POPアカウント名

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名をご記入ください。「10 電子メールアドレス」の「@ (アットマーク)より前の部分を記入します。電子メールを見るためには、このアカウント名と「14 パスワード」の両方が必要になります。

例:「ichiro@aa2.so-net.ne.jp」が電子メールアドレスなら、POPアカウント名は「ichiro」になります。

#### ちょっと一言

POPアカウント名は「メールアカウント名」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POPサーバーアカウント」、「POPサーバーログイン名」ともいいます。「3 ユーザー名」と同じ場合もあります。

### 14 パスワード(POPアカウントパスワード)

受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名に対するパスワードを半角の英数字でご記入ください。

電子メールを見るためには、「13 POPアカウント名」とこのパスワードの両方が必要になります。

#### ちょっと一言

このパスワードは、「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」などともいいます。

### 15 インターネットメールアカウント名

お好みの名前をご記入ください。わかりやすいように電子メールアドレスを入れることをおすすめします。

例:ichiro@aa2.so-net.ne.jp

## 3 接続のための設定をする

□ 一般電話回線で接続される方は、このままお進みください。

□ ADSL(PPPoE)を使ってインターネットに接続する場合は、「ADSLでインターネットに接続するには(126ページ)をご覧ください。

「チェックシートを作成する(113ページ)で作成したチェックシートをご覧になりながら、各項目に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。以下の手順に従って操作してください。

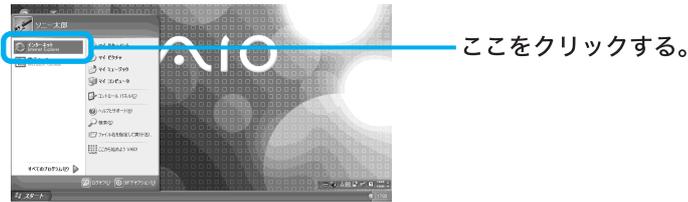
# 1

本機の電源を入れる。

電源の入れかたについては、「電源を入れる(58ページ)をご覧ください。

## 2

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックし、[ インターネット ] をクリックする。



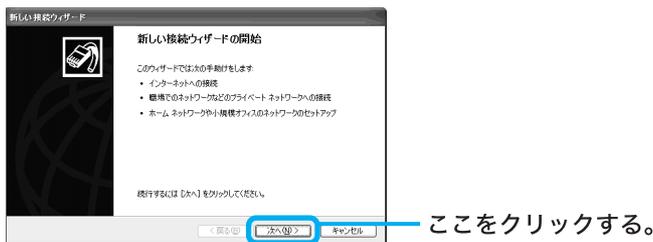
「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

 「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されないときは

接続のための設定が終わったあとは **スタート**、[ インターネット ] の順にクリックすると、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動するようになります。もう1度「新しい接続ウィザード」を表示させたいときは、デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [ すべてのプログラム ] にポインタを合わせ、[ アクセサリ ] [ 通信 ] [ 新しい接続ウィザード ] の順にクリックします。

## 3

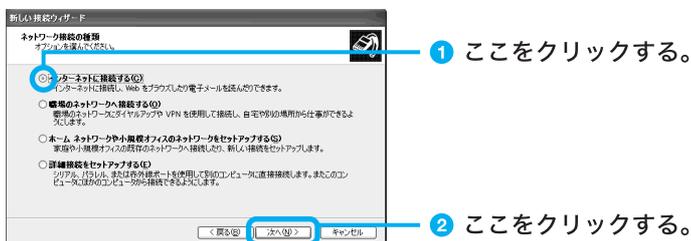
**次へ(N) >** をクリックする。



「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

## 4

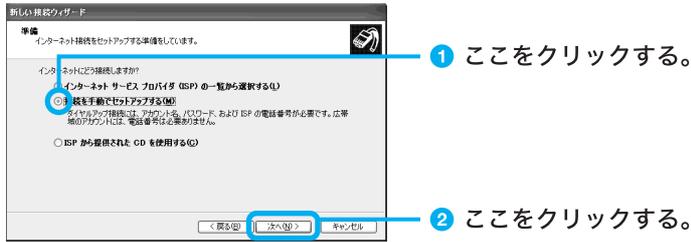
[ インターネットに接続する ] の  をクリックして  にし、**次へ(N) >** をクリックする。



「準備」画面が表示されます。

# 5

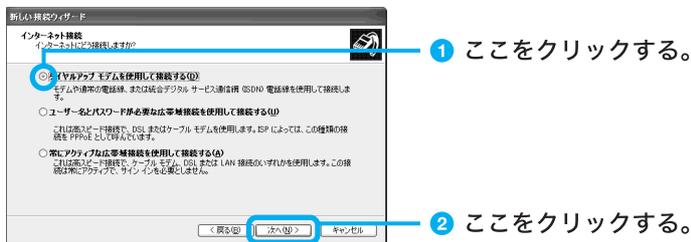
[ 接続を手動でセットアップする ] の○をクリックして●にし、  
次へ(N) > をクリックする。



「インターネット接続」画面が表示されます。

# 6

[ ダイヤルアップモデムを使用して接続する ] の○をクリックして●にし、  
次へ(N) > をクリックする。



「接続名」画面が表示されます。

# 7

「ISP名 (ダイヤルアップ接続名)」を入力し、  
次へ(N) > をクリックする。



「ダイヤルする電話番号」画面が表示されます。

# 8

アクセスポイントの電話番号を入力し、  
次へ(N) > をクリックする。



「インターネットアカウント情報」画面が表示されます。

# 9

ユーザー名とパスワードを入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、**次へ(N) >** をクリックする。



チェックシートの③ユーザー名 (PPP) を入力する。

チェックシートの④パスワード (PPP) を入力する。

ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

## 💡 ちょっと一言

「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「\*」で表示されます。

# 10

**完了** をクリックする。

「新しい接続ウィザード」が終了します。

## 💡 ちょっと一言

「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。

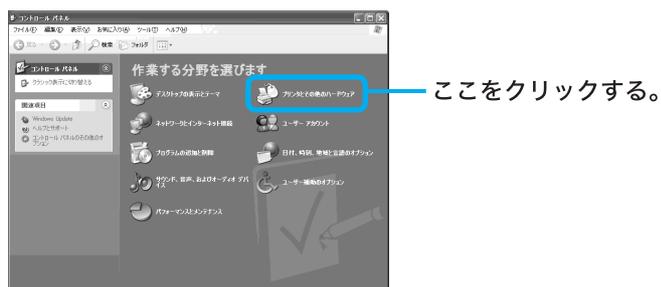
# 11

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして、[ **コントロールパネル** ] をクリックする。



「コントロールパネル」画面が表示されます。

## 12 [プリンタとその他のハードウェア] をクリックする。



「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

### 💡 ちょっと一言

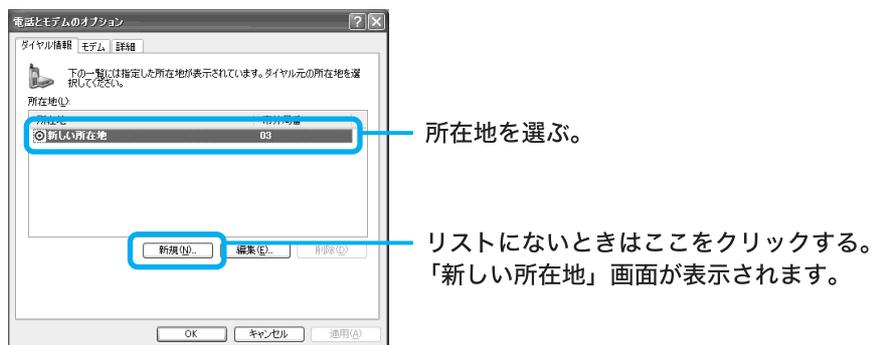
手順12および13の画面での操作はお買い上げ時の状態のものです。

## 13 [電話とモデムのオプション] をクリックする。



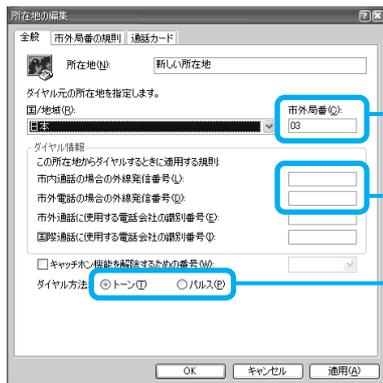
「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

## 14 設定されている所在地をクリックして選び、**編集(E)...** をクリックする。



「所在地の編集」画面が表示されます。

## 15 各項目を以下のように設定し、**OK** をクリックする。



チェックシートの⑤市外局番。  
ダイヤル元の市外局番を半角の数字で入力する。

外線発信番号が必要な場合は「0」と入力する。

チェックシートの⑥トーン/パルス（電話回線の種類）を選ぶ。

## 16 「電話とモデムのオプション」画面の **OK** をクリックする。

## 17 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [ 接続 ] にポインタを合わせ、[ すべての接続の表示 ] をクリックする。



ここをクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

### 💡 ちょっと一言

以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます（お買い上げ時のウィンドウの設定の場合）。

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして、[ コントロールパネル ] をクリックする。表示された「コントロールパネル」画面で [ ネットワークとインターネット接続 ] アイコンをクリックする。表示された「ネットワークとインターネット接続」画面で [ ネットワーク接続 ] アイコンをクリックする。

# 18

ダイヤルアップ接続(チェックシート①)のアイコンをダブルクリックする。

So-net の例では [ So-net ] をダブルクリックします。



ここをダブルクリックする。

「So-netへ接続」画面が表示されます。

## 💡 ちょっと一言

手順10で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておく、デスクトップ画面にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。これをダブルクリックして、手順19に進むこともできます。

# 19

プロパティ(P) をクリックする。

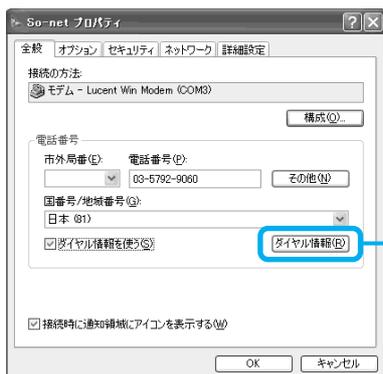


ここをクリックする。

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が表示されます。

# 20

[ダイヤル情報を使う]のをクリックしてにし、**ダイヤル情報(R)**をクリックする

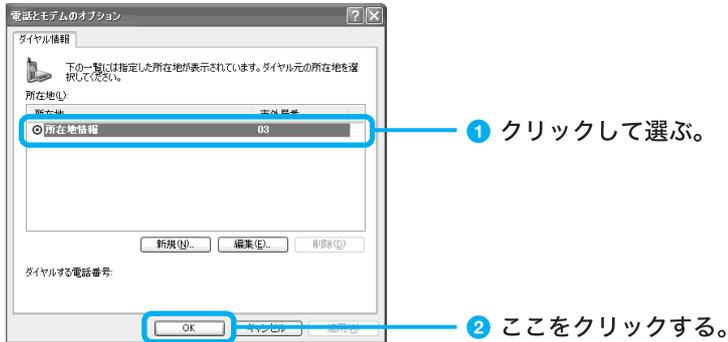


ここをクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

# 21

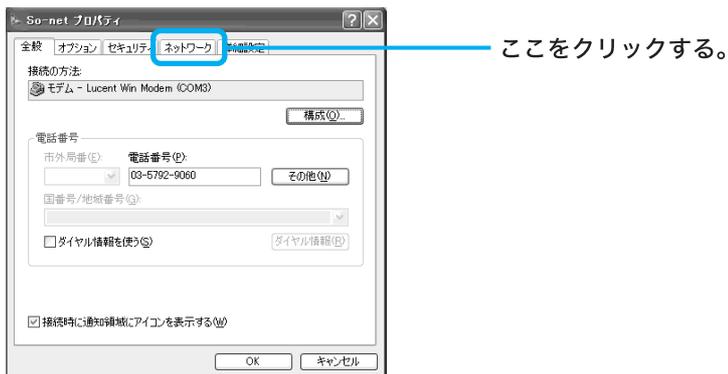
複数の所在地があるときは、「所在地」から設定されている所在地をクリックして選び、**OK** をクリックする。



手順22～25は、チェックシートに⑦DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)および⑧別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)を記入した場合(プロバイダから郵送されてきた資料にDNSサーバーアドレスが記入されている場合)のみ、操作を行ってください。

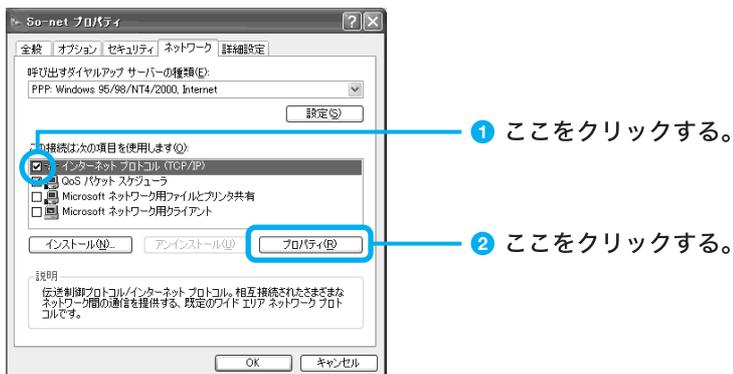
# 22

[ ネットワーク ] タブをクリックする。



# 23

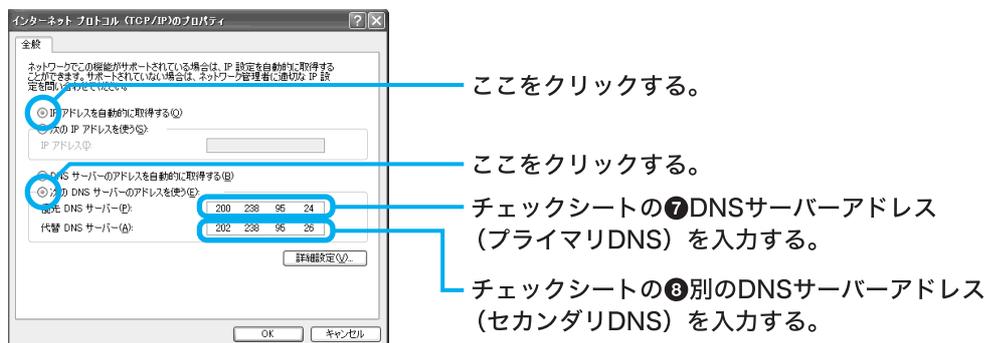
「この接続は次の項目を使用します」で「インターネットプロトコル(TCP/IP)」の  をクリックして  にし、**プロパティ(P)** をクリックする。



「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が表示されます。

## 24 各項目を以下のように設定する。

- [ IPアドレスを自動的に取得する ]をクリックする。
- [ 次のDNSサーバーのアドレスを使う ]をクリックし、DNSサーバーアドレスを入力する。



### 💡 ちょっと一言

「⑦DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)」と「⑧別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)」は同じ場合があります。このときは「代替DNSサーバー」には入力する必要はありません。

## 25 OK をクリックする。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が閉じます。

## 26 ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面で OK をクリックする。

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が閉じます。

## 27 「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面で キャンセル をクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が閉じます。

これでインターネット接続のための設定は終わりです。

## ADSLでインターネットに接続するには

ADSL、またはケーブルモデム( ケーブルテレビ回線 )で PPPoE を使用してインターネットに接続するには、下記の手順に従って操作してください。

1

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックし、[ **コントロールパネル** ]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

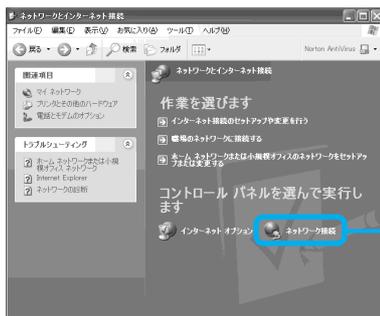
2

「コントロールパネル」画面で[ **ネットワークとインターネット接続** ]をクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

3

「ネットワークとインターネット接続」画面で[ **ネットワーク接続** ]をクリックする。



ここをクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

# 4

「ネットワーク接続」画面の「ネットワークタスク」から[新しい接続を作成する]をクリックする。



ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

# 5

「新しい接続ウィザードの開始」画面で[次へ(N) >]をクリックする。

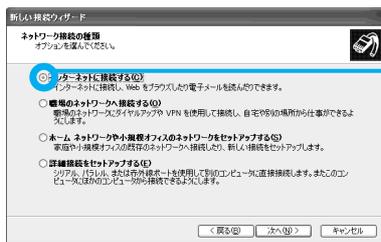


ここをクリックする。

「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

# 6

「ネットワーク接続の種類」画面で[インターネットに接続する]の○をクリックして●にし、[次へ(N) >]をクリックする。

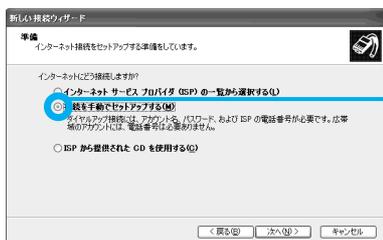


ここをクリックする。

「準備」画面が表示されます。

# 7

「準備」画面で「接続を手動でセットアップする」の○をクリックして●にし、「次へ(N) >」をクリックする。

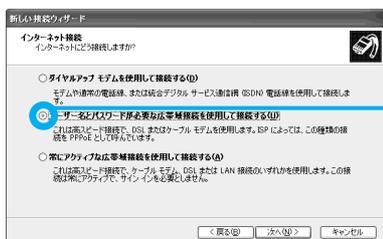


ここをクリックする。

「インターネット接続」画面が表示されます。

# 8

「インターネット接続」画面で「ユーザー名とパスワードが必要な広帯域接続を使用して接続する」の○をクリックして●にし、「次へ(N) >」をクリックする。



ここをクリックする。

「接続名」画面が表示されます。

# 9

「接続名」画面で「ISP 名」にご契約のADSL接続業者の名前を入力し、「次へ(N) >」をクリックする。

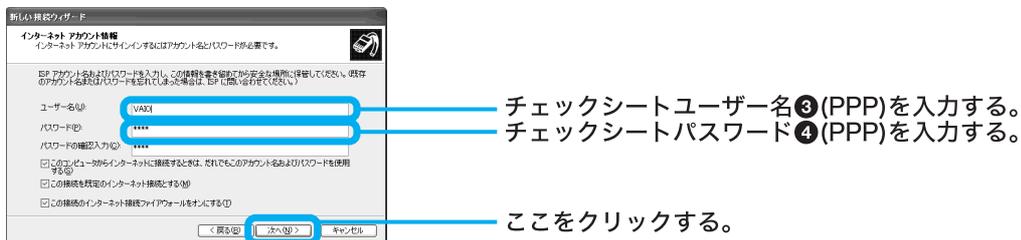


ご契約のADSL接続の名前を入力する。

ここをクリックする。

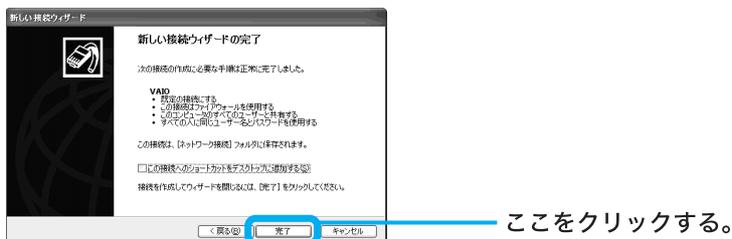
「インターネットアカウント情報」画面が表示されます。

**10** 「インターネットアカウント情報」画面で、ユーザー名、パスワードをご契約のADSL接続業者から指定されている情報で入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、**次へ(N) >** をクリックする。



「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

**11** **完了** をクリックする。



「新しい接続ウィザードの完了」画面が閉じます。

これでADSL、またはケーブルモデム(ケーブルテレビ回線)でPPPoEを使用してインターネットに接続するための設定は終わりです。

## 4 電子メールソフトウェアの設定をする

電子メールのやりとりを正しく行えるようにするための設定を行います。

ここでは、本機に付属の電子メールソフトウェア「Outlook Express」\*を例に電子メールをやりとりするための設定をしていきます。

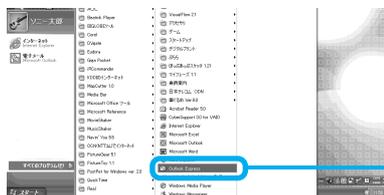
\* 本書で使われている「Outlook Express」ソフトウェアの画面のイラストは、本機にインストールされているバージョンです。

### 💡 ちょっと一言

「Outlook Express」ソフトウェアの設定は1度行えば、2回目以降の起動時には不要です。

## 1

デスクトップ画面左下の「スタート」をクリックし、[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Outlook Express]をクリックする。



ここをクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動し、インターネット接続ウィザードの「名前」画面が表示されます。

## 2

表示したい名前を入力し、「次へ(N) >」をクリックする。



チェックシート中の⑨表示名（差出人フィールドでの表示）を入力する。

ここをクリックする。

「インターネット電子メールアドレス」画面が表示されます。

## 3

電子メールアドレスを入力して、「次へ(N) >」をクリックする。



チェックシート中の⑩電子メールアドレスを入力する。

ここをクリックする。

「電子メールサーバー名」画面が表示されます。

# 4

受信メールサーバーと送信メールサーバーの名前を入力し、**次へ(N) >** をクリックする。



- 通常「POP3」を選ぶ。
- チェックシートの⑪受信メール (POP3、IMAP またはHTTP) サーバーを入力する。
- チェックシートの⑫送信メール (SMTP) サーバーを入力する。
- ここをクリックする。

「インターネットメールログオン」画面が表示されます。

## 💡 ちょっと一言

「⑪受信メール (POP3、IMAP またはHTTP) サーバー」の名前と「⑫送信メール (SMTP) サーバー」の名前は同じ場合があります。

# 5

POPアカウント名とパスワードを入力し、**次へ(N) >** をクリックする。



- チェックシートの⑬POPアカウント名を入力する。
- チェックシートの⑭パスワード (POPアカウントパスワード) を入力する。
- ここをクリックする。

「設定完了」画面が表示されます。

## 💡 ちょっと一言

- 「パスワード」は「\*」で表示されます。
- 「パスワードを保存する」の  をクリックして  にすると、実際にインターネットに接続するときの「接続」画面 (135ページ) の手順2) でパスワードを入力する手間が省けます。

# 6

**完了** をクリックする。



ここをクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアの設定が完了します。

## ご注意

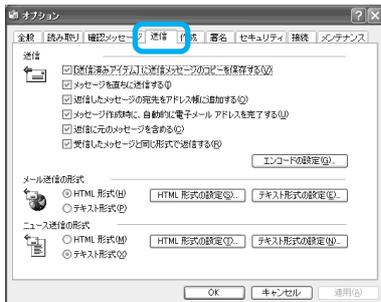
**完了** をクリックしたあと、その他の画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作してください。

## 💡 ちょっと一言

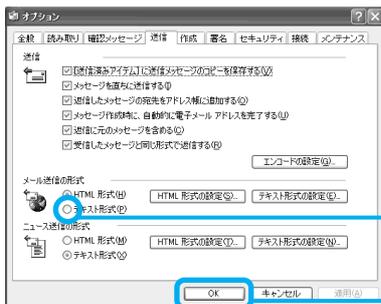
「Outlook Express」ソフトウェアで作成したメッセージは初期設定でHTML形式になります。HTML形式に対応していない電子メールソフトウェアを使っている相手にHTML形式のメッセージを送ると、相手側が正しく受け取れないことがあります。メッセージはテキスト形式で送ることをおすすめします。

メッセージをテキスト形式で送るように設定するには、以下の手順に従ってください。

- 1 「Outlook Express」画面上部の「ツール」をクリックし、表示されるメニューから「オプション」をクリックする。  
「オプション」画面が表示されます。
- 2 「送信」タブをクリックする。  
「送信」画面が表示されます。



- 3 「メール送付の形式」で「テキスト形式」をクリックし、「OK」をクリックする。  
送信するメッセージがテキスト形式になります。



① ここをクリックする。

② ここをクリックする。

電子メールをテキストのみで送りたいときも同様の設定でお使いください。

## 💡 HTML とは

ホームページを作成するためのページ記述言語のことです。

# 7

画面右上の「閉じる」ボタンをクリックする。



ここをクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

## 💡 ちょっと一言

電子メールのアカウントを追加するなど、もう1度「インターネット接続ウィザード」を表示させたいときは、「Outlook Express」画面で「ツール」をクリックし、「アカウント」をクリックします。表示される「インターネットアカウント」画面で「追加」をクリックし、「メール」タブをクリックします。

# 電子メールの設定を変更するには

チェックシートの「15 インターネットメールアカウント名」は、下記の方法で変更できます。

## 1

「Outlook Express」画面で、「ツール」をクリックする。



ここをクリックする。

「ツール」メニューが表示されます。

## 2

「アカウント」をクリックする。

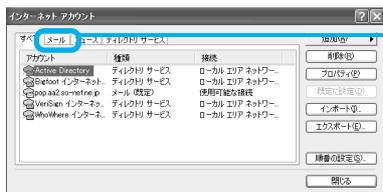


ここをクリックする。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

## 3

「メール」タブをクリックする。

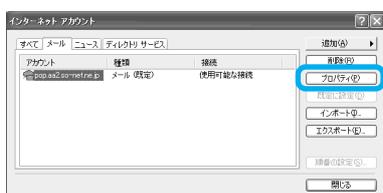


ここをクリックする。

「メール」画面が表示されます。

## 4

「プロパティ」をクリックする。

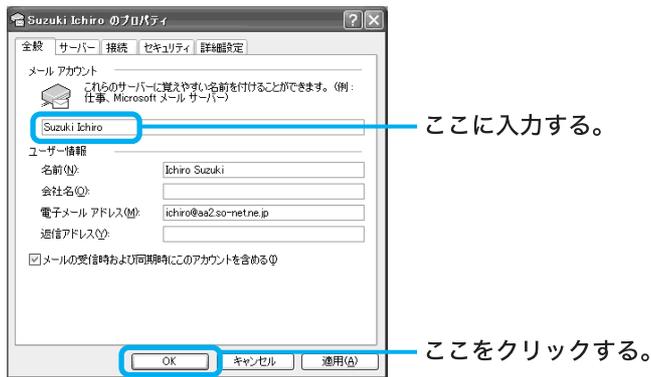


ここをクリックする。

プロパティ画面が表示されます。

# 5

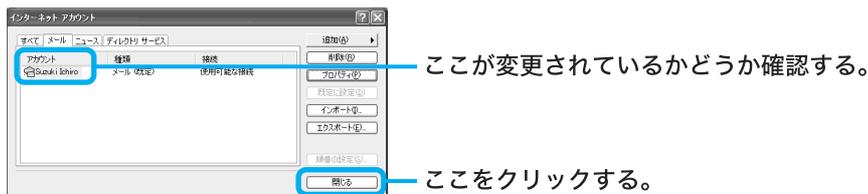
「pop.aa2.so-net.ne.jp」と反転表示されている部分を変更し  
OK をクリックする。



ここでは「Suzuki Ichiro」と入力してみます。

# 6

名前を変更した場合は、変更されているか確認して、閉じる をクリックする。



# 7

「Outlook Express」画面で右上の✕(「閉じる」ボタン)をクリックする。



「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

## 5 インターネットに接続する

契約したプロバイダのインターネットサーバーに一般電話回線を使用して接続するには、以下の手順に従って操作してください。

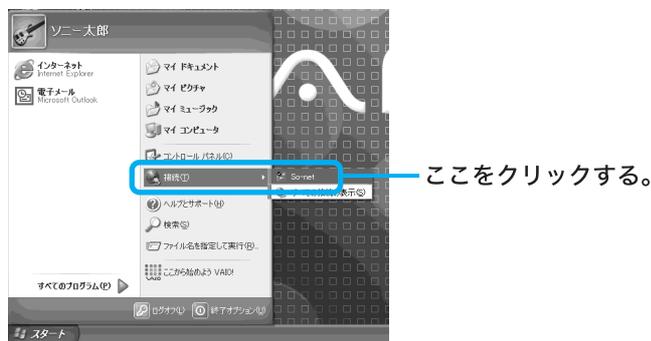
### 💡 インターネットサーバーとは

常時インターネットに接続され、アクセス可能なコンピュータのことです。ホームページ・サーバー、メールサーバーなどがあります。

## 1

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックし、[ 接続 ] [ ダイアルアップ接続名( チェックシートの ❶ ) ] の順にクリックする。

下の例では [ So-net ] をクリックします。

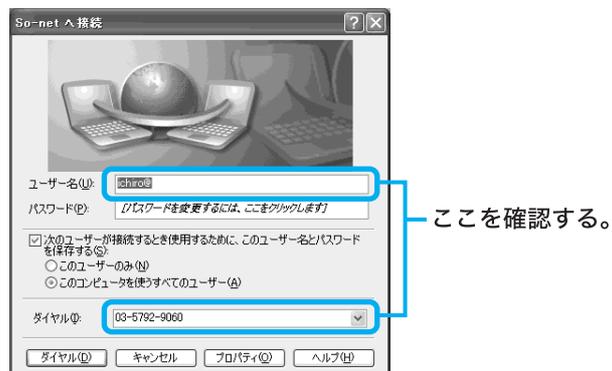


「接続」画面が表示されます。

## 2

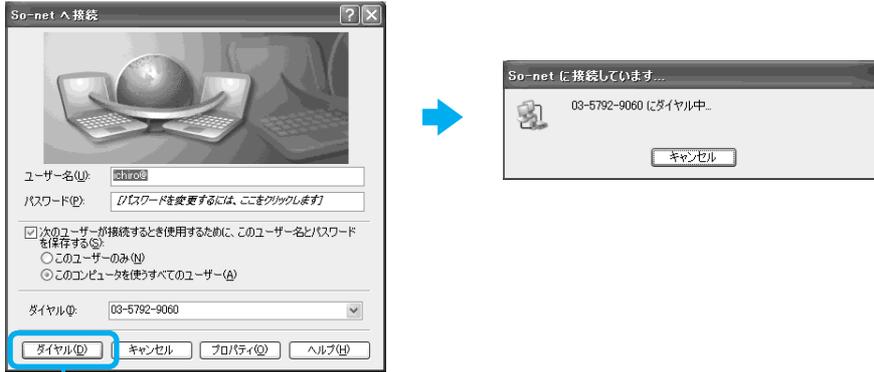
「接続」画面の各項目を入力または確認する。

- ❶ ユーザー名( チェックシートの ❸ )と電話番号( チェックシートの ❷ )が正しいか確認する。



2 **ダイヤル(D)** をクリックする。

プロバイダのインターネットサーバーに接続します。



ここをクリックする。

「現在(ダイヤルアップ接続名)に接続しています。」画面が表示されたときは、

**OK** をクリックします。

**OK** をクリックする前に「今後、このメッセージを表示しない」の  をクリックして  にしておけば、次回からこの画面は表示されません。

デスクトップ画面右下には  が表示されます。

これで、接続は完了です。

インターネットに接続しているときは、常にデスクトップ画面右下に  が表示されま

す。

ホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、次ページ以降をご覧ください。

接続を切断するときは:(137ページ)の「接続を切断するには」をご覧ください。  
接続できなかった場合は:「困ったときは」の「モデム/インターネット(188ページ)」をご覧ください。

パスワード(チェックシートの④)を変更するには

手順2の「接続」画面で「パスワード」に新しいパスワードを入力します。



**ご注意**

「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」の  をクリックして  にし、ユーザーの種類を選ぶと、パスワードを保存することができ、次回からパスワードを入力する手間が省けます。しかし、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがありますのでご注意ください。

 ちょっと一言

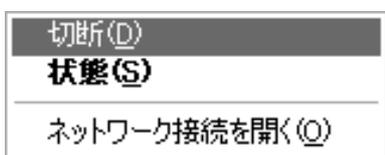
- 「パスワード」(チェックシートの④パスワード(PPP))は「\*」で表示されます。
- 「パスワード」の入力欄は、「電子メールソフトウェアの設定をする」(130ページ)の手順5で「パスワードを保存する」のをクリックしてにしておくとう入力された状態が表示されます。

## 接続を切断するには

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また「Microsoft Internet Explorer」や「Outlook Express」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。操作を行わないときや操作が終わった後などは、インターネットの接続を切断します。

接続を切断するには、以下の3つの方法があります。

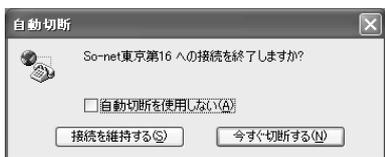
- デスクトップ画面右下のを右クリックして表示されるメニューから「切断」をクリックする。



- デスクトップ画面右下のをダブルクリックして表示される「(ダイヤルアップ接続名)に接続」画面で「切断(D)」をクリックする。



- 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了すると表示される「自動切断」画面で「今すぐ切断する(N)」をクリックする。



 ちょっと一言

- 電子メールを書いているときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットの接続を切断しなくても接続料金はかかりません。
- 「自動切断」画面は「自動切断を使用しない」のをクリックしてにすると、次回インターネットに接続したときからは表示されません。

## ホームページを見る

インターネット上のホームページを見てみます。ホームページを見るには、「ウェブブラウザ」という専用ソフトウェアが必要です。ここでは、付属の「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使ってホームページを見てみます。

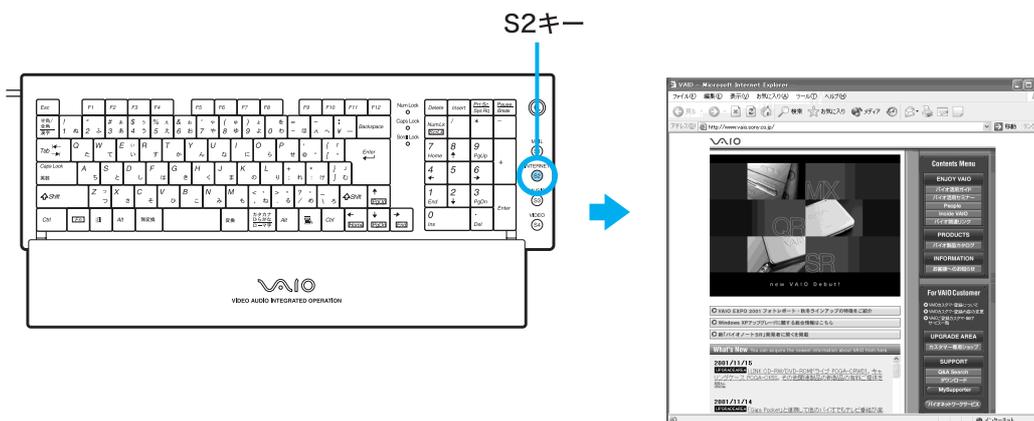
以下の操作をする前に、デスクトップ画面右下にが表示されていることを確認してください。表示されていれば、インターネットに接続しています。インターネットに接続していない場合は、下記の操作を行うと、「インターネット接続ウィザード」が起動します。「インターネットに接続する」(135ページ)の手順に従い、インターネットに接続し、を表示させてください。

### 1 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する

まず「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動します。

キーボードの  キーを押す。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動し、ホームページが表示されます。



#### ちょっと一言

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動するには、デスクトップ画面左下の  スタート をクリックし、[インターネット] をクリックする方法もあります。

#### ご注意

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動したときに表示されるホームページは各自の設定により異なります。上の図は、最初に表示されるホームページをVAIOホームページに設定したときの例です。設定のしかたについては、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

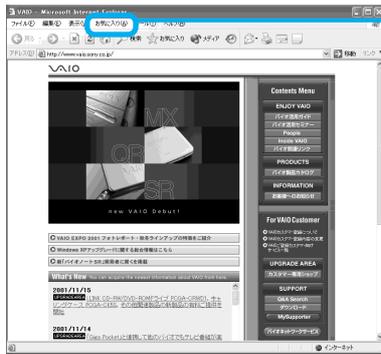
ホームページが表示されなかった場合は、「困ったときは」の「モデム/インターネット」(188ページ)をご覧ください。

## 2 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見る

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見ることができます。ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページを見てみましょう。

### 1

メニューバーの[ お気に入り ]をクリックする。



ここをクリックする。

メニューが表示されます。

### 2

[ バイオを楽しむためのサイト ]にポインタを合わせ、[ VAIOホームページ ] [ SUPPORT( サービス・サポート情報 ) ]の順にクリックする。

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。



### ③ ホームページの URL を入力してホームページを見る

見たいホームページのURLをすでにご存知の場合は、アドレスバーにそのURLを入力します。ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページ( URL: <http://vcl.vaio.sony.co.jp/> )を見てみます。

#### 🔗 URL とは

インターネット上で使われるホームページにはそれぞれ特定の住所があります。この住所のことを「URL」と言います。URLを書き込むことでホームページが見られます。

## 1

アドレスバーに「<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>」と入力する。



#### 🔗 「~(チルダ)」を入力するには

インターネットのホームページのアドレスなどによく使われる半角の「~(チルダ)」を入力するには、「直接入力」または「半角英数」を選び、 Shift (シフト)キーを押しながら  (アンダースコア)キーを押します。

## 2

キーボードの  (エンター)キーを押す。

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。



## 4 リンクをたどる

ホームページから他のホームページにジャンプしたり、データをインターネット上から本機にコピーすることができます。このように、ホームページから、他のページにジャンプしたり、データにジャンプすることを「リンクする」と言います。

ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページから、ENJOY VAIOのホームページにジャンプしてみましょう。

マウスを使って(ポインタ)を[ ENJOY VAIO ]に移動して、(手)に変わったらクリックする。

ENJOY VAIOのホームページが表示されます。

ここをクリックする。



### 💡 ちょっと一言

ホームページの中で、(ポインタ)が(手)に変わる文字や画像は、リンクが張られているところです。

## 5 目的のホームページを検索して見る

目的のホームページを「検索」メニューで検索することができます。

ここでは「VAIO」を検索してみましょう。

# 1

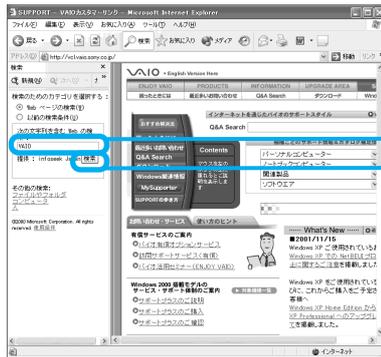
ツールバーの 🔍 検索 をクリックする。



検索画面が表示されます。

## 2

検索画面の中央上にある  の中に「VAIO」と入力し、**検索** をクリックする。



ここに「VAIO」と入力する。  
ここをクリックする。

該当するホームページの検索結果が一覧表示されます。

## 3

検索結果から、見たいホームページをクリックする。



クリックしたホームページが表示されます。

## 6 よく見るホームページを登録する

よく見るホームページを「お気に入り」メニューの中に登録することができます。  
ここではSony online Japanのホームページを登録してみましょう。

### 💡 ちょっと一言

Sony online Japanはインターネット上のソニーエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

## 1

アドレスバーに「http://www.sony.co.jp/」と入力する。



ここに入力する。

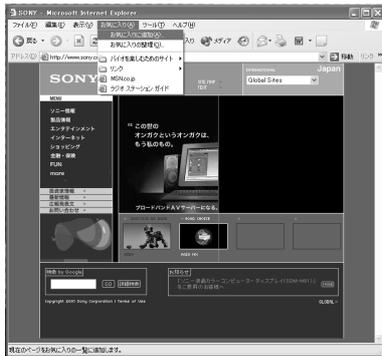
## 2

キーボードの  ( エンター ) キーを押す。  
Sony online Japanのホームページが表示されます。



## 3

メニューバーの「お気に入り」をクリックし、次に「お気に入りに追加」をクリックする。

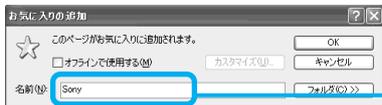


「お気に入りの追加」画面が表示されます。

## 4

「名前」に、登録するホームページを示すお好みの名前を入力し、  
 をクリックする。

ここでは「Sony」と入力します。



ここに「Sony」と入力する。

Sonyホームページが登録され、入力した名前が「お気に入り」メニューの中に表示されるようになります。



# 電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子メールソフトウェアが必要です。

ここでは、付属の「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

## ご注意

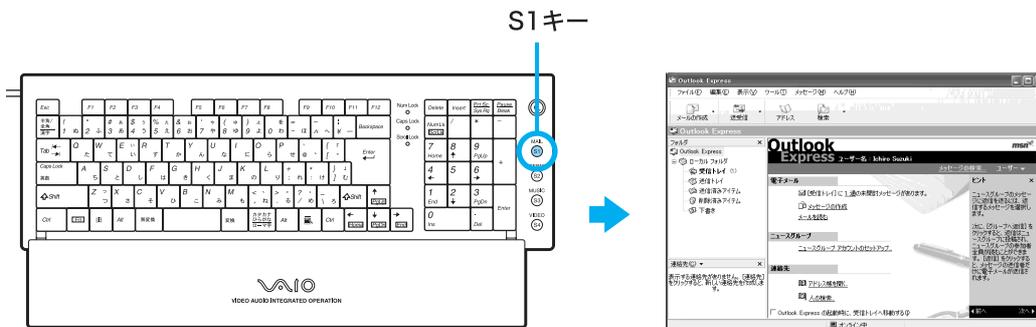
電子メールをやりとりする手順は、インターネットへの接続やソフトウェアの設定によって変わることがあります。

## 1 「Outlook Express」ソフトウェアを起動する

まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

キーボードの **S1** キーを押す。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。



「接続」画面が表示されたときは、**キャンセル** をクリックして画面を閉じてください。



## 2 電子メールを送信する

ために自分のメールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

### 1

[メッセージの作成]をクリックする。



ここをクリックする。

「メッセージの作成」画面が表示されます。

#### 💡 ちょっと一言

電子メールを書くときや電子メールを受け取った後に読むときはインターネットに接続していない状態(オフライン作業)の方が接続料金と通話料がかからなくて済みます。

#### 💡 オフライン作業とは

「オフライン作業」とはインターネットに接続していない状態で「Outlook Express」ソフトウェアを使って電子メールを書いたり、読んだりといった作業をすることです。

### 2

メッセージを作成する。

ここでは、メッセージに「世界に広がったソニーVAIO」と入れてみます。

タイトルは「SONY VAIO」にしましょう。

文字の入力のしかたについて詳しくは、「文字の入力の前に」(83ページ)をご覧ください。



ここに送り先(今回は自分)の電子メールアドレスを入力する。

ここにメッセージのタイトルを入力する。

ここにメッセージの本文を入力する。

### 3

[ファイル] をクリックし、[オフライン作業] をクリックする。

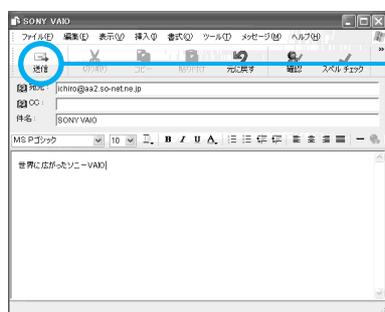


ここをクリックする。

「オフライン作業」の前のチェックマークが消えます。

### 4

ツールバーの[送信] をクリックする。



ここをクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)に接続中」画面が表示されたら、[接続] をクリックすると、作成した電子メールが送り先に送られます。

#### ご注意

オフライン(インターネットに接続していない状態)で[送信] をクリックした場合は、電子メールは送信トレイに保管されます。「Outlook Express」のツールバーの[送受信] をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

### ③ 電子メールを受信する

手順②で送った自分のメールアドレス宛の電子メールを受信してみましょう。

インターネットに接続した状態で、ツールバーの[送受信]をクリックする。

手順②で送った電子メールが届きます。

ここをクリックする。

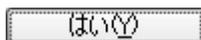


メールが届く。



#### ご注意

オフライン(インターネットに接続していない状態)のときは、「オフラインで作業しています。オンラインに切り替えますか?」というメッセージが表示されます。この場合は、

 をクリックしてください。

#### 💡 ちょっと一言

- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。
- 電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう(137ページ)。

### ④ 受け取った電子メールを見る

手順③で届いた電子メールを見てみます。

## 1

[受信トレイ]をクリックする。



ここをクリックする。

受信トレイの中身が表示されます。

## 2

[ SONY VAIO ]をクリックする。



ここをクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

## 5 送った電子メールを見る

手順②で送った電子メールを見てみます。

[ 送信済みアイテム ]をクリックし、[ SONY VAIO ]をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。



ここをクリックする。

電子メールをやりとりできなかった場合は、「困ったときは」の「モデム/インターネット (188ページ) 」をご覧ください。

## 6 「 Outlook Express 」ソフトウェアを終了する

最後に「 Outlook Express 」ソフトウェアを終了します。

## 1

[ ファイル ]にポインタを合わせ、クリックする。



ファイルメニューが表示されます。

## 2

[ 終了 ]にポインタを合わせ、クリックする。



「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

## 3

デスクトップ画面右下のを右クリックして表示されるメニューから [ 切断 ] をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

## 本機の使いかたが わからないときに

この章では、本機の使いかたがわからなくなったときに読むマニュアルやヘルプの使いかたについて説明します。

# どのマニュアルを読む？

本機に付属しているマニュアルの内容を簡単に紹介します。それぞれの目的に合わせてお読みください。

画面で見る電子マニュアル「サイバーサポート」の使いかたについては、「サイバーサポート」の使いかた（154ページ）をご覧ください。

## 本機に付属しているマニュアル

### □ 取扱説明書(本書)

本機をお買い上げいただいたあとに最初に行う準備をはじめ、本機の基本的な使いかた、本機と周辺機器の接続方法、本機の機能を拡張する方法、使用上のご注意などについて説明しています。



### □ VAIOサービス・サポートのご案内

本機を使っていてトラブルが発生したときの対処方法や、本機が故障したときなどのお問い合わせ先、サービス/サポートの内容について説明しています。

このほかに、ソニー製以外のソフトウェアの使いかたを説明したパンフレット類が付属しています。

### □ VAIOソフトウェアをMXで楽しもう!

付属のソフトウェアを使った楽しみかたを説明しています。

## 画面で見るマニュアル

### □ サイバーサポート

コンピュータの基礎的な知識をはじめ、本機の使いかたや楽しみかたについて詳しく説明しています。また、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお問い合わせ先なども説明しています。本書を読み終わった方は、「Windowsを準備する」(59ページ)の手順が終わったあと、本機の電源が入っている状態で、デスクトップ画面左下の



をダブルクリックして必ずこちらをご覧ください。

使いかたについて詳しくは、「サイバーサポート」の使いかた(154ページ)をご覧ください。



### □ ヘルプとサポートセンター

Windowsの操作のしかたやサポートについての情報を検索できます。また、「サイバーサポート」をここから起動することもできます。「ヘルプとサポートセンター」について詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」について(64ページ)をご覧ください。

### □ ソニー製のソフトウェアのヘルプ

本機に付属しているソニー製のソフトウェアの使いかたを説明しています。

ソフトウェアの中には、電子マニュアルが付属しているものがあります。電子マニュアルを見るには、デスクトップ画面左下の



をクリックして「すべてのプログラム」にポインタを合わせ「VAIOソフトウェアはこちら」[「VAIOソフトウェアマニュアル」]の順にクリックして、見たいソフトウェアの電子マニュアルを選んでください。

### □ その他のソフトウェアのヘルプ

ソニー製以外のソフトウェアにもヘルプが付属されているものがあります。

また、「サイバーサポート」画面上部の「VAIOの楽しみかた」をクリックして、「付属ソフトウェアの一覧」をクリックして表示される各ソフトウェアの情報の中には、「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

#### 💡 電子マニュアルとは

本機やソフトウェアの操作説明などをデスクトップ画面上で読めるようにしたマニュアルのことです。

#### 💡 ヘルプとは

ソフトウェアやWindowsなどの操作がわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

# 「サイバーサポート」の使いかた

## 「サイバーサポート」ってなに？

「サイバーサポート」はVAIOについての情報の入り口です。VAIOの使いかたを知りたいときや、VAIOを使っていて困ったことがあったときは「サイバーサポート」を開いてください。



デスクトップ画面にあるこのアイコンをダブルクリックする。

「サイバーサポート」は、VAIOの使いかたや楽しみかたをデスクトップ画面上で説明する電子マニュアルです。本書に載っていない情報も、「サイバーサポート」で調べることができます。

## こんなときに「サイバーサポート」

目的に合わせて、「サイバーサポート」の情報をご覧ください。

### コンピュータを初歩から学びたいときは

できる Windows

Windowsの操作方法や文字入力の練習など、コンピュータの基本的な使いかたに関する情報が載っています。

### インターネットを楽しみたいときは

インターネット

はじめてインターネットを使用するときの設定のしかたや、ホームページの見かた、電子メールのやりとりに関する情報が載っています。

### VAIOの基本的な使いかたを知りたいときは

VAIOの使いかた

本機の基本的な使いかたの説明を見ることができます。

### VAIOに付属しているソフトウェアを活用したいときは

VAIOの楽しみかた

本機に付属しているソフトウェアの説明や、楽しみかたの紹介が載っています。

### なにかトラブルが起きたら

困ったときは

本機を操作していて困ったときの解決方法や、トラブルが発生したときの対処方法の説明を見ることができます。

VAIOについてのサービスやサポートを受けるための説明を見ることができます。

意味の分からない用語があったら

コンピュータ用語の説明を見ることができます。

## 「サイバーサポート」画面の見かた

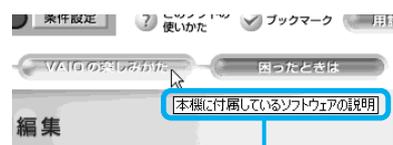


1 ナビゲーションボタン	
トップへ戻る	「サイバーサポート」を開いたときに、最初に表示される画面に戻ります。( 161 ページ )
戻る  進む	前に見ていた画面に戻ったり、また進んだりできます。( 161 ページ )
表示切替	一部のボタンを隠して、本文ページをより広く表示できるようにします。( 162 ページ )
2 マニュアル表示ボタン	
<b>できる Windows</b>	Windowsの基本的な使いかたの説明を見ることができます。
<b>インターネット</b>	インターネットに接続して、ホームページや電子メールを楽しむための説明を見ることができます。
<b>VAIOの使いかた</b>	本機の基本的な使いかたの説明を見ることができます。
<b>VAIOの楽しみかた</b>	本機に付属しているソフトウェアの説明を見ることができます。
<b>困ったときは</b>	本機を操作していて困ったときの解決方法や、トラブルが発生したときの対処方法の説明を見ることができます。
<b>サービス/サポート</b>	VAIOについてのサービスやサポートを受けるための説明を見ることができます。
3 キーワード検索エリア	
<input type="text"/> 検索	キーワードを入力して情報を探すことができます。( 160 ページ )
<b>条件設定</b>	検索条件を設定したり、あらかじめ用意された質問文例などからキーワードを選んで情報を探すことができます。( 160 ページ )

4	
このソフトの使いかた	「サイバーサポート」の使いかたを見ることができます。
ブックマーク	よく見るページを登録することができます。登録したページは簡単に呼び出すことができます。
用語集	コンピュータ用語の説明を見ることができます。
5	
本機に付属しているソフトウェアの楽しみかたの紹介です。見たいトピックをクリックしてください。	
6	
最新の情報に更新	「サイバーサポート」で検索できる情報を更新します。(163ページ)
VAIOカスタマーリンク	VAIOカスタマーリンクのホームページを見ることができます。(163ページ)
Sonyのホームページ	ソニーのホームページを見ることができます。

### 💡 ちょっと一言

「サイバーサポート」画面にある各ボタンにポインタを近づけると、ボタンをクリックしたときに表示される情報の内容が表示されます。



ここに情報が表示される。

## 「サイバーサポート」を見るには

### ご注意

「サイバーサポート」は必ず「Microsoft Internet Explorer Version 6.0」ソフトウェアを使って表示させてください。「Microsoft Internet Explorer Version 6.0」以外のソフトウェアでは正しく表示されないことがあります。

「サイバーサポート」を見るには、「Windowsを準備する」(59ページ)の手順が終わったあと、本機の電源が入っている状態で、以下のように操作します。

## 「サイバーサポート」を開くには

デスクトップ画面上の  (VAIOマニュアルCyberSupport)をダブルクリックする。

「サイバーサポート」画面が表示されます。

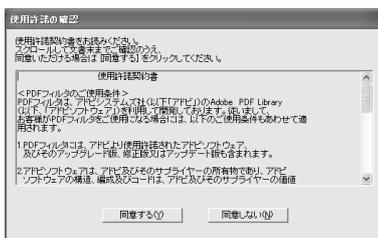


デスクトップ画面にある  
このアイコンを  
ダブルクリックする。



### 💡 ちょっと一言

- デスクトップ画面左下の  スタート をクリックして「ヘルプとサポート」をクリックし、表示された「ヘルプとサポートセンター」画面から「VAIOマニュアルCyberSupport」をクリックしても「サイバーサポート」を表示できます。
- 初めて「サイバーサポート」を開いたときは、「使用許諾の確認」画面が表示されます。画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは、「同意する」をクリックしてください。「同意しない」をクリックすると、「サイバーサポート」を開くことができません。



## 「サイバーサポート」を閉じる

「サイバーサポート」画面の右上のをクリックする。

「サイバーサポート」が終了します。

ここをクリックする。



### ちょっと一言

- 「サイバーサポート」画面右上の (最小化) ボタンを使って、「サイバーサポート」をデスクトップ画面から隠す(最小化する)ことができます。最小化したウィンドウはタスクバーのボタンをクリックすると元のサイズに戻ります。
- 「サイバーサポート」をデスクトップ画面に表示させたまま他のソフトウェアなどを操作することもできます。

## 目次から情報を探す

「サイバーサポート」画面上部の[ できる Windows ] [ インターネット ] [ VAIOの使いかた ] [ VAIOの楽しみかた ] 画面下部の[ サービス / サポート ]のボタンをクリックすると、左画面に目次が、右画面に情報が表示されます。左画面の目次から、探したい情報をクリックして選んでください。

# 1

「サイバーサポート」画面にあるいずれかのボタンをクリックする。

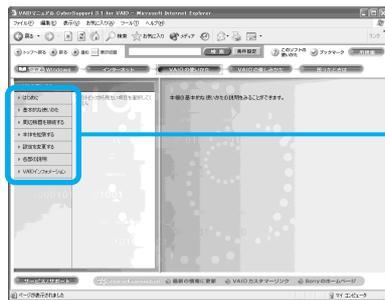


— いずれかのボタンをクリックする。

クリックしたボタンに含まれる情報の目次が左画面に表示されます。

## 2

目次から表示したい項目を選び、クリックする。



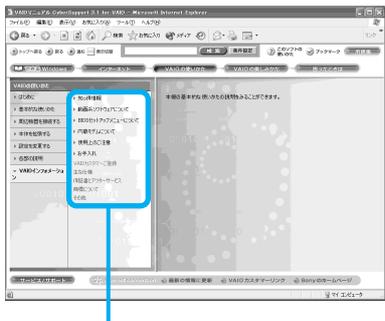
表示したい項目をクリックする。

項目の最初に ▶ が付いている項目をクリックすると、▶ が ▼ になり、さらに詳しい項目が表示されます。

## 3

知りたい項目をクリックする。

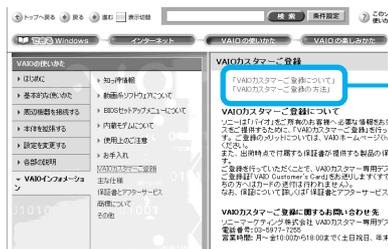
右画面にその情報が表示されます。



知りたい項目をクリックする。

## ページの見かた

- ページの冒頭に見出しが表示されているときは、見たい内容の見出しをクリックすると、同じページ内の目的の情報が表示されます。



見出しをクリックする。

- 本文中の【詳細】をクリックすると、その内容のさらに詳しい説明のあるページが表示されます。
- 「ここにも注目」の見出しをクリックすると、見ているページに関連する項目のあるページが表示されます。

## キーワードで情報を探す

1

「サイバーサポート」画面上部の  **検索** にキーワードを入力する。



2

**検索** をクリックする。

検索結果の一覧が表示されます。一覧から見たい情報を選びます。

 ちょっと一言

**条件設定** をクリックすると、検索対象を絞り込んだり、あらかじめ用意された質問文例などからキーワードを選んで検索することができます。

**条件設定** をクリックすると、右画面に検索のしかたの説明が表示されます。詳しくはそちらの説明をご覧ください。

## 困ったときの情報の探しかた

1

「サイバーサポート」画面上部にある **困ったときは** をクリックする。



「困ったときは」の目次が表示されます。

## 2

左画面の表示したい項目を選び、クリックする。  
右画面にトラブルとその解決方法が表示されます。



表示したい項目をクリックする。

### 💡 ちょっと一言

「サイバーサポート」画面上部のキーワード検索エリアにある **条件設定** をクリックしてキーワード検索をすると、VAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ (よくある質問とその回答) などから上記以外のトラブル解決方法を見ることができます。

## 前に見ていた画面に戻る

◀ 戻る をクリックします。

元のページに戻るには、▶ 進む をクリックします。

ここをクリックする。



## 最初の画面に戻る

⬆️ トップへ戻る をクリックします。

ここをクリックする。



## 画面の大きさを切り替える

「サイバーサポート」画面上部の  表示切替 をクリックします。

 などの一部のボタンが隠れ、より多くの情報が1度に表示されるようになります。

隠れたボタンを元に戻すには、もう1度  表示切替 をクリックします。

ここをクリックする。



### 💡 ちょっと一言

より多くの情報が表示されるように、「Microsoft Internet Explorer」のツールバーの表示を一部隠すことができます。

[表示]メニューから[ツールバー]を選び、[標準のボタン]などをクリックします。再度クリックすると元の表示に戻ります。



## 見ている画面を印刷する

[ファイル]メニューから[印刷]を選んでクリックし、プリンタの設定を確認して  をクリックします。



### 💡 ちょっと一言

印刷をするにはあらかじめプリンタを接続、設定しておく必要があります。

## VAIOについての最新情報を見る

VAIOカスタマーリンクのホームページではお客様の疑問や質問を解決するための各種サービスと、バイオに関するサービスやサポート体制についての最新情報を提供しておりますので定期的にご覧ください。

なお、VAIOカスタマーリンクのホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続できるよう設定しておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(98ページ)をご覧ください。

### VAIOカスタマーリンクのホームページを見るには

「サイバーサポート」画面下部の **VAIOカスタマーリンク** をクリックすると、VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

### 「サイバーサポート」で検索できる情報を更新するには

VAIOカスタマーリンクのホームページにアクセスし、「サイバーサポート」で検索できる情報を、更新することができます。

更新のしかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面下部の **最新の情報に更新** をクリックして表示される画面をご覧ください。

なお、VAIOカスタマーリンクのホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続できるよう設定しておく必要があります。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(98ページ)をご覧ください。

### ご注意

初めて更新するときは、数10分時間がかかることがあります。



## 困ったときは

この章では、本機を操作していて困ったことや  
トラブルの解決方法を説明します。

# わからないことやトラブルを解決する

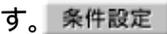
本機を操作していて困ったときは、あわてずに下記の流れに従ってください。また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

## 1

電子マニュアルやヘルプで調べる。

- 本書の168ページからの説明をご覧ください。
- デスクトップ画面上の (VAIO マニュアル CyberSupport) をダブルクリックして、「サイバ - サポート」を起動させ、「困ったときは」や関連する項目「主なトラブルとその解決方法」から該当する項目をクリックして表示される情報をご覧ください。

また、「サイバーサポート」画面上部のキーワード入力エリアにキーワードを入力し

 をクリックすることで、「サイバーサポート」やVAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ (よくある質問とその回答) などから自動的にその解決方法を検索できます。 をクリックすると、検索対象を絞り込んだり、あらかじめ用意された質問文例などからキーワードを選んで検索することもできます。

なお、「サイバーサポート」の使いかたについて詳しくは、154ページをご覧ください。

### ちょっと一言

「サイバーサポート」は、デスクトップ画面左下の をクリックして「ヘルプとサポート」をクリックし、表示された「ヘルプとサポートセンター」画面から、「VAIO マニュアル CyberSupport」をクリックしても起動することができます。

- ソフトウェアのヘルプや電子マニュアル
- Windowsのヘルプ

デスクトップ画面左下の をクリックし、「ヘルプとサポート」をクリックして、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

## 2

VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する。

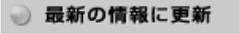
VAIOカスタマーリンクホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載していますのでご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ <http://vcl.vaio.sony.co.jp/>

### サイバーサポートをはじめてお使いになるときは

VAIOカスタマーリンクのホームページ (<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>) では、製品出荷後の最新情報を提供しています。VAIOカスタマーリンクのホームページにアクセスし、「サイバーサポート」の「キーワード検索」で検索できる情報を更新してください。

更新するには、インターネットに接続した状態で、「サイバーサポート」画面下部の

 をクリックします。自動的に、情報が更新されます。最初に更新するときは、数10分時間がかかることがありますので、ご注意ください。また、この機能を使うには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(98ページ)をご覧ください。

# 3

## VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる。

以下のお問い合わせ先にご相談ください。

### VAIOカスタマーリンク

#### 電話番号

(0466) 30-3000

- お問い合わせには、「VAIO カスタマーID」が必要です。
- 一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。

#### 受付時間

平日 10時～20時

土、日、祝日 10時～17時

(年末年始は除く)

- お電話は音声認識を用いた自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。
- 付属のソフトウェアについては、「付属のソフトウェアについて」(286ページ)をご覧ください。各ソフトウェアのお問い合わせ先にお電話ください。

お電話の前に以下の内容をご用意ください。

- 1 お客様のVAIOカスタマーID
- 2 本機の型名:保証書に記載されています。
- 3 本機の製造番号(保証書などに記載されている7桁の番号です)
- 4 カスタマー登録していただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

#### ちょっと一言

発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

- 5 本機に接続している周辺機器名(メーカー名と型名)
- 6 表示されたエラーメッセージ
- 7 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン
- 8 トラブルが発生する前または直前に行った操作
- 9 トラブルがどのくらいの頻度で再現するか
- 10 その他お気づきの点

### 修理の場合は

- 11 VAIOカルテ(修理をお申込みになるとき)
- 12 筆記用具(修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です)

# 主なトラブルとその解決方法

ここでは、主なトラブルとその解決方法について説明します。

## ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切る」(71ページ)の手順に従い、いったん電源を切ってください。他の方法で電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。接続し直すときは、必ず「電源を切る」(71ページ)の手順に従い、いったん電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

## 🔌 電源 (172ページ)

- 電源が入らない。(172ページ)
- 電源が切れない。(172ページ)
- 本機がスタンバイモードに移行せず、すぐに戻ってしまい、Windowsの動作状態が不安定になる。(173ページ)
- 電源を入れると、「Non-System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」というメッセージが表示される。(173ページ)
- 電源を入れると、「Operating system not found」というメッセージが表示され、Windowsが起動できない。(173ページ)
- 電源を入れると、「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」または「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示され、ハードディスクから起動できない。(174ページ)
- 電源を入れると、「CMOS Battery Bad」というメッセージが表示される。(174ページ)
- 電源を入れると、「CMOS Checksum Error」というメッセージが表示される。(174ページ)

## 📺 ディスプレイ / テレビ (175ページ)

- 画面に何も表示されない。(175ページ)
- 画像が乱れる。(175ページ)
- 画質が悪い。(175ページ)
- 画像の端が欠ける。(175ページ)
- 表示サイズ、表示位置がおかしい。(175ページ)
- テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。(176ページ)
- DVD ビデオの映像がテレビ画面に表示されない。(177ページ)

## 🖥️ 画面 (177ページ)

- 画面が固まって動かない。ソフトウェアが反応しない。フリーズした。(177ページ)

## 📶 リモコン (178ページ)

- リモコンで操作できない。(178ページ)

## 🖱️ 文字入力 (178ページ)

- 日本語が入力できない。(178ページ)
- 全角の「～」が入力できない。(178ページ)
- URLで使われる半角の「`」（チルダ）が入力できない。(179ページ)
- 入力した文字が表示されない。(179ページ)
- キーボードを使って正しく入力できない。(179ページ)
- IMEの言語バーが表示されない。(180ページ)

## マウス

( 180ページ )

- マウスがマウスパッドの端まで来てしまい、これ以上動かせない。( 180ページ )
- 画面上のポインタが動かない。( 180ページ )
- スクロールしない。( 181ページ )
- マウスを動かしてもカーソルが動かない。( 181ページ )

## フロッピーディスク

( 181ページ )

- フロッピーディスクを認識しない。( 181ページ )
- フロッピーディスクが取り出せない。( 181ページ )
- 「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。( 181ページ )
- 「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示された。( 181ページ )
- フロッピーディスクを初期化しようとしたができない。( 182ページ )

## ハードディスク

( 182ページ )

- 誤ってハードディスクを初期化してしまった。( 182ページ )
- ハードディスクの内容を誤って消してしまった。( 182ページ )
- ハードディスクから起動できない。( 182ページ )

## DVD-ROM / CD-ROM

( 182ページ )

- DVD-ROM / CD-ROMが再生されない、または音楽CD / DVDビデオの再生時、音かとぎれる。( 182ページ )
- DVD-ROMが取り出せない。( 183ページ )
- エラーメッセージが出て、DVDビデオの再生ができない。( 183ページ )
- 「DVDソフトウェアデコーダの設定をするアクセス権がありません」と表示された。( 184ページ )
- 「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアが起動できない。( 184ページ )

## DVD-RW / DVD-R( PCV-MXS2Rのみ )

( 184ページ )

- DVD-RW / DVD-Rに書き込めない。( 184ページ )
- DVD-RW / DVD-Rに書き込み時に書き損じが起こる。( 185ページ )
- DVD-RW / DVD-Rの書き込みに時間がかかる。( 185ページ )

## CD-RW / CD-R

( 185ページ )

- CD-Rに書き込めない。( 185ページ )
- CD-RWを使用して作成した音楽CDがCDプレーヤーで再生できない。( 185ページ )

## i.LINK

( 185ページ )

- 本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。( 185ページ )
- 「DVgate」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器に映像を録画できない。( 186ページ )
- i.LINK接続したVAIO同士で接続できない。( 186ページ )
- 本機および本機と接続したi.LINK対応機器が正しく動作しない。( 186ページ )

## 録画 / 再生

( 186ページ )

- 「DVgate」ソフトウェアまたは「Giga Pocket」ソフトウェアを使って録画が正常にできない。( 186ページ )
- テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。( 187ページ )
- 録画を実行しても何も録画されない。( 187ページ )
- 番組を予約録画できない。( 187ページ )
- 最初の部分が録画されていない。( 187ページ )
- 画面の色がきれいに表示されない、画面の表示サイズが大きすぎる( 小さすぎる )。( 187ページ )
- 「Giga Pocket」ソフトウェアの「Giga ビデオレコーダー」が起動できない。( 187ページ )

## カスタマーご登録

( 188ページ )

- オンラインでカスタマー登録できない。( 188ページ )

## モデム / インターネット

( 188ページ )

- モジュラジャックが取りはずせない。( 188ページ )
- インターネットに接続できない。( 188ページ )

## 動画 / 静止画編集

( 204ページ )

- 「DVgate」ソフトウェアを使って動画や静止画の取り込みができない。( 204ページ )
- 「MovieShaker」ソフトウェアを使って動画の取り込みができない。( 205ページ )
- 「Smart Capture」ソフトウェアを使って動画 / 静止画を電子メールで送れない。( 205ページ )

## エラーメッセージ

( 205ページ )

- 電源を入れると、「Non-System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」というメッセージが表示される。( 205ページ )
- 電源を入れると、「Operating system not found」というメッセージが表示され、Windowsが起動できない。( 205ページ )
- 「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。( 206ページ )
- 「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示された。( 206ページ )
- 「DVDソフトウェアデコーダの設定をするアクセス権がありません。」と表示された。( 206ページ )
- 電源を入れると、「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」または「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示され、ハードディスクから起動できない。( 206ページ )
- 電源を入れると、「CMOS Battery Bad」というメッセージが表示される。( 206ページ )
- 電源を入れると、「CMOS Checksum Error」というメッセージが表示される。( 206ページ )
- 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して[ OK ]をクリックしてください。」というメッセージが表示される。( 206ページ )
- 「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続アイコンをダブルクリックして、やり直してみてください」または「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直してみてください」というメッセージが表示された。( 207ページ )
- 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、PDF形式のファイルを開こうとすると、「Could not find Acrobat External Window Handler.」 「An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない。( 207ページ )

## 音 (208ページ)

- 音が出ない。(208ページ)
- LINE OUT / OPTICAL OUTから音が出ない。(208ページ)
- 音がおかしい。(208ページ)
- 雑音が多い。(209ページ)

## タイマー (210ページ)

- タイマーが設定できない。(210ページ)
- タイマーが働かない。(210ページ)

## 再生 (210ページ)

- ディスクやMDが出てこない。(210ページ)
- MDが入らない。(211ページ)
- MDの操作を受け付けない。(211ページ)
- ディスクやMDの再生が始まらない。(211ページ)
- 音とびがする。(211ページ)
- 音楽CDの再生が1曲目から始まらない。(212ページ)
- エラーメッセージが出て、DVDビデオの再生ができない。(212ページ)
- 「DVDソフトウェアデコーダの設定をするアクセス権がありません」と表示された。(212ページ)

## 録音 / 編集 (212ページ)

- MDにチェックアウト・録音できない。(212ページ)
- ハードディスクに録音できない。(212ページ)

## FMラジオ (212ページ)

- 雑音が入る、受信できない。(212ページ)
- ラジオの音声は聞こえるが、文字放送が表示されない。(213ページ)
- ステレオにならない。(213ページ)
- ザーザーという雑音が周期的に入る。(213ページ)

### 電源が入らない。

- 本機の電源コードがしっかりコンセントに差し込まれているか確認する。
- すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認する。(39ページ)
- スイッチ付テーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入ってるかどうか、また、テーブルタップのコードが壁のコンセントにしっかり差し込まれているか確認する。

### 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。以下の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

- キーボードが正しく接続されているか確認する。(39ページ)
- 「スタート」メニューから[ 終了オプション ]を選んでも電源が切れないときは、「サイバーサポート」画面上部の[ VAIOの使いかた ]をクリックして、[ 基本的な使いかた ] [ 電源を入れる / 切る ] 「電源を切る」 [ 「コンピュータの電源を切る」画面で [ 電源を切る ] をクリックしても電源が切れないときは ] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。
- 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認する。
- 「電源を切る (71ページ) の操作を行っても、「Windowsを終了しています」または「電源を切る準備ができました」と表示されたまま動かない場合は、本機の(ⓧ 電源) ボタンを押してください。
- 「スタート」メニューの[ 終了オプション ]を選んでも「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、**Alt**( オルト )キーを押しながら **F4** キーを数回押して「コンピュータの電源を切る」画面を表示させ、[ 電源を切る ] をクリックする。  
**Alt**( オルト )キーを押しながら **F4** キーを数回押しても「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、**Ctrl**( コントロール )キーと **Alt**( オルト )キーを押しながら **Del**( デリート )キーを押し、「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されたら、[ シャットダウン ] をクリックし、表示されるリストから[ コンピュータの電源を切る ] をクリックしてください。

- 前述のいずれの操作を行っても電源が切れない場合は、本機前面の(電源)ボタンを4秒以上押して(電源)ランプが消灯するか確認してください。ただし、この操作をすると、作成中のファイルや編集中のファイルが使用なくなることがあります。また、本機の電源を入れ直した際、「スキャンディスク」ユーティリティが実行されたり、Safe(セーフ)モードで起動することがあります。その場合は、デスクトップ画面が表示されるまで画面の指示に従って操作し、その後「電源を切る」(71ページ)の手順に従っていったん本機の電源を正しく切ってください。

## 本機がスタンバイモードに移行せず、すぐに戻ってしまい、Windowsの動作状態が不安定になる。

- 使用中のソフトウェアを終了して、本機を再起動する。再起動できない場合は、本機前面の(電源)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この操作を行うと作成中のファイルや編集中のファイルが使用なくなることがあります。

## 電源を入れると、「Non-System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」というメッセージが表示される。

- フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っているときは、フロッピーディスクイジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押してください。

## 電源を入れると、「Operating system not found」というメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

- USBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っている場合は、ディスクを取り出してから **Ctrl** (コントロール) キーと **Alt** (オルト) キーを押しながら **Del** (デリート) キーを2回押して本機を再起動する。
- 再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。本機に付属のリカバリCDを使って、パーティションサイズを変更し、本機を再セットアップしてください。  
詳しくは、「リカバリCDで本機を再セットアップする」(264ページ)および「パーティションサイズを変更する」(271ページ)をご覧ください。

電源を入れると、「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」または「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示され、ハードディスクから起動できない。

- フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っているときは、フロッピーディスクイジェクトボタンを押して、取り出す。その後、Enter(エンター)キーを押す。

電源を入れると、「CMOS Battery Bad」というメッセージが表示される。

- 本機内のバッテリーが消耗しているため、バッテリーを交換する必要があります。バッテリーの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせください。

電源を入れると、「CMOS Checksum Error」というメッセージが表示される。

- BIOSの設定内容が壊れている。以下の手順に従って操作し、BIOSをお買い上げ時の設定に戻してください。
  - 1 本機前面の⏻(電源)ボタンを押し、画面にSonyのロゴが表示されたら、キーボードの **F2** キーを押す。  
BIOSセットアップメニューが起動し、「AwardBIOS Setup Utility」画面が表示されます。
  - 2 **F5** (Setup Defaults) キーを押す。  
「Load default configuration now?」というメッセージが表示されます。
  - 3 **←** / **→** キーを押して **[ Yes ]** を選び、**Enter** (エンター) キーを押す。  
すべての設定項目がお買い上げ時の設定に戻ります。
  - 4 **F10** (Save and Exit) キーを押す。  
「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。
  - 5 **←** / **→** キーを押して **[ Yes ]** を選び、**Enter** (エンター) キーを押す。  
変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windowsが起動します。
- BIOSをお買い上げ時の設定に戻しても再度メッセージが表示される場合は、本機内のバッテリーが消耗しているため、バッテリーを交換する必要があります。バッテリーの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせください。

### 画面に何も表示されない。

- 本機のディスプレイの電源コードがしっかりコンセントに差し込まれているか確認する。(39ページ)
- 本機とディスプレイを正しく接続する。(39ページ)
- 本機とディスプレイの電源スイッチが入っているか確認する。(58ページ)
- ディスプレイの明るさボタンとコントラストボタンで調整する。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。
- 本機後面のMONITORコネクタとDVIコネクタの両方にディスプレイを接続していないか確認する。
- PCVD-17SD1などのディスプレイをお使いの場合は、ディスプレイに付属のACアダプタを接続しているか確認する。  
付属のACアダプタ以外で接続していると、正常に画面が表示されないことがあります。

### 画像が乱れる。

- ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、ディスプレイから離す。

### 画質が悪い。

- ディスプレイの調整ボタンで画質を調整する。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

### 画像の端が欠ける。

- ディスプレイの調整ボタンで表示位置を調整する。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

### 表示サイズ、表示位置がおかしい。

- ディスプレイの調整ボタンで設定する。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

## テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。

- アンテナ接続ケーブルが本機後面のVHF / UHFコネクタと正しく接続されているか確認する。詳しくは「接続する / 準備する」(39ページ)をご覧ください。
- ご使用のアンテナの受信状況が良好か確認する。  
一般のテレビに接続して受信できるか、分配器を使用している場合は、分岐前のケーブルを接続して受信できるかどうかを確認してください。  
アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。  
この場合は別売りのアンテナブースターをご使用ください。
- 「Giga Pocket」ソフトウェアの地域設定が正しく設定されているか確認してください。
- 「Giga Pocket」ソフトウェアのチャンネル設定が正しく設定されているか確認してください。  
設定が正しくない場合は、以下の手順に従って設定を変更してください。また、「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

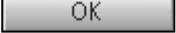
ここでは、「VAIOテレビ」が「3チャンネル」に設定されているが、ご使用になっている地域では「20チャンネル」で放送されており、「VAIOテレビ」のチャンネル設定を「3チャンネル」から「20チャンネル」に変更する例で、以下の手順を説明します。

- 1 デスクトップ画面左下の  をクリックして、[ すべてのプログラム ] にポインタを合わせ、[ Giga Pocket ] [ Gigaビデオレコーダー ] の順にクリックする。  
「Gigaビデオレコーダー」ソフトウェアが起動します。
- 2 [ 設定 ] をクリックして、表示されるメニューから [ チャンネルの設定 ] をクリックする。  
「チャンネルの設定」画面が表示されます。
- 3 変更するチャンネル名(ここでは「VAIOテレビ」)を選択して、[ 変更 ] をクリックする。  
「チャンネルの追加 / 変更」画面が表示されます。
- 4 「受信チャンネル」から設定したいチャンネル(ここでは「20チャンネル」なので「20」)を選ぶ。  
  
チャンネル番号がわからない場合は、「受信チャンネル」の  をクリックして、チャンネルを変更していき、設定したいチャンネルが表示されるチャンネル番号を選択してください。
- 5  をクリックする。  
以上の手順を繰り返して、映らないチャンネルすべての設定をしてください。

## DVDビデオの映像がテレビ画面に表示されない。

→ 本機をテレビに正しく接続する。詳しくは、「テレビにつなぐ」(224ページ)をご覧ください。

→ 以下の手順に従って操作し、映像と音声出力をテレビに切り換えてください。

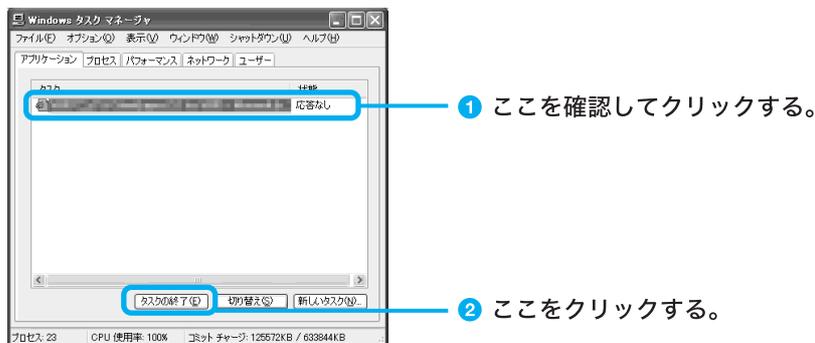
- 1 DVDビデオの再生を停止しているときに、デスクトップ画面左下の  をクリックして「すべてのプログラム」にポインタを合わせ、「Media Bar」[DVD Player]の順にクリックする。  
「DVD Player」画面が表示されます。
- 2  をクリックする。  
「DVD設定」画面が表示されます。
- 3 「映像・音声出力」タブをクリックする。  
「映像・音声出力」画面が表示されます。
- 4 「ソニーMPEG2エンコーダーボード」の○をクリックして●にし、  
 をクリックする。  
DVDビデオの映像や音声が表示されるようになります。

## 画面

### 画面が固まって動かない。ソフトウェアが反応しない。フリーズした。

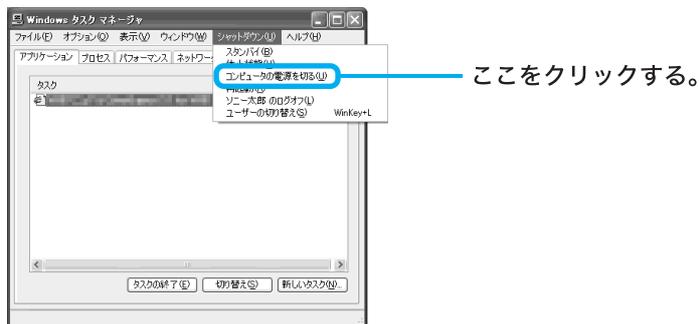
→ 以下の手順を上から順番に行う。

- 1  (コントロール)キーと  (オルト)キーを押しながら  (デリート)キーを押す。  
「Windowsタスクマネージャ」が表示されます。  
「Windowsタスクマネージャ」に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、「タスクの終了」をクリックしてソフトウェアを終了させてください。



## 2 「Windowsタスクマネージャ」の[シャットダウン]メニューから、[コンピュータの電源を切る]をクリックする。

本機の電源が切れたあと、10秒後に本機の(電源)ボタンを押して、再び電源を入れてください。



- 上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の(電源)ボタンをランプが消えるまで(4秒以上)押し続けて電源を切る。そのあと、10秒後に本機の(電源)ボタンを押して再び電源を入れる。

### ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

## リモコン

### リモコンで操作できない。

- リモコンと本機の間には障害物がある。障害物を取り除く。
- リモコンと本機の距離が離れすぎている。近寄って操作する。
- リモコンの発光部が本機の方を向いていない。リモコンを本機に向ける。
- リモコンの電池が+ / - 逆に入っている。正しい方向に入れ直す。
- リモコンの乾電池が消耗している。電池を交換する。
- 本機の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。本機と蛍光灯を離して設置する。

## 文字入力

### 日本語が入力できない。

- 「文字の入力の前に(83ページ)をご覧ください。

### 全角の「～」が入力できない。

- デスクトップ画面右下のMS-IMEツールバーで「ひらがな」を選んで(83ページ)ひらがなで「から」と入力し、「～」が選ばれるまで  (スペース)キーを押すか、  
 (シフト)キーを押しながら  を押す。

## URLで使われる半角の「~」（チルダ）が入力できない。

- デスクトップ画面右下のMS-IMEツールバーで「直接入力」または「半角英数」を選んで、 (シフト) キーを押しながら  キーを押す。

## 入力した文字が表示されない。

- 本機とキーボードが正しく接続されているか確認する。
- 文字を入力したいソフトウェアの画面が前面に出ていない(タイトルバー(画面の上の部分)は薄い色になります)。文字を入力したいソフトウェアの画面のどこかをクリックするか、 (オルト) キーと  (タブ) キーを同時に押して目的のソフトウェアを前面に出し、使える状態にする(タイトルバーが青い色になります)。

## キーボードを使って正しく入力できない。

- 数字キーで数字が入力できない場合は、キーボード右上のNum Lock(ナム・ロック)ランプが消灯していないかを確認する。消灯しているときは、数字キーは矢印キーやコレクションキーと同じ働きをします。 (ナム・ロック) キーを押して、ランプを点灯させてから数字を入力してください。
- キーボードの項目が「日本語PS/2キーボード(106/109キーCtrl + 英数)」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

- 1 デスクトップ画面左下の  スタート をクリックして、[コントロールパネル] をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする。  
「パフォーマンスとメンテナンス」画面が表示されます。
- 3  (システム) をクリックする。  
「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 [ハードウェア] タブをクリックする。
- 5  デバイスマネージャ(D) をクリックする。  
「デバイスマネージャ」画面が表示されます。
- 6 キーボードの項目をクリックする。  
「日本語PS/2キーボード(106/109キーCtrl + 英数)」と表示されます。

上記と異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

## IMEの言語バーが表示されない。

→ IMEの言語バーが表示されない場合は、次の手順で操作し言語バーを表示させてください。

- 1 デスクトップ画面左下の  をクリックして、[コントロールパネル] をクリックする。
- 2 [日付、時刻、地域と言語のオプション] [地域と言語のオプション] アイコンを順にクリックする。  
「地域と言語のオプション」画面が表示されます。
- 3 [言語] タブをクリックし、 をクリックする。  
「テキスト サービスと入力言語」画面が表示されます。
- 4  をクリックする。  
「言語バーの設定」画面が表示されます。
- 5 [言語バーをデスクトップ上に表示する] の  をクリックして  にし、  
 をクリックする。
- 6 「テキスト サービスと入力言語」画面、「地域と言語のオプション」画面でそれぞれ  をクリックして画面を閉じる。

### ちょっと一言

言語バー右上の  (最小化ボタン) をクリックすると言語バーはタスクバーに収納され、タスクバーに常に表示させておくことができます。

## マウス

### マウスがマウスパッドの端まで来てしまい、これ以上動かさない。

→ マウスを持ち上げてマウスパッドの中央に戻す。

### 画面上のポインタが動かない。

- 本機とマウスが正しく接続されているか確認する。(39ページ)
- マウスの内部が汚れている場合は、マウスを掃除する。(281ページ)
-  (ウィンドウズ) キーを押して「スタート」メニューを表示させ、 (ページアップ) キーまたは  (ページダウン) キーを押して [終了オプション] を選んで、 (エンター) キーを押す。「コンピュータの電源を切る」画面が表示されたら  (ページアップ) キーまたは  (ページダウン) キーで [電源を切る] を選んで  (エンター) キーを押し、電源が切れた後10秒後に本機前面の  (電源) ボタンを押して再び電源を入れる。

## スクロールしない。

- スクロール機能に対応していないソフトウェアを起動している。スクロールの必要のないソフトウェアはスクロールできません。また、ソフトウェアによっては、スクロール機能に対応していないものがあります。

## マウスを動かしてもカーソルが動かない。

- オートスクロール設定になっている。ホイールボタンを押して、オートスクロールの状態を解除してください。

## フロッピーディスク

### フロッピーディスクを認識しない。

- 本機とUSBフロッピーディスクドライブが正しく接続されているか確認する。
- フロッピーディスクをUSBフロッピーディスクドライブからいったん取り出し、入れ直してみる。

### フロッピーディスクが取り出せない。

- 「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[基本的な使いかた] [フロッピーディスクを使う] [フロッピーディスクを入れる / 取り出す] [フロッピーディスクを取り出すには]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

### 「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

- フロッピーディスクの容量の空きがない。容量の空きが充分にある、別のフロッピーディスクを使って、保存し直す。

### 「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示された。

- フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[基本的な使いかた] [フロッピーディスクを使う] [フロッピーディスクのデータを使う] [フロッピーディスクを書き込み禁止にする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

## フロッピーディスクを初期化しようとしたができない。

- フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の「VAIOの使いかた」をクリックして、「基本的な使いかた」「フロッピーディスクを使う」「フロッピーディスクのデータを使う」「フロッピーディスクを書き込み禁止にする」の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- 本機に取り付けたUSBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがきちんと入っているか確認する。
- 「アプリケーションが使用中です」というメッセージが出たときは、フロッピーディスクの内容がウィンドウで表示されている。ウィンドウ表示されているときは初期化できないので、フロッピーディスクのウィンドウを閉じる。

## ハードディスク

### 誤ってハードディスクを初期化してしまった。

- リカバリCDを使って、本機を再セットアップする必要があります。詳しくは「リカバリCDで本機を再セットアップする」(264ページ)をご覧ください。

### ハードディスクの内容を誤って消してしまった。

- リカバリCDを使って、本機を再セットアップする必要があります。詳しくは「リカバリCDで本機を再セットアップする」(264ページ)をご覧ください。

### ハードディスクから起動できない。

- 本機に取り付けたUSBフロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っていないか確認する。
- ディスクドライブにリカバリCDが入っていないか確認する。
- 上記の操作を行っても起動できない場合は、リカバリCDを使って、本機を再セットアップする。詳しくは「リカバリCDで本機を再セットアップする」(264ページ)をご覧ください。

## DVD-ROM / CD-ROM

### DVD-ROM / CD-ROMが再生されない、または音楽CD / DVDビデオの再生時、音のとぎれる。

- DVD-ROMやCD-ROMをディスクドライブに入れてください。

- CD-ROMが正しくディスクドライブに入っているか確認する。CD-ROMは文字が書いてある面を上にして入れます。
- DVD-ROMが正しくディスクドライブに入っているか確認する。DVD-ROMは再生したい面を下にして入れます。
- 地域番号(リージョンコード)が違うDVD-ROMを入れている。本機では、地域番号(リージョンコード)として「2」または「ALL」が記されていないDVD-ROMは再生できません。
- DVD-ROM / CD-ROMの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。
- CDレンズクリーナーでレンズの汚れをとる。
- 結露している。しばらく待って電源を入れ直してから、もう1度再生してみる。
- 使用できないディスクの可能性があります。「サイバーサポート」画面上部の「VAIOの使いかた」をクリックして「VAIOインフォメーション」[知っ得情報][使用できるディスク]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- 起動中の他のソフトウェアを終了させてください。

## DVD-ROMが取り出せない。

- DVD-ROMはOPEN / CLOSEボタンを押しても状態によっては取り出せないことがあります。

## エラーメッセージが出て、DVDビデオの再生ができない。

- ハードウェアアクセラレータが最大になっているか確認する。
  - 1 デスクトップ画面左下の  をクリックして、「コントロールパネル」をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
  - 2 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックする  
「デスクトップの表示とテーマ」画面が表示されます。
  - 3 「画面」をクリックする。  
「画面のプロパティ」画面が表示されます。
  - 4 「設定」タブをクリックする。  
「設定」画面が表示されます。
  - 5  をクリックする。  
プロパティ画面が表示されます。
  - 6 「トラブルシューティング」タブをクリックする。  
「トラブルシューティング」画面が表示されます。
  - 7 「ハードウェアアクセラレータ」のスライダを動かして、最大に設定する。

- 8  をクリックする。  
「設定」画面が表示されます。
- 9 「画面のプロパティ」画面で  をクリックする。

「DVDソフトウェアデコーダの設定をするアクセス権がありません。」と表示された。

- 1度、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてから、DVDビデオを再生してください。次に電源を入れたときからは、通常のユーザーで再生できます。

「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアが起動できない。

- エクスプローラで動画ファイルのサムネールを表示していると「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアを起動できないことがあります。  
この場合は、エクスプローラを終了させてから、ソフトウェアを起動してください。

## DVD-RW / DVD-R( PCV-MXS2R のみ )

DVD-RW / DVD-Rに書き込めない。

- 「RecordNow DX」ソフトウェアでデータを書き込むときは、書き込み済みのディスクには追記で書き込みはできません。  
DVD-RWの場合は、書き込み済みデータの消去を行えば再度書き込みができます。
- 「RecordNow DX」ソフトウェアでデータを書き込むときは、書き込みデータ容量の1割増程度のハードディスク空き容量が必要となります。ハードディスクに十分な空き容量があることを確認してください。例えば、4.3Gバイトのデータを書き込む場合は、ハードディスクには約4.7Gバイトの空き容量が必要になります。
- 「RecordNow DX」ソフトウェアでデータを書き込むときは、1つのファイルサイズが、4Gバイト( 4,294,967,296バイト )以上のファイルは、書き込むことはできません。
- 「RecordNow DX」ソフトウェアをウィザードでご使用のときは、2Gバイト以上のファイルを書き込まないでください。  
1ファイル2Gバイト以上のファイルを書き込む場合は、メインアプリケーションをご使用ください。
- 「DVDIt! for VAIO」ソフトウェアでデータを書き込むときは、ハードディスクの空き容量が、書き込むデータ容量の約2倍必要となります。ハードディスクに十分な空き容量( 最大約10Gバイト )があるか確認してください。
- 「DVDIt! for VAIO」ソフトウェアでデータを書き込むときは、書き込むことのできるデータは、本機に付属の「Giga Pocket」ソフトウェアや「DVgate」ソフトウェアで作成したMPEGファイルのみです。

## DVD-RW / DVD-Rに書き込み時に書き損じが起こる。

- データ書き込み中に他のソフトウェアを起動すると、書き込みは正常に行われません。
- データ書き込み中に、スクリーンセーバーなどの常駐プログラムが自動的に起動すると、書き込みは正常に行われません。  
データを書き込む前にこれらの機能の設定を解除しておいてください。
- データの書き込み中に、i.LINK対応機器やUSB機器などを接続したり、それらの電源を入/切したり、また、インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど他のコンピュータやネットワークにアクセスすると、書き込みは正常に行われません。

## DVD-RW / DVD-Rの書き込みに時間がかかる。

- DVD-Rにディスク・アット・ワンスで書き込む場合、データは最低限1Gバイト(1倍速で約12分)で書き込む必要があります。書き込むデータの容量が1Gバイト以下の場合、本機では合計で1Gバイトまでダミーの書き込みを行います。これは、規格上再生互換性を保つためです。  
そのため、DVD-RW / DVD-Rに1Gバイト未満の容量のデータを書き込んだ場合、データの書き込みは終了していても、書き込み処理完了までさらに20分～40分かかることがあります。故障ではありません。この場合、プログレスレバーは100%を示したままで変化はありませんが、そのままお待ちください。

## CD-RW / CD-R

### CD-Rに書き込めない。

- CD-Rは1度書き込むと書き換えはできません。ソフトウェアによっては、ディスクに空きがあるときは追記が可能な場合があります。

### CD-RWを使用して作成した音楽CDがCDプレーヤーで再生できない。

- CD-RWを使用して作成した音楽CDはCD-RWに対応しているドライブでのみ再生できます。

## i.LINK

### 本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。

- i.LINK対応機器の電源を切り、いったんi.LINKケーブルを抜き差ししてから、電源を入れ直してください。

## 「DVgate」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器に映像を録画できない。

- 他のソフトウェアが起動していないか確認する。他のソフトウェアが起動中に「DVgate」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器への録画を繰り返し行くと、録画ができなくなることがあります。この場合は、本機を再起動してください。

## i.LINK接続したVAIO同士で接続できない。

- お使いの機種によっては、本機とデータのやりとりができない場合があります。詳しくは、「i.LINK接続でデータをやりとりする」(219ページ)をご覧ください。
- i.LINKケーブルをいったん抜いてもう1度挿し直してください。しばらく待って接続できないときは再起動してください。
- ネットワークの設定によっては、省電力モードから復帰後に接続できなくなることがあります。その場合は、省電力モードに入らないようにしてご使用ください。

## 本機および本機と接続したi.LINK対応機器が正しく動作しない。

- 本機にi.LINK対応機器を接続すると、まれに正しく動作しないことがあります。この場合は、下記の手順に従って操作してください。

1 本機およびi.LINK対応機器からi.LINKケーブルを取りはずす。

2 本機およびi.LINK対応機器の電源を切る。

本機の電源を切るときは、デスクトップ画面左下の  スタート をクリックし、[ 終了オプション ] をクリックして表示される [ コンピュータの電源を切る ] 画面で、[ 電源を切る ] を選んで電源を切ってください。

本機を再起動しても、i.LINK対応機器は本機に正しく認識されません。

3 本機およびi.LINK対応機器の電源を入れる。

4 i.LINKケーブルを使って本機とi.LINK対応機器を接続する。

## 録画、再生

## 「DVgate」ソフトウェアまたは「Giga Pocket」ソフトウェアを使って録画が正常にできない。

- 本機につないだ機器が正しく接続されているか確認する。
- 「DVgate」ソフトウェアのヘルプまたは「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプおよび取扱説明書をご覧ください。

## テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない。

- 176ページをご覧ください。

## 録画を実行しても何も録画されない。

- 本機に接続した機器が動作していない。ビデオカメラレコーダーやビデオデッキから録画するときは、電源が入っているか、機器と本機が正しく接続されているか確認してください。
- ゲーム機器などの映像は、表示や録画ができないことがあります。本機と接続したビデオ機器から映像を入力している場合、一時停止したときの画像、映像が入力されていないときの画面(青い画面など)本機に接続したビデオ機器が表示するメニュー画面などは表示や録画ができないことがあります。

## 番組を予約録画できない。

- 入力設定が間違っている。「Giga Pocket」ソフトウェアの入力設定(TVチューナー、VIDEO 1 INPUT(後面))を確認してください。
- 予約マネージャーが起動していない。本機の電源が入っているか確認してください。または予約マネージャーが起動しているか確認してください。

## 最初の部分が録画されていない。

- 録画が始まるまでに10数秒かかることがあります。実際に録画するときは、10数秒早く  (録画) をクリックしてください。

## 画面の色がきれいに表示されない、画面の表示サイズが大きすぎる(小さすぎる)。

- ディスプレイの設定を「Giga Pocket」ソフトウェア用に設定しないと、正しく表示されません。詳しくは「サイバーサポート」画面上部の「VAIOの使いかた」をクリックして、「設定を変更する」[ディスプレイの設定を変更する][設定変更のしかた]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

## 「Giga Pocket」ソフトウェアの「Giga ビデオレコーダー」が起動できない。

- エクスプローラで動画ファイルのサムネールを表示していると「Gigaビデオレコーダー」を起動できないことがあります。この場合は、エクスプローラを終了させてから、「Gigaビデオレコーダー」を起動してください。

## カスタマーご登録

### オンラインでカスタマー登録できない。

- カスタマー登録するときは、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてください。
- 本機が電話回線に正しく接続されているか確認する。( 39ページ )
- お使いの電話回線がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認し、ダイヤルの種類に合わせて内蔵モデムを設定する。  
お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線( 基本 )使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT( 局番なしの116番 )などの電話会社にお問い合わせください。
- ISDN回線をお使いの場合は、ターミナルアダプタのUSBコネクタと本機のUSBコネクタをつないでください。( 39ページ )
- ターミナルアダプタなど、お使いになる通信機器によっては、正しく通信できないことがあります。この場合は、本機後面のLINE( 電話回線 )ジャックと一般電話回線をつなぎ( 39ページ )、通信を行ってください。

## モデム/インターネット

### モジュラジャックが取りはずせない。

- 「接続する/準備する ( 39ページ )の手順6の「本機からテレホンコードを取りはずすには」をご覧ください。

### インターネットに接続できない。

インターネットへの接続から、ホームページの閲覧や電子メールのやりとりは、以下の手順で行われています。

- 1 本機が内蔵モデムやターミナルアダプタ( ISDN回線の場合 )を認識する。
- 2 本機の内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダに電話をかける。
- 3 プロバイダのサーバーに接続され、プロバイダと本機の内蔵モデムやターミナルアダプタとの間で必要な信号のやりとりが行われる。
- 4 プロバイダのサーバーが、ユーザー名やパスワードなど、インターネットへの接続に必要な項目を確認する。  
ここまでで問題がなければ、本機がインターネットに接続します。

- 5 ウェブブラウザ(「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアなど)でホームページを見る。
- 6 電子メールをやりとりする。

インターネットに接続できない場合は、上記の各手順で問題があることが考えられます。次のチェック項目に従って接続や設定を確認してください。

それでも接続できないときは、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

## ご注意

接続や設定は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンして確認してください。

# 1

本機が内蔵モデムやターミナルアダプタ( ISDN回線の場合 )を認識していない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目		ここをご覧ください
<input type="checkbox"/>	内蔵モデムは認識されていますか？ また接続した電話回線は内蔵モデムで使用できるものですか？	A-1( 191 ページ ) A-2( 192 ページ )
<input type="checkbox"/>	ISDN回線に接続していませんか？	B-1( 194 ページ ) B-2( 194 ページ ) B-3( 194 ページ )
<input type="checkbox"/>	テレホンコードは正しく接続されていますか？	C-1( 194 ページ ) C-2( 195 ページ ) C-3( 195 ページ )

# 2

本機の内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダに電話をかけていない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目		ここをご覧ください
<input type="checkbox"/>	ダイヤル方法は正しいですか？	D-1( 195 ページ ) D-2( 196 ページ )
<input type="checkbox"/>	接続先( プロバイダのアクセスポイント )の電話番号は間違っていますか？	E-1( 196 ページ )
<input type="checkbox"/>	トーンを待ってダイヤルする設定になっていませんか？	F-1( 196 ページ )
<input type="checkbox"/>	内蔵モデムやターミナルアダプタが3回以上連続してダイヤルしていませんか？	G-1( 197 ページ )

### 3

プロバイダのサーバーと本機の内蔵モデムやターミナルアダプタとの間で必要な信号のやりとりが行われていない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目		ここをご覧ください
<input type="checkbox"/>	ネゴシエーションは正しくできていますか？	H-1( 197ページ )
<input type="checkbox"/>	「ハイパーターミナル」ソフトウェアで時報など、他の電話番号にダイヤルしても接続できませんか？	I-1( 198ページ ) I-2( 199ページ )

### 4

ユーザー名やパスワードなど、インターネットへの接続に必要な項目がプロバイダのサーバーによって認証されない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目		ここをご覧ください
<input type="checkbox"/>	ユーザー名やパスワードは正しく設定されていますか？	J-1( 199ページ )
<input type="checkbox"/>	ユーザー名やパスワードを忘れてしまったのですか？	K-1( 199ページ )
<input type="checkbox"/>	ダイヤルアップネットワークの設定は正しいですか？	L-1( 200ページ )
<input type="checkbox"/>	ネットワークの設定は正しいですか？	M-1( 201ページ )
<input type="checkbox"/>	ダイヤルアップ接続アイコンを削除し、再度作り直しても接続できませんか？	N-1( 202ページ )

### 5

ウェブブラウザ(「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアなど)でホームページを見ることができない。

以下の点をご確認ください。

チェック項目		ここをご覧ください
<input type="checkbox"/>	ネットワークやダイヤルアップネットワークの設定は正しいですか？	O-1( 203ページ )
<input type="checkbox"/>	ホームページのURLをアドレスバーに入力してホームページを見るとき、URLは正しいですか？	P-1( 203ページ )

### 6

電子メールをやりとりできない。

以下の点をご確認ください。

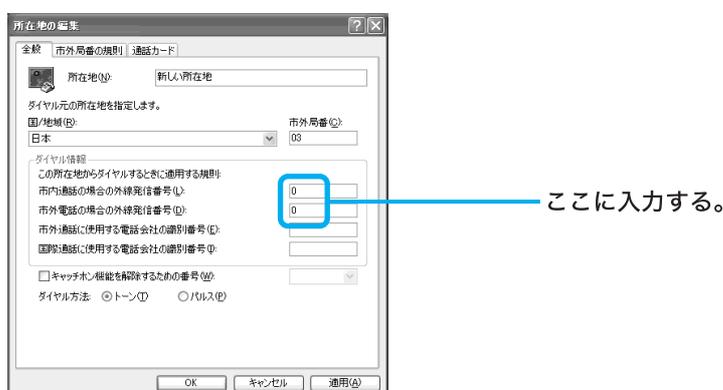
チェック項目		ここをご覧ください
<input type="checkbox"/>	電子メールソフトウェアの設定は正しいですか？	Q-1( 203ページ ) Q-2( 204ページ )

## A-1 PBXなどの交換機や他の通信機器を経由して接続している。

NTTの一般電話回線と直接接続してください。本機の内蔵モデムは一般電話回線との接続を前提としています。集合住宅などで、PBXなどの交換機を経由する場合は、PBXなどの交換機が一般電話回線用のモデムに対応しているか確認してください。対応していない場合、接続できなかつたり、本機の故障や破損の原因となることがあります。また、接続できても途中でとぎれたり、通信速度が遅いことがあります。

PBXなどの交換機を経由して0発信で接続するときは、以下の手順に従って操作し、外線発信番号を「0(0発信)」にしてください。

- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして「コントロールパネル」をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックする。  
「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。
- 3 「電話とモデムのオプション」をクリックする。  
「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。
- 4 「ダイヤル情報」タブをクリックし、**編集(E)...** をクリックする。  
「所在地の編集」画面が表示されます。
- 5 「市内通話の場合の外線発信番号」と「市外電話の場合の外線発信番号」に半角で「0(ゼロ)」と入力する。



- 6 **OK** をクリックする。
- 7 「モデム」タブをクリックする。  
「モデム」画面が表示されます。
- 8 お使いのモデムをクリックして選び **プロパティ(P)** をクリックする。  
内蔵モデムのプロパティ画面が表示されます。
- 9 「モデム」タブをクリックする。  
「モデム」画面が表示されます。

10 「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックをはずす。



ここをクリックしてチェックをはずす。

11 **OK** をクリックする。

12 「電話とモデムのオプション」画面で **OK** をクリックする。

**A-2** 以下の手順に従って操作し、内蔵モデムが正しく認識されているか確認してください。

1 内蔵モデムが本機に認識されているか確認します。

1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして **コントロールパネル** をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックする。

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

3 **電話とモデムのオプション** をクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 **モデム** タブをクリックする。

5 お使いのモデムをクリックして **プロパティ(P)** をクリックする。

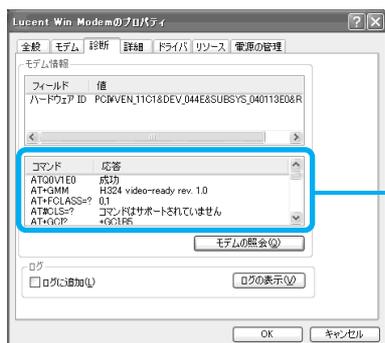
内蔵モデムのプロパティ画面が表示されます。

6 **診断** タブをクリックする。

7 **モデムの照会(Q)** をクリックする。

コマンドに対して応答メッセージが表示されたら、内蔵モデムは正しく認識されています。

コマンドに対して応答メッセージが表示されない場合は、本機を再起動して手順1～7をもう1度行ってください。



ここに表示される。

## ② 内蔵モデムが他のデバイスと競合していないか確認します。

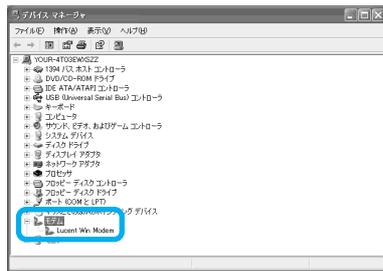
- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして **コントロールパネル** をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックする。  
「パフォーマンスとメンテナンス」画面が表示されます。
- 3 **システム** をクリックする。  
「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 **ハードウェア** タブをクリックする。  
「ハードウェア」画面が表示されます。
- 5 **デバイス マネージャ(D)** をクリックする。  
「デバイスマネージャ」画面が表示されます。
- 6 **モデム** をダブルクリックする。  
お使いのモデムのアイコンに「！」がついているものは、他のデバイスと競合を起こしています。



## ③ 内蔵モデムの設定をいったん削除し、もう1度、組み込み直します。

- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして **コントロールパネル** をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックする。  
「パフォーマンスとメンテナンス」画面が表示されます。
- 3 **システム** をクリックする。  
「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 **ハードウェア** タブをクリックする。  
「ハードウェア」画面が表示されます。
- 5 **デバイス マネージャ(D)** をクリックする。  
「デバイスマネージャ」画面が表示されます。
- 6 **モデム** をダブルクリックする。

- 7 お使いのモデムをクリックして選び、メニューバーの[ 操作 ]をクリックして表示されるメニューから[ 削除 ]をクリックする。  
「デバイス削除の確認」画面が表示されます。



- 8  をクリックする。  
内蔵モデムの設定が削除されます。
- 9 「デバイスマネージャ」画面の  をクリックして画面を閉じる。
- 10 「システムのプロパティ」画面で  をクリックする。  
「システムのプロパティ」画面が閉じます。
- 11 本機を再起動する。  
再起動時に内蔵モデムが検出され、対応するドライバが自動的に組み込まれます。

## B-1 一般電話回線がある場合は、一般電話回線に接続し直してください。

契約するプロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアがISDN回線に対応していないことがあります。オンラインサインアップソフトウェアのISDN回線への対応状況について詳しくは、各プロバイダにお問い合わせください。

オンラインサインアップ後に、ISDN回線に接続し直してください。

## B-2 ISDN回線しかない場合は、本機の内蔵モデムをターミナルアダプタのアナログポートに接続するか、または、ターミナルアダプタの設定を行い、内蔵モデムの代わりに使用してください。

ターミナルアダプタの設定について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。契約するプロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアがISDN回線に対応していないことがあります。オンラインサインアップソフトウェアのISDN回線への対応状況について詳しくは、各プロバイダにお問い合わせください。

オンラインサインアップ後に、本機のUSBコネクタとターミナルアダプタのUSBコネクタを接続し直してください。

## B-3 ISDN回線に接続しているときは、ターミナルアダプタが使える状態になっているか確認してください。

詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

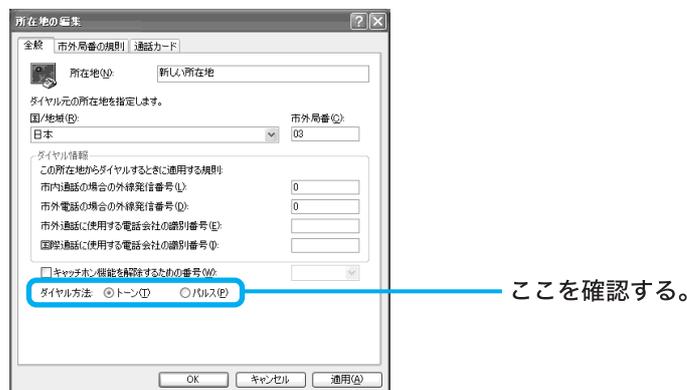
## C-1 本機を電話回線に接続するときは、付属のテレホンコードをお使いください。

**C-2** 「発信音が聞こえません」または「ダイヤル先のコンピュータが応答しません」というメッセージが表示される場合は、テレホンコードが本機側および壁側、ターミナルアダプタなどへしっかりと奥まで接続されているか確認してください。

**C-3** 電話回線のコンセントと本機の間付属以外の分配器などの機器をつなげないでください。

**D-1** 以下の手順に従って操作し、ダイヤル方法( トーン / パルス )が正しく設定されているか確認してください。

- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [ コントロールパネル ] をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [ プリントとその他のハードウェア ] をクリックする。  
「プリントとその他のハードウェア」画面が表示されます。
- 3 [ 電話とモデムのオプション ] をクリックする。  
「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。
- 4 **編集(E)...** をクリックする。  
「所在地の編集」画面が表示されます。
- 5 「ダイヤル方法」が113ページで作成したチェックシートの⑥ トーン / パルス ( 電話回線の種類 ) と同じか確認する。



- 6 **OK** をクリックする。
- 7 「電話とモデムのオプション」画面で **OK** をクリックする。

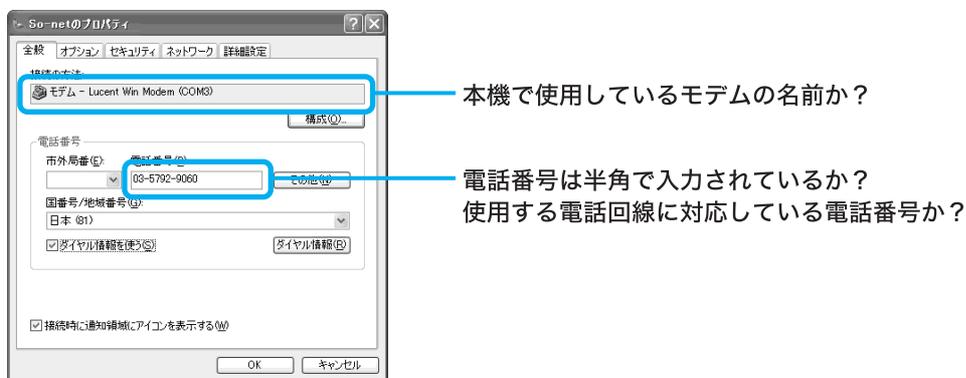
#### 💡 ちょっと一言

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面で、「ダイヤル情報を使う」がチェックされている必要があります。詳しくは、「接続のための設定をする」(117ページ)の手順20をご覧ください。

**D-2** お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなどの電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT(局番なしの116番)などの電話会社にお問い合わせください。

**E-1** 以下の手順に従って操作し、接続先の電話番号を確認してください。

- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして、[コントロールパネル] をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックする。  
「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
- 3 [ネットワーク接続] をクリックする。  
「ネットワーク接続」画面が表示されます。
- 4 ダイヤルアップ接続名(113ページで作成したチェックシートの①ダイヤルアップ接続名)を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ] をクリックする。  
プロパティ画面が表示されます。
- 5 「接続の方法」の表示内容および「電話番号」の入力欄が間違っていないか確認する。



#### 💡 ちょっと一言

プロバイダによっては、同じアクセスポイントでも一般電話回線とISDN回線で電話番号を分けていることもあります。使用する電話回線に合った電話番号かは、契約したプロバイダにお問い合わせください。

**F-1** 以下の手順に従って操作し、トーンを待ってダイヤルする設定を解除してください。

- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして[コントロールパネル] をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [プリンタとその他のハードウェア] をクリックする。  
「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

- 3 [電話とモデムのオプション] をクリックする。  
「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。
- 4 [モデム] タブをクリックする。  
「モデム」画面が表示されます。
- 5 お使いのモデムをクリックして選び、**プロパティ(P)** をクリックする。  
内蔵モデムのプロパティ画面が表示されます。
- 6 [モデム] タブをクリックする。  
「モデム」画面が表示されます。
- 7 「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックをはずす。



ここをクリックしてチェックをはずす。

- 8 **OK** をクリックする。
- 9 「電話とモデムのオプション」画面で **OK** をクリックする。

**G-1** 3分以内に3回以上同じ電話番号にかけた場合は、リダイヤル制限がかかる場合があります。3分以上、時間を置いてからかけ直してください。

**H-1** 内蔵モデムやターミナルアダプタが発信しているのに、ネゴシエーションが始まらない場合は、以下のような問題が考えられます。

#### 💡 ネゴシエーションとは？

内蔵モデムやターミナルアダプタがプロバイダのサーバーとの間で必要な信号のやりとりを行うことで、接続先につながると、「ピーヒョロロロ…」という音がします。

#### 電話回線の問題

- 電話回線の状態が良くない。
- 電話回線が混み合っている。

この場合は、時間帯をずらして、再度接続してみてください。

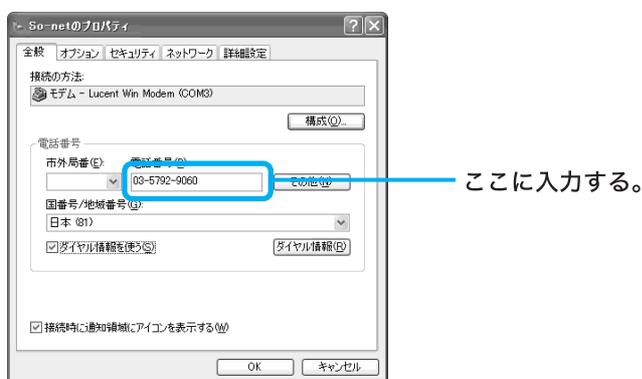
#### 接続先(プロバイダのアクセスポイント)の問題

- 接続先の回線の状態が良くない。
- 接続先の回線が混み合っている。
- 接続先のモデムが不調である。

この場合は、時間帯をずらして、再度接続してみるか、アクセスポイントを変更して接続してみてください。

アクセスポイントを変更するには、以下の手順に従って操作します。

- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして、[ コントロールパネル ] をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [ ネットワークとインターネット接続 ] をクリックする。  
「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
- 3 [ ネットワーク接続 ] をクリックする。  
「ネットワーク接続」画面が表示されます。
- 4 ダイヤルアップ接続名( 113 ページで作成したチェックシートの ① ダイヤルアップ接続名 ) を右クリックして表示されるメニューから [ プロパティ ] をクリックする。  
プロパティ画面が表示されます。
- 5 「電話番号」の入力欄に別のアクセスポイントの電話番号を半角の数字で入力する。



- 6 **OK** をクリックしてプロパティ画面を閉じる。

**I-1** 以下の手順に従って操作し、「ハイパーターミナル」ソフトウェアで時報の電話番号に接続できるか試してください。

- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [ すべてのプログラム ] にポインタを合わせ、[ アクセサリ ] [ 通信 ] [ ハイパーターミナル ] の順にクリックする。  
「ハイパーターミナル」ソフトウェアが起動し、「接続の設定」画面が表示されます。

- 2 「名前」に任意の名前を入れ、**OK** をクリックする。



- 3 「電話番号」に時報の番号( 117 )を入れ、**OK** をクリックする。  
「接続」画面が表示されます。

- 4 **ダイヤル(D)** をクリックする。

## I-2 お使いになっているソフトウェアの設定を確認してください。

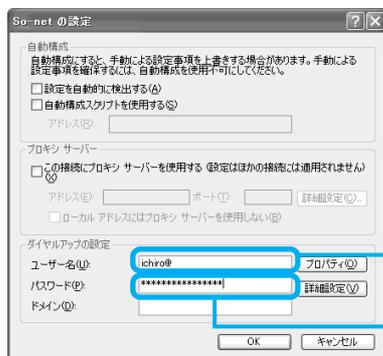
**J-1** 「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続アイコンをダブルクリックして、やり直してみてください」または「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直してみてください」というメッセージが表示される場合は、ユーザー名やパスワードを確認してください。

### ご注意

上記のメッセージは、ユーザー名やパスワードが正しくないときにのみ表示されるわけではありません。

ユーザー名とパスワードを確認するには、以下の手順に従って操作します。

- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして **コントロールパネル** をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 **ネットワークとインターネット接続** をクリックする。  
「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
- 3 **インターネットオプション** をクリックする。  
「インターネットのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 **接続** タブをクリックする。
- 5 「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」の中のダイヤルアップ接続名(113ページで作成したチェックシートの①ダイヤルアップ接続名)を選び、**設定(S)...** をクリックする。  
設定画面が表示されます。
- 6 「ダイヤルアップの設定」の「ユーザー名」や「パスワード」が正しいか確認する。



ここがチェックシートの③ユーザー名 (PPP) と同じか？

チェックシートの④パスワード (PPP) をもう1度半角で入力してみてください。

**K-1** プロバイダから郵送されてきた資料を確認してください。または、契約したプロバイダにお問い合わせください。

**L-1** ユーザー名やパスワードを確認して接続してもJ-1(199ページ)で説明したメッセージが表示される場合は、以下の手順に従って、ダイヤルアップネットワークの設定を確認してください。113ページで作成したチェックシートをご覧になりながら、設定内容が正しいか確認していきます。

- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして、[コントロールパネル] をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックする。  
「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
- 3 [ネットワーク接続] をクリックする。  
「ネットワーク接続」画面が表示されます。
- 4 ダイヤルアップ接続名(113ページで作成したチェックシートの①ダイヤルアップ接続名)を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ] をクリックする。  
プロパティ画面が表示されます。
- 5 各タブをクリックし、各項目がチェックシートどおりに正しく入力されているか確認する。

#### 「全般」タブ

本機内蔵のモデムの名前か？

チェックシートの②電話番号（アクセスポイント）と同じか？半角で入力されているか？

日本（81）が選ばれているか？

ここがチェックされているか？

#### 「ネットワーク」タブ

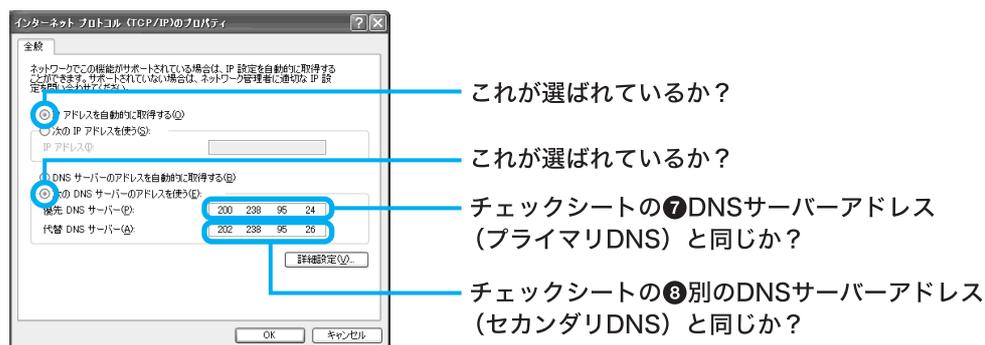
「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」が選ばれているか？

ここがチェックされているか？

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面

「ネットワーク」タブで「インターネットプロトコル(TCP/IP)」をクリックして選び

**プロパティ(P)** をクリックすると表示されます。



### ご注意

プロバイダからDNSサーバーアドレスを指定されない(自動設定)場合は、「次のDNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」をクリックしてください。

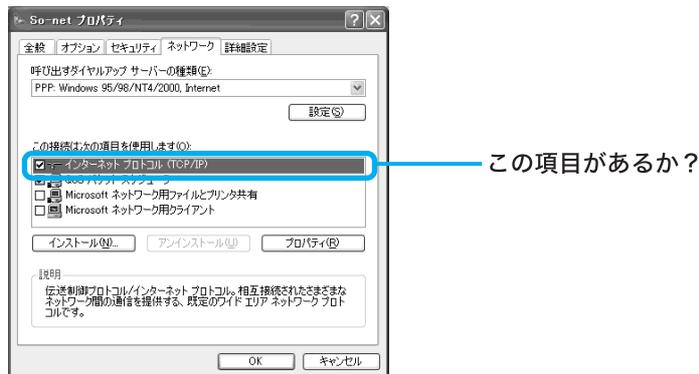
### 💡 ちょっと一言

DNSサーバーアドレス(プライマリDNSとセカンダリDNS)がチェックシートと異なる場合は、「次のDNSサーバーのアドレスを使う」をクリックしてから、正しいアドレスを入力します。

## M-1 以下の手順に従って操作し、ネットワークの設定を確認してください。

- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして、「コントロールパネル」をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックする。  
「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
- 3 「ネットワーク接続」をクリックする。  
「ネットワーク接続」画面が表示されます。
- 4 ダイアルアップ接続名(113ページで作成したチェックシートの①ダイアルアップ接続名)を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックする。  
プロパティ画面が表示されます。
- 5 「ネットワーク」タブをクリックする。  
「ネットワーク」画面が表示されます。

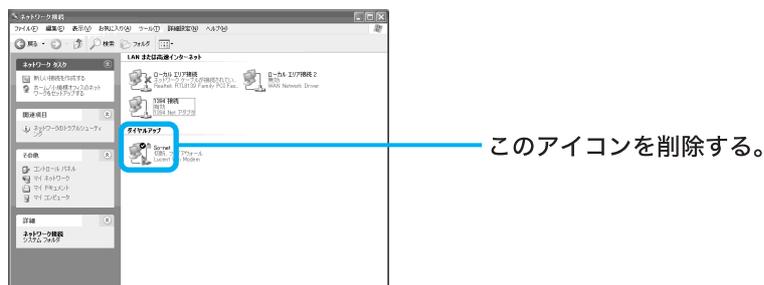
- 6 「この接続は次の項目を使用します」に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」があるか確認する。  
 「この接続は次の項目を使用します」に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」がない場合は、**インストール(N)...** をクリックして追加してください。



## N-1 ダイアルアップ接続アイコンを削除し、再度作り直して接続してみてください。

ダイアルアップ接続アイコンを作り直すには、以下の手順に従って操作します。

- 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして、[ **コントロールパネル** ] をクリックする。  
 「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [ **ネットワークとインターネット接続** ] をクリックする。  
 「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
- 3 [ **ネットワーク接続** ] をクリックする。  
 「ネットワーク接続」画面が表示されます。
- 4 ダイアルアップ接続名(113ページで作成したチェックシートの①ダイアルアップ接続名)のアイコンをごみ箱にドラッグアンドドロップする。  
 ダイアルアップアイコンを削除するか確認するメッセージが表示されます。



- 5 **はい(Y)** をクリックする。  
 ダイアルアップ接続アイコンが削除されます。
- 6 「ネットワークタスク」の中の[ **新しい接続を作成する** ]をクリックする。  
 「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。
- 7 **次へ(N) >** をクリックする。  
 「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

- 8 [インターネットに接続する]の○をクリックして●にし、**次へ(N) >**をクリックする。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

以下の手順は「接続のための設定をする」(117ページ)の手順3～25の操作を行ってください。

インターネット接続ウィザードが終了すると、「ネットワーク接続」画面の中に新しいダイヤルアップ接続アイコンができます。

このアイコンをダブルクリックして、接続を試してください。

**O-1** L-1(200ページ)やM-1(201ページ)の操作を行い、ネットワークやダイヤルアップネットワークの設定を再度確認してください。

**P-1** アドレスバーに入力されている英数字を確認してください。また、URLは半角で入力してください。

URLの中には「~(チルダ)」という特殊な記号を入力するものもあります。「~」を入力するには、MS-IMEツールバーで「半角英数」または「直接入力」を選び、**Shift**(シフト)キーを押しながら**~**を押します。



**Q-1** 「Outlook Express」ソフトウェアをお使いの場合は、以下の手順に従って操作し、電子メールソフトウェアの設定を確認してください。113ページで作成したチェックシートをご覧になりながら、設定内容が正しいか確認していきます。

- 1 デスクトップ画面左下の**スタート**をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Outlook Express]をクリックする。  
「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。  
「接続」画面が表示されたときは、**キャンセル**をクリックします。
- 2 画面上部の[ツール]をクリックし、表示されるメニューから[アカウント]をクリックする。  
「インターネットアカウント」画面が表示されます。
- 3 [メール]タブをクリックする。  
「メール」画面が表示されます。
- 4 お使いのアカウントをクリックして選び、**プロパティ(P)**をクリックする。  
お使いのアカウントのプロパティ画面が表示されます。

5 各タブをクリックし、各項目がチェックシートどおりに正しく入力されているか確認する。

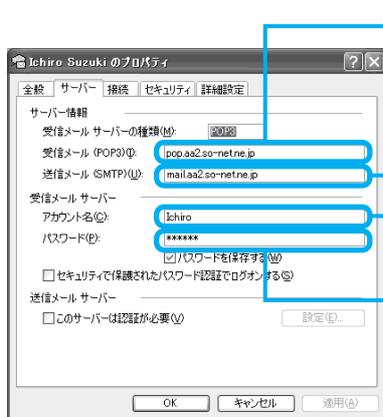
「全般」タブ



チェックシートの⑮インターネットメールアカウント名はお好みのお名前を入れる。

チェックシートの⑩電子メールアドレスと同じか？

「サーバー」タブ



チェックシートの⑪受信メール (POP3、IMAPまたはHTTP)サーバーと同じか？

チェックシートの⑫送信メール (SMTP)サーバーと同じか？

チェックシートの⑬POPアカウント名と同じか？

チェックシートの⑭パスワード (POPアカウントパスワード) をもう1度入力してみてください。

ご注意

文字は半角文字で入力してください。全角で入力してあると、電子メールソフトウェアが正しく設定されません。

Q-2 「Outlook Express」以外の電子メールソフトウェアをお使いの場合は、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧になり、113ページで作成したチェックシートの⑩～⑭が正しく入力されているか確認してください。

動画 / 静止画編集

「DVgate」ソフトウェアを使って動画や静止画の取り込みができない。

- i.LINK対応機器の認識ができない。「Smart Capture」ソフトウェアが起動している。「Smart Capture」ソフトウェアと「DVgate」ソフトウェアをいったん終了し、「DVgate」ソフトウェアのみを起動してください。
- i.LINK対応機器の準備ができていない。i.LINK対応機器の電源が入っているか確認してください。

- 本機とi.LINK対応機器が正しく接続されていない。i.LINKケーブルで本機とi.LINK対応機器が正しくつながっているか確認してください。

「DVgate」ソフトウェアについて詳しくは、「DVgate」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

## 「MovieShaker」ソフトウェアを使って動画の取り込みができない。

- i.LINK対応機器の準備ができていない。i.LINK対応機器の電源が入っているか確認してください。
- 本機とi.LINK対応機器が正しく接続されていない。i.LINKケーブルで本機とi.LINK対応機器が正しくつながっているか確認してください。

「MovieShaker」ソフトウェアについて詳しくは、「MovieShaker」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

## 「Smart Capture」ソフトウェアを使って動画 / 静止画を電子メールで送れない。

- 動画が電子メールで送れないときは、撮影時のモードを確認する。ネットムービーモードで撮影した動画のみ、電子メールに添付できます。
- 電子メールソフトウェアの設定が正しいか確認する。詳しくは、「モデム / インターネット」(188ページ)をご覧ください。

「Smart Capture」ソフトウェアについて詳しくは、「Smart Capture」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

## エラーメッセージ

電源を入れると、「Non-System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」というメッセージが表示される。

- 173ページをご覧ください。

電源を入れると、「Operating system not found」というメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

- 173ページをご覧ください。

「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→ 181ページをご覧ください。

「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示された。

→ 181ページをご覧ください。

「DVDソフトウェアデコーダの設定をするアクセス権がありません。」と表示された。

→ 184ページをご覧ください。

電源を入れると、「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」または「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示され、ハードディスクから起動できない。

→ 174ページをご覧ください。

電源を入れると、「CMOS Battery Bad」というメッセージが表示される。

→ 174ページをご覧ください。

電源を入れると、「CMOS Checksum Error」というメッセージが表示される。

→ 174ページをご覧ください。

「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」というメッセージが表示される。

→ 本機の設定を変更したあとに表示されることがあります。次の操作を行ってください。付属のリカバリ CD をディスクドライブに挿入しないでください。

- 1 メッセージが表示されたら[ OK ]をクリックする。  
「ファイルのコピー」画面が表示されます。
- 2 「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥I386」と入力して[ OK ]をクリックする。  
必要なファイルがコピーされます。

「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続アイコンをダブルクリックして、やり直してみてください」または「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直してみてください」というメッセージが表示された。

→ 199ページをご覧ください。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、PDF形式のファイルを開こうとすると、「Could not find Acrobat External Window Handler.」、「An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない。

→ 本機を再起動後、以下の手順を行ってください。

- 1 デスクトップ画面左下の  をクリックして[ すべてのプログラム ]にポインタを合わせ、[ Acrobat Reader 5.0 ]をクリックする。
- 2 言語を選択する画面が表示されたら、「日本語」を選択し、 をクリックする。  
言語を選択する画面が表示されない場合は、そのまま手順3を行ってください。
- 3 「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されたら、契約書の内容を読み、 をクリックする。  
「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されずに「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアが起動した場合は、そのまま手順4を行ってください。
- 4 「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアが起動したら、画面右上の  をクリックする。
- 5 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、先ほど開けなかったPDF形式のファイルを開き、表示されることを確認する。

## 音が出ない。

- ミュート(消音)になっている。本機前面のMUTINGボタンを押して、ミュートを解除する。
- 音量が最小になっている。本機前面の音量+ボタンを押して音量を上げる。
- ヘッドホン(別売り)を差したままになっている。ヘッドホンをHEADPHONESコネクタから抜く。
- スピーカーコードが付属のスピーカーと本機にしっかり接続されていないか、スピーカーコードのビニール部分がSPEAKERコネクタに食い込んでいる。スピーカーコードを正しく接続し直す。
- DVDビデオを再生しても音が出ない場合は、「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアの「DVD設定」画面で「ドルビーデジタル」が選ばれていないか確認する。
- OPTICAL IN(光デジタル入力)コネクタへの入力音声は、以下の場合は、デスクトップ画面左下の  をクリックして、[コントロールパネル][サウンドと音声、およびオーディオデバイス][詳細ボリュームコントロール]の順にクリックして表示される画面で、「SPDIFインターフェース」のミュート(消音)を解除しても聞くことはできません。
  - 「SonicStage Premium」ソフトウェアを起動している場合
  - 「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアを起動していて、「DVD設定」画面で「ドルビーデジタル(AC-3)」が選ばれている場合
 これらの場合は、ソフトウェアの終了時にOPTICAL IN(光デジタル入力)コネクタへの入力音声は、スピーカーから出力されます。

## LINE OUT / OPTICAL OUTから音が出ない。

- 「SonicStage Premium」、「Giga ビデオレコーダー」、「Media Bar DVD プレーヤー」、「MDデッキコントローラ」が起動しているときは、設定や操作によっては、目的の音しか出なくなります。  
「Windows Media Player」などのアプリケーションの音を出す場合には、「SonicStage Premium」、「Giga ビデオレコーダー」、「Media Bar DVD プレーヤー」、「MDデッキコントローラ」を終了させてください。

## 音がおかしい。

- スピーカーコードの+ / - が正しく接続されていない。スピーカーコードを正しく接続し直す。
- 左右のスピーカーの高さ、距離が極端に違う。高さ、距離をなるべく対称にする。

- 1つのスピーカーコネクタに2台以上のスピーカーをつないでいる。1つのスピーカーコネクタにつなぐのは、スピーカー1台にする。
- 外付けのアンプなどにLINE IN、LINE OUTコネクタの両方をつないでいる場合は、以下の操作を行ってください。

- 1 デスクトップ画面左下の  をクリックし、[ コントロールパネル ] をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 2 [ サウンド、音声、およびオーディオデバイス ] をクリックし、[ サウンドとオーディオデバイス ] をクリックする。  
「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」画面が表示されます。
- 3 [ 音量 ] タブをクリックする。
- 4 「デバイスの音量」の [ 詳細設定 ] をクリックする。  
「スピーカー」画面が表示されます。
- 5 「ライン」の「ミュート」の  をクリックして  にする。
- 6 画面右上の  (閉じるボタン) をクリックする。

## 雑音が多い。

- テレビやビデオなど、ノイズを出す機器の近くに設置している。離れたところに設置し直す。
  - 冷蔵庫など、ノイズを出す機器と同じ電源コンセントにつないでいる。別の電源コンセントにつなぐか、市販の電源ラインのノイズフィルタを使用する。
  - 外付けのアンプなどを接続している場合は、以下の操作を行ってください。
- 1 デスクトップ画面左下の [ スタート ] ボタンをクリックし、[ コントロールパネル ] をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
  - 2 [ サウンド、音声、およびオーディオデバイス ] をクリックし、[ サウンドとオーディオデバイス ] をクリックする。  
「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」画面が表示されます。
  - 3 [ 音量 ] タブをクリックする。
  - 4 「デバイスの音量」の [ 詳細設定 ] をクリックする。  
「スピーカー」画面が表示されます。
  - 5 「ライン」の「ミュート」の  をクリックして  にする。
  - 6 画面右上の  (閉じるボタン) をクリックする。

## タイマー

### タイマーが設定できない。

- 時計が設定されていない。
- 停電したり、電源コードをコンセントから抜いたりして、タイマーの設定が解除された。本機を再起動してタイマーを設定し直す。

### タイマーが働かない。

- 電源を切る前にタイマーが働くように設定していなかった。タイマーを設定する。
- 誤った時間が設定されている。設定内容を確認し、正しい時間を設定する。
- 「Giga Pocket」ソフトウェアのタイマー予約と重なっている。「Giga Pocket」ソフトウェアで設定したタイマー予約が最優先されるので、重ならないようにタイマーを設定する。  
デイリータイマーやタイマー録音時は、「Giga Pocket」ソフトウェアのタイマー設定状況によっては正しく動作しないことがあります。

## 再生

### ディスクやMDが出てこない。

- 「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[基本的な使いかた] [ディスクを使う] [ディスクを入れる / 取り出す]の順にクリックして表示される情報の操作を行ってもディスクがDVD-RWドライブ(PCV-MXS2R)またはCD-RW / DVD-ROM一体型ドライブ(PCV-MXS2)から出てこない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。
- レンタルCDや中古CDなどで、シールなどからのりがはみ出したり、のりが付着したディスクを入れたため、ディスクが内部に貼り付いている、または貼り付いたディスクが内部に落ちて挟まっている。VAIOカスタマーリンクにご相談ください。
- ディスクやMDを入れたまま、本機を移動するなどの振動を与えたため、ディスクやMDが内部に挟まった。VAIOカスタマーリンクにご相談ください。
- 「サイバーサポート」画面上部の[VAIOの使いかた]をクリックして、[基本的な使いかた] [MDを再生する] [MDを入れる / 取り出す]の順にクリックして表示される情報の操作を行ってもMDが取り出せないときは、いったん本機の電源を切り、再度電源を入れてください。そのあと、合(MDイジェクト)ボタンを押してください。それでもMDが取り出せないときは、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。

## MDが入らない。

- MDの向きが違う。矢印の書いてある面を上にして、矢印の向きに挿入する。違う向きで入れた場合、保護機能が働き、約1分間動作が停止することがあります。この場合は1分以上たってから、正しい向きで挿入してください。

## MDの操作を受け付けない。

- MDが汚れている、または破損している。新しいMDと交換する。

## ディスクやMDの再生が始まらない。

- ディスクやMDが入っていない。ディスクやMDが入っているか確認する。
- ディスクやMDの汚れ(油膜、指のあとなど)がひどい。汚れを拭き取る。
- ディスクの傷がひどい。ディスクを交換する。
- 再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。ディスクを交換する。
- ディスクが裏返しに入っている。再生したい面を下にして、DVD-RWドライブ(PCV-MXS2R)またはCD-RW / DVD-ROM一体型ドライブ(PCV-MXS2)に入れ直す。
- 本機内部のレンズ、または入れたディスクやMDが結露している。ディスクは取り出してディスクの水分を拭き取り、MDは本機に入れて、本機の電源を入れたまま数時間待つ。
- ディスクやMDが再生状態になっていない。「Media Bar DVD プレーヤー」または「SonicStage Premium」ソフトウェアで再生ボタンをクリックするか、リモコンのDVDボタン、MDボタン、CDボタンなどを押し、再生状態にする。

## 音とびがする。

- ディスクやMDの汚れ(油膜、指のあとなど)がひどい。汚れを拭き取る。
- ディスクの傷がひどい。ディスクを交換する。
- 演奏しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。ディスクを交換する。
- 本機に振動が加わっている。振動のない場所(安定した台の上など)に設置してみる。または、スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置してみる。低音の効いた曲を大音量でお聞きになっている場合、スピーカーの振動により音とびしている可能性があります。
- 本機内部とディスクの温度差がはげしい。MDを本機に入れ、電源を入れたまま10～20分待つ。

## 音楽CDの再生が1曲目から始まらない。

- シャッフル再生になっている。  
リモコンの再生モードボタンを繰り返し押し、「SonicStage Premium」ソフトウェアの画面の「SHUF」を消し、ふつうの再生に戻す。または、「SonicStage Premium」ソフトウェアでシャッフル再生を解除する。詳しくは、付属の「SonicStage Premium」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

## エラーメッセージが出て、DVDビデオの再生ができない。

- 183ページをご覧ください。

## DVDソフトウェアデコーダの設定をするアクセス権がありません」と表示された

- 184ページをご覧ください。

## 録音 / 編集

### MDにチェックアウト・録音できない。

- MDが誤消去防止状態になっている。ディスクを取り出し、録音可能状態にする。
- 市販の再生専用のMDが入っている。録音用MDと交換する。
- MDの残り時間が足りない。足りない曲をチェックインするか、消すか、別のMDと交換する。

### ハードディスクに録音できない。

- 「SonicStage Premium」ソフトウェアの画面下部にある[ MENU ]をクリックして [ 設定 ] を選び、[ CD/CD-R ] タブをクリックすると表示される画面で [ チェック開始 ] をクリックして、CDドライブのチェックを行ってみる。

## FMラジオ

### 雑音が入る、受信できない。

- 放送局のバンド、周波数が合っていない。周波数を正しく設定する。
- アンテナが正しく接続されていない。正しく接続し直す。( 39ページ )
- FM ANTENNA コネクタに整合器を直接つないでいる。付属のFMアンテナケーブルを使って、整合器とFMフィーダアンテナを本機からできるだけ離す。( 39ページ )
- FMアンテナが受信状態のよい場所に設置されていない。または電波が弱い。受信状態のよい場所( 窓の外など )や方向を探し、設置し直す。( 39ページ )

- 鉄筋、鉄骨造りのマンションなどの場合、付属の簡易アンテナでは十分に受信できない場合があります。窓の外に設置しても受信状態がよくなる場合は、市販の外部アンテナをつなぐことをおすすめします。
- FMアンテナの一部分を折りたたむ、束ねる、巻き取るなどしている。付属のFMフィーダアンテナは全面で受信しているため、余分に感じる部分もそのまま垂らしておく。また、付属のFMフィーダアンテナの先は、テープなどで壁にとめる。
- 付属のFMフィーダアンテナのT字部分がさけてしまった。セロファンテープなどでもとの位置まで張り合わせる。
- 他のコンピュータ、テレビ、電話、蛍光灯などの電気器具の影響を受けている。電気器具の電源を切ってみるか、できるだけアンテナから離す。
- サテライト局を選んで受信する。
- 壁のテレビのアンテナコネクタに本機のFMアンテナを接続してみる。

## ラジオの音声は聞こえるが、文字放送が表示されない。

- FM文字放送の受信には、FMラジオ以上の受信電波の強さが要求されます。受信状態のよい場所や方向を探して、より受信状態がよい場所でお使いください。
- 受信中のFM放送局が文字放送を行っていない。文字放送を行っているFM放送局を確認してください。

## ステレオにならない。

- モノラル受信の設定になっている。リモコンの音声切換ボタンを押し、ステレオにする。
- 受信状態が悪い。前述の「雑音が入る、受信できない」を参照し、アンテナの状態を確認する。

## ザーザーという雑音が入る。

- アンテナの設置位置が適切でない。雑音が消える位置までアンテナを動かす。



## 接続 / 拡張するときは

この章では、本機と周辺機器の接続と本機の拡張について説明します。

# i.LINK対応機器をつなぐ

## i.LINK対応機器の接続のしかた

デジタルビデオカメラレコーダーなどのi.LINK対応機器を本機につないで、動画や静止画を取り込んだり、本機から動画を送出してテープに録画できます。

### ご注意

- i.LINK コネクタを持つソニーパーソナルコンピューターまたはソニーノートブックコンピューターとデータのやりとりをする場合は、「i.LINK 接続でデータをやりとりする (219 ページ)」をご覧ください。
- i.LINK を使った接続や操作には、機器によって異なるものがあります。接続に必要なケーブルや、操作できる機器について詳しくは、「必要な i.LINK ケーブル (217 ページ)」および「本機で操作できる i.LINK 対応機器 (218 ページ)」をご覧ください。
- デジタルビデオカメラレコーダーを接続するときは 1 度電源を切ってから接続し、電源を入れ直してください。本機の電源は切る必要はありません。
- 1 度に接続できるデジタルビデオカメラレコーダーは 1 台のみです。同時に 2 台以上のデジタルビデオカメラレコーダーを接続することはできません。
- 本機の i.LINK コネクタは最大 400Mbps のデータ転送に対応していますが、実際の転送速度は接続した i.LINK 対応機器の転送速度により変わります。
- 接続のしかたや画像の取り込みかたは、接続する i.LINK 対応機器や使用するソフトウェアによって異なります。詳しくは、i.LINK 対応機器の取扱説明書や、本機に付属の「DVgate」などの各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

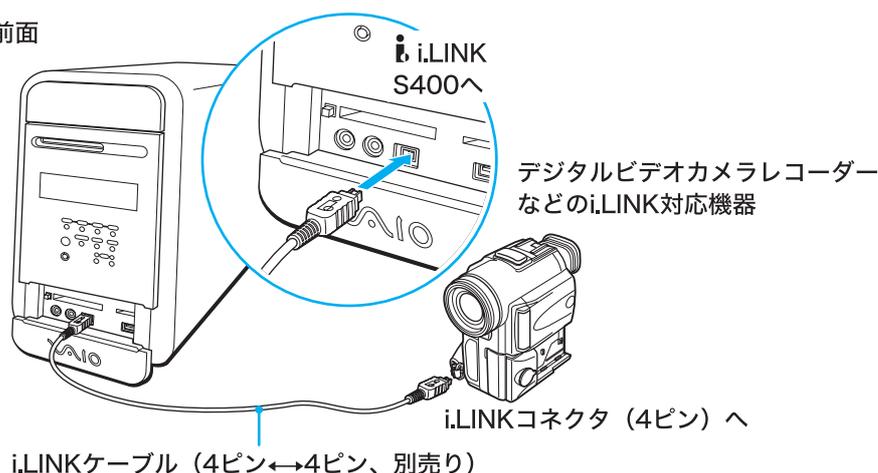
### 💡 ちょっと一言

i.LINK対応機器をつないだときに自動的に好みのソフトウェアが起動するように設定することができます。詳しくは「VAIO Action Setup」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

## 前面パネルのコネクタ(4ピン)を使うとき

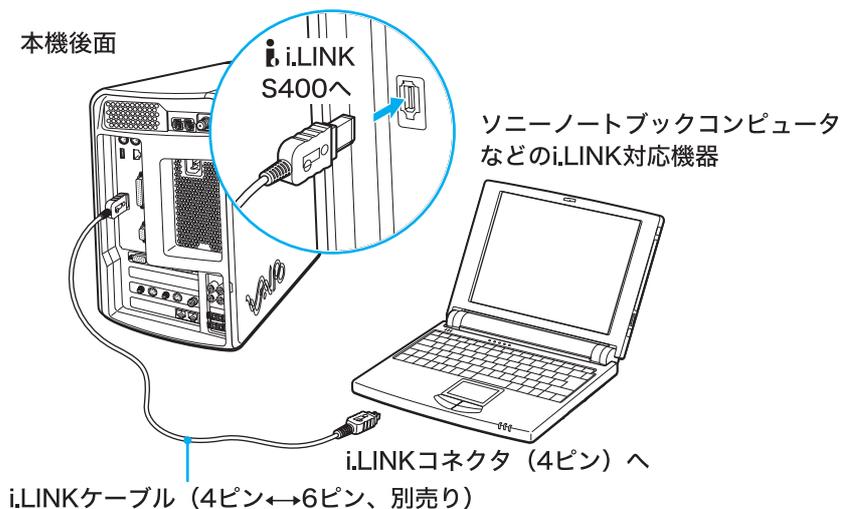
i.LINKケーブル(4ピン ↔ 4ピン、別売り)を使って、本機とi.LINK対応機器をつなぎます。i.LINK対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機前面



## 後面パネルのコネクタ(6ピン)を使うとき

i.LINKケーブル(4ピン ↔ 6ピン、別売り、(217ページ))を使って、本機とi.LINK対応機器をつなぎます。i.LINK対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



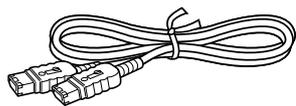
## 必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください

i.LINK対応機器の接続には、本機で操作できるi.LINK対応機器に付属のi.LINKケーブルまたは、下記のソニー製i.LINKケーブル(別売り)をお使いください。

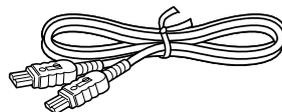
### 6ピン ↔ 6ピン

- VMC-IL6615A(1.5m)
- VMC-IL6635A(3.5m)



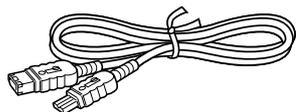
### 4ピン ↔ 4ピン

- VMC-IL4408A(80cm)
- VMC-IL4415A(1.5m)
- VMC-IL4435A(3.5m)



### 4ピン ↔ 6ピン

- VMC-IL4615A(1.5m)
- VMC-IL4635A(3.5m)



### ご注意

DVケーブルはご使用になれません。

## 本機で操作できる i.LINK 対応機器

本機では、下記の i.LINK 対応機器と組み合わせて操作できます。(2002年1月10日現在)

- i.LINK コネクタを持つソニーパーソナルコンピューター
- i.LINK コネクタを持つソニーノートブックコンピューター\*

\* 別売りのパワーアップステーションやポートリプリケーターを取り付ける必要があるモデルがあります。

取り付けかたについて詳しくは、お使いのノートブックコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

- ソニーが 2001 年 12 月末日までに日本国内で発売した、DV 端子付きの家庭用 DV 機器 (Digital8 デジタルビデオカメラレコーダーを含む。ツーリストモデルは除く)  
DV 機器を接続するために必要なソニー製ソフトウェアは、「DVgate」,「MovieShaker」,「Smart Capture」となります。

ただし、ソフトウェアによっては一部の DV 機器が動作対象外になる場合があります。

詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書、電子マニュアル、ヘルプ、Readme ファイルなどをご覧ください。

- ソニーが 2001 年 12 月末日までに日本国内で発売した、MPEG 端子付きの家庭用 MICROMV 機器 (ツーリストモデルは除く)  
MICROMV 機器を接続するために必要なソニー製ソフトウェアは、「MovieShaker」ソフトウェアとなります。
- その他、ソニー製の VAIO ブランドの i.LINK 対応機器の最新情報は、VAIO カスタマーリンク ホームページ (<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>) をご覧ください。

### ご注意

- i.LINK コネクタを持つソニーパーソナルコンピューターまたはソニーノートブックコンピューターとデータのやりとりをする場合は、「i.LINK 接続でデータをやりとりする」(219 ページ) をご覧ください。
- 本機は DTLA コピー・プロテクション技術に対応していないため、デジタル CS チューナーや D-VHS ビデオデッキなどの DTLA コピー・プロテクション技術に対応した機器に接続しても操作することができません。
- i.LINK は、すべての機器間での接続動作が保証されているものではありません。  
i.LINK 搭載各機器の動作条件と接続の可否情報をご確認ください。動作の可否は、各機器のソフトウェア (OS を含む) ハードウェアによって規定されます。
- i.LINK で接続を行うコンピュータ周辺機器 (ハードディスクドライブや CD-RW ドライブなど) は、OS によっては対応していない場合がありますので、あらかじめ動作環境をご確認ください。

## i.LINK接続でデータをやりとりする

本機と「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアに対応したVAIO、またはWindows XPまたはWindows Meを搭載したVAIOを別売りのi.LINKケーブルで接続すると、お互いのファイルをコピーしたり、削除、編集などを行うことができます。

また、接続先のVAIOにつないだプリンタを使って印刷することもできます。接続について詳しくは、「i.LINK対応機器の接続のしかた」(216ページ)をご覧ください。

### Windows XPまたはWindows Meを搭載したVAIOと本機をつなぐ場合

i.LINKケーブルで接続するだけでデータのやりとりができます。

### 「Smart Connect」ソフトウェアを搭載したVAIOと本機をつなぐ場合

接続先の「Smart Connect」ソフトウェアのバージョンをご確認ください。

- 「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェア以降の場合  
「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアの通信モードを「STDモード」にする必要があります。設定方法は、「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアのヘルプの「通信モードを切り替える」をご覧ください。
- 「Smart Connect Ver.2.2」ソフトウェア以前の場合  
「Smart Connect Ver.3.0」無償アップグレードサービスにより、「Smart Connect」ソフトウェアをアップグレードすることでデータのやりとりができます。詳しくは、VAIO ホームページ( <http://www.vaio.sony.co.jp/Download/Smart/index.html> )をご覧ください。

#### ご注意

- アップグレード対象外の機種もあります。
- 本機とアップグレード対象外の機種とではデータのやりとりはできません。

#### ご注意

- i.LINKケーブルを接続してから実際にデータをやりとりできるようになるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- i.LINKで接続したVAIOでは、次のような条件のときにデータのやりとりができなくなることがあります。
  - i.LINKケーブルを接続したまま、どちらかのコンピュータを再起動したとき
  - データをやりとりできる状態で本機にPCカードを挿入したとき
- i.LINK接続でデータのやりとりをするには、Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有(Windows XP) またはネットワーク共有サービス(Windows 98、Me)のインストールおよび設定が必要です。詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

データのやりとりができなくならないように、再起動するときは、i.LINKケーブルを抜く、または、PCカードを挿入してから再起動を行ってください。

データのやりとりができなくなったときは、以下の手順に従って操作してください。

データのやりとりができるようになります。

- 1 本機およびi.LINK対応機器からi.LINKケーブルを取りはずす。
- 2 本機およびi.LINK対応機器の電源を切る。  
本機の電源を切るときは、デスクトップ画面左下の[ スタート ]をクリックし、[ 終了オプション ]をクリックして表示される「コンピュータの電源を切る」画面で「電源を切る」を選んで電源を切ってください。  
本機を再起動しても、i.LINK対応機器は本機に正しく認識されません。
- 3 本機およびi.LINK対応機器の電源を入れる。
- 4 i.LINKケーブルを使って本機とi.LINK対応機器を接続する。

### ご注意

i.LINKケーブルを再度接続したあとは、接続先のVAIOを認識するのに数分かかることがあります。

#### 🔗 接続先のコンピュータを探すには

接続先のコンピュータが、ネットワークコンピュータにすぐには表示されないことがあります。

そのときは、デスクトップ画面左下の  スタート をクリックし、表示されるメニューから[ マイコンピュータ ]をクリックしたあと、[ マイネットワーク ]を右クリックして[ コンピュータの検索 ]を選択し、接続先のコンピュータ名を入力して検索してください。

#### 🔗 接続先から自分のコンピュータを利用できるようにするには

本機のフォルダや接続しているプリンタを接続先のコンピュータから利用できるようにするには、ネットワーク共有サービスのインストールおよび設定が必要です。

デスクトップ画面左下の  スタート をクリックし、表示されるメニューから[ マイコンピュータ ]をクリックしたあと、[ マイネットワーク ]をクリックします。「マイネットワーク」画面左上の「ネットワークのタスク」から[ ホーム/小規模オフィスのネットワークをセットアップする ]で設定することもできます。詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」を見るには、デスクトップ画面左下の  スタート をクリックし、[ ヘルプとサポート ]をクリックします。

# AV機器をつなぐ

## 目的別接続例

本機にはいろいろなAV機器をつなぐことができます。ここでは用途別に接続例を紹介します。

こんなことがしたい	本機とAV機器をつなぎます。
<ul style="list-style-type: none"><li>ビデオデッキの動画を本機につないだディスプレイで見たい。</li><li>ビデオデッキの動画を本機ハードディスクに録画したい。</li></ul>	本機とビデオデッキをつなぎます。 接続のしかたについては下記の「ビデオ機器をつなぐ」をご覧ください。
<ul style="list-style-type: none"><li>ビデオカメラレコーダーで撮影した動画を本機につないだディスプレイで見たい。</li><li>ビデオカメラレコーダーで撮影した動画を本機のハードディスクに録画したい。</li></ul>	本機とビデオカメラレコーダーをつなぎます。 接続のしかたについては下記の「ビデオ機器をつなぐ」をご覧ください。
ディスプレイで見ている動画をテレビでも見たい。	本機とテレビをつなぎます。 接続のしかたについては「テレビにつなぐ」(224ページ)をご覧ください。

## ビデオ機器をつなぐ

ビデオデッキやビデオカメラレコーダーを本機につないで、ディスプレイでビデオ機器の動画を見たり、本機のハードディスクドライブに動画を録画することができます。

また、本機で再生した動画を外部のビデオ機器で録画することもできます。

Sビデオ接続ケーブル(4ピン 4ピン、別売り)とオーディオ接続ケーブル(付属)を使って、本機とビデオデッキまたはビデオカメラレコーダーをつなぎます。本機には後面パネルに映像/音声入力コネクタとS映像入力コネクタがあります。

ビデオデッキまたはビデオカメラレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

### ご注意

- 本機とビデオデッキまたはビデオカメラレコーダーの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから接続してください。
- 接続後は、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。

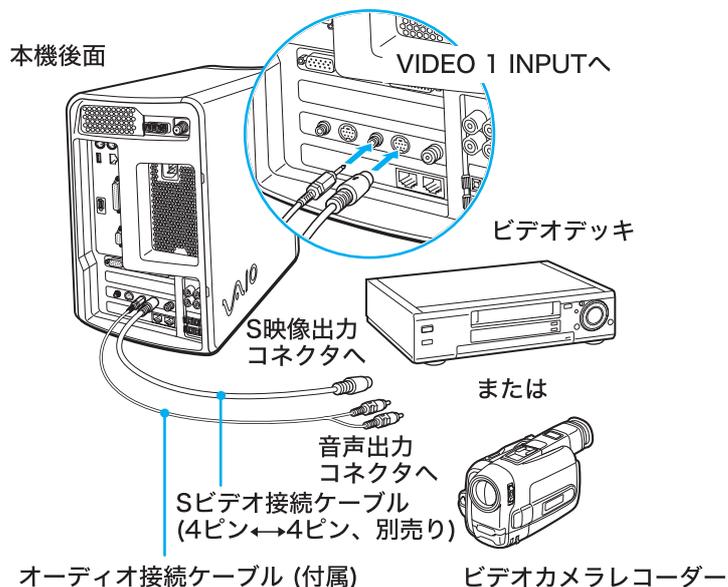
 本機とビデオ機器やテレビで同時に1つのアンテナコネクタを使うときは

アンテナブースターや分配器を使って分配する必要があります。詳しくは、「接続する/準備する」の手順2(39ページ)をご覧ください。

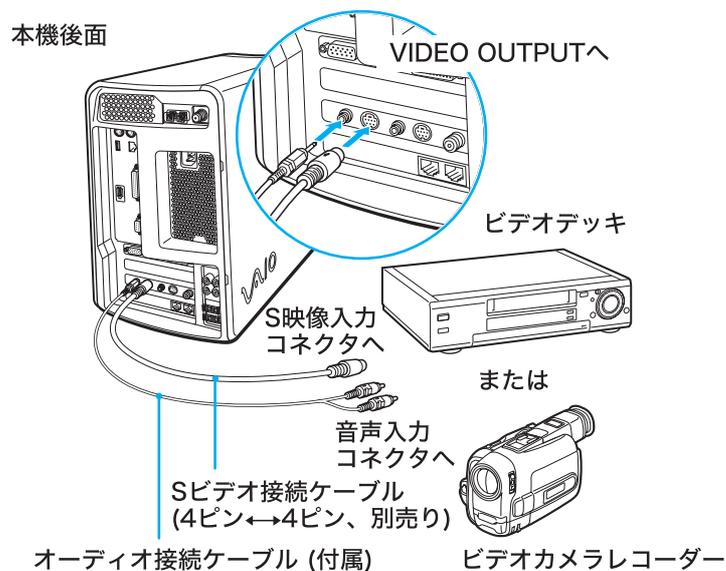
## ビデオデッキの映像を見たり録画するには

付属の「Giga Pocket」ソフトウェアを使います。詳しくは、別冊の「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。

- ビデオ機器の動画を見たり取り込むときの接続のしかた



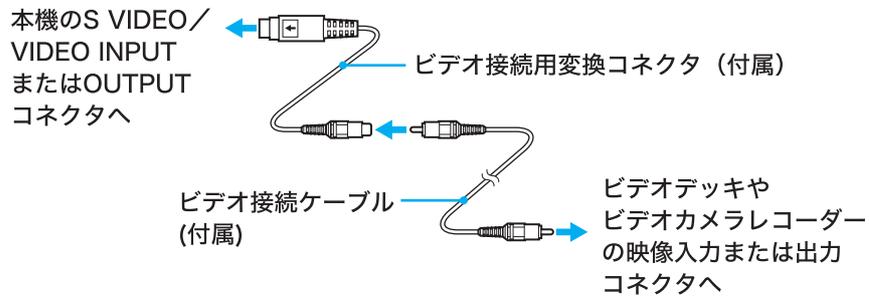
- 本機で録画した動画をビデオ機器に録画するときの接続のしかた



## ご注意

本機のVIDEO 1 INPUTコネクタとVIDEO OUTPUTコネクタの両方を同一のビデオデッキまたはビデオカメラレコーダーの映像出力コネクタおよび映像入力コネクタにそれぞれつないだとき、ビデオデッキまたはビデオカメラレコーダー側で映像入力を切り換えたり、本機側で「Giga Pocket」ソフトウェアを使って映像入力を切り換えると、雑音が出たり、映像が乱れることがあります。

💡 S映像入力/出力コネクタのないビデオデッキやビデオカメラレコーダーをつなぐときはSビデオ接続ケーブルのかわりにビデオ接続用変換コネクタ(付属)とビデオ接続ケーブル(付属)をつないで使うことができます。



## 💡 ちょっと一言

別売りのソニー製のSビデオ接続ケーブルにはYC-15Vなどがあります。

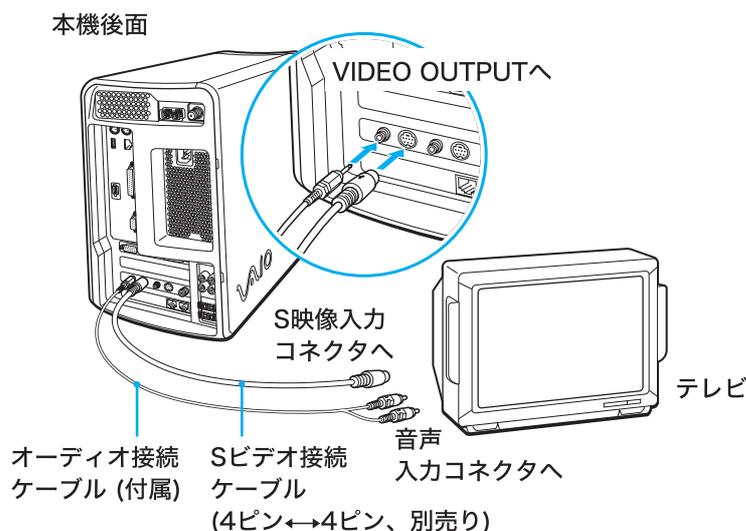
## テレビにつなぐ

「Giga Pocket」ソフトウェアで再生する動画や「Media Bar DVDプレーヤー」ソフトウェアで再生するDVDビデオをテレビでも見ることができます。

Sビデオ接続ケーブル(4ピン→4ピン、別売り)とオーディオ接続ケーブル(付属)を使って、本機とテレビをつなぎます。接続してから、テレビの入力切り換えを「ビデオ」に合わせます。

### ご注意

- すべての機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから接続してください。
- 接続後は、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 本機では、ディスプレイとテレビの両方を接続していてもDVDビデオの映像は両方同時に表示できません。



### 💡 ビデオ機器をつなぐときは

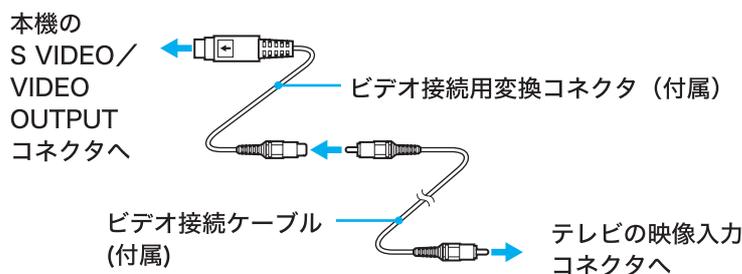
本機のVIDEO OUTPUTコネクタとビデオ機器の映像/音声入力コネクタをつなぎ、ビデオ機器の映像/音声出力コネクタとテレビの映像/音声入力コネクタをつなぎます。

### 💡 本機とビデオ機器やテレビで同時に1つのアンテナコネクタを使う場合は

アンテナブースターや分配器を使って分配する必要があります。詳しくは、「接続する/準備する」の手順2(39ページ)をご覧ください。

### 💡 S映像入力コネクタのないテレビをつなぐときは

Sビデオ接続ケーブルのかわりにビデオ接続用変換コネクタ(付属)とビデオ接続ケーブル(付属)をつないで使うことができます。



### 💡 ちょっと一言

別売りのソニー製のSビデオ接続ケーブルにはYC-15Vなどがあります。

# ヘッドホンをつなぐ

付属の「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアを使って音声出力をドルビーヘッドホン方式に切り換えることにより、ドルビーデジタル方式(AC-3)で記録されているDVDビデオを再生するときに、通常のヘッドホンでも仮想的にドルビーデジタル音声を楽しむことができます。

本機前面



## ドルビーヘッドホンにするには

付属の「Media Bar DVD プレーヤー」ソフトウェアを使います。「DVD設定」画面の「音声形式」タブで「ドルビーヘッドホン」を選択します。

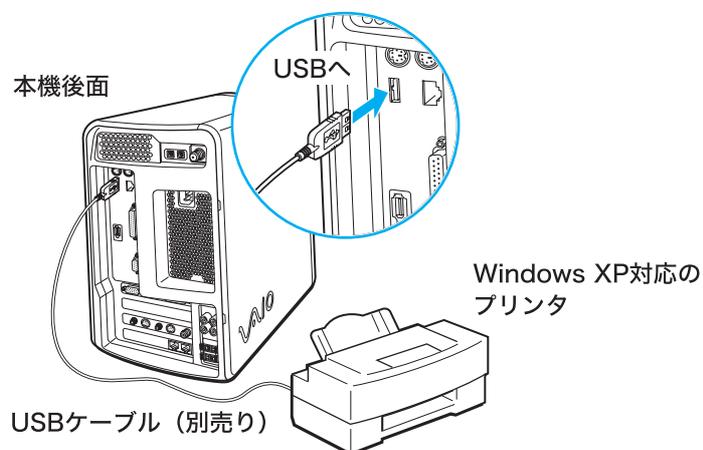
# プリンタをつなぐ

Windows XPに対応しているプリンタを本機につないで、作成した書類などを印刷できます。プリンタに付属または別売りのUSBケーブル、またはプリンタケーブルを使って本機につなぎます。

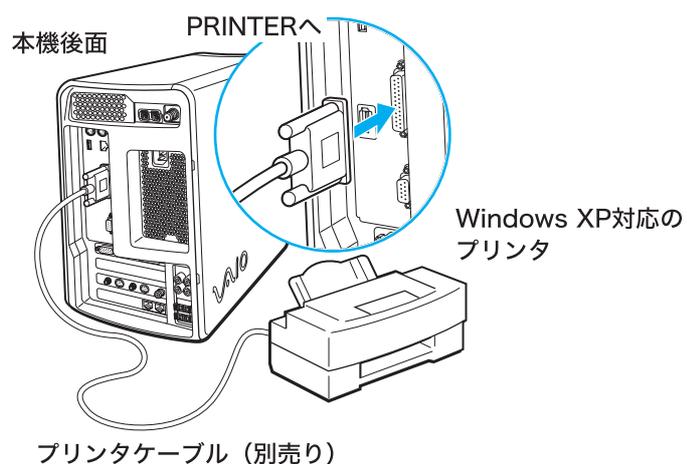
## ご注意

- すべての機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから接続してください。
- 接続後は、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- Windows XPに対応していないプリンタを本機につないでも、正常に動作しません。

## USBケーブルを使うとき



## プリンタケーブルを使うとき



## プリンタを使用するには

プリンタを使用するには、プリンタに付属のドライバを本機にインストールする必要があります。詳しくは、プリンタの取扱説明書および「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」を見るにはデスクトップ画面左下の  スタート をクリックし、表示されるメニューから「ヘルプとサポート」をクリックします。

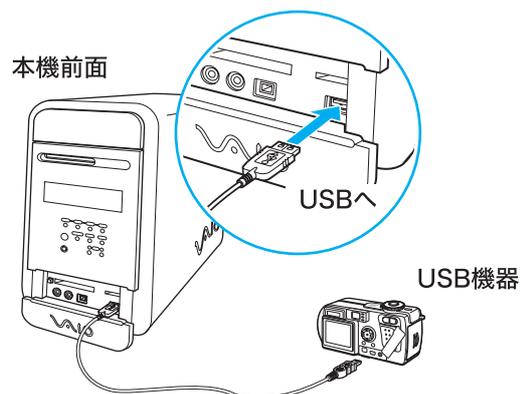
### ドライバとは

どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアです。プリンタのドライバを本機にインストールすることにより、本機からプリンタの動作をコントロールできるようになります。

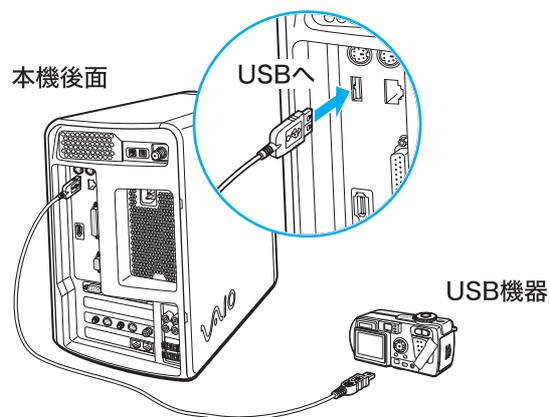
# USB機器をつなぐ

本機の前面と後面にあるUSBコネクタを使って、Windows XPに対応しているUSB機器を接続することができます。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

## 前面パネルのコネクタを使うとき



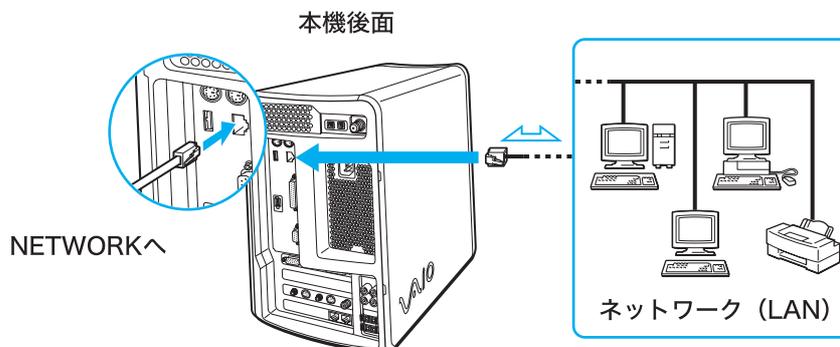
## 後面パネルのコネクタを使うとき



# ネットワーク(LAN)につなぐ

本機後面のNETWORKコネクタとネットワーク(LAN)を直接接続して、ネットワーク内の他の機器とデータをやりとりできます。

10BASE-Tと100BASE-TXタイプのネットワークに接続できます。



## 💡 ちょっと一言

本機をネットワーク(LAN)に接続すると、ネットワークに接続されている他のコンピュータから、「Giga Pocket」ソフトウェアのサーバー機能を利用して、録画を予約したり、録画済みの動画を再生したりできます。「Giga Pocket」ソフトウェアのサーバー機能について詳しくは、別冊の「Giga Pocket」ソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。

## 💡 ADSL について

ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に常時接続できるサービスのことです。このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者と契約し、申し込む必要があります。

ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

## 📌 ご注意

NETWORKコネクタには指定以外のネットワークや電話回線を接続しないでください。

お買い上げ時にはNETWORKコネクタ上に誤って接続しないようにシールが貼られています。NETWORKコネクタを使うときは、シールをはがしてから接続してください。

# PCカードを使う

本機にPCカードを装着すると、他のコンピュータとデータをやりとりしたり、さまざまな機能を拡張したりできます。

## PCカードとは

PC Card規格に準拠した、着脱可能な機能拡張デバイスです。形はクレジットカードに似ていますが、やや大きくて厚みがあります。

主なPCカードには以下のような種類があります。

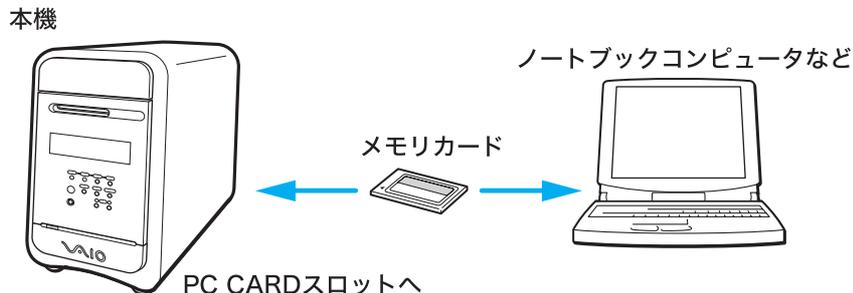
### メモリカード

データをフラッシュメモリに保存します。PCカードに対応したデジタルスチルカメラで撮影した画像であれば、PCカードを本機に取り付けてそのまま取り込めます。

また、本機やPCカードに対応した機器で作成したデータをメモリカードに保存して、データをやりとりできます。

### 💡 フラッシュメモリとは

電氣的にデータを読み書きする、記憶メディアのひとつです。普通、書き込み可能なメモリは、電源を切ると内容が消えてしまいますが、フラッシュメモリは電源を切っても内容が消えないという特徴を持っています。



### SCSIカード

MOドライブやスキャナなどのSCSIデバイスを接続できます。

### 💡 MOとは

「エム・オー」と読みます。レーザー光線と磁気を利用してデータを読み書きする外部記憶メディアのことです。フロッピーディスクよりも容量が多く、種類により、最大640Mバイトまでデータを記録することができます。

### 💡 SCSIとは

「スカジー」と読みます。コンピュータと、MOドライブやプリンタなどの周辺機器を接続するための規格のことです。周辺機器などをSCSIで接続すると、本機を含めて最大7台まで数珠つなぎに接続することができます。

## ネットワークカード

イーサネットなどのネットワークに接続できます。

### イーサネットとは

コンピュータ間のデータ通信方式のことで、職場などで複数のコンピュータをネットワーク(LAN)でつないで、データをやりとりするときに使われます。

## 無線LANカード

無線を使ってネットワークに接続できます。

本機には、PC Cardタイプ とタイプ に準拠したPCカードを挿入できるPCカードスロットがあります。また、本機のPC CARD( PCカード )スロットは16ビットCardおよびCard Busにも対応しています。( ZV( Zoomed Video )Portには対応していません。)

## ご注意

PCカードによっては本機で使用できないものや、機能が制限されるものがあります。

- PCカードによっては、PC CARDスロットに挿入したまま本機の電源を入れると、正しく動作しないことがあります。この場合は、PCカードの使用を中止し、いったん取り出してから、もう1度入れ直してください。PCカードの取り出しかたについて詳しくは、「PCカードを取り出すには」( 233ページ )をご覧ください。
- PCカードによっては、ドライバを最新のものにすることによって不具合が改善される場合があります。PCカードの製造メーカーから最新のドライバを入手してお使いください。
- お使いのPCカードによっては、本機にプリインストールされているOSで動作を保証していなかったり、正しく動作しないことがあります。また、起動しているソフトウェアがPCカードを使用中のときは、本機のPC CARDスロットからPCカードを取り出すことはできません。この場合は、該当するソフトウェアを終了してからPCカードを取り出すか、本機の電源を切ってからPCカードを取り出してください。PCカードの接続情報について詳しくは、VAIOカスタマーリンクのホームページ( <http://vcl.vaio.sony.co.jp/> )をご覧ください。

### ドライバとは

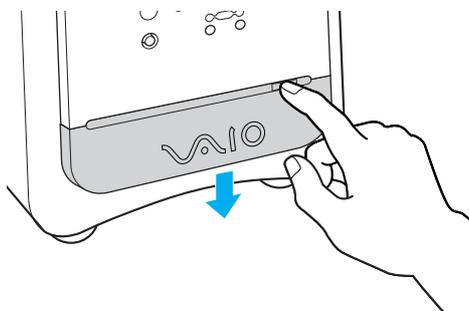
どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータに知らせ、周辺機器を、正しく動かすために必要なソフトです。

## PCカードを取り付ける

PCカードを取り付けるときに本機の電源を切る必要はありません。

1

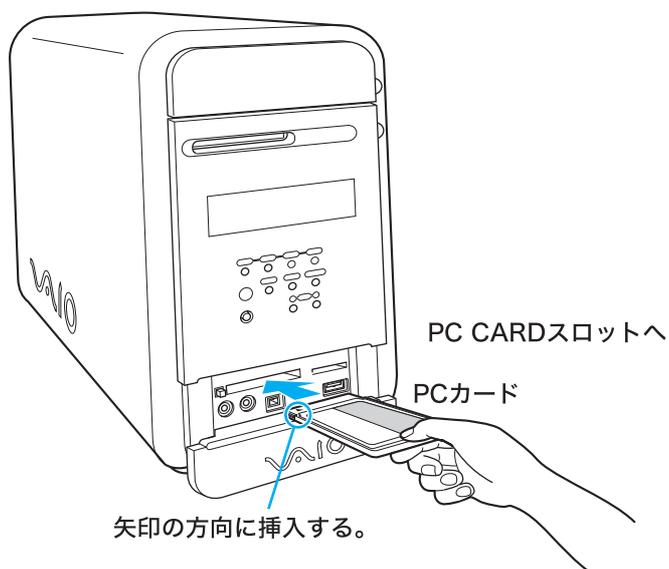
本機の前面パネルのふたを開ける。



2

カードをPC CARD( PCカード )スロットに挿入する。

スロットの奥にあるコネクタに、カードがしっかりと固定されるまで押し込みます。  
カードがうまく入らない場合は、無理にカードを押し込まずに、カードの挿入方向を確認してからもう1度挿入し直してください。



取り付けたあとの使いかたについては、PCカードの取扱説明書をご覧ください。

## ご注意

- お使いのPCカードのメーカーが提供する最新のドライバをお使いください。
- 「デバイスマネージャ」画面のPCカードに「！」がついている場合は、ドライバを削除し、再度インストールする必要があります。「デバイスマネージャ」画面を表示させるには、以下の手順に従って操作してください。
  - 1 デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックし、[コントロールパネル] をクリックする。  
「コントロールパネル」画面が表示されます。
  - 2 [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックし、[システム] をクリックする。  
「システムのプロパティ」画面が表示されます。
  - 3 [ハードウェア] タブをクリックし、 **デバイスマネージャ(D)** をクリックする。  
「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

## PCカードを取り出すには

### ご注意

カードを取り出すときは、必ず以下の手順に従ってください。誤った取り出し方をすると、システムが正常に動作しない可能性があります。本機の電源が切れているときは、PC CARD( PCカード )スロットのイジェクトボタンを押すだけでPCカードを取り出せます。(手順1～4は不要です。)本機がスタンバイモードまたは休止状態のときは、本機を通常の動作モードに戻してから手順1～5を行ってください。本機を通常の動作モードに戻すには、キーボードのスペースキーを押す(スタンバイモード時)か、本機前面の **電源** ボタンを押します。

# 1

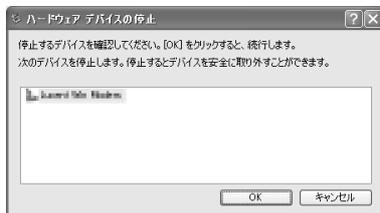
デスクトップ画面右下のタスクトレイにある **ハードウェア** をダブルクリックする。

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

# 2

リストから取り出したいPCカードをクリックし、 **停止(S)** をクリックする。

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。



# 3

取りはずすPCカードを確認し、 **OK** をクリックする。

デスクトップ画面右下に「...は安全に取り外すことができます。」と表示されます。

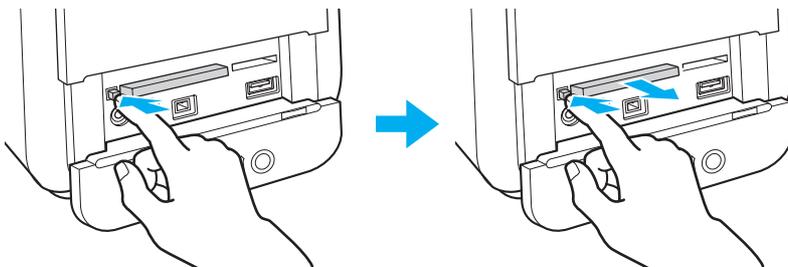
# 4

「ハードウェアの安全な取り外し」画面の **閉じる** をクリックする。

# 5

PC CARD( PCカード )スロットのイジェクトボタンを押す。

1度イジェクトボタンを押してボタンを手前に引き出し、出たボタンをもう1度押しとPCカードを取り出すことができます。



カードがコネクタからはずれます。カードの端を持って、スロットから引き抜いてください。

# 拡張ボードを増設する

本機では「拡張ボード」と呼ばれる別売り品を装着することで、さまざまな機能を拡張し、よりご自分に合った作業環境を構築することができます。

## 拡張ボードの種類

本機では「PCI」という規格に対応した拡張ボードを取り付けることができます。拡張ボードをお買い求めの際は、Windows XPとPCI規格に対応していることをご確認ください。

本機には空きスロット(拡張ボードを増設できる場所)が1か所あり、PCI拡張ボードを1枚取り付けることができます。

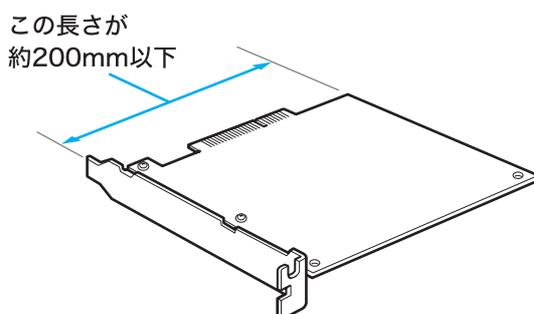
## ご注意

拡張ボードの増設は本機内部の電源部分やケーブル類を取りはずすなどの作業が必要です。電气的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けをご依頼ください。拡張ボードの増設をご自分で行うと、本機が故障したり、手や指をけがする恐れがあります。ご自分で拡張ボードの増設を行い、故障や事故が起きた場合、修理はすべて有償となります。

拡張ボードの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。

## 拡張ボードの大きさについて

本機に取り付けられる拡張ボードの長さは、約200mmまでです。



## リソースについて

拡張ボードは一般的にそれぞれ専用の割り込み番号(IRQ)、メモリ、I/Oポートなどの「リソース」(資源)を使用します。

PCI規格の拡張ボードではこれらのリソースが自動的に設定されます。

### 💡 IRQとは

「アイアールキュー」と読みます。ハードウェアからの割り込み信号のことです。キーボードやマウスなどの周辺機器から入力があると、それを受け付けるかどうか判断します。受け付けるときは、その優先度に応じて割り込みした処理を行います。

### 💡 メモリとは

コンピュータの中であって、データやプログラムを保存しておくための場所、あるいは装置のことです。メモリには主記憶装置と、補助記憶装置があります。通常は主記憶装置のRAMを示します。

### 💡 I/Oポートとは

「アイオーポート」と読みます。コンピュータにデータを入れたり(インプット)出したり(アウトプット)するための接続部、または、コネクタ部の総称です。入力のための機器としてはキーボードやマウス、出力のための機器としてはディスプレイなどがあります。なお、フロッピーディスクドライブや、ハードディスクドライブは入出力のどちらも行える機器です。

### 💡 リソースとは

もともとは、「資源」という意味です。コンピュータを使って何か作業を行う場合に、そのコンピュータが稼働するために必要なメモリ、入力装置、出力装置、制御装置などを指します。

## リソースを確認するには

「システムのプロパティ」画面で現在使用中のリソースを確認することができます。以下の手順に従って確認します。

# 1

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックし、[マイコンピュータ] を右クリックする。

ショートカットメニューが表示されます。

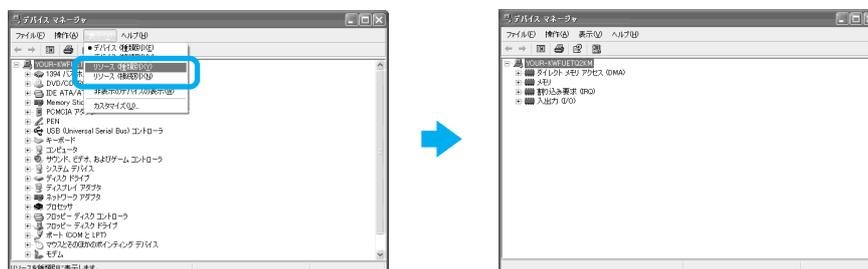




# 5

画面左上の[表示]をクリックして、表示されるメニューから[リソース(種類別)]または[リソース(接続別)]をクリックする。

現在使用中のリソースが種類別または接続別に表示されます。



## プラグアンドプレイについて

「プラグアンドプレイ」とは、拡張ボードを装着するだけで特別な設定をしなくてもすぐに使用できる状態になる機能です。本機に取り付けられるPCI規格の拡張ボードはプラグアンドプレイに対応しています。PCI規格の拡張ボードはボードを取り付けた後、リソースの設定が自動的に行われるので、ご自分で面倒な設定をする必要がありません。

## 拡張ボード取り付けの流れ

以下の流れに沿って、拡張ボードを増設します。

### 1

本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く

本機前面の電源ランプが消灯していることを確認してください。電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切る (71ページ)」をご覧ください。

### 2

拡張ボードを取り付ける

拡張ボードの取り付けかたについて詳しくは、次ページの「拡張ボードを取り付ける」をご覧ください。

### 3

電源コードをコンセントに差し込み、本機の電源を入れる

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる (58ページ)」をご覧ください。

### 4

ドライバの設定、インストールを行う

拡張ボードが本機に認識されるとメッセージが表示されるので、拡張ボードの取扱説明書なども参照のうえ、指示に従って操作してください。

#### 💡 ドライバとは

どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアです。拡張ボードを増設したときには、ドライバのインストールが必要となる場合があります。

## 拡張ボードを取り付ける

以下の手順に従って拡張ボードを取り付けます。

### 取り付けるときのご注意

拡張ボードの増設は本機内部の電源部分やケーブル類を取りはずすなどの作業が必要です。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けをご依頼ください。拡張ボードの増設をご自分で行うと、本機が故障したり、手や指をけがする恐れがあります。ご自分で拡張ボードの増設を行い、故障や事故が起きた場合、修理はすべて有償となります。

拡張ボードの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、充分時間が経過したあとに行ってください。電源コードを差したまま拡張ボードを取り付けたり取りはずしたりすると、拡張ボードや本機、周辺機器が破損することがあります。

- 拡張ボードの部品には直接手を触れないでください。人体の静電気によって部品が故障することがあります。拡張ボードを触る前には、本機の金属部分などの金属製のものに触れて体内の静電気を放電してください。
- カーペットの上など、静電気の発生しやすいところに拡張ボードを放置しないでください。静電気の影響で拡張ボードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部に直接手を触れないようにご注意ください。
- 拡張ボード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないようにご注意ください。
- 拡張ボードを本機から取りはずすときは、必ず本機の拡張ボードの取り扱いかたに従ってください。無理に引き抜くと拡張ボードや本機の故障の原因になります。
- 拡張ボードを水で濡らさないでください。
- 拡張ボード増設の際に、異物(ネジなどの金属物など)が本機内部に混入したままの状態では電源を入れると、発煙の恐れがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから、電源を入れてください。

## 1

本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずす。

### ご注意

電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

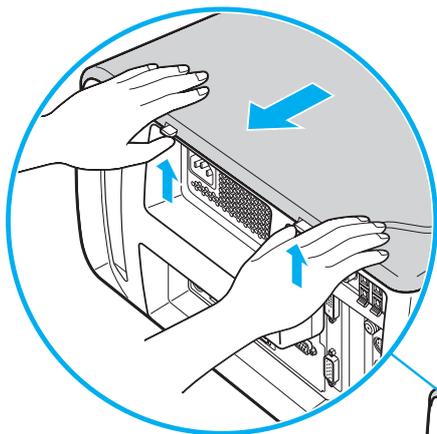
## 2

本機を横に倒して置く。

本機の右側面を下にして横に置きます。拡張ボードが取り付けやすくなります。

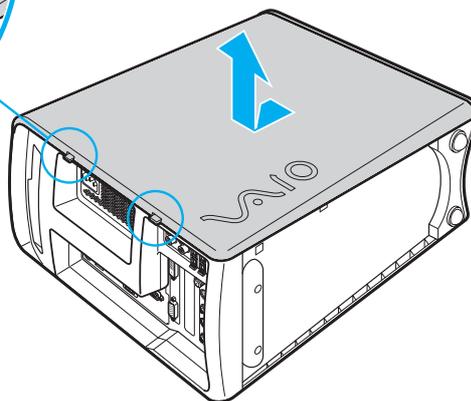
### 3

左側面のカバーを取りはずす。



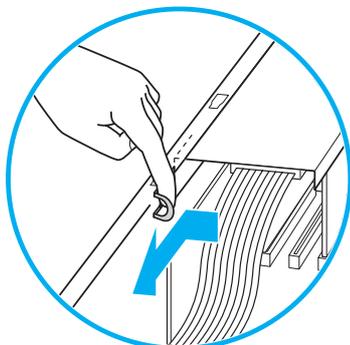
① リリースレバーを上げ、カバーを手前に引く。

② カバーを上を持ち上げる。



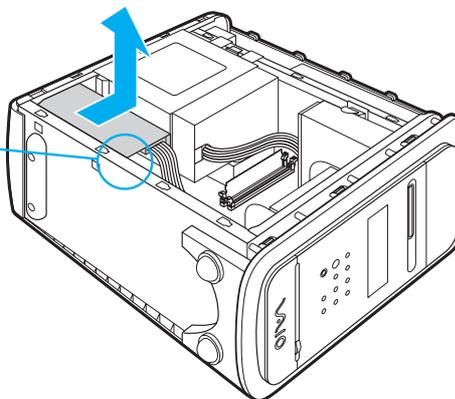
### 4

レバーを押しながら引っ張り、アンプを取り出す。



① レバーを押しながら引っ張る。

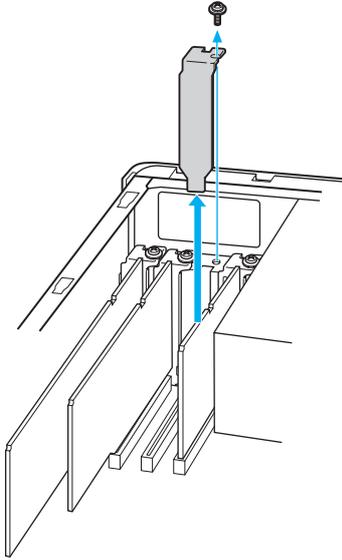
② アンプを取り出す。



## 5

拡張ボードを取り付けるスロットのカバーを取りはずす。

スロットのカバーを取り付けているネジをはずし、本体の内部からカバーを取りはずします。



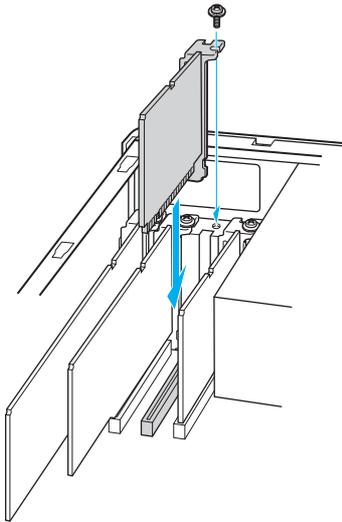
### ご注意

内部の基板やケーブル類を傷つけないようにご注意ください。

## 6

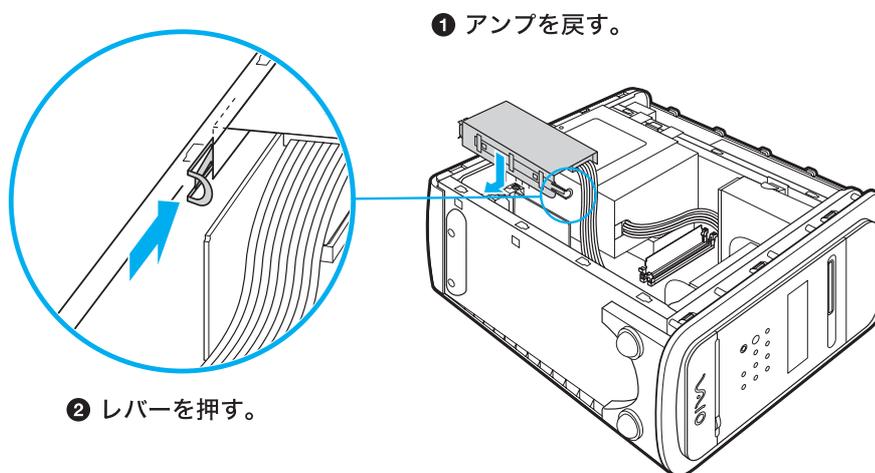
拡張ボードを取り付ける。

拡張ボードを空きスロットに合わせて取り付け、ネジで固定します。詳しくは、拡張ボードの取扱説明書をご覧ください。



# 7

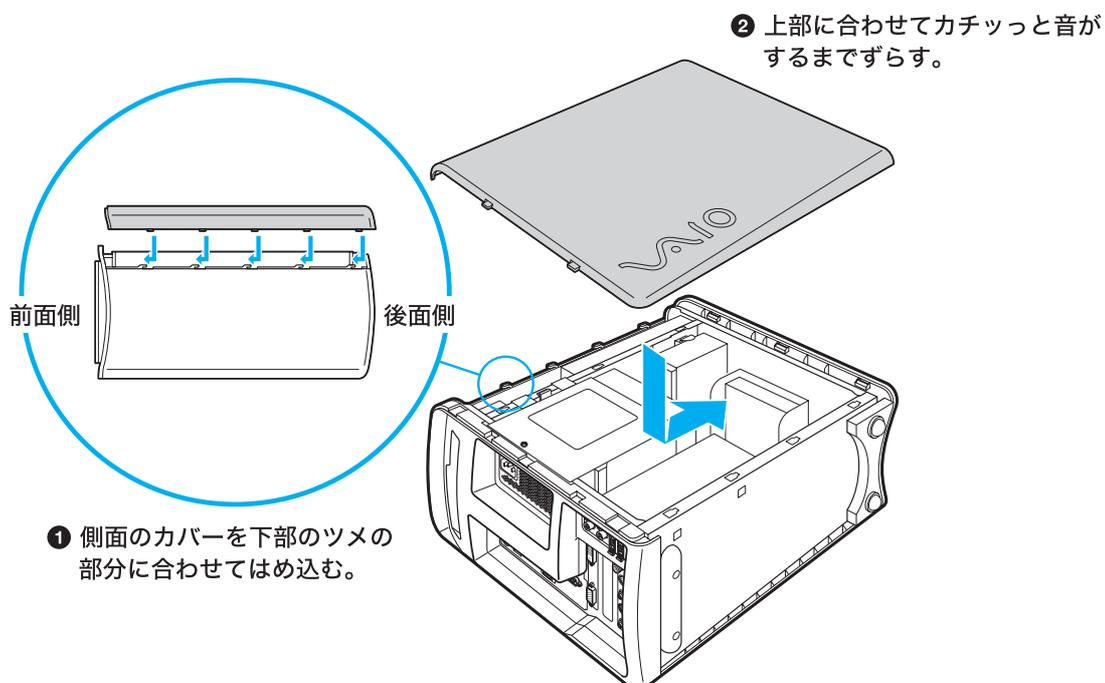
手順4で取りはずしたアンプを本機に取り付ける。



# 8

左側面のカバーを取り付ける。

左側面カバーの上部のツメを本体上部のくぼみに合わせて、前にずらすようにはめ込みます。



---

## 9

本機を立てて置く。

---

## 10

手順1ではずした周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

Windowsが起動すると、「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアをインストールしています。」というメッセージが表示されるので、画面の指示とボードの取扱説明書に従って操作します。

### 拡張ボードを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずしてから行ってください。

# メモリを増設する

## メモリを増設する

本機内部の拡張メモリスロットにメモリを増設することができます。

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

### ご注意

メモリの増設は本機内部の電源部分やケーブル類を取りはずすなどの作業が必要です。電氣的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けをご依頼ください。メモリの増設をご自分で行うと、本機が故障したり、手や指をけがする恐れがあります。

ソニー製のメモリーモジュールを取り付けるときはVAIOカスタマーリンク修理窓口または販売店にご依頼ください。メモリの増設をご自分で行うと、本機が故障したり、手や指をけがする恐れがあります。ご自分でメモリの増設を行い、故障や事故が起きた場合、修理はすべて有償となります。

- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはささないように注意してください。
- メモリ増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態では電源を入れると、発煙の恐れがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- メモリーモジュールの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリーモジュールを取り付けたり取りはずしたりすると、メモリーモジュールや本機、周辺機器が壊れることがあります。
- 電源を切ったあとすぐは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

## メモリーモジュールを取り付ける

本機にはメモリーモジュールを取り付けるスロットが2つあります。

本機は、標準で256Mバイトのメモリーモジュールが1枚装着されています。

以下のソニー製のメモリーモジュールを取り付けることにより、メモリを増設することができます。

### 標準で装着されている256Mバイトのメモリをそのまま使うとき

容量	取り付けるメモリーモジュール	1枚増設すると
256Mバイト	PCVA-MM256D	512Mバイト(256+256Mバイト)
512Mバイト	PCVA-MM512D	768Mバイト(256+512Mバイト)

### 標準で装着されている256Mバイトのメモリを取りはずしてメモリーモジュールを2枚増設するとき

容量	取り付けるメモリーモジュール	2枚増設すると
512Mバイト	PCVA-MM512D	1024Mバイト(512+512Mバイト)

## メモリモジュールを選ぶときのご注意

- メモリモジュールには、さまざまな種類のものが存在します。市販のメモリモジュールを取り付ける際には、その製品が本機での動作保証を明記していることをご確認ください。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

## メモリモジュールを取り付けるときのご注意

メモリモジュールの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取り付けたり取りはずしたりすると、メモリモジュールや本機、周辺機器が壊れることがあります。

- 静電気でメモリモジュールが破壊しないように、メモリモジュールを取り付けるときは、次のことをお守りください。
  - メモリを増設するときは、静電気の起こりやすい場所(カーペットの上など)では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。
- メモリモジュールには、向きがあります。メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ(溝の内側)部分の突起の位置を正しく合わせてください。無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

# 1

本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずす。

### ご注意

電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

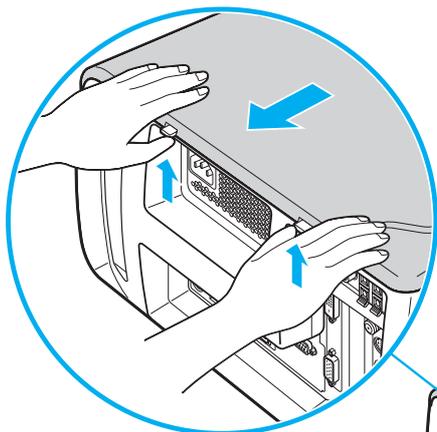
# 2

本機を横に倒して置く。

本機の右側面を下にして横に置きます。メモリモジュールが取り付けやすくなります。

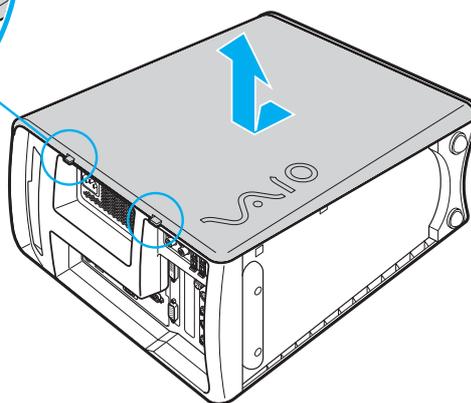
### 3

左側面のカバーを取りはずす。



① リリースレバーを上げ、カバーを手前に引く。

② カバーを上を持ち上げる。



### 4

メモリモジュールを梱包から取り出す。

本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出します。

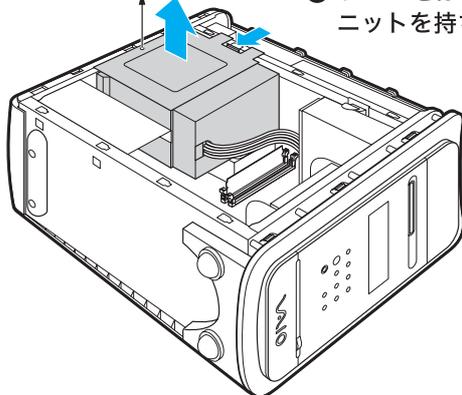
### 5

電源ユニットと本機を留めているネジをはずし、レバーを押しながら電源ユニットを取り出す。

① ネジをはずす。



② レバーをはずしながら電源ユニットを持ち上げる。



#### ご注意

取りはずしたネジは電源ユニットを取り付けるときに必要となります。紛失しないようご注意ください。

# 6

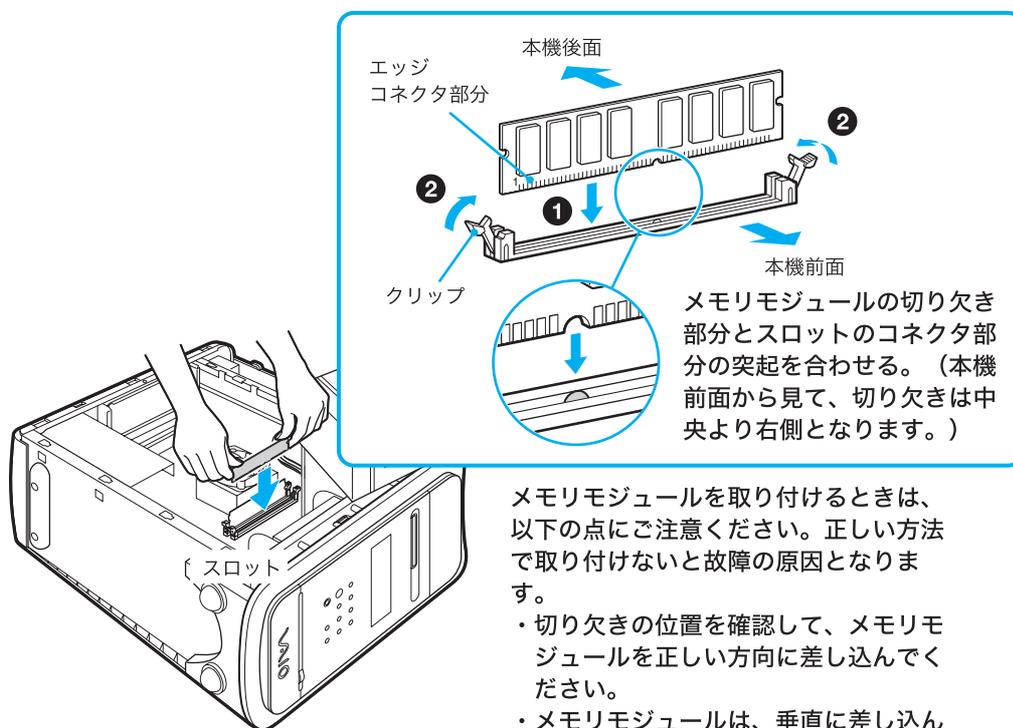
## メモリモジュールを取り付ける。

メモリモジュールには、本機前面から見て、エッジコネクタ部分の中央よりやや右側に切り欠きが1つあります。

- 1 メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分をスロットのコネクタ部分の突起に合わせる。
- 2 クリップが起き上がり、固定されるまでメモリモジュールを垂直にスロットへ押し込む。

### ご注意

本機前面から見て、切り欠きは中央より右側となります。  
メモリモジュールの方向をよく確かめて、正しく取り付けてください。



メモリモジュールを取り付けるときは、以下の点にご注意ください。正しい方法で取り付けないと故障の原因となります。

- ・切り欠きの位置を確認して、メモリモジュールを正しい方向に差し込んでください。
- ・メモリモジュールは、垂直に差し込んでください。
- ・両側のクリップが起き上がるまで、深く押し込んでください。

### ご注意

電源を切ったすぐあとは、メモリモジュールが熱くなっており、やけどをする可能性があります。充分時間をおいてメモリモジュールが冷えるのを待ってから作業を行ってください。

メモリモジュールの取り付けについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にお問い合わせください。

### 💡 ちょっと一言

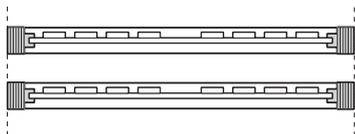
メモリモジュールのイラストは、PCVA-MM512Dです。

# 7

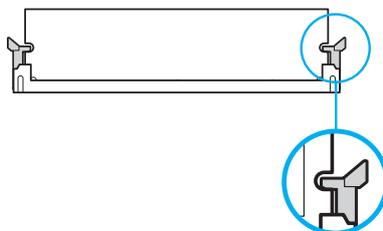
メモリモジュールがきちんと取り付けられているか確認する。

メモリモジュールを取り付けたら、以下の点を確認してください。

- 1 左右のクリップが、となりのクリップと揃っているかどうか。
- 2 左右のクリップが、きちんとメモリモジュールの溝にはまっているかどうか。



左右のクリップがとなりのクリップと揃っているか確認する。

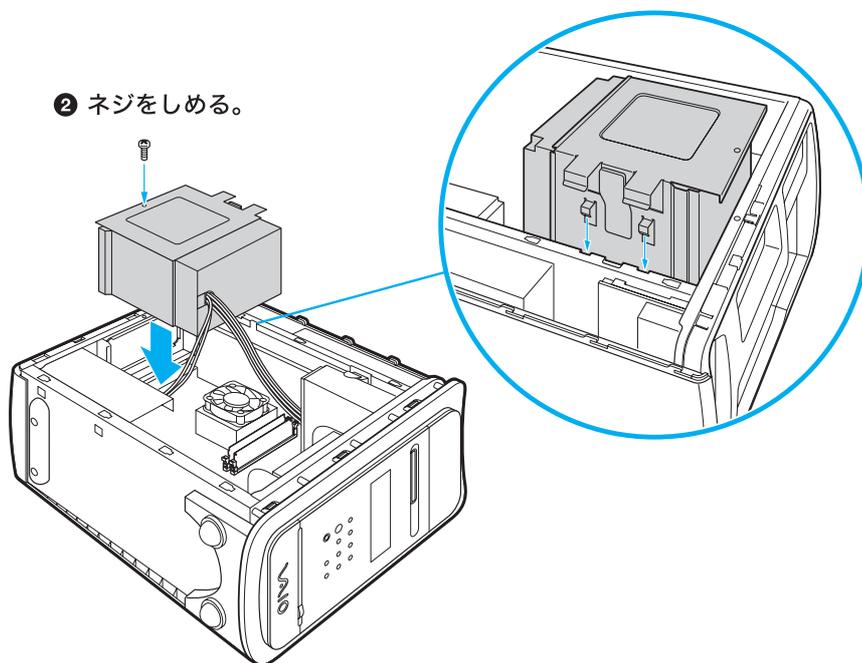


左右のクリップが、きちんとメモリモジュールの溝にはまっているか確認する。

# 8

手順5で取りはずした電源ユニットを本機に取り付け、ネジをしめる。

- 1 電源ユニットを戻す。



- 2 ネジをしめる。

## ご注意

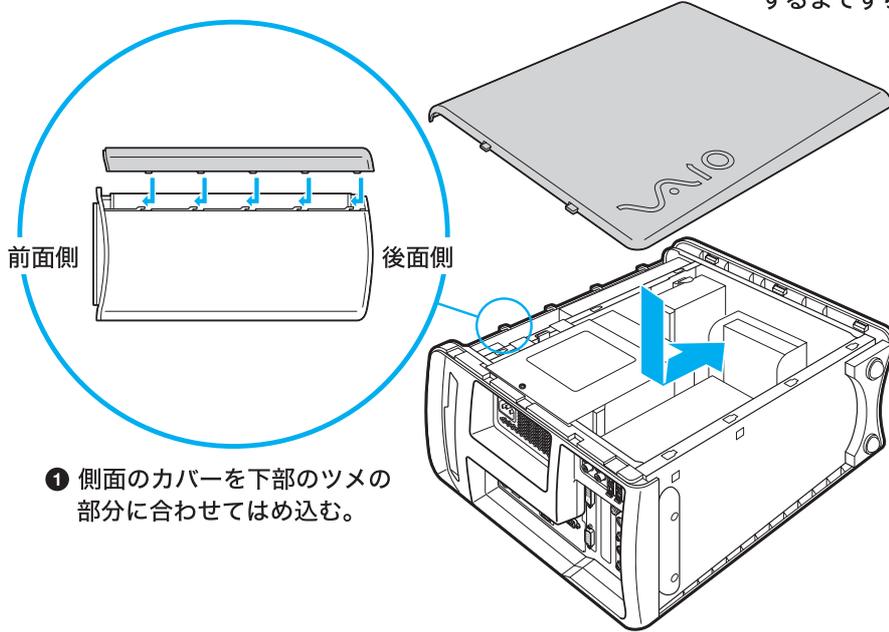
電源ユニットを取り付ける際は、ケーブルをはさみこまないようご注意ください。ケーブルに傷がつくと、発煙や発火の原因となることがあります。

# 9

左側面のカバーを取り付ける。

左側面カバーの上部のツメを本体上部のくぼみに合わせて、前にずらすようにはめ込みます。

② 上部に合わせてカチッと音がするまでずらす。



接続 / 拡張するときは

# 10

本機を立てて置く。

# 11

手順1ではずした周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

# 12

デスクトップ画面左下の **スタート** をクリックして [ すべてのプログラム ] にポインタを合わせ、[ VAIOシステム情報 ] [ VAIOシステム情報 ] の順にクリックする。

「VAIO システム情報」画面が表示されます。



# 13 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。

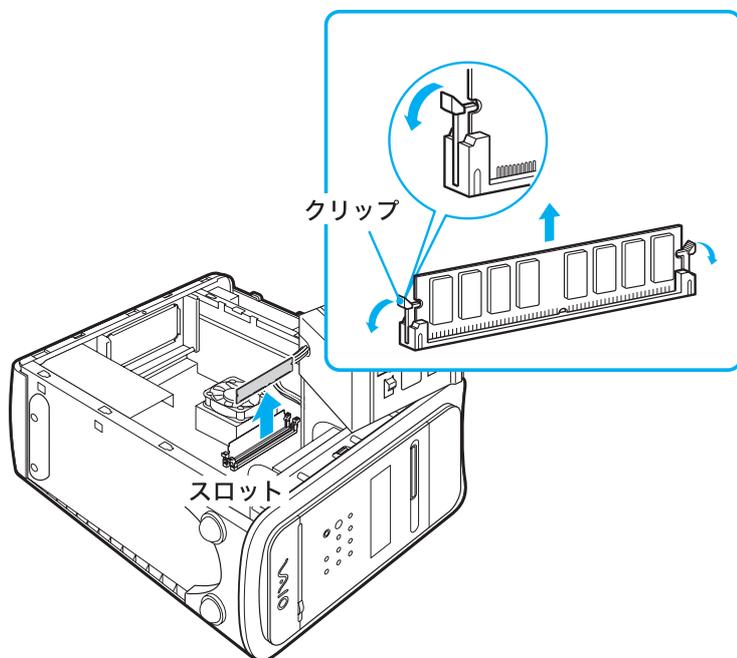
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。



ここを確認する。

## メモリモジュールを取りはずすには

本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリスロットの両端のクリップを外側に押すと、メモリモジュールが浮き上がるので、スロットからゆっくり抜き取ります。



# ハードディスクドライブを増設する

本機内部のハードディスクドライブベイにハードディスクドライブを1つ増設することができます。

## ご注意

ハードディスクドライブの増設は本機内部の電源部分やケーブル類を取りはずすなどの作業が必要です。電氣的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けをご依頼ください。ハードディスクドライブの増設をご自分で行うと、本機が故障したり、手や指をけがする恐れがあります。ご自分でハードディスクドライブの増設を行い、故障や事故が起きた場合、修理はすべて有償となります。

- ハードディスクドライブの増設についてのご相談やご質問は、VAIO カスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。
- ハードディスクドライブ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはささないように注意してください。
- ハードディスクドライブ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- ハードディスクドライブ増設の際に異物(ネジなどの金属物など)が本機内部に混入したままの状態では電源を入れると、発煙の恐れがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- ドライブベイは3.5インチサイズです。
- 増設するハードディスクドライブによっては本機で動作しないものがあります。増設について詳しくは増設機器メーカーにお問い合わせください。
- 増設するハードディスクドライブによっては i.LINK 対応機器から動画を取り込む際に制限が生じる場合があります。
- 増設するハードディスクドライブは、CS(ケーブルセレクト)または SLAVE(スレーブ)に設定してください。設定方法については、増設するハードディスクドライブの取扱説明書をご覧ください。
- ハードディスクドライブの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したまま、ハードディスクドライブを取り付けたり取りはずしたりすると、ハードディスクドライブや本機、周辺機器が壊れることがあります。
- 電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

## ハードディスクドライブを取り付ける

ハードディスクドライブを取り付ける際には、本機のカバーを取りはずす必要があります。以下の手順に従ってハードディスクドライブを取り付けます。

増設するハードディスクドライブの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1

本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

### ご注意

電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

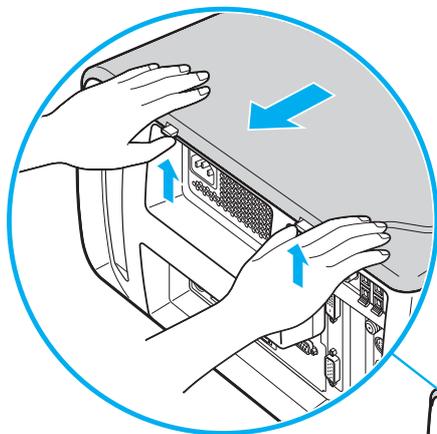
2

本機を横に倒して置く。

本機の右側面を下にして横に置きます。

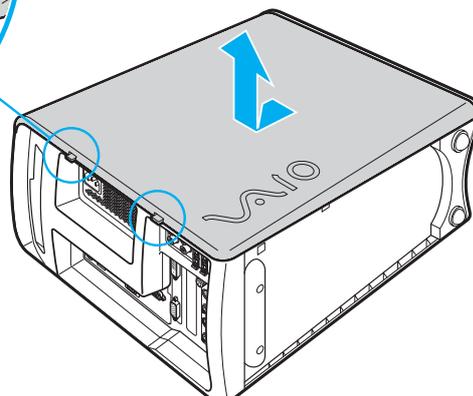
3

左側面のカバーを取りはずす。



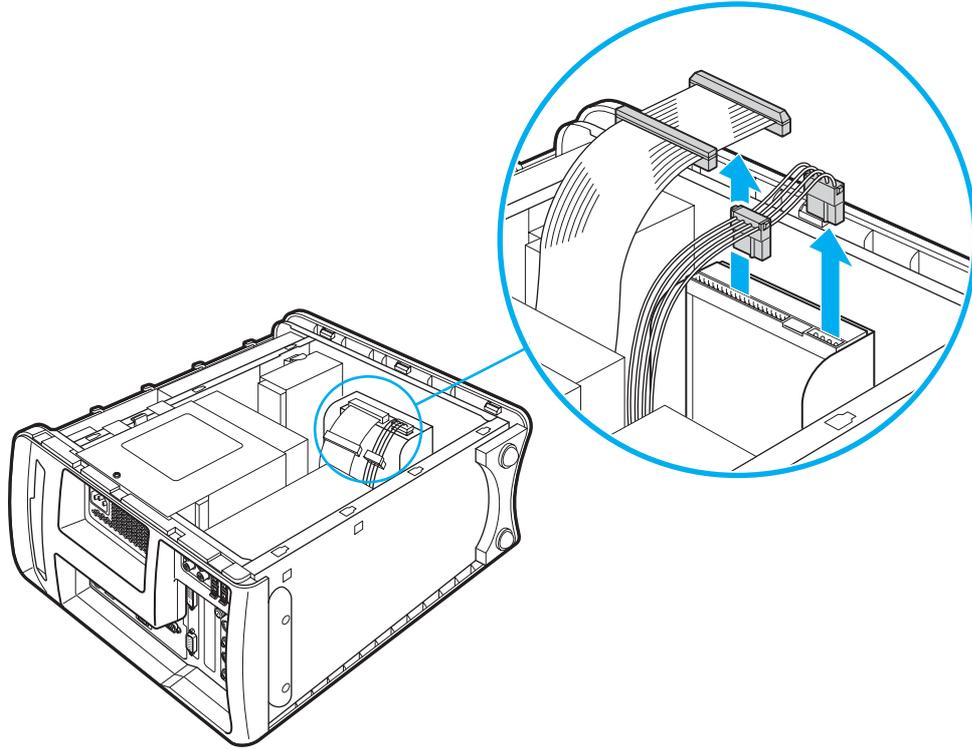
① リリースレバーを上げ、カバーを手前に引く。

② カバーを上を持ち上げる。



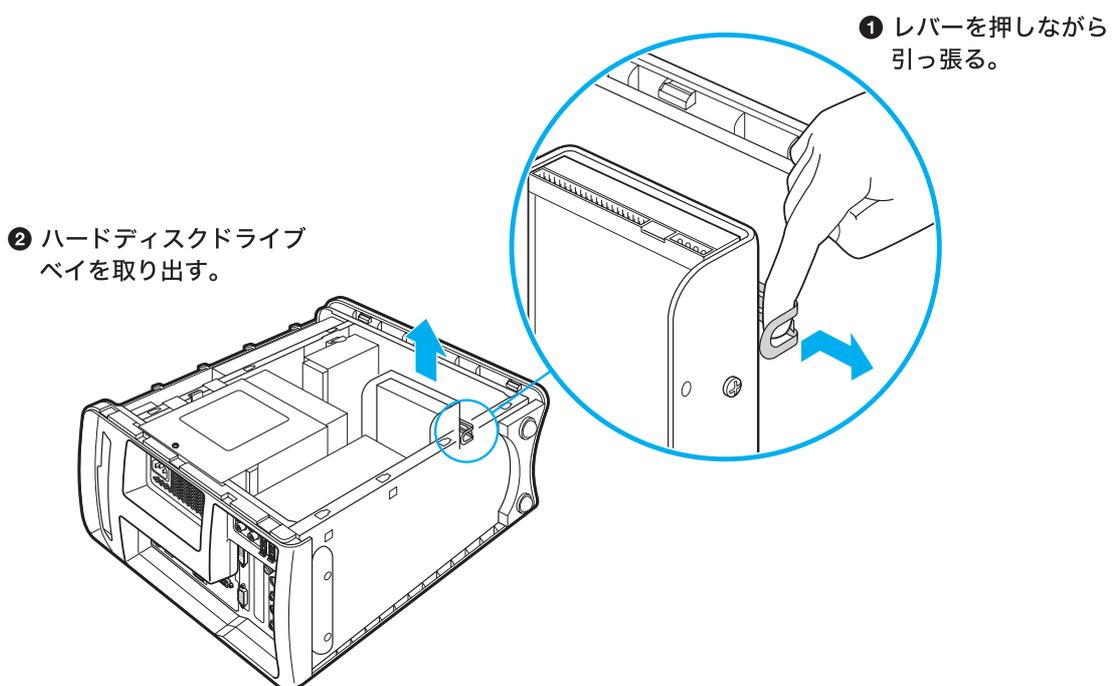
# 4

本機とハードディスクドライブに接続されているケーブルを取りはずす。



# 5

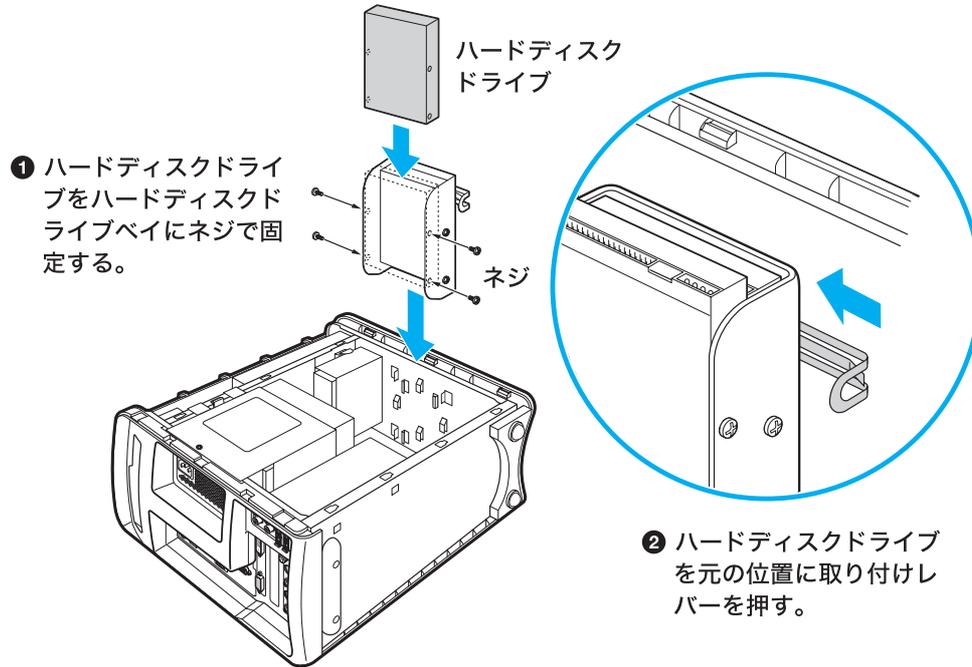
レバーを押しながら引っ張り、ハードディスクドライブベイを取り出す。



# 6

ハードディスクドライブベイに増設するハードディスクドライブを取り付ける。

増設するハードディスクドライブをハードディスクドライブベイにネジで固定し、ハードディスクドライブベイを元の位置に取り付けます。



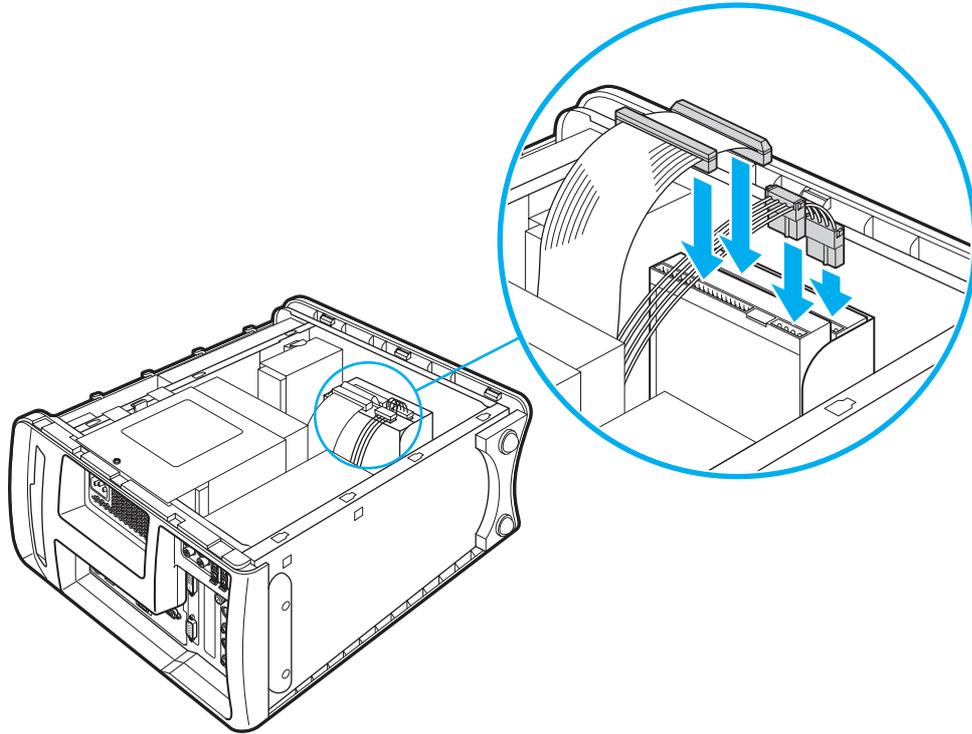
## 💡 ちょっと一言

増設するハードディスクドライブは、SLAVE(スレーブ)に設定してください。

設定方法については、増設するハードディスクドライブの取扱説明書をご覧ください。ハードディスクドライブの取り付けについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。

# 7

手順4で取りはずしたケーブルを、お買い上げ時に搭載のハードディスクドライブおよび増設したハードディスクドライブの両方に接続する。



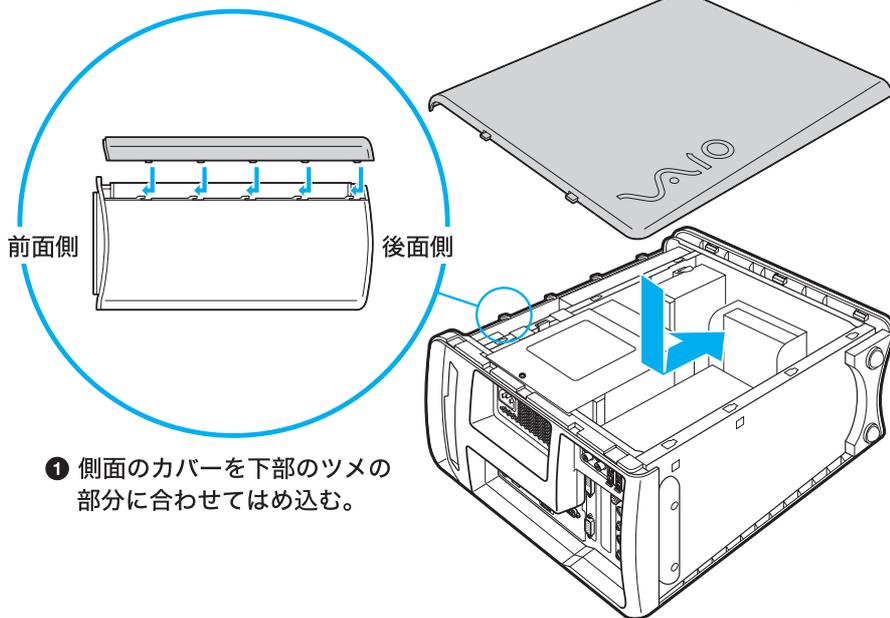
接続 / 拡張するときは

# 8

左側面のカバーを取り付ける。

左側面カバーの上部のツメを本体上部のくぼみに合わせて、前にずらすようにはめ込みます。

② 上部に合わせてカチッと音がするまでずらす。



① 側面のカバーを下部のツメの部分に合わせてはめ込む。

## ハードディスクドライブを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずしてから行ってください。

### ご注意

電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

## 増設したハードディスクドライブを使用する前に

ハードディスクドライブを増設したあとは、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてから、下記の手順に従って「パーティションの作成」、「パーティションの種類の設定」、「パーティションのフォーマット」を設定してください。

パーティションについて詳しくは、デスクトップ画面左下の  をクリックして [ ヘルプとサポート ] をクリックし、「ヘルプとサポートセンター」を表示させ、ディスクの管理の概要などの説明をご覧ください。

なお、増設されたハードディスクドライブは拡張パーティションとして作成され、NTFSフォーマットされていないと、本機が正しく動作しなくなることがあります。

# 1

本機の電源を入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる ( 58 ページ )」をご覧ください。

 ちょっと一言

「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーでログオンしてください。

# 2

デスクトップ画面左下の  をクリックし、[ コントロールパネル ] をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

# 3

[ パフォーマンスとメンテナンス ] をクリックして、[ 管理ツール ] をダブルクリックする。

「管理ツール」画面が表示されます。

# 4

 (コンピュータの管理) をダブルクリックする。

「コンピュータの管理」画面が表示されます。

5

「コンピュータの管理」画面の左側のウィンドウの中の「ディスクの管理」をクリックする。

「コンピュータの管理」画面の右側のウィンドウに、接続されているディスクのパーティションの状況が表示されます。新しく増設したハードディスクドライブなど、目的のハードディスクドライブがこれまで使用されたことがなければ「未割り当て」と表示されます。

6

「記憶域」の中の「ディスク1」を右クリックして「ディスクの初期化」を選ぶ。

7

「ディスク1」がチェックされていることを確認し、 をクリックする。

8

「未割り当て」の部分を右クリックして、表示されるメニューから「新しいパーティション」をクリックする。

「パーティションウィザード」画面が表示されます。

9

 をクリックする。

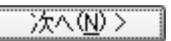
「パーティションの種類を選択」画面が表示されます。

10

「拡張パーティション」をクリックして選び、 をクリックする。

「パーティションサイズの指定」画面が表示されます。

11

「パーティションサイズ」の入力欄に、作りたいパーティションの大きさを入力し、 をクリックする。

「パーティションの作成ウィザードの完了」画面が表示されます。

---

## 12

 をクリックする。

「パーティションの作成ウィザードの完了」画面が閉じます。

「コンピュータの管理」画面の右側のウィンドウで、パーティションの設定を行ったハードディスクドライブの表示が「未割り当て」から「空き領域」に変わります。

---

## 13

「空き領域」の部分を右クリックして、表示されるメニューから[新しい論理ドライブの作成]をクリックする。

「新しいパーティションのウィザードの開始」画面が表示されます。

---

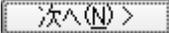
## 14

 をクリックする。

「パーティションの種類を選択」画面が表示されます。

---

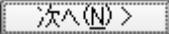
## 15

[論理ドライブ]をクリックして選び、 をクリックする。

「パーティションサイズの指定」画面が表示されます。

---

## 16

「パーティションサイズ」の入力欄に、作りたいパーティションの大きさを入力し、 をクリックする。

「ドライブ文字またはパスの割り当て」画面が表示されます。

---

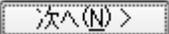
## 17

「ドライブ文字の割り当て」を  をクリックしてリストから選び、 をクリックする。

「パーティションのフォーマット」画面が表示されます。

---

## 18

「フォーマット」の各項目を以下のように設定し、 をクリックする。

使用するファイルシステム:NTFS

アロケーションサイズ:既定値

ボリュームラベル:ボリューム

「新しいパーティションのウィザードの完了」画面が表示されます。

# 19

 をクリックする。

「パーティションの作成ウィザードの完了」画面が閉じます。

パーティションの設定を行ったハードディスクドライブのフォーマットが始まります。フォーマットの状況は「コンピュータ管理」画面の右側のウィンドウにパーセントで表示されます。フォーマットが終わると、増設したハードディスクドライブが使えるようになります。

## ご注意

「コントロールパネル」画面の「パフォーマンスとメンテナンス」[電源オプション]の順にクリックすると表示される「電源オプションのプロパティ」画面で「ハードディスクの電源を切る」は「なし」に設定してください。

「なし」以外に設定すると、「Giga Pocket」ソフトウェアを使って録画を行うとき、録画に失敗することがあります。



## その他

本機をお使いになる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明します。

# 動画系ソフトウェアの操作の流れ

本機には動画を扱うソフトウェアが数多く付属しています。それぞれのソフトウェアの役割と操作の流れを簡単に紹介します。それぞれのソフトウェアの使いかたについては、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。本機とAV機器やi.LINK対応機器のつなぎかたについては、「接続する / 準備する」( 39ページ )または「AV機器をつなぐ」( 221ページ )または「i.LINK対応機器をつなぐ」( 216ページ )をご覧ください。

i.LINK対応DV機器



デジタルの動画を  
編集したい

デジタル入力

ディープイゲート モーション  
**DVgate Motion**

i.LINK対応機器からDV動画  
データを取り込みます。



ムービーシェーカー  
**MovieShaker**

DV動画データに文字タイト  
ルなどのさまざまな特殊効  
果を加えるなど、簡単に動  
画編集ができます。

AVI (DV)  
ファイルなど

ディープイゲート アセンブル  
**DVgate Assemble**

DV動画データから不要な部分  
を切り取って長さを整えたり、  
複数のDV動画データを並べ替  
えてつなげます。



DV動画データ  
(AVI (DV) ファイル)  
をMPEGファイルに  
変換します。

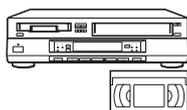
テレビ放送



テレビ番組を見たい  
/ 録画したい

アンテナ入力

ビデオ機器



ビデオを再生したい  
/ 録画したい

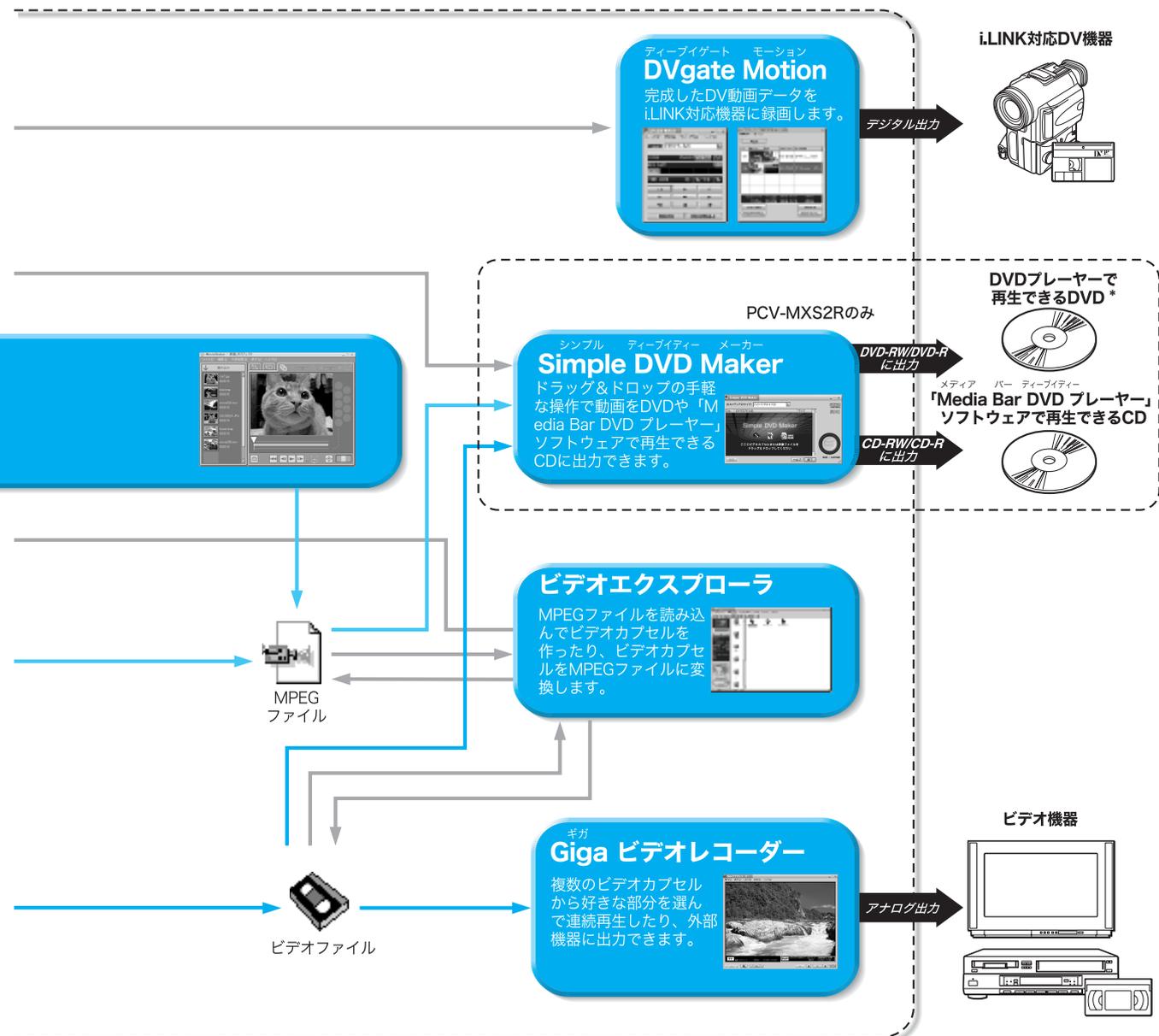
アナログ入力

ギガ  
**Giga ビデオレコーダー**

内蔵テレビチューナー  
やビデオ機器の動画を  
MPEG方式で録画します。



- **イーブイアイ(ディーブイ)**  
AVI(DV) : Windowsで動画や音声を再生するために米マイクロソフト社が作ったファイル形式です。「DVgate Motion」ソフトウェアではDV形式で圧縮されたAVIファイルのみを扱っています。
- **エムベグ**  
MPEG: 動画データの圧縮方式です。
- **ビデオカプセル**:「Giga Pocket」ソフトウェアでは、MPEGの動画ファイルと各種の付加情報を1つにまとめて「ビデオカプセル」と呼びます。



\* VAIOおよびDVDプレーヤーでの再生について詳しくは、VAIOカスタマーリンクのホームページ (<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>)をご覧ください。

その他

# リカバリCDで本機を再セットアップする

ここでは付属のリカバリCD-ROM(以降、リカバリCDと略します)を使って、本機を再セットアップする方法を説明します。

## リカバリCDとは

付属のリカバリCDには「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の2種類があり、出荷時のハードディスク内のすべてのファイルが保存されています。誤ってハードディスクを初期化してしまったり、あらかじめインストールされているソフトウェアを消してしまった場合には、「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーションリカバリ CD-ROM」の両方のリカバリCDを使ってハードディスクの内容を出荷時の状態に戻すことができます。

リカバリCDを使うと、次のことができます。

- ハードディスクを初期化した上で、すべてのファイルを復元する(出荷時の状態に戻る)。
- ハードディスクのパーティションのサイズを変更する。  
詳しくは「パーティションサイズを変更する」(271ページ)をご覧ください

## ご注意

- 付属のリカバリCDは本機でのみ使用できます。他の製品では動作しません。
- 付属のリカバリCDで再セットアップできるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
- ご自分で変更された設定は、再セットアップ後はすべて出荷時の設定に戻ります。再セットアップ後に、もう1度設定し直してください。
- 再セットアップする際は、必ず「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーションリカバリ CD-ROM」の両方のリカバリCDを使ってください。「アプリケーション リカバリ CD-ROM」を使わずに再セットアップを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- 本機は、出荷時にプロダクトアクティベーション(ライセンス認証)は完了されているため、お客様が認証作業を行う必要はありません。  
また、付属のリカバリCDで再セットアップを行った場合も、プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)は自動的に完了するため、お客様が認証作業を行う必要はありません。
- BIOSの設定を変えた場合は、出荷時の設定に戻してから再セットアップしてください。BIOSを出荷時の設定に戻すには、以下のように操作します。
  - 1 本機前面の(⏻ 電源)ボタンを押し、画面にSonyのロゴが表示されたら、キーボードの[F2]キーを押す。  
BIOSセットアップメニューが起動し、「AwardBIOS Setup Utility」画面が表示されます。
  - 2 [F5] (Setup Defaults) キーを押す。  
「Load default configuration now?」というメッセージが表示されます。
  - 3 [Enter] / [Enter] キーを押して Yes を選び、[Enter] (エンター) キーを押す。  
すべての設定項目が出荷時の設定に戻ります。
  - 4 [F10] (Save and Exit) キーを押す。  
「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。
  - 5 [Enter] / [Enter] キーを押して Yes を選び、[Enter] (エンター) キーを押す。  
変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windowsが起動します。

## 💡 BIOS とは

「バイオス」と読みます。コンピュータの基本的な設定をするためのプログラムの集まりで、電源を入れると最初にBIOSの読み込みが始まります。もし、BIOSが正しく働かないと、コンピュータは起動しなくなります。

## リカバリの種類

リカバリ CDを使うと、次のような方法で本機を再セットアップすることができます。通常は、「システムドライブをリカバリ」を行うことをおすすめします。

システムドライブをリカバリ	Cドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、出荷時の設定を復元します。Cドライブ以外のドライブにあるファイルは削除されません。
パーティションサイズを変更してリカバリ	現在あるすべてのパーティションを削除し、CドライブとDドライブのサイズを変更します。その後ハードディスクをフォーマットした上で出荷時の設定を復元します。それ以前にハードディスクにあったデータは、Cドライブ、Dドライブとも含めてすべて失われてしまいます。
出荷時状態へリカバリ	現在あるすべてのパーティションを削除し、出荷時の状態へパーティションを強制的に戻します。その後ハードディスクをフォーマットした上で出荷時の設定を復元します。それ以前にハードディスクにあったデータは、Cドライブ、Dドライブとも含めてすべて失われてしまいます。

その他

「システムドライブをリカバリ」を選択するときは、下の画面で「システムドライブをリカバリ」を選択します。



「オプションリカバリ」を選択すると、下の画面が表示され、「パーティションサイズを変更してリカバリ」、「出荷時状態へリカバリ」を選択することができます。



## 再セットアップする前に

本機を再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。

バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- DVD-RW / DVD-R (PCV-MXS2Rのみ) または CD-RW / CD-R にコピーする。
- Dドライブにデータを残して、再セットアップを行う。

本機のハードディスクは、CドライブとDドライブの2つのパーティションに分かれています。

「再セットアップする」の手順9で「システムドライブをリカバリ」を選んだ場合、Cドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、Dドライブにあるファイルは残ります。

### ご注意

「SonicStage Premium」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage Premium」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。

バックアップツールについては、「SonicStage Premium」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

## 再セットアップする

再セットアップする前に、以下の点を確認してください。

- 本機に接続しているすべての周辺機器を取りはずしてください。周辺機器は、再セットアップが終わったあとに再び接続してください。
- 別売りのUSB フロッピーディスクドライブを取り付けている場合は、取りはずしてください。
- 大切なデータはバックアップをとったか確認してください。

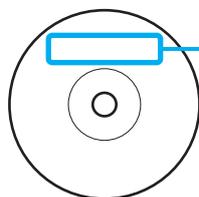
パーティションサイズを変更するときは、「パーティションサイズを変更する (271ページ)」をご覧ください。

### ご注意

再セットアップした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。再セットアップする前に、大切なデータはフロッピーディスクやDVD-RW / DVD-R (PCV-MXS2Rのみ) または CD-RW / CD-R に保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

### ご注意

- リカバリCDの番号はディスクの表面に記載されています。



システム リカバリ CD-ROM  
Vol. x of x  
上記ディスク番号はディスクの  
表面に記載されています。

# 1

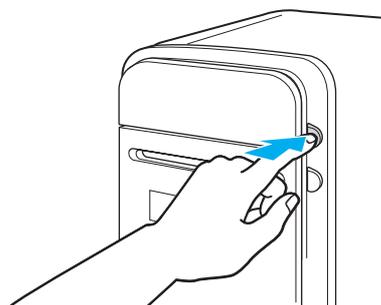
本機の電源を入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる (58ページ)」をご覧ください。

---

**2**

OPEN / CLOSE ボタンを押す。  
ディスクトレイが自動的に引き出されます。



---

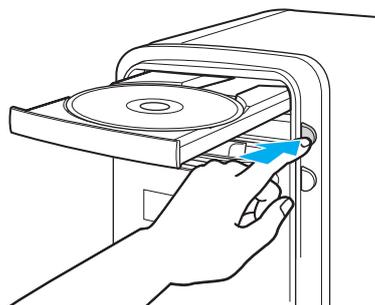
**3**

付属の「システム リカバリ CD-ROM」の1枚目を、レーベル面(文字が書いてある面)を上にしてディスクをトレイの中央に置く。

---

**4**

OPEN / CLOSE ボタンを押して、トレイを閉める。



 Windows が完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには  
本機前面の  電源 ボタンを4秒以上押して本機の電源を切ります。30秒ほど待ってから、 電源 ボタンを押すと、ディスクドライブから起動し、「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されますので、手順7に進んでください。

---

**5**

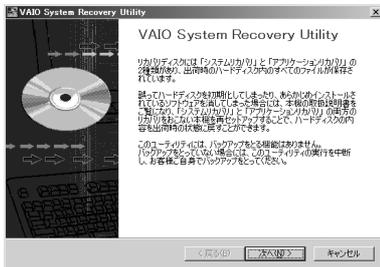
デスクトップ画面左下の  スタート をクリックし、[ 終了オプション ]  
[ 電源を切る ] をクリックする。

本機の電源が切れます。

## 6

本機の電源を入れる。

ディスクドライブから本機が起動し、しばらくすると「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されます。



### ご注意

「VAIO System Recovery Utility」画面が表示されない場合は、再び手順5から行ってください。

## 7

内容をよく読み、**次へ(N) >** をクリックする。

「はじめに」画面が表示されます。

## 8

内容をよく読み、**次へ(N) >** をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。



## 9

[システムドライブをリカバリ]の○をクリックして●にし、**次へ(N) >** をクリックする。

「実行確認」画面が表示されます。

## 10

**次へ(N) >** をクリックする。

「リカバリを開始して本当によろしいですか?」というメッセージが表示されます。

# 11

[ はい ] をクリックする。

再セットアップが始まります。

再セットアップを中止するときは、[ いいえ ] をクリックします。

リカバリ中にキャンセルすると、リカバリ中のドライブは、フォーマットされていない状態になります。

# 12

画面の指示に従って「システム リカバリ CD-ROM」を入れ換え、 をクリックする。

「システム リカバリ CD-ROM」は、必ず画面に表示される順番に従って入れてください。入れるディスクの番号は、「システム リカバリ CD-ROM」のディスク面に表記されています。

# 13

セットアップが終わると「システムリカバリ」が完了しました。画面が表示されるので、画面の指示に従って「システム リカバリ CD-ROM」を取り出し、 をクリックする。

本機が自動的に再起動します。



## ご注意

「システム リカバリ CD-ROM」のディスクの中には、再セットアップには使用しないディスクが含まれている場合があります。必ず画面の指示に従って操作し、ディスクを入れる順番や、使用するディスクなどを間違えないようご注意ください。

# 14

「Windowsを準備する (59ページ)」の手順に従って、Windowsをセットアップする。

Windowsのセットアップ終了後、「リカバリが終了していません」画面が表示されます。



---

# 15

をクリックし、付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の1枚目をディスクドライブに入れる。

「アプリケーションのインストールを開始します」というメッセージが表示されます。



---

# 16

をクリックする。

自動的にソフトウェアのセットアップが始まります。

---

# 17

画面の指示に従って「アプリケーション リカバリ CD-ROM」を入れ換え、をクリックする。

画面の指示に従って操作し、ソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、をクリックしてください。

処理が終了すると、「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示される場合があります。画面の指示に従って操作してください。

---

# 18

本機を再セットアップする前にインターネットに接続していた場合は、「インターネットを始める (98ページ)の手順に従ってインターネットへの接続の設定を行う。

# パーティションサイズを変更する

本機のハードディスクはCドライブとDドライブの2つのパーティションに分かれており、Dドライブは、「SonicStage Premium」ソフトウェアや「DVgate」ソフトウェア、「Giga Pocket」ソフトウェアなどで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域（データスペース）として使えるように設定されています（出荷時）。付属のリカバリ CDを使ってパーティションサイズを変更できます。

動画の取り込みや書き出しを行う場合は、大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こり、フレーム落ちの原因となります。そのため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化（デフラグ）またはフォーマットを行ってください。

パーティションを区切ると、WindowsはCドライブにインストールされます。Cドライブを最適化するのに非常に時間がかかる場合がありますので、Dドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

## 💡 パーティションとは

ハードディスクなどの大容量補助記憶装置の領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

## 💡 断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

## 💡 デフラグ（最適化）とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ（最適化）により、データの読み出し書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

## 📌 ご注意

- 「SonicStage Premium」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage Premium」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage Premium」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、CドライブだけでなくDドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはフロッピーディスクやDVD-RW / DVD-R (PCV-MXS2Rのみ) またはCD-RW / CD-Rなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

# 1

「再セットアップする（266ページ）の手順1～8を行う。

## 2

[ オプションリカバリ ] の  をクリックして  にし、**次へ(N) >** をクリックする。

「オプションメニュー」画面が表示されます。



## 3

「オプションメニュー」画面の中から、「パーティションサイズを変更してリカバリ」の  をクリックして  にし、**次へ(N) >** をクリックする。

「パーティションメニュー」画面が表示されます。

ここで現在のパーティションサイズを確認できます。



## 4

 をクリックしてパーティションサイズを選び、**次へ(N) >** をクリックする。

「実行確認」画面が表示されます。

## 5

**次へ(N) >** をクリックする。

「リカバリを開始して本当によろしいですか?」というメッセージが表示されます。

## 6

[ はい ] をクリックする。

パーティションサイズが変更され、再セットアップが始まります。

再セットアップを中止するときは、[ いいえ ] をクリックします。

# 7

画面の指示に従って「システム リカバリ CD-ROM」を入れ換え、をクリックする。

「システム リカバリ CD-ROM」は、必ず画面に表示される順番に従って入れてください。入れるディスクの番号は、「システム リカバリ CD-ROM」のディスク面に表記されています。

# 8

セットアップが終わると「システムリカバリ」が完了しました。」画面が表示されるので、画面の指示に従って「システム リカバリ CD-ROM」を取り出し、をクリックする。

本機が自動的に再起動します。



## ご注意

「システム リカバリ CD-ROM」のディスクの中には、再セットアップには使用しないディスクが含まれている場合があります。必ず画面の指示に従って操作し、ディスクを入れる順番や、使用するディスクなどを間違えないようご注意ください。

# 9

「Windowsを準備する (59ページ) の手順に従って、Windowsをセットアップする。

Windowsのセットアップ終了後、「リカバリが終了していません」画面が表示されます。



# 10

をクリックし、付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の1枚目をディスクドライブに入れる。

「アプリケーションのインストールを開始します」というメッセージが表示されます。



---

# 11

をクリックする。

自動的にソフトウェアのセットアップが始まります。

---

# 12

画面の指示に従って「アプリケーション リカバリ CD-ROM」を入れ換え、をクリックする。

画面の指示に従って操作し、ソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、をクリックしてください。

処理が終了すると、「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示される場合があります。画面の指示に従って操作してください。

---

# 13

本機を再セットアップする前にインターネットに接続していた場合は、「インターネットを始める (98ページ)の手順に従ってインターネットへの接続の設定を行う。

# 使用上のご注意

## 本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- DVD-RW / DVD-R / CD-RW / CD-Rにデータを記録中に振動や衝撃を与えないでください。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れてください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- ほこりが多い場所では使用しないでください。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。
- スピーカーの近くに磁気を発生するもの（健康器具、玩具など）を置くと、相互作用でテレビ画面に色むらが起こりやすくなります。設置場所にご注意ください。

## 結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。

## ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイについて
  - 液晶ディスプレイの画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。
  - 液晶ディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤、青、緑の点が消えないことがあります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。これらの点をご了承のうえ、本機をお使いください。
- ディ스플레이の表面をぬれたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- ディ스플레이に物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをつけて体重をかけないでください。
- ディ스플레이を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に暖まるまでお待ちください。
- ガラスの表面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ベンジン、アセトン、アルコールなど有機溶剤はガラスを傷めることがありますので、使わないでください。
- ディ스플레이の近くにAMラジオは置かないでください。ディスプレイとAMラジオの周波数がお互いに干渉して双方で障害が発生します。ディスプレイとAMラジオは十分に距離をとって置いてください。

## ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは、フロッピーディスクに比べて記憶密度が高く、データの書き込みや読み出しに要する時間も短いという特長があります。その一方、本来はほこりや振動に弱い装置でもあります。また、フロッピーディスク同様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避けなければなりません。

ハードディスクにはほこりや振動からデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 振動や衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10 以上の変化)のある場所では使用しないでください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんのでご注意ください。

### バックアップをとる

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないこととなります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップをとることをおすすめします。

ソフトウェアはオリジナルがCD-ROMやフロッピーディスクにありますので、バックアップが必要なのはデータなどです。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

### 本機へのアナログ入力についてのご注意

「Giga Pocket」ソフトウェアを使って、本機のアナログ入力コネクタから静止画や動画を取り込むとき、静止画や動画にノイズが出たり、一時途切れたり、取り込みに失敗することがあります。これらの現象は、以下のように映像の同期信号が乱れた場合に起こります。

- 取り込む静止画や動画が乱れたとき、または本機に何も入力されていないとき
- 本機後面のVIDEO 1 INPUTコネクタにつないだケーブルをつなぎかえたとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局の放送信号が何らかの原因で乱れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノイズが入ったとき、または放送が行われていないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、ビデオデッキのチャンネルや入力を切り換えたとき
- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダーから映像入力中に、ビデオテープのつなぎ撮りをした部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画中に振動やゆれを加えて撮ったテープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキやビデオカメラレコーダーに振動やゆれが加わったとき

## フロッピーディスクの取り扱いについて

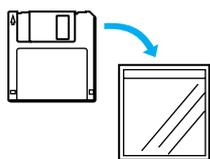
フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。フロッピーディスクの表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。



- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。

- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。



## コンピュータウイルスについて

本機には、コンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして「Norton AntiVirus」ソフトウェアが用意されています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。

### 💡 コンピュータウイルスとは？

コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、次の「コンピュータウイルスに侵入されると…」に見られるような被害が起きてしまいます。

コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると...

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルが勝手に消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないもの書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスクの空き容量が急に少なくなる。

なお、「Norton AntiVirus」ソフトウェアの操作方法について詳しくは、「Norton AntiVirus」ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。

### シマンテック テクニカルサポートセンター

電話番号:(03)3476-1118

ファックス:(03)3477-1118

電話受付時間:月～金 10時～12時、13時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)

なお、シマンテック テクニカルサポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテックホームページにて、カスタマーIDの取得が必要です。

<http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html>

カスタマーID取得については、下記にお問い合わせください。

### シマンテック カスタマーサービスセンター

電話番号:(03)3476-1156

ファックス:(03)3476-1159

電話受付時間:月～金 10時～12時、13時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)

### 💡 ちょっと一言

「Norton AntiVirus」ソフトウェアは、本機初回起動時より180日間無償でウイルス定義ファイル(ワクチンファイル)のアップデートができます。それ以降は、ウイルス定義ファイルのアップデートは有償になります。新種のウイルスに対応するため、ウイルス定義ファイルは常に更新することをおすすめします。

また、テクニカルサポート提供期間は、ウイルス定義ファイル無償更新期間と同じく、180日間となります。ただし、有償アップデートのお申し込みを頂くとテクニカルサポートの提供期間も延長されます。

ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて詳しくは、以下のシマンテック ホームページをご覧ください。

<http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html>

ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。

ショップシマンテック

電話番号:(03)3476-1192

ファックス:(03)3780-9988

電話受付時間:月～金 10時～12時、13時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)

## ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは原則として禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みのうえ、お使いください。

## ドライブの地域番号(リージョンコード)書き換えについて

お買い上げ時、本機のDVD-RW( PCV-MXS2R )、CD-RW / DVD-ROM一体型ドライブ( PCV-MXS2 )の地域番号は「2(日本)」に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

## データのバックアップについて

ハードディスクドライブに保存している文書などのデータは、定期的にバックアップをとるようおすすめします。データの損失については、一切責任を負いかねます。

## ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。

ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。

## テレビの色むらについて

本機のスピーカーをテレビのそばで使うと、テレビ画面に色むらが起こる場合があります。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。それでも色むらが残る場合は、スピーカーをさらにテレビから離してください。

## FM文字放送について

- 本機のFMラジオは日本国内用です。海外では放送方式が異なりますので、FM文字放送を受信することができません。
- 本機はVICS(交通情報サービス)に対応していないため、受信することはできません。

- FM文字放送の内容について、当社では責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 情報の内容について、個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。

FMラジオ放送が受信できても、FM文字放送が受信できない場合があります。

- FMラジオ放送と受信方式が異なるので、FMラジオ放送がある程度受信できても電波の強さによりFM文字放送が受信できない場合があります。またはFM放送局が文字放送を行っていない場合もあります。
- 付属のFMアンテナの位置を少し動かすだけで良好に受信できることがあります。より受信条件の良い場所を探してください。

## 音量を調節するときは

ディスクはレコードとくらべ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるかのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調節すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。

演奏をはじめる前には音量を必ず小さくしておきましょう。

## ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。

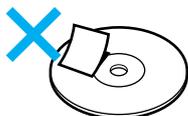
特に、夜は小さな音でも周囲には良く通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



## ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



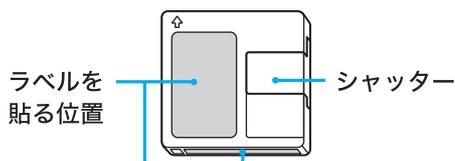
- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。ディスクは記録面が汚れるとデータの書き込みができなくなります。記録面には触れないでください。



- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 直射日光が当たって高温になった自動車の中に長時間放置しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなどで文字を書くと、記録面を傷つけ、データの書き込みができなくなることがあります。

## MDの取り扱いについて

- シャッターを無理に開けようとすると、壊れることがあります。シャッターが開いてしまった場合は、内部のディスクに直接触れずに、すぐ閉めてください。
- ディスクに付属のラベルはシャッターの周りなど所定以外の場所には貼らないでください。必ずラベル用のくぼみに貼ってください。くぼみの形はディスクによって異なります。



- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。

- カートリッジ表面についたほこりやゴミは乾いた布で拭きとってください。
- カートリッジに液体をこぼさないでください。
- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。MDに記録されているデータが消えてしまうことがあります。

## MDの制約について

MDではいくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

### 256曲以上録音、チェックアウトができない

最大曲数は255曲です。最大記録時間に達していなくても、256曲以上の録音、チェックアウトはできません。不要な曲を消すか、別のMDを使用してください。

### 曲数(最大255曲)にも記録時間(記録容量)にも余裕があるのに、録音、チェックアウトができない

曲の分割(ディバイド)を繰り返し行った場合、曲の区切りと同じ扱いになり、曲数が制限をこえるとみなされ、録音、チェックアウトができない場合があります。また、タイトルには文字制限があります。制限をこえる編集、書き込みはできません。

### 曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない

ディスクの録音できる残り時間、残り容量を表示するとき、ステレオの場合は12秒、LP2 / モノラルの場合は24秒、またLP4の場合は48秒以下の部分は無視します。このため、短い曲を消した場合、録音、チェックアウトできる時間、容量が増えないことがあります。

### 曲をつなげない

つなごうとする曲の長さが8秒以下のとき、その曲の曲番を消して曲をつなぐこと(コンバイン)はできません。また、編集を行ってできた曲はつなぐことができない場合があります。

録音モード(SP、LP2、LP4)が違う場合は、曲をつなぐことはできません。

ディスクに録音、チェックアウトした時間と残り時間、容量の合計が、最大録音、最大容量と一致しない

録音モードにより録音時間、記録容量が違うため、録音モードが混在している場合、正しく計算ができません。

編集した曲を再生しながら早送り、巻戻しすると音が途切れる

再生しながら早送り、巻戻しをすると、曲の検索に時間がかかり、音がとぎれる場合があります。

チェックインできない

1つの曲を分割(ディバイド)したり、複数の曲を1つにつないだり(コンバイン)した場合、その曲はチェックインできなくなります。

著作権保護

本機のMDは、「OpenMG」による著作権保護が行われています。また、チェックアウトされた曲は、シリアルコピーマネージメントシステムにより、コピー禁止になっています。

# お手入れ

## 本機やディスプレイのお手入れ

本機やディスプレイについてゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。

### ご注意

- 本機やディスプレイの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- 濡れたもので本機やディスプレイを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときはその注意書に従ってください。

## DVD-ROM / CD-ROMのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

## ディスクのお手入れ

- DVD-RW / DVD-R (PCV-MXS2Rのみ) またはCD-RW / CD-Rは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブローアを使って吹き飛ばしてください。
- ベンジンやシンナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

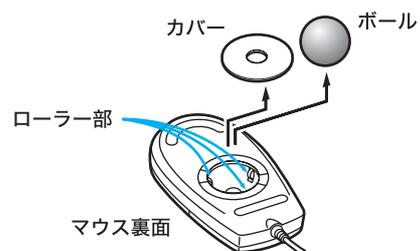
- DVD-RW / DVD-R (PCV-MXS2Rのみ) またはCD-RW / CD-Rの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。
- DVD-RW / DVD-R (PCV-MXS2Rのみ) またはCD-RW / CD-Rは直射日光を避けて保存してください。

## MDのお手入れ

定期的にカートリッジ表面についてほこりやゴミを乾いた布で拭きとってください。

## マウスを掃除する

マウスは長く使っていると、内部にゴミやほこりなどがたまり、画面上のポインタが思うように動かなくなります。この場合は、マウスの裏面のカバーを取りはずし、ボールを取り出して内部を掃除します。



- 乾いた布で内部のゴミやほこりなどを取り除いてから綿棒でローラー部のゴミをこすり取ってください。
- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。

### ご注意

- 本機の電源を切り、マウスをキーボードから取りはずしてからマウスを掃除してください。
- 濡れたものでマウスを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときはその注意書に従ってください。

## キーボードを掃除する

キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーの間は、エア・スプレーなどでゴミやほこりを散らしてください。

### ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、キーボードを本機から取りはずしてからキーボードを掃除してください。
- 濡れたものでキーボードを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときはその注意書に従ってください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月です。カスタマー登録していただいたお客様は1年間となります。

## アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください

VAIOカスタマーリンクについては、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

## 修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。

当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出すまえに、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。弊社の修理により、ハードディスクなどのプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、ハードディスクなどの記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

## 部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピュータの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- お客さまのカスタマーID:
- 型名:PCV-MXS2R/MXS2
- 製造番号:
- 故障の状態:できるだけ詳しく
- 購入年月日:

## 部品の交換について

この製品は修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

# 主な仕様

## プロセッサ

Intel® Pentium®4 プロセッサ  
1.9GHz( PCV-MXS2R )

Intel® Pentium®4 プロセッサ  
1.7GHz( PCV-MXS2 )

## 2次キャッシュ

256KB( CPU内蔵 )

## メインメモリ

DDR SDRAM-DIMM

( 184ピン、unbuffered type、  
DDR266 )

標準 256MB

最大 1024MBまで拡張可能

## 拡張メモリスロット

184ピンDIMMスロット

( DDR-SDRAM ) × 2 ( 空き 1 )

## グラフィックアクセラレータ

NVIDIA GeForce2 MX 32MB

## ビデオメモリ

32MB

## 表示モード

モニタ出力

1,600 × 1,200ドット( 最大 1677  
万色 )

1,280 × 1,024ドット( 最大 1677  
万色 )

1,024 × 768ドット( 最大 1677  
万色 )

800 × 600ドット( 最大 1677万色 )

640 × 480ドット( 最大 1677万色 )

ディスプレイによって、表示さ  
れない表示モードがあります。

DVI出力

1,280 × 1,024ドット( 最大 1677  
万色 )

1,024 × 768ドット( 最大 1677  
万色 )

800 × 600ドット( 最大 1677万色 )

640 × 480ドット( 最大 1677万色 )

ディスプレイによって、表示さ  
れない表示モードがあります。

## ハードディスクドライブ

記憶容量

PCV-MXS2R

約 120GB Cドライブ 約 10GB  
/ Dドライブ 約 110GB\*

\* Windows起動時に認識できる  
容量は、約 111GB( Cドライブ  
: 約 9.3GB、Dドライブ: 約  
102GB )

3.5インチ、Ultra ATA/100対応

PCV-MXS2

約 80GB Cドライブ 約 10GB  
/ Dドライブ 約 70GB\*

\* Windows起動時に認識できる  
容量は、約 74GB( Cドライブ:  
約 9.3GB、Dドライブ: 約  
65GB )

3.5インチ、Ultra ATA/100対応

## DVD-RWドライブ( PCV- MXS2R )

書き込み

最高 8倍速( CD-R )

最高 4倍速( CD-RW )

最高 2倍速( DVD-R )

最高 1倍速( DVD-RW )

読み出し

最高 24倍速( CD-ROM )

最高 16倍速( CD-R / CD-RW )

最高 4倍速( DVD-ROM )

最高 2倍速( DVD-R / DVD-RW )

## CD-RW / DVD-ROM一 体型ドライブ( PCV- MXS2 )

書き込み

最高 8倍速( CD-R / CD-RW )

読み出し

最高 32倍速( CD-ROM / CD-R )

最高 20倍速( CD-RW )

最高 8倍速( DVD-ROM )

## MDドライブ

Net MDスロットイン型、モノラ  
ル録音対応、MDLPモード対応、  
グループ機能対応、サンプリン  
グレートコンバータ内蔵

## FMチューナーユニット

76 ~ 90MHz、FMステレオ、FM  
文字多重放送対応  
エリアコール対応

## 外部コネクタ( 前面 )

HEADPHONES

最大出力 30mW( 32 負荷時 )  
ステレオミニジャック( 1 )

MIC

プラグインパワーステレオミニ  
ジャック( 1 )

i.LINK S400

IEEE 1394準拠、4ピン( 1 )

USB

USB4ピン( 1 )

## PCカードスロット

Type II × 1、16ビット Cardおよ  
び Cardbus対応、68ピン( 1 )

## メモリースティックス ロット

マジックゲート対応メモリース  
ティックスロット、10ピン( 1 )

## 外部コネクタ( 後面 )

OPTICAL OUT

角型光コネクタ( EIAJ CP1201  
/ IEC60958準拠 ) × 1 )

OPTICAL IN

角型光コネクタ( EIAJ CP1201  
/ IEC60958準拠 ) × 1 )

KEYBOARD

PS / 2、ミニ DIN6ピン( 1 )

MOUSE

PS / 2、ミニ DIN6ピン( 1 )

MONITOR

VGAタイプ、D-sub15ピン( 1 )

DVI

DVI-D、24ピン( 1 )

SERIAL

RS-232C、D-sub9ピン( 1 )

PRINTER

セントロニクス社インターフェ  
イス準拠、

D-sub25ピン( 1 )

SPEAKER L / R

プッシュ型

出力: 20W × 2 ( 4 )

USB  
USB4ピン(1)  
NETWORK  
100BASE-TX / 10BASE-T、  
RJ-45タイプモジュージャック(1)  
LINE OUT L / R  
最大出力2Vrms(50k $\Omega$ )、出力インピーダンス10k $\Omega$ 、ジャック(2)  
LINE IN L / R  
最大入力2Vrms、入力インピーダンス50k $\Omega$ 、ジャック(2)  
TELEPHONE  
モジュージャック(1)  
LINE  
モジュージャック(1)  
i.LINK S400  
IEEE 1394準拠、6ピン(1)  
FM ANTENNA  
75 $\Omega$  不平衡F型コネクタ(1)  
VHF / UHF  
VHF / UHF1軸、75 $\Omega$  F型コネクタ(1)  
VIDEO 1 INPUT  
S VIDEO / VIDEO  
ミニDIN7ピン(1)  
AUDIO  
ステレオミニジャック(1)  
VIDEO OUTPUT  
S VIDEO / VIDEO  
ミニDIN7ピン(1)  
AUDIO  
ステレオミニジャック(1)

## 拡張スロット

PCIスロット×3(空き1)  
AGPスロット×1(空き0)

## サウンド機能

Sony Digital Audio System  
周波数特性:20Hz ~ 20kHz  
アンプ出力:20W + 20W  
6 Band パラメトリックイコライザ

## 内蔵ファックスモデム

最大56kbps(V.90)ただし、送信時最大33.6kbps / 最大14.4kbps(ファックス時)

## キーボード

VAIO専用ショートカットキー付きキーボード

## 電源 / その他

電源  
AC100V $\pm$ 10%(50 / 60 Hz)

定格消費電流  
3.9A

消費電力  
最大390W(最大出力268W)  
5W(スタンバイモード時)

i.LINK電源出力  
10 ~ 12V 6W(合計)

動作温度  
10 ~ 35 (温度勾配10 $^{\circ}$ C / 時以下)

動作湿度  
40% ~ 80%(結露のないこと)

保存温度  
- 20 ~ 60 (温度勾配10 $^{\circ}$ C / 時以下)

保存湿度  
20% ~ 80%(結露のないこと)

外形寸法  
本体: 約192 x 346 x 382mm  
(幅 / 高さ / 奥行き、最大突起部を含まず)

キーボード: 約435 x 51 x 205mm

(幅 / 高さ / 奥行き、パームレストを含む)

質量  
PCV-MXS2R  
本体: 約11.7kg

キーボード: 約1.0kg

PCV-MXS2  
本体: 約11.5kg

キーボード: 約1.0kg

## スピーカーシステム

形式  
2WAY バスレフ

使用スピーカー  
2.5cm ツィーター  
12cm ウーファー

最大入力  
30W

再生周波数帯域  
80Hz ~ 20kHz

出力音圧レベル  
83dB/w/m  
インピーダンス4 (EIAJ\*\*負荷)

外形寸法(1個)  
約134 x 291 x 219mm  
(幅 / 高さ / 奥行き、グリル含む、最大突起部を含まず)

質量(1個)  
約2.8kg  
EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

## 付属品

「付属品を確かめる」(30ページ)をご覧ください。

## 対応ディスプレイ

PCVD-17SD1  
PCVD-15XD3  
CPD-G420など

## 増設メモリモジュール(別売り)

PCVA-MM256D  
PCVA-MM512D

## iLINKケーブル(別売り)

6ピン $\leftrightarrow$ 6ピン  
VMC-IL6615A(1.5m)  
VMC-IL6635A(3.5m)

4ピン $\leftrightarrow$ 4ピン  
VMC-IL4408A(80cm)  
VMC-IL4415A(1.5m)  
VMC-IL4435A(3.5m)

4ピン $\leftrightarrow$ 6ピン  
VMC-IL4615A(1.5m)  
VMC-IL4635A(3.5m)

## USBフロッピーディスクドライブ(別売り)

PCVA-UFD2  
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

## 高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

# 付属ソフトウェアについて

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で電子マニュアル「サイバーサポート」を表示させてご覧ください。

- 1 デスクトップ画面の  をダブルクリックする。  
「サイバーサポート」が表示されます。
- 2 画面上部の  をクリックする。
- 3 画面左から「付属ソフトウェアの一覧」をクリックする。

## ご注意

Windows XPは、Windows Meなどとは異なり、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。

インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。

「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

ユーザー権利とアクセス許可について詳しくは、デスクトップ画面左下の  をクリックし、[コントロール パネル] [ユーザーアカウント] を順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。

なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

## クリエイション

- Adobe Photoshop Elements  
(静止画加工)  
アドビシステムズ サポート契約センター  
電話番号:(03)6350-8688  
初回コールより90日間の無料サポート。以降は同社による有料サポートメニューが用意されています。
- DigiOnSound Light  
(サウンド編集)  
株式会社デジオン  
電話番号:(092)833-6279  
ファックス番号:(092)833-6278  
電子メール:info@digion.com
- DigitalPrint Version 1.1  
(アルバム/ラベル作成・プリント)  
VAIOカスタマーリンク
- DVDIt! for VAIO  
(PCV-MXS2Rのみ)  
(MPEGオーサリングソフト)  
三信電気株式会社 DVDIt! サポートセンター  
電話番号:(03)6232-5065  
受付時間:10時~12時、13時~17時、月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始を除く)  
電子メール:DVD-IT@sanshin.co.jp  
ホームページ:http://jp.dvdit.com/dvdit/
- DVgate Version 2.5  
(デジタルビデオ動画/静止画入出力/簡易編集)  
VAIOカスタマーリンク
- MovieShaker Version 3.3  
(動画編集)  
VAIOカスタマーリンク
- PictureGear Version 5.1  
(画像管理)  
VAIOカスタマーリンク
- PictureToy Version 1.1  
(静止画加工)  
VAIOカスタマーリンク

- RecordNow DX  
( PCV-MXS2Rのみ )  
( DVD-R / RW・CD-R / RW ライ  
ティングソフトウェア )  
<http://www.easy.co.jp/jrndx/sony/>

- VAIO Edit Components  
( Premiere プラグイン )  
VAIOカスタマーリンク

## オーディオ&ビジュアル

- Beatnik Player Version 2.0  
( AV再生プラグイン )  
電子メール: [vaiouser@beatnik.com](mailto:vaiouser@beatnik.com)
- Giga Pocket Version 4.5  
( テレビ録画 / 管理 / 再生 )  
VAIOカスタマーリンク
- iRCommander  
( Giga Pocketリモート予約 )  
ソニーコミュニケーションネットワーク株式  
会社 テレビ王国  
電子メール: [tv@so-net.ne.jp](mailto:tv@so-net.ne.jp)  
URL: <http://www.so-net.ne.jp/tv/>
- MD デッキコントローラ  
Version 1.0( MD録音、再生 )  
VAIOカスタマーリンク
- Media Bar DVD プレーヤー  
( DVDビデオ再生 )  
VAIOカスタマーリンク
- PicoPlayer Version 5.0  
( Giga Pocket専用ビューワー /  
コントローラー )  
VAIOカスタマーリンク
- QuickTime 5( 動画再生 )  
VAIOカスタマーリンク
- RealJukebox 2 Basic  
( 音楽ファイル管理 / 再生 )  
リアルネットワークス株式会社 サポートセ  
ンター  
電話番号: ( 03 )5302-2313

- RealPlayer 8 Basic( 動画再生 )  
リアルネットワークス株式会社 サポートセ  
ンター  
電話番号: ( 03 )5302-2313

- Simple DVD Maker  
( PCV-MXS2Rのみ )  
( Giga Pocket DVDオーサリング  
ソフト )  
VAIOカスタマーリンク

- SonicStage Premium Version  
1.1( 音楽ファイル管理 / 再生 )  
VAIOカスタマーリンク

- Windows Media™ Player 8  
( 音楽・動画再生 )  
VAIOカスタマーリンク

## エンターテインメント

- Gen-On( サウンド&ビジュアル  
ミキシングソフト )  
VAIOカスタマーリンク
- MusicShaker Version 1.4  
( 音楽再生 )  
VAIOカスタマーリンク

## コミュニケーション

- Microsoft® Internet Explorer 6  
( インターネットブラウザ )  
VAIOカスタマーリンク
- Microsoft® Outlook Express 6  
( 電子メール )  
VAIOカスタマーリンク
- Q-ze Talk( キュゼ・トーク )  
Version 1.1  
( ビジュアルチャット )  
VAIOカスタマーリンク
- Smart Capture Version 4.2  
( 画像取り込み / 再生 )  
VAIOカスタマーリンク

## □ URecSight Version 2.1

(インターネット放送)

VAIOカスタマーリンク

## □ インターネット接続サービス/ ブロードバンド常時接続サービス ご紹介

AOL 7.0 for Windows( サービスプロバイダ)

株式会社ドコモ AOL

AOLメンバーサポートセンター

受付時間:9時~21時(年中無休)

会員サポート・入会問い合わせ:

(0120) 275-265(フリーダイヤル)

携帯電話および国際電話によるサポート:

(03) 6331-7400

電子メール:AOLJapanMS@aol.com

DION オンラインサインアッププログラム

( サービスプロバイダ)

KDDIカスタマーサービスセンター

サービス内容に関するお問い合わせ

電話番号:(0077) 719(無料)

接続・設定などに関するお問い合わせ

電話番号:(0077) 20227(有料、全国一律1分10円)

上記番号につながらない場合は

電話番号:札幌(011) 232-7012 / 東京(03)

5348-3975(有料)

ADSLコースのサービス内容、接続・設定などに関するお問い合わせ

電話番号:(0077) 7084(無料)

@niftyでインターネット( サービスプロバイダ)

ニフティ株式会社 @nifty入会センター

電話番号:(0120) 816-04(フリーダイヤル)

携帯・PHS・国際電話の場合:(03) 6753-2374

(電話料金はお客様ご負担となります)

受付時間:毎日9時~21時(ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。)

OCNスタートパック for Windows

( サービスプロバイダ)

OCNインフォメーションデスク

電話番号:(0120) 047-815(フリーダイヤル)

受付時間:9時~21時(月~金曜日) 9時~17時(土曜日・日曜日・祝日)

電子メール:info@ocn.ad.jp

ODNスターキットソフトウェア

( サービスプロバイダ)

日本テレコム株式会社

ODNサポートセンター

電話番号:0088-8(無料 ODNダイヤルアップサービス)

0088-222-375(無料 J-DSL フレッツADSLプラン)

P'zDiale(ぶららアクセスソフト)

( サービスプロバイダ)

株式会社ぶららネットワークス「ぶららダイヤル」

入会専用:(0120) 48891(スパイクイージー)

テクニカル:(03) 6954-5311

So-net簡単スターター( サービスプロバイダ)

So-netインフォメーションデスク

電話番号:(0570) 00-1414(全国共通)

携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへおかけください。

札幌(011) 711-3765 / 仙台(022) 256-2221 /

東京(03) 3446-7555 / 名古屋(052) 819-1300

/ 大阪(06) 6577-4000 / 広島(082) 286-1286

/ 福岡(092) 624-3910

受付時間:10時~21時 年中無休

ご入会方法、サービス内容のお問い合わせ、各種会員情報の変更方法や課金状況の確認などのお問い合わせは、上記の電話番号のほか、ファックスや電子メールでも承ります。また、ホームページでもご確認いただけます。

ファックス番号:(03) 3446-7557

電子メール:info@so-net.ne.jp

ホームページ:http://www.so-net.ne.jp/access/

イー・アクセス ADSL スターターキット

( サービスプロバイダ)

イー・アクセス株式会社

電話番号:(0120) 2754-37

受付時間:10時~18時(毎日)

電子メール:info@eaccess.net

インターネットするならBIGLOBE

( サービスプロバイダ)

BIGLOBEカスタマーサポートインフォメーションデスク

電話番号:(0120) 86-0962(フリーダイヤル)

携帯電話:(03) 3947-0962

受付時間:24時間365日

電子メール:お問い合わせは以下のフォームをご利用ください。

<http://support.biglobe.ne.jp/ask.html>

ホームページ:<http://support.biglobe.ne.jp/>

バイオネットワークサービスオンラインサインアップ( サービスプロバイダ)

ソニースタイルドットコム・ジャパン株式会

社 バイオネットワークサービスセンター

電話番号:(03) 6783-1133

## リファレンスツール

- Adobe Acrobat Reader 5.0J  
(PDFビューワー)  
VAIOカスタマーリンク
- MapCutter Version 2.0  
(CLIE用地図切り出しツール)  
VAIOカスタマーリンク
- Navin' You Version 5.5  
(デジタルマップナビゲーター)  
VAIOカスタマーリンク
- Navin' You専用グルメ&ドライブ  
スポット 327 by Walkerplus.com  
株式会社ウォーカープラス・ドット・コム編集  
制作部  
ファックス番号:(03)3234-4613  
電子メール:webmaster@walkerplus.com
- Navin' You専用マップ2サンプル版  
株式会社ゼンリン お客様ご相談窓口  
電話番号:(03)6259-5077  
受付時間:10時~12時/13時~17時 月~  
金(祝日は除く)
- 乗換案内 時刻表対応版  
(電車交通案内)  
ジョルダン株式会社 お客様ご相談窓口  
電話番号:(03)6389-1712  
受付時間:10時~12時/13時~17時 月~  
金曜日(祝日は除く)

## ユーティリティ

- Norton AntiVirus 2002  
(ウイルスチェッカー)  
シマンテックテクニカルサポートセンター  
電話番号:(03)3476-1118  
受付時間:平日10時~12時、13時~17時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)  
FAX:(03)3477-1118  
なお、上記サポートセンターをご利用いた  
くためには以下のシマンテックホームペー  
ジにてカスタマーIDの取得が必要です。  
<http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html>  
カスタマーID取得に関するお問い合わせ:  
シマンテック カスタマーサービスセンター  
電話番号:(03)3476-1156  
受付時間:平日10時~12時、13時~17時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)  
FAX:(03)3476-1159  
ウイルス定義ファイルの有償アップデートに  
ついて詳しくは、以下のシマンテックホーム  
ページをご覧ください。  
<http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html>  
ウイルス定義ファイルの有償アップデートの  
お申し込みについては、下記にお問い合わせ  
ください。  
ショップシマンテック  
電話番号:(03)3476-1192  
FAX:(03)3780-9988  
電話受付時間:月~金 10時~12時、13時~17  
時(土・日・祝日・年末年始を除く)
- VAIO Action Setup Version 1.4  
(アプリケーション等起動設定)  
VAIOカスタマーリンク
- VisualFlow Version 2.1  
(メディアブラウザ)  
VAIOカスタマーリンク
- MXユーティリティ  
VAIOカスタマーリンク
- システム情報  
VAIOカスタマーリンク

## カスタマーサポートツール

- CyberSupport 3.1 for VAIO  
(VAIOマニュアル)  
VAIOカスタマーリンク
- できるWindows XP for VAIO  
(マニュアル)  
インプレスカスタマーセンター  
電話番号:(03)5213-9295

## その他

- UI Design Selector  
(VAIOオリジナルGUIセット  
アップ)  
VAIOカスタマーリンク
- VAIOオンラインカスタマー登録  
(オンラインカスタマー登録)  
ソニーマーケティング株式会社 VAIOカスタ  
マー専用デスク  
電話番号:(03)5977-7255  
受付時間:月曜~金曜日 10時~18時(土曜、  
日曜、祝日、年末年始を除く)
- オンラインサービスご紹介

### イーベイ

イーベイジャパン(株)

電子メール:jpsupport@ebay.com

### UPGRADE AREA(アップグレードエリア)

ソニーマーケティング株式会社

ソニースタイルドットコム・ジャパン株式会  
社

ソニースタイルカスタマーセンター

電話番号:(03)5783-1254

電子メール:vaio-upgradecenter@sony.co.jp

### ソニースタイル

### イメージステーション

### パーキャストTV

ソニースタイルドットコム・ジャパン株式会  
社

ソニースタイルカスタマーセンター

電話番号:(03)5783-1122

受付時間:10時~18時(土・日・祝日は除く)

イメージステーションのみ、以下のメールア  
ドレスでのお問い合わせも受け付けておりま  
す。

info@imagestation.jp

### gu mantan WEB

デザインエクスチェンジ株式会社

DEXインフォメーション

電子メール:info@dex.ne.jp

### イープラス

(株)エンタテインメントプラス

http://eee.eplus.co.jp/

電話番号:(03)5749-9911

### Norton AntiVirus ウイルス定義ファイル購入

ウイルス定義ファイルの有償アップデートに  
ついて詳しくは、以下のシマンテックホーム  
ページをご覧ください。

http://shop.symantec.co.jp/oem/sony.html

ウイルス定義ファイルの有償アップデートの  
お申し込みについては、下記にお問い合わせ  
ください。

ショップシマンテック

電話番号:(03)3476-1192

FAX:(03)3780-9988

電話受付時間:月~金 10時~12時、13時~17  
時(土・日・祝日・年末年始を除く)

## □ リカバリCD-ROM

VAIOカスタマーリンク

# 索引

## 【ア行】

アイコン	75
アクセスポイント	114
アクティブなウィンドウ	79
アドレス	115
アドレスバー	140
アナログ入力	276
アンテナコネクタ	41, 42
イーサネット	231
インターネット	98
トラブル	100
インターネットサーバー	135
インターネットサービス プロバイダ	100
インターネット接続サービス	97, 100
ウイルス	101
ウィンドウ	78
ウィンドウ	75
切り替える	79
最小化	80
サイズを変える	80
最大化	80
閉じる	80
開く	78
ウェブブラウザ	99
映像入力/出力コネクタ	43, 223
液晶ディスプレイ	
取り扱いについて	275
エラーメッセージ	205
音	208
オフライン作業	146
オンラインサインアップ	104

## 【カ行】

拡張ボード	
種類	235
増設する	235
取り付ける	239
取りはずす	243
PCI拡張ボード	235
各部のなまえ	33, 74, 76, 78
カスタマーご登録	
トラブル	188
カスタマー登録	88, 188
カタカナ入力	83
かな入力	84
画面	
トラブル	177

キーボード	
お手入れ	282
接続	45
トラブル	178
結露	275
検索	75
ごみ箱	82
コンピュータウイルス	101

## 【サ行】

再生	210
再セットアップ	266
サイバーサポート	5, 154
受信メールサーバー	116
シリアルコネクタ	35
スクロールバー	78
接続	
キーボード	45
スピーカー	47
ディスプレイ	39
デジタルビデオカメラ レコーダー	216
テレビ	224
テレビアンテナ	41
電源コード	57
電話回線	49
ビデオカメラレコーダー	221
ビデオデッキ	221
プリンタ	226
ヘッドホン	225
マウス	45
FMアンテナ	53
ISDN回線	52
i.LINK対応機器	216
USB機器	228
設置	37
送信メールサーバー	116
ソフトウェアの不正コピー禁止	277

## 【タ行】

ターミナルアダプタ	99
タイトルバー	78
タイマー	210
ダイヤルアップ接続	115
タスクバー	79
断片化	271
チルダ	179
ツールバー	78
ディスプレイ	
接続	39
トラブル	175
デジタルビデオカメラレコーダー	216
デスクトップ	74
デフラグ(最適化)	271

テレビ	
地域設定	67
テレビにつなぐ	224
テレビを見る準備をする	65

## 電源

電源ボタン	33, 58
電源ランプ	33, 58
電源を入れる	58
電源を切る	71
トラブル	172

## 電子マニュアル

電子メール	130
電子メールアドレス	93, 116
電子メールソフトウェア	130
トラブル	100
やりとりする	145

## 電話回線

接続	49
電話回線ジャック	35, 50
電話機ジャック	35, 49

## 動画/静止画編集

トラブル	204
トーン式ダイヤル	95, 115
ドライバ	227, 231, 238
トラブルの解決方法	168

## 【ナ行】

ネゴシエーション	197
----------	-----

## 【ハ行】

パーティション	271
ハードディスク	
ドライブを増設する	251
トラブル	182
取り扱いについて	276
取り付ける	252
取りはずす	256
バックアップをとる	276
パームレスト	30, 46
パスワードリマインダー	93
パルス式ダイヤル	95, 115
ビデオカメラレコーダー	221
ビデオデッキ	43, 221
ひらがな入力	83
ファイル	78
コピー	207
削除	82
ファイルを開く	81
フォルダを作る	81
フォルダ	81
複数ユーザー	63
付属品	30
プラグアンドプレイ	238
プリンタ	226
フロッピーディスク	
トラブル	181
取り扱いについて	276

プロバイダ ..... 100, 112  
ヘルプ ..... 153, 166  
ヘルプとサポートセンター ..... 64  
ポインタ ..... 76  
ホームページ ..... 138

## 【マ行】

マイクロホンコネクタ ..... 33  
マイドキュメント ..... 75  
マウス  
お手入れ ..... 281  
クリック ..... 76  
接続 ..... 45  
ダブルクリック ..... 76  
ドラッグ ..... 76  
ドラッグアンドドロップ ..... 76  
トラブル ..... 180  
ポイント ..... 76  
マウスコネクタ ..... 35  
マウスの操作 ..... 76  
右クリック ..... 76  
無線LANカード ..... 231  
メニューバー ..... 78  
メモリ ..... 236  
増設する ..... 244  
メモリモジュール ..... 244  
メモリカード ..... 230  
メモリースティック ..... 33  
文字入力 ..... 83  
モデム ..... 99  
モデム/インターネット  
トラブル ..... 188  
モニタコネクタ ..... 35

## 【ラ行】

ライン入力コネクタ ..... 35  
リカバリCD ..... 264  
リソース ..... 236  
リモコン ..... 36, 56, 178  
ローマ字入力 ..... 84  
録音/編集 ..... 212

## 【A】

AC電源入力プラグ ..... 35  
ADSL ..... 99, 126  
AV機器  
デジタルビデオカメラ  
レコーダー ..... 216  
テレビ ..... 224  
ビデオカメラレコーダー  
..... 223  
ビデオデッキ ..... 43, 223  
AVマウス ..... 43

## 【B】

BIOS ..... 265

## 【C】

CD-ROM  
お手入れ ..... 281  
トラブル ..... 182  
取り扱いについて ..... 279  
CD-RW / CD-R  
トラブル ..... 185  
取り扱いについて ..... 279  
CD-RW / DVD-ROM  
一体型ドライブ ..... 33, 278  
CyberSupport for VAIO ..... 5

## 【D】

DVD-ROM  
お手入れ ..... 281  
トラブル ..... 182  
取り扱いについて ..... 279  
DVD-RWドライブ ..... 33, 278  
DVD-RW / DVD-R  
取り扱いについて ..... 279  
DVIコネクタ ..... 39

## 【F】

FMラジオ ..... 212

## 【H】

HTML ..... 132

## 【I】

IRQ ..... 236  
ISDN回線 ..... 99  
ISP ..... 100, 119  
i.LINK  
つなぐ ..... 216  
データをやりとりする ..... 219  
i.LINKケーブル ..... 217  
i.LINKコネクタ ..... 33, 35, 216  
i.LINK対応機器 ..... 216  
I/Oポート ..... 236

## 【L】

LAN ..... 229

## 【M】

MD  
システムの制約 ..... 279  
取り扱いについて ..... 279  
Microsoft Internet Explorer  
..... 100, 138  
MO ..... 230  
MS-IMEツールバー ..... 83

## 【O】

OS ..... 61, 101  
Outlook Express ... 100, 130, 145

## 【P】

PCカード ..... 230, 232  
PCカードスロット ..... 231, 232  
PPP ..... 114

## 【S】

SCSI ..... 230

## 【U】

URL ..... 140  
USB機器 ..... 228  
USBコネクタ ..... 33, 35, 52, 228

## 【V】

VAIOカスタマーご登録 .. 88, 188  
VAIOカスタマーリンク  
..... 163, 166

## 【W】

Windows  
準備する ..... 59  
Windowsのヘルプ ..... 64, 166





本機をお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

## 商標について

- はソニー株式会社の商標です。
- “ MagicGate Memory Stick ( “マジックゲートメモリースティック”) および  “ Memory Stick ( “メモリースティック”)、 “ MagicGate ( “マジックゲート”)、MAGICGATE、OpenMG、OpenMGはソニー株式会社の商標です。
- So-net、ソネットおよびSo-netロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ“”は商標です。
- 「CastaDrive」およびCastaDriveはソニー株式会社の商標です。
- 「PercasTV」およびはソニー株式会社の商標です。
- Intel、PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、WindowsおよびOutlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Adobe、Adobe PhotoshopおよびAdobe Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。
- DigiOn、DigiOnSoundは、株式会社デジオンの登録商標です。
- Beatnik PlayerはBeatnik, Inc.の登録商標です。
- テレビ王国、iCommand、アイコマンド、iRCommander、アイアールコマンダーは、ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の商標です。
- QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license. QuickTime is registered in the U.S. and other countries.
- 「RealPlayer」 「RealJukebox」は、米国また諸各国において、米国RealNetworks, Inc.社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。
- 「iモード」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- 2001 AMERICA ONLINE. INC. All Rights Reserved.
- BIGLOBEは日本電気株式会社の登録商標です。
- DIONはKDDI株式会社の登録商標です。
- eBay、イーベイ及びeBayロゴは、米国eBay, Inc.の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- @niftyはニフティ株式会社の商標です。
- ドルビー、DOLBY、ダブルD記号、AC-3およびプロロジックはドルビーラボラトリーズの商標です。
- OCNは、NTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
- 「ぶらら」は株式会社ぶららネットワークスの登録商標です。
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
- 「ConceptBase」 「ConceptBase Search」 「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。  
Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム  
Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- Copyright 2001 Entertainment Plus Inc. All Rights Reserved.
- PrimoSDK for CD  
Portial software replication technology by VERTIAS Software Corporation.
- Sonic、Sonic Solutions、DVDit!は米国Sonic Solutions社の米国およびその他の国における商標です。
- Gen-onはソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社の商標です。
- Symantec、Symantecロゴ、Norton AntiVirusはSymantec Corporationの登録商標です。  
2001 Symantec Corporation. All Rights Reserved.
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。  
なお、本文中では™、®マークは明記していません。

**VAIOホームページ**

VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。

- <http://www.vaio.sony.co.jp/>

**VAIOカスタマーリンク ホームページ**

VAIOの最新サポート情報をご案内します。

- <http://vcl.vaio.sony.co.jp/>

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川16-7-35  
<http://www.sony.co.jp/>

Printed in Japan